北海道釧路市　こどもエコクラブくしろ
壁新聞のタイトル：釧路湿原風だより２０１３　　　　環境大臣賞　01-01　全１枚

こどもエコクラブくしろ さんへ
師範から一言！

特定外来種ウチダザリガニの問題や、食用としての活用法、タンチョウの生態や現状など、とても分かりやすくまとめられています。
年間スケジュールからみても、実に内容のこい活動をしていることがうかがえます。そして、大きな場での発表など、活動が多くの方に支持してもらえてるのでしょうね。
これからも釧路湿原の情報や魅力を発信できると良いですね。それが、釧路湿原を守る事に繋がっていくと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
ウチダザリガニ以外の外来生物の調査も行っているようですね。
外来生物は全国でも大きな問題になっており、防除方法や活用方法に悩まされています。
今回のウチダザリガニのように、上手な活用方法が見つかれば、他の外来生物にも適用できるかもしれません。
これからの活動も楽しみにしております。

青森県弘前市　HEP21 エコクラブ
壁新聞のタイトル：ぼくたちとだんぶり池の仲間たち～2013 ドキュメント～　　　　02-01

HEP21エコクラブ さんへ
師範から一言！

HEP21 エコクラブは、小学２年生から中学２年生までの５名の子どもたちが活動しています。４月に自分たちで活動の計画をつくり、毎月いろいろな活動をされています。活動の内容をテーマごとに、とっても素敵にまとめてくれています。
デザインが素晴らしい！　世界自然遺産の白神山地 20 周年の企画に参加したこともあって、白神山地にあるブナの葉っぱのデザインをしたとのこと。細かいところも、あちこちに生き物の写真やイラストがあり、カラフルでとても楽しいかべ新聞です。
新聞の発行日がキチンと書かれているところが良いですね。また、テーマに分かれているところが、見やすく、わかりやすいです。それぞれの記事（カード）を書いた人の名前も書かれているところも素敵です。
とってもたくさんの活動内容を、１枚のかべ新聞にうまくおさめてくれています。活動内容も、かべ新聞のタイトルも中身も、色々なことをみんなで相談して決めていて、そこが本当に良いですね。みなさんの活動拠点でもある「だんぶり池」は、植物・昆虫・動物がたくさんいる自然豊かなすてきな池ですね。生き物の観察をしたり、台風被害の復旧作業をしたりなど、みなさんが大活躍されている様子が生き生きと伝わってきます。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
記事（カード）にタイトルが書いてあるものは、わかりやすいなと思いました。タイトルが無いものもあったので、意識して書いてみるといいかもしれませんね。イラストはどれもとっても素敵！　しっかり観察して細かいところまで描かれていますね。
酸性雨の測定方法など、わかりやすくていいですね。11 月ごろは酸性雨が多かったのですね。なぜなのか、みなさんで話してみましたか？みなさんの考えなどが書いてあってもいいですね。
発表というテーマが作れるぐらい、いろいろなところで発表していてすごいですね。他の人たちの発表を聞いて、こんな活動もすごいなあとチェックしているところも良いですね。面白そうな活動や、話を聞いてひらめいたことなどを、ぜひ今後のみなさんの活動に取り入れてくださいね。これからも素敵な活動を続けていってくださいね。

青森県八戸市　下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル：①そうだったのか！新聞　②地球温暖化の原因は何なのか？　③Eco　car について　④グリーン ECO 新聞　⑤エコ新聞　　　　02-02～06　全 5 枚　④が推薦

下長中エコクラブのみなさんへ！
どのかべ新聞もとてもしっかりと調べられていて、読みごたえがありました。テーマがしっかりしていて内容も明確だと思いました。さすが中学生！これからの活動もとても期待できる！それならこんなこともどうだろう！と色々と考えてしまい、いつもよりも「〇〇もしてみてください」というコメントが多くなってしまいました。やりやすいことがあったら挑戦してみてくださいね。
　みなさんは研究発表会や実験コーナーで活動される機会が多いみたいですね。テーマにもよると思いますが、みなさんが調べたことやエコに関して実行していることなどを、そういう機会に参加者の方に紹介するものひとつの素敵な活動だと思います。無理矢理入れ込もうとするとテーマとずれたりちぐはぐになってしまいますが、そうならない範囲で出来ないかどうか、ぜひ一度検討してみてください。

下長中エコクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
下長中エコクラブの中学1年生の二人が作ってくれたこのかべ新聞は、「そうだったのか！」って何のことだろう、どんな発見があったんだろう、と思って読みたくなる、すてきなタイトルですね。
内容は、地球温暖化の原因についてや、温暖化の影響について調べたことをまとめてくれています。「雪が降らなくならないようにしたい」「温暖化は進めたくない」「台風が増えると知って、がんばらないといけないと思った」という気持ちがしっかりと伝わってきます。このかべ新聞を読んだ人もきっと「私も何か、できることがあったらがんばろうかな」という気持ちになるのではないでしょうか。
何を伝えたいのかが明確で、読みやすくわかりやすいかべ新聞ですね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
私は京都に住んでいますが、子どものころは雪が降り、時々積もりました。でも、今はめったに雪が降ることはなく、積もることもほとんどありません。「温暖化が進んだら、将来雪が降らなくなる」のではなく、「温暖化はもう進んでいて、すでに雪が降らなくなってきている」のだと思います。みなさんが住んでいる地域はどうでしょうか。もし機会があれば、昔から地域に住んでいらっしゃる年配の方に、雪の降り方がどう変わってきているのかについて聞いて、調べてみてください。
それから、温室効果についてですが、地面や海が熱くなるというよりも、熱が宇宙に逃げにくくなって温度が高くなると表現した方が正確かもしれませんね。「二酸化炭素などが膜のように包まれて温かくなる…」と書いてくれていますが、もしかしたらオゾン層のイメージなのかもしれません。温室効果ガスとオゾン層とは、大人でもよく混同して間違ってしまう部分ですので、何が違うのかをぜひ調べて、整理してみてください。
昔の人が石炭をたくさん燃やしたり森を切り拓いたから二酸化炭素などが増えた、だけではなく、今私たちが毎日便利に暮らしていることによって、温室効果ガスがたくさん出ているのです。私たちの生活のどんなことが温室効果ガス増大につながっているのかがわかれば、「何を」がんばったらいいのかや、どんな時に「もったいないから大切にしよう」と行動すれば良いのかがわかると思います。
二人が書いてくれているように、小さなもったいないが積み重なったら、大きな影響力につながると思います。このかべ新聞で地球温暖化について「そうだったのか！」と知ることができたので、次はぜひ具体的に「もったいない」を大切にする行動を実際に色々とやってみて、それを周りの人たちに伝えてみてくださいね。
これからの活動も、がんばってくださいね！

下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル：①そうだったのか！新聞　②地球温暖化の原因は何なのか？　③Eco　car について　④グリーン ECO 新聞　⑤エコ新聞

下長中エコクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
情報がたっぷりのこの壁新聞は、下長中エコクラブの中学1年生の二人が作ってくれました。インターネットも活用して、とっても細かい情報まで調べてくれていますね。文字の量をみても、がんばって調べてくれたことが一目瞭然です。すばらしい調査能力ですね！
文字の大きさが記事によてバラバラになってしまったことを気にしているようですが、大きさでメリハリをつけることは良いこともありますよ。「タイトル（大きい文字）」「特に強調したい部分（中くらいの文字）」「本文（小さめの文字）」の3種類ぐらいだと、すっきりして読みやすそうですね。
選択式のクイズで、めくったら答えがわかるというのは、とても面白い工夫ですね。良いアイデアですね！
クイズが分かりやすくなるよう、もう少し説明があったらよかったかもしれません。例えば、二酸化炭素排出に関する部分は日本のことなのか世界全体のことなのか青森県のことなのか、わからなかったです。他にも「排出合計」って何のことだろうと思う読者もいるかもしれませんね。
それから、問題について調べるだけでなく、では具体的に私たちがどうしたらよいかという「対策」について、具体的にわかりやすく書いてあるところがとっても素晴らしいです！

下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル：①そうだったのか！新聞　②地球温暖化の原因は何なのか？　③Eco　car について　④グリーン ECO 新聞　⑤エコ新聞

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・

「今まではオゾン層によって暖められた空気が保たれてきた」と書いてくれていますが、少しかんちがいをしているのかもしれません。「フロンガスによるオゾン層破壊の問題」と「温室効果ガスによる気候変動（＝地球温暖化）の問題」は、別の問題です。ちなみに、大人でも混同して覚えてしまっている方がいます。ぜひもう一度調べて、何がどう違うのかを確認してください。
「硫黄酸化物等による大気汚染（公害問題）」についても書いてくれていますが、地球温暖化問題とは少し違う内容になります。
オゾン層破壊・地球温暖化・大気汚染については、どれも「空気・大気」の問題なので紛らわしいですね。一度きちんと整理してみてくださいね。
市と工場で公害防止協定を結んで硫黄酸化物の総量規制をして、大気汚染を防いでいるのですね。地球温暖化問題でも、世界各国が温室効果ガスの排出を規制するために 1997 年に「京都議定書」が採択されました。機会があれば、ぜひ「京都議定書」についても調べてみてください。
それから「自動車からの二酸化炭素の排出量が多い」と書いてくれていますが、本当にそうでしょうか？
今回は、インターネットもたくさん使って調べられたとのことですが、その情報は本当に正しいでしょうか？　もしかしたら 10 年前に作られたページかもしれません。情報を掲載した人が間違っているかもしれません。インターネットで得た情報が正しいかどうか、みなさんはどうやって確認していますか？
インターネットには色々な人が気軽に情報を載せることができる反面、間違った情報が広まることもあります。その情報を掲載しているのは誰なのか、いつのデータなのか、別の情報がないかなど、気を付けてみてください。上手に使うと、とっても強力で便利なツールなので、ぜひ使いこなしてくださいね。
また、インターネットに限らず、図やグラフを使ったり、内容を引用したり参考にした場合は、出典を必ず書きましょう。
「対策方法」に、温室効果ガスを減らすための具体的項目をとってもたくさん載せてくれています。細かいことまで調べてあり、素晴らしいですね。
しかし、例えば「カーテンを閉める」となぜ温室効果ガス削減につながるのか、これだけではわかりにくいですね。どういう状況で行えば効果があるのか、それはなぜなのかをきちんと書いてみましょう。
ついでに、もう少し見やすく書けると良いですね。
二人はとても調べる力があると思います。調べた結果、自分たちがなるほどと納得するだけでなく、周りの人たちにもその情報を発信してもらえたらなと思います。また、日本にはすでに環境問題・地球温暖化問題に取り組んでいる団体がたくさんあります。県や市などの自治体だけでなく、みなさんの地域で活動している団体を探したり、どんな活動をしているのか調べてみるのも面白いかもしれませんね。中学生のみなさんだからこそできることを探してみてください！

下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル：①そうだったのか！新聞　②地球温暖化の原因は何なのか？　③Eco　car について　④グリーン ECO 新聞　⑤エコ新聞

下長中エコクラブ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――

下長エコクラブの中学２年生４人で作ってくれたこの壁新聞は、テーマが絞られていて明確で、とても分かりやすいですね。
必要なことだけを端的に、わかりやすくまとめられています。文字も見やすく、色分けされていて、とても読みやすいですね。それぞれの Eco car の特徴がよくわかり、理解しやすいです。また、参考文献もきちんと書かれているところもいいですね。
個人的には、ハイブリットシステムの説明にシンプルな図が使われているところがとても良いなあと思います。ただ、色々と調べたみなさんは図の中の矢印がどんな役割を果たしているのか理解していると思いますが、この壁新聞だけを見ている人にとっては、もう少し説明があっても良かったかもしれませんね。それから、実際に Eco car を運転したことのある人の感想とかがあったら、もっと面白くなったかもしれませんね。みなさんの周りの大人の方で運転したことのある人がいたら、ぜひどんなところが普通車と違うのかを聞いてみてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・

Eco car の利点や問題点について、一目でわかるようにまとめてくれていますが、ここで終わってしまうのは少しもったいない気がします。Eco car のことについて知った上で、みなさんは、将来、車や運輸に関する分野でどんな風になったらいいいと思いますか？　みなさんの住んでいる地域や、日本が、どんな社会になったらいいと思いますか？　こんな社会になったらいいなあという気持ちは、新しい未来を作る原動力になります。そこに向かうために、Eco car はどんな役割を担ったらよいのか、どんな問題を解決していったらいいのかについて、ぜひ考えてみてください。今回、みなさんはどうして Eco car について調べたいと思ったのでしょうか？　そこに、面白いアイデアやヒントがあるかもしれませんね。それから、環境と Eco car については、こんな視点もあります。
・ハイブリットカーを作る時には、どんな資源を使って、どれぐらいのエネルギーが必要なのだろうか？
・電気自動車からは排ガスは出ないが、充電をする電気を作るときに必要な資源や、排出されるガスは？
・燃料電池車の燃料である水素はどこから調達するのか？
なかなか難しいと思いますが、色々なことを考える参考にしてみてくださいね。

下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル：①そうだったのか！新聞 ②地球温暖化の原因は何なのか？ ③Eco car について ④グリーン ECO 新聞 ⑤エコ新聞

下長中エコクラブ④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
このかべ新聞はグリーンカーテンをテーマに、下長中エコクラブの中学2年生3人が作ってくれました。読みやすく、すっきりまとめられたかべ新聞ですね。
夏場にグリーンカーテンがあれば部屋が涼しく感じて、冷房のための電力消費を抑えることで地球温暖化防止に繋がることに注目し、色々と調べてくれています。
グリーンカーテンの効果や、どんな植物が適しているかなど、グリーンカーテンの普及につながるように考えられた記事となっています。太陽光の遮断、蓄熱の防止、蒸散による気化熱など、科学的な視点で捉えているところが素敵ですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
まずは、自分たちで実際にグリーンカーテンを作ってみましょう！
夏の日差しをしっかりとさえぎってくれる立派なグリーンカーテンに育てるのは、なかなか難しいことです。植える植物にもよりますが、苗を植える時期がずれてしまうと上手に育たないこともあります。毎日の水やりはもちろん、適切に肥料をあげないと思ったように大きくならないことも。花や実がたくさんできると葉っぱが大きくならないので、ある程度摘んでしまうことも必要になります。せっかく大きくなってきたと思ったら、虫にやられてしまうことも…。
色々と苦労はありますが、上手に大きく育ってくると嬉しいものです。それに、例えばゴーヤの実が食べきれないぐらい毎日たくさんできるなど、楽しいこともたくさんあります。
実際に自分たちで育ててみることで、大変なこと・簡単にできること・楽しいことなどがよくわかります。グリーンカーテンを普及させたいというときには、そういった情報がとっても役に立つと思いますよ。
また、みなさんの地域でもうすでにグリーンカーテンを作っていらっしゃる方はおられませんか？ 個人の家庭や、会社や、何かの施設でされているところがあるかもしれません。そういったところに話を聞いたりすることも、普及のヒントになるかもしれませんね。
太陽光を遮断するには、すだれなどを吊るせば良いかもしれません。気化熱を利用して涼しくするには、打ち水をすれば良いかもしれません。でも、グリーンカーテンは手間はとてもかかりますが、育てる楽しみや、花や実を見たり食べたりする楽しみ、植物の緑を見てさわやかな気持ちになるなど、魅力がいっぱいあると思います。そんな魅力をたくさん見つけて、地域の方にも伝えていただければなあと思います。
それか、かべ新聞での表現方法ですが、絵や写真、図などを入れると、見て楽しくわかりやすくなると思います。次に作るときに、絵などもぜひ入れてみてくださいね。

下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル：①そうだったのか！新聞 ②地球温暖化の原因は何なのか？ ③Eco car について ④グリーン ECO 新聞 ⑤エコ新聞

下長中エコクラブ⑤の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
紙ごみをテーマにしたこのかべ新聞は、下長中エコクラブの中学1～2年生の4人が作ってくれたものです。とても読みやすいかべ新聞ですね。
日本の紙の使用量は、世界の中ではどのぐらいなのかといった大きな視点で問題をとらえてくれています。その一方で、紙パックを使った再生紙づくりという、日常みんなの身近にあるものを使った内容も取り上げてくれています。一つのテーマについて、色々な角度・視点で見て考えることができるのは、理解しやすもなりますし、とても素敵なことですね。
牛乳パックの再生紙の作り方は、とても分かりやすく書けていますね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・
日本が意外と紙の使用量が多くて驚いたことや、牛乳パックで再生紙を作ったときに大変だったことなど、みなさんの感想をもっと詳しく知りたいなと思いました。また、感想だけでなく、たくさんの紙ごみが出ている現状から、「将来はこういう風になったらいいな」といったことをぜひ考えてみてほしいと思います。
図やグラフなどを書くときは、何のデータなのかを書くと分かりやすくなるので良いですね（「日本の紙ごみ内訳」など）。また、出典を書いておきましょう。
それから、このかべ新聞に紙ごみの内訳を紹介してくれていますが、みなさんが調査してみるのも面白いと思います。例えば家庭から出る紙ごみを調査するのであれば、期間（２週間とか１か月とか）を決めて、家族の方に協力してもらって、紙ごみを集めてみましょう。どんな種類のものが実際に出ているのかを自分たちで分類すると、発見がありますよ。新聞、広告ちらし、レシート、包装紙、紙袋、段ボール、紙箱などなど、何が一番多いのかや、このなかで減らせるものはないかなど、結果を見ながらみなさんで話し合ってみてください。きっと、中学生ができる紙ごみ減らしの活動が見つかると思いますよ。

青森県十和田市　緑と太陽の保育園グリーン・キッズ
壁新聞のタイトル：①とわだしグリーン・キッズ　②グリーン・キッズ　ミニ　　　02-07, 08　全 2 枚　①が推薦

緑と太陽の保育園グリーン・キッズ①を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――
グリーン・キッズの　おおきいクラスの　こどもたちが　すてきな　かべしんぶんを　つくってくれました。
みなさんの　えは　とても　すてきですね。じも　とても　ていねいに　きれいに　かけていて、よみやすいですね。カラフルで　みていて　たのしい　かべしんぶんです。
エコまるくんと　まなんだ　エコのことについて　わかりやすく　しょうかいしてくれています。みんなが　まいにち　エコかつどうを　がんばっていることが　よく　わかります。
それから、ゴミのぶんべつを　がんばって　しているのですね。
もえるゴミと、プラスチックゴミは　おもさが　ちがうのですね。だいはっけんですね！
ゴミが　すこしでも　へると　いいですね。つかえるものは　たいせつに　つかって、ゴミが　たくさんに　ならないように　したいですね。
これからも、みんなができることを　がんばってくださいね。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
子どもたちの視点を大切に活動されている様子がとても伝わってきます。毎日の生活の中で、無理なく取り組んでいらっしゃること、そしてそれが物を大切にすることに繋がっていて、本当に素敵だなと思います。
保育園のお当番活動でゴミの量を子どもたちと一緒に調べるというのは、これはすごいですね！「ゴミ袋重いね」という、子どものちょっとした一言をキャッチされたこと、実際に調べることで子どもたちの関心や興味を引き出されているところなど、さすがです。保育園でゴミの量を調べたり、物を大切に毎日を過ごしたことは、子どもたちが大きくなっても心の中に残って、自然環境を大切にしてくれるんじゃないかな、と思います。
これからも素敵な活動をがんばってくださいね。

緑と太陽の保育園グリーン・キッズ
壁新聞のタイトル：①とわだしグリーン・キッズ　②グリーン・キッズ　ミニ

緑と太陽の保育園グリーン・キッズ②を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――
グリーン・キッズ　ミニは、ちいさいクラスの　こどもたちの　かつどうを　しょうかいして　くれています。かべしんぶんの　まわりは　あきばこを　つかって　かざりつけがしてあり、とっても　すてきですね。
エコまるくんが　あいにきてくれて　たのしかったですね！
それから、エコバッグ　ゲット　ゲーム　では、じぶんだけの　エコバッグを　もらったのですね。いろいろな　ものを　いれて　たいせつに　つかって　くださいね。
いつも　ものを　たいせつに　している　グリーン・キッズの　みなさん、これからも　エコかつどうを　がんばって　ください！

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
三歳児未満の子どもたちにエコ活動は難しいことも色々とあると思いますが、無理なく、楽しくされている様子が伝わってきます。廃材利用のリサイクルなど、子どもたちが楽しい、面白いと思えるものから、物を大切にする気持ちが自然と育っている様子など、素敵だなあと思います。エコバッグもただ配るだけではなく、エコバッグGETゲームにするなど、色々なところで工夫をすることで、子どもたちは、エコ活動って楽しいなと思えるのでしょうね。
グリーンカーテンは、この年はうまくいかなかったところもあったようですが、一生懸命にお世話しても上手くいかないこともあるということも、子どもたちにとっては貴重な経験だと思います。いい活動をされていると思います。
屋内・屋外の気温をきちんと測っていらっしゃるのがすごいですね。それ以外にも、細かなところまで心配りをされているからこそ、小さな子どもたちがのびのびと活動できるのでしょうね。
これからもぜひ、頑張ってください！

岩手県奥州市　みずさわエコキッズ
壁新聞のタイトル：「エコキッズ活動新聞」「思い出新聞」（推薦）「一年間の思い出」　　　　03-0(縦)2、03-03(推薦、横)、03-04(推薦、横)

みずさわエコキッズ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

おもちつきやスイカ割り、それぞれ１年間の活動の中で、楽しくて思い出深い活動として記憶に残ったのですね。イラストでその楽しさが伝わってきます。昔はそれぞれのお家でしていたことも、最近ではしなくなった家庭も増えてきていますので、貴重な体験ができました。
おもちは、いろいろなものに絡めてたべるのもおいしいですが、できたてのお餅は、何もつけずに食べてもとってもおいしいですよ。スイカ割りは、上手に割れたのでしょうか？　味はどうだったのかな？　もっと感じたことを書いてくれると、その時の楽しさがもっと読む人に伝わると思います。

とっておきのゴシドウ★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･
１年間の思い出の中で２つのことについて書いてみるという方法は良い方法ですが、その反面、だれと、どこで、どんなふうにおもちつきやスイカ割りをしたのか、参加しなかった人には分かりにくいです。
学校の先生やお父さん、お母さんがお手伝いしてくれたのでしょうか？　おもちつきなんかは、子どもたちだけではなかなかできない活動だとおもうのですが。みずさわエコキッズの活動を支える人たちのことも次はぜひ教えて下さいね。おもちに使ってもち米は、地元で取れたお米なのかな？　聞きたいことがたくさん残ります。

みずさわエコキッズ
壁新聞のタイトル：「エコキッズ活動新聞」「思い出新聞」（推薦）「一年間の思い出」

みずさわエコキッズ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

スイカ割りとカボチャの収穫の様子がよくわかる新聞ですね。18kg のジャンボかぼちゃは、持ってみて重たかったでしょうね。どんな風に使ったのかな。 みんなで食べたのかなあ。 おばけかぼちゃも、みんなどんな風につかったのかな。このカボチャは、みんなで種をまいてずっとそだててきたものなのかな。育てている場所は、学校なの、地域の農家さんの畑なの。 どんなところで、どんな風に育てて来たのかが分かる説明がほしかったな。

とっておきのゴシドウ★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････
平成 25 年度の振り返りの写真コーナーで、農作業だけでなく、森の作業、水生生物調査など、いろいろな体験を１年通じてしていることが分かります。子どもの頃から、自然とつながる体験がたくさんできているようなので、これからも活動を続けて、ぜひ記録をとっていきましょう。とりわけ、水生生物調査は、毎年調査をすることで、水辺の環境の変化が分かる貴重なデータになります。
来年もぜひやってみてね。そして、何年か立ったら、一度結果をまとめてみて、年によって生き物の違いがないか、水のきれいさに変わりがないかなどぜひ確かめて、新聞で知らせて下さい。

みずさわエコキッズ
壁新聞のタイトル:「エコキッズ活動新聞」「思い出新聞」(推薦)「一年間の思い出」

みずさわエコキッズ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

年間を通して、食べ物など農業について、林業、自然観察と、いろいろな体験活動ができていますね。
自分で体験してやってみる、これはとても大切なことで、また、それぞれの活動を手伝ってくれる大人が回りにたくさんいるから、できる体験です。とりわけ、木の伐採体験は、日頃の生活ではなかなか体験できないものです。伐採作業は難しかったり、大変だったりしただろうけど、木材がどのように作られるのか、自分で体験できたこと忘れないでね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
木の伐採で弓矢やスローラインでせんていする、という作業、写真がその作業の様子のようですが、具体的にどのように木を伐採したのでしょうか。新聞を読む全国のお友だちにもう少しくわしく教えてほしかったな。
日本では、林業にかかわる人の数が毎年減っています。森の体験で、楽しかったこと、初めて知ったこと、体験したみんなの声を書き込んで、森の作業に他の地域の子どもエコクラブメンバーも「やってみたい」と思うように記事にしてみてはどうでしょう。そして、森で働く仕事のことなんかももっと詳しく調べられたらよかったですね。

岩手県奥州市　古道下・要害こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:「北上川」川下り自然観察会　　03-01(代表に選出されるも予算なくフェス辞退残念)

古道下要害こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

「北上川」の川を下りながら、川辺の環境や水辺の生き物観察について様子が分かる新聞ですね。水深モニターがついた船での観察会ですから貴重な体験ができたようですね。感想のコラムからも、参加した子どもたちにとってたいへん印象に残る活動だったことが分かりますね。
ただ、岩手県の地理をあまり知らないお友達には、北上川がどのような川でどこを流れているのか、参加した子どもたちにとって身近な川なのか、今回の川下りは、北上川の上流、中流、下流のどの辺りを観察したのか、などが新聞に書いて、新聞を読む人たちには分からないのが残念です。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
川下りでは、自然観察だけでなく、「川にあっていいもの」と「川にあってダメなものもの」の学習もしたようですが、具体的にどんなものが紹介されていたのでしょうか。せっかくの体験学習の機会なので、もう少し詳しく報告してくれると読んでいる人も「なるほど」と思えて勉強になるんだけどなあ。
それから、いつもの活動の中で、川や水を守る活動をしているのでしょうか。この川下りの体験を終えて、エコクラブの子どもたちが毎日の生活でどんなことに気をつけようと思ったかも一緒に書いてもらえたらよかったのになあ、と感じました。

宮城県石巻市　イオン石巻 イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：2013 年度　石巻チアーズ活動　　04-01、02　全 2 枚

イオン石巻チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

一年間、「エネルギー」をテーマにして、みんなで楽しく活動したようですね。またかべ新聞も、記事やイラストをみんなで協力して作っている様子が伝わります。震災以降、エネルギーの問題は、色々な考え方があって難しい問題だと思います。全国フェスティバルの発表の時も、難しい質問がありましたが、皆さん落ち着いて答えていて、しっかり考えているんだなと感心しましたよ。
津波でなくなった海岸林を取り戻す活動は、長い時間がかかりそうですが、たくさんの人の協力で早く進むといいですね。皆さんのかべ新聞を読んで、苗木を育ててみようという人が増えると思いますよ。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
「勉強してわかったエネルギー」や「見てきたエネルギー」がいくつか書いてありますが、ぜひその内容を皆さん自身の言葉で書いて、壁新聞を読む人に伝えてほしいです。そのためには、それぞれの活動をした日に、「ふりかえり」をする時間を作って、活動の内容についてメモを詳しく書いておくといいですね。その時、新しく知ったことだけでなく、感じたこと、これから取り組もうと思ったことも書くといいと思います。そして、取り組もうと思ったことは、なるべく具体的に書きましょう。かべ新聞を作るときに、書きたいことがたくさんあって困るくらいに、役立つと思いますよ。

秋田県秋田市　あきた緑の少年団
壁新聞のタイトル：エネルギー　Energy　笑えねるぎー　　05-02

マックスバリュ東北秋田チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

見出しの配列や赤い矢印でものがたりの流れを示（しめ）しているのはとてもわかりやすい工夫と思いました。赤い矢印のステップごとに観察し、理解（りかい）し、行動するステップがうまく紹介（しょうかい）されていると思います。特に菜種（なたね）から油をしぼり、これを使って料理をしてみたり、BDF というトラクターの燃料（ねんりょう）を作って実際（じっさい）に乗ってみるというのは、大人にだって経験（けいけん）できない貴重（きちょう）な体験になりました。
かべ新聞としてもまとめ方がとてもうまくできています。文字のバランス、色使いも美しいと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
タイトルのつけ方やレイアウトにはすぐれたものがあると思います。
赤い矢印で考え方や行動の流れを示（しめ）しているのは、他にはみられないすばらしい工夫です。また、『笑エネルギー』ではエコクラブのセンパイがたくさんいることが書かれていますし、右下には地元秋田で岩手県のどんぐりプロジェクトを続けていることが書かれていますので、来年以降（いこう）の展開（てんかい）に期待しています。大切に育てて下さい。

秋田県秋田市　ひろおもてエコクラブ
壁新聞のタイトル：H. 25　メモリ～ズ！　05-01

ひろおもてエコクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
大きく三つの活動をまとめてくれました。字が小さかったけれど読んでみると、みんなの感動や発見を見つけることができました。動物園ではゾウのうんちをさわったり、ひよこやうさぎにさわったり、サルにエサをやった興奮（こうふん）が伝わってきます。こんな楽しい経験（けいけん）はぜひ友達やおうちの人にも話してみて下さい。とても面白いと思います。自分の感動を伝える勉強にもなりますよ。
ホタル観察では光っても熱くないことに気が付いたり、ゴミ集め活動ではゴミの量が減（へ）らないことに悲しい思いをしていました。それでもすばらしい活動だと思いますので、続けて下さい。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
動物園、ゴミ集め、ホタル観察と三つのテーマでまとめてくれましたが、テーマ別に感想文を色分けすることでわかりやすくすることができます。また、書かれている文字の大きさを原稿用紙などでそろえるともっと見やすくなると思いますよ。次回は工夫してみましょう。
写真は小さな写真をたくさん載（の）せるよりもポイントをしぼって代表的な写真を大きく載せると，内容を理解（りかい）しやすくなりますので工夫してみてください。

福島県郡山市　湖南エコクラブ
壁新聞のタイトル：湖南エコクラブ活動を通じて　07-01～03　全３枚

湖南エコクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
――――――――――――――――――
鬼沼の水がよごれている原因が、かれたヨシであったことが分かって良かったですね。スゴイ！すばらしい調査結果です！１週間ごとに調査した COD の変化を数字であらわしているので、かべ新聞を見たお友達にもよく分かると思います。
鬼沼の状況、実験などの写真をたくさん使っているので、手に取るようにようすがはっきりしているね。かべ新聞も全体的にすっきりまとまっていて、大変見やすく理解しやすいです。
ヨシには多くの動物の住みかやかくれ場としても利用されていて、たとえば、ヨシキリなどの野鳥がいて、どろの表面には巻き貝やカニなどが多数います。また、夏には必要なすだれやよしずはヨシから作られています。
世界遺産の白川郷・五箇山のがっしょうつくりのかやぶき屋根にはヨシを使い、大変役にたっていますよ。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
水がよごれている原因が分かったので、次は、かれたヨシのしょぶんについてどのような行動をとればよいかまわりの人たちと一緒に考えましょう。
また、かれる前どのようにヨシを利用する方法やしょぶんについても考えるとよいかもしれませんね。同時に、同じ問題を考えている他のちいきの人たちと意見こうかんすると今後の行動がはっきりするかもしれませんね。まだまだやることはたくさんありそうなので、次のかべ新聞が楽しみです。

湖南エコクラブ
壁新聞のタイトル：湖南エコクラブ活動を通じて

湖南エコクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

猪苗代湖（いなわしろこ）周辺や舟津川の水質調査を毎年おこなっていることはすばらしいことです。
カジカの発見はおどろきました。カジカは環境の変化にびんかんにはんのうするので、水質がどのようなっているかを調査するために役に立っていますね。
私の住んでいる神奈川県ではカジカを見たことがないので、今後も舟津川のカジカを大切に守って欲しいと思います。水質調査をおこなう時に、どんな生き物がいて、その生き物によって水質がきれいになったとか汚くなったかを調べたことはスゴイ！また猪苗代湖のいくつかの地点で COD の値を調べて、その結果をイラストにしたことによって、かべ新聞の読者は湖の水質をはっきりと理解することができるでしょう。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
毎年このような水質調査をぜひ続けてやって欲しいと思います。
同時に生き物調査をすることも大切なことだね。その時に何がどこで何匹いたかの記録をきちんととっていると、その記録によって環境の変化を知ることができて、次に何をしなければならないかというヒントになります。
このような水質調査は、毎日いろいろなところで水を使っている皆さんが安全に生活することができるかどうかにも深い関係が出て来ますね。

湖南エコクラブ
壁新聞のタイトル：湖南エコクラブ活動を通じて

湖南エコクラブ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

下水道フォーラムへの参加と湖南浄化センターの見学によって、水の大切を学ぶことが出来ましたね。さかなクンのこうえん会は大変おもしろく興味深く楽しめたようですね。
かべ新聞に学んだことを分かりやすくまとめたことは、まず皆さんがそれを理解したことによって、読者がそれをわかりやすく理解できるということにつながります。皆さんの生活で今回学んだことを実行することは難しくはないと思うので、一つ一つしっかりやれることをやり続けて欲しいと思います。特に水を汚さないことは皆さんの生活の中で非常に重要なことなので、家族や学校のお友達と一緒に話し合いながら実行しましょう。これからの皆さんのエコ活動を応援します。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
このような大切な水はどこから来るのでしょうか。それは森林から来ます。森林のはたらきには、おもにこう水を防いだり、水をきれいにしたり、水をためる機能があります。だから、森林は「緑のダム」と言われており、ためた水は地下水となり、川に流れて、浄水場、私たちの家、浄化センターなどに来ます。森林にはたくさんの木があり、その１本１本が健康に生きて行けるように、さらにそれらの機能をはっきできるように、私たちはいろいろな方法で森林の管理や手入れをしなければなりません。森林のはたらきも勉強するきかいがあればいいですね。

茨城県水戸市　逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの　　08-01～08-16（全16枚）　08－14が推薦

逆川こどもエコクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――
水戸市の中心、駅のすぐ西側にある千波湖の生きものを調べたレポートですね。私は、水戸の古い地図と今の地図を比べてみたことがあります。千波湖は姿を変えてきていますが、今でもたくさんの生きものがすんでいるのですね。8 月 18 日の調査だけでも、魚やエビが 6 種類も観察されました。
先生に教えてもらった生きものも、記しました。ウナギの記録もあるのですね。ウナギは、全国で個体数がとても減少している魚の一種です。ウナギの記録があるということは、千波湖には豊かな自然が残されているということの証明にもなりますね。
生きものの種類全体を見て、「千ばこには、きたない水でもすめる生きものが多い」と、まとめました。調べた結果からどんなことが分かるかを、自分なりに考えてまとめることは、とても大切なことです。とてもすばらしい新聞ができました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
生きものを記録するとき大切なことがあります。“いつ”、“どこで”、“だれが”、“どのように”というような内容を、記録することです。どのように採集したか、何匹採集されたかを記録することによって、千波湖の生きものの様子が、より一層はっきりしますね。千波湖の場所や、周囲の様子を説明すると、なお一層よい報告になりますよ！
まとめのところでは、きたない水でも生きる生きものがどれかを示すのもよいでしょう。茨城県には、霞ヶ浦などの湖沼もたくさんありますね。比べてみると、新しい発見があるかもしれません。外来魚（その地域にもともと住んでいなかった生きもの）の割合を調べるのもおもしろいですよ。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――
ビオトープをつくったときには、生きものがあまりいませんでした。しかし、９カ月後には、たくさんの生きものがみられるようになったことを新聞にまとめました。逆川の周りには、豊かな自然が広がっています。逆川に住む生きものが、ビオトープにもやってきてくれたのですね。時間がたつと、自然が回復するということを発見し、新聞にまとめてくれました。
新聞では、どこでどのような生きものが観察されたかを、ビオトープ周辺を描いた地図の上に記入しました。とても良い点です。種類の違いによって、生きものの数の違いがわかるような描き方をすると、新しい発見があるかもしれません。次回はまとめるときは、そのような工夫もしてみましょう。
“分かったこと”では、ビオトープと千ばこのアオコの量を比べて、どうすればよいか自分なりの意見を書きました。他の場所と比べることによって、ビオトープの自然の豊かさが分かった上に、これから自分で取り組む課題も見えてきましたね。これからも、いろんな場所の生きものを観察していってください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
ビオトープをつくる前と後の様子を写真で示しました。たくさんの植物や動物がビオトープにやってきた様子が、ひと目でわかりました。それから、テナガエビやワカサギが観察されたことを書いてくれました。それらが、どんな生きものであるかを、図鑑で調べたり、先生の話を聞いて調べたりしたこともメモすると、より深みのある報告になりますね。
また、ビオトープの意味を説明したり、ビオトープをどのように作ったかを書いたりすると、ビオトープという言葉の意味を知らない人も、興味を湧いて記事を読んでくれるでしょう。
観察された生きものの種類をよく見ると、カワニナもありますね。逆川の周辺では、ホタルの生息も確認され、皆で保全活動も行われています。ホタルの幼虫のえさとなるカワニナが発見されたことは、ホタルの生息する条件も整いつつあるということです。これから何年後かには、このビオトープにホタルの舞う姿が見られるかもしれませんね。このビオトープを、さらにたくさんの生きものが生息するような場所に、育てていってください。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
千波湖の周りには、たくさんの昆虫がいることが分かりました。皆で観察すると、いつもは見過ごしてしまうような小さな昆虫も観察できますね。新たな発見も、まとめに記してくれました。
調査の方法は、かんきょう学習会に参加して、先生といっしょに見つけた昆虫を記したのですね。昆虫は、世界で最も種類数が多い生きもので、その生きざまも多種多様です。今回は「見つけ採り」といって、目に見える昆虫を探す方法でしたが、昆虫の性格を利用した採集の方法がたくさんあります。次回は、別の方法で昆虫を探してみると、さらにちがう種類が見つかるはずですよ。チャレンジしてみてください。千波湖周辺で新しく見られるようになった虫も紹介してくれました。近年、茨城県内では、ツマグロヒョウモンやナガサキアゲハなど、もともとは南のほうに住んでいた昆虫が見かけられるようになってきました。小さな昆虫を観察することの積み重ねによって、大きな環境の変化が分かってきます。千波湖でどんな昆虫が見られるのか、これからも観察を続けてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
新聞で紹介してくれた以外にも、茨城県で普通にみられるようになった昆虫がたくさんいます。クロコノマチョウやムラサキツバメといったチョウ類やラミーカミキリといった甲虫類などです。なぜ、小さな昆虫を発見できたかというと、たくさんの昆虫研究者が県内にどんな昆虫がいるのかを調べていたので、侵入した昆虫が分かったのです。これまでに、どんな調査が行われたのかを調べることも大切ですね。クマゼミの鳴き声は、茨城県内でも各地で記録されるようになってきました。成虫を採集したという記録は少ないので、千波湖でこれから採集できるかどうかが楽しみです。
ウスバキトンボは、5 月から 6 月にかけて南方から遠路はるばる日本にやってきて、暖かくなるにつれ北上するトンボです。千波湖周辺では、8 月末によく観察できると思います。日本各地でみられ、旧盆の頃からよく見られるので、地域によっては「精霊トンボ」とか「盆トンボ」とも呼ばれています。昆虫は、種ごとに生き方が違うので、それを詳しく調べることも興味深いことですよ。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
千波湖学習会に参加して学んだことを新聞にまとめました。魚やエビのほかにも、植物プランクトンがたくさんいることが分かりましたね。捕った魚はたいせつに育てたいという感想も記してくれました。やさしく生きものに接する様子が感じられ、とても好感が持てました。
今回の調査で捕まえた魚やエビは、全部で 5 種類でしたね。それぞれの種について、詳しく紹介してくれたので、記事を読む人も興味がわきます。ところで、千波湖には、もっとたくさんの生きものが住んでいることを知っていますか。千波湖の生きものについては、多くの人が調べているので、それらも参考にすると、千波湖の自然の様子をより詳しく学ぶことができると思います。ぜひ、調べてみてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・
アオコについても調べました。アオコは植物プランクトンで、それが大量に発生して問題になっているのですね。アオコが大量に発生すると、ほかの生きものにとって害になってしまうということも紹介してくれました。生きものどうしは、“食べる”“食べられる”という関係で、とても複雑にからみあっています。生きものどうしのバランスが大切なのですね。
新聞記事では、どうすればアオコが減らせるか、様々な取り組みも調べ紹介してくれました。ここで一つ考えてほしいことがあります。大人たちが、いろいろなことを考えて実行していますが、自分でできることは何かありませんか？小さなことでよいのです。
「ごみを捨てない」「汚れた水をできるだけ少なくする」「水の無駄を少なくする」・・・、子供たちでもできることがたくさんあるはずです。さあ、まずは一つ、実行してみませんか！

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑤の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――
蛾をたいせつに飼育して、観察している様子がわかりました。生きものを大切にする気持ちが、新聞記事のいろいろな所から、うかがうことができました。生きものを飼育すると、発見もありますね。サナギでも、ぴくぴく動くことが分かったことなど、とても良い経験をしたと思います。
茨城県と沖縄県の石垣島の昆虫の比較をした点もよかったですね。両方の県で見られる種、沖縄だけ（南のほうに住む種）、または茨城だけ（北のほうに住む種）で見られる種はどれかを記すと、もっと蝶や蛾の生態がわかると思います。今度、調べてみてください。
石垣島のバンナ公園には、私も行ったことがあり、ちょっと懐かしくなりました。茨城県では見ることができないスジグロカバマダラやオオゴマダラを見ることができたのは、ラッキーでしたね！昆虫を通して、自然をもっともっと調べてみてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
自然を調べようと思って活動すると、時に残念な出来事に遭遇してしまうこともあります。不法投棄のゴミに出会ってしまったのも、その一つですね。この経験から、自然を勉強して、自然を守る活動をしたいと考えたことが、とても素晴らしいと思いました。「逆川を愛する会」には、動物や植物のことについて、とてもよく知った人がたくさんいます。先輩たちから、いろいろなことを教えてもらってください。
かべ新聞には、灯火採集をしたいと書かれていました。どんな種が採集されるか、記録に残してください。いつ、どこで、だれが採集したかというデータが大切になります。採集した昆虫は、きちんと標本にすることも大切です。標本の作り方は、県の博物館などに問い合わせてみましょう。それから、種類だけではなく、量（数のことです）も調べることが大切です。調べた結果は、ほかの地域と比べてみてください。調査地の自然の様子がみえてきますよ！

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑥の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――
ここ 10 年でしょうか、茨城県ではツマグロヒョウモンやナガサキアゲハといった南方系の種が普通にみられるようになってきました。そのことについて、水戸市の平均気温の変化のグラフとあわせて示し、温暖化によって昆虫の生息域が変化していることを、大変よくまとめてくれました。それぞれの種についても、よく調べてくれました。
読む順序が分かるように矢印を使ったり、写真の配置を考えたりしたところにも、工夫の跡がみられました。イラストもきれいに描けましたね。もともと水戸市に住んでいた在来種を掲載した点も、水戸市で新しくみられるようになった種を説明するのには、よい資料ですね。
地球温暖化の原因のひとつに、温室効果ガスの影響が指摘されています。しかし、その発生源は様々で、温暖化を防ぐには、いろいろな方策をとらなければなりません。大人に任せるだけではなく、子供でもできることを実践していきませんか。Think Globally、Act Locally（地球規模で考え、足元から行動せよ）！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
ナガサキアゲハやツマグロヒョウモンが、なぜ茨城県で急速に広がったかを、もう少し詳しく考えてみましょう。2 種のチョウが茨城県で生息するためには、いくつか条件が必要です。そのひとつは、幼虫の食べるエサが 1 年を通して手に入ることです。ナガサキアゲハの幼虫はミカンなどの柑橘類の葉を好んで食べます。県内では、庭先に柑橘類の木を植える家が増えてきました。柑橘類が冬でも枯れないようになり、エサがナガサキアゲハに供給されるようになったのが、分布拡大の原因の一つと考えられます。同様に、ツマグロヒョウモンはスミレ類を食します。冬の花壇にパンジー（スミレ科スミレ属）を植える家庭も増えてきました。その影響も大きいと思われます。ウスバキトンボは、5 月から 6 月にかけて南方から遠路はるばる日本にやってきて、暖かくなるにつれ北上するトンボです。繁殖力が強いので、夏の間はどんどん北に進むのですが、水戸市で冬を越すことはできません。温暖化が進むと、水戸市でも冬を越すウスバキトンボが見られるようになってしまうかもしれませんね。
セアカゴケグモは、上記の種の広がり方とちょっと違います。セアカゴケグモは、荷物に紛れ込んで遠くから運ばれてきたと考えられます。新しく見られるようになった生きものの視点から、自然を見ること大切です。もっともっと調べてみてください。おもしろいですよ。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑦の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――――
まず、千波湖にどんな生きものがいるのかを調べ、報告しました。メダカやウナギが記録されましたね！すごいです！！！最近、非常に数をへらし、環境省でも絶滅のおそれのある野生生物として、レッドデータブックという本にも掲載されている種ですね。その他にも、たくさんの魚やエビが記録されたことが、すぐわかるようにまとめてあります。写真を使って示したのがよかったですよ。色紙を使った飾りつけもきれいです。
たくさんの生きものがくらす千波湖ですが、安心はできません。アオコが大量に発生しているのですね。大量発生のアオコによる影響を紹介し、まとめとして千波湖の水質が改善するための方法を示しました。千波湖の水をきれいにするために、大人の人たちがいろいろな工夫をしていることが分かったと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
千波湖には、たくさんの生きものが生活していることが分かりました。数を減らしている種もいることが分かりました。でも、それだけではありませんね。千波湖にはもともと住んでいなかった魚も捕れるようになってしまったのです。その魚はアメリカナマズです。アメリカナマズは、もともとその場所に住んでいた在来の生きものを食べてしまうので、生態系に悪影響を与えるといわれています。
新聞を読む人は、魚のことをよく知らない人もいます。どんな種がとれたかを示す以外に、その種がどんな生きものなのかを、簡単に説明することも大切です。その時、「絶滅危惧種」とか「特定外来生物」というようなキーワードを使うことをお勧めします。ちょっと難しい言葉なので、その意味は今度調べてみてください。生きものを観察すると、自然を守りたいという考えに結びつきます。そのため、アオコを除去したいという思いが生じたのですね。生きものどうしは、複雑にからみあっています。“アオコなどの植物プランクトンが完全にいなくなってしまったら、それらを食べている動物プランクトンもいなくなってしまう”という、生きもののバランスを考えながら、新聞をまとめていってください。そして、自分でもできることを、皆に訴えるような記事も期待します。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑧の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――
サケの遡上とラバーダムのことが書かれており、大変参考になりました。千波湖にサケが遡上できる“わけ”がはっきりしました。
那珂川は大きな川で、全国的に有名です。その那珂川から千波湖までの地図が記されており、茨城県外の人にも、位置関係が分かりやすく書かれていました。那珂川と千波湖を結ぶ桜川に、ダムがあるのですね。農業用水や観光のためにダムをつくったという理由も知ることができました。
ダムをつくってしまうと、サケが遡上できません。どうするのかな？と記事を読んでいると、その答えが書いてありました。サケが遡上する可能性を高めるために、11～2 月はダムの高さを下げることをしているのですね。納得です。
サケの回遊（サケの旅）のことも、記されていました。サケが川と海を行き来していることを知らない人にも、わかりやすいイラストとしてまとめてあります。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
一つのかべ新聞記事としては、内容がコンパクトにまとめら見やすいものとなっています。とても、よい内容と感心しました。さらにレベルアップするためには、次のようなことを参考にするとよいでしょう。
　タイトルをもっと大きくするとよいと思います。かべ新聞を読んでもらうためには、大きな文字で宣伝することが大切ですね。
　今回の記事では、ラバーダムの説明がありませんでしたね。一般の人が知らないような言葉は、解説しておくとよいでしょう。
　写真や文字のレイアウトを工夫するとよいでしょう。一番紹介したい写真は大きくしたりするのも工夫の一つですね。それぞれの記事の枠を、きれいに並べるのもよいと思いますよ。
サケの遡上のことを調べて、自然保護にも関心を示していますね。これからも、いろんなことを調べてみてください。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑨の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――
ホタルの生息地の様子がわかる壁新聞ができあがりましたね。ホタルの天敵であるアメリカザリガニも出現していますね。どのような対策をするのかなと思ってみてみると、みんなでザリガニ釣りをしてつかまえたのですね。ホタルの生息できるような環境づくりを、皆で行っている様子も知ることができました。
ホタルは、ヘイケボタルとゲンジボタルの 2 種が生息するのですね。豊かな自然に囲まれた地区であることが想像できました。
調査方法は、学習会や観察会に参加して体験したことをまとめたのですね。いつ行ったかを書いておくと、ホタルを観察したいと思ってかべ新聞を読んだ人にも役に立ちますね。それから、もう少し詳しい場所を紹介してあげると、新聞の読者は感謝しますよ。
作文を書くとき、「いつ、どこで、だれが、なにを、どうのように、どうした」という内容を書くと、わかりやすい内容になりますよね。かべ新聞も同じです。どのような内容が抜けていたか、チェックしてみましょう。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
ホタルの生息地では、ホトケドジョウが記録されたことが書いてありました。ホトケドジョウはきれいな水にしか生息しないので、ホタルも水がきれいな所しか生息しないとまとめています。とても、よい発見ですね。ホタルが生息する沼や、その周辺には、その他にどんな生きものが生息しているかを、もっともっと調べてみてください。そうすれば、ホタルを守るにはどうしたらよいかが、自然に身についてくると思います。
ホタルの幼虫が食べるエサのことも調べました。昆虫を保護するとき、成虫ばかりではなく幼虫のことも考えなくてはいけません。いいところに気がつきましたね。ホタルの場合は、その他に大切な条件があります。ホタルの成虫は、淡い光をはなちながら交尾相手をさがすため、ホタルの生息地は暗くなくてはいけません。街灯をつけたらどうなるでしょう。ホタルはいなくなってしまいますね。ホタルには“暗さ”も必要だということを知っておいてください。
水戸市の逆川では、「逆川を愛する会」のメンバーが、いろいろな活動をしています。これからも、積極的な活動に参加して、貴重な体験をつんでください。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑩の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――
近年、急速に分布域を北に広げている 2 種のチョウ類についてまとめました。内容は簡潔で、かべ新聞を読んだ人にも、わかりやすく書かれていると感じました。2 種のチョウの特徴も、写真を使って分かりやすく書かれています。千波湖での記録が記されているのが、特にいいですね。
ナガサキアゲハやツマグロヒョウモンの北上の原因については、気候変動によって気温が上昇したので、南のほうの昆虫が見られるようになったと考える人がたくさんいます。間違いではないのですがよく調べてみると、気温上昇によって以前は育たなかった花や木が東日本で栽培されるようになって、その結果としてナガサキアゲハやツマグロヒョウモンなどの虫たちが成長する環境ができたと考えられています。そのことを、きちんととまとめることができたのは、本当に感心しました。多くの人に読んでもらいたい記事だと思います。よく勉強（調査）しました！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
記事の内容が焦点化されており、南方系種が北上する原因の一つを、ズバリ示したかべ新聞です。学校の理科のレポートのような書き方をしていますので、さらにレベルアップするために、次のようなことを参考にするとよいでしょう。
　　タイトルの工夫：「ナガサキアゲハ北上の秘密　～地球温暖化の影響が虫たちの世界にも～」というように、具体的な名前を入れたり、副題を設けたりすると、関心が高まります。
　　見出し（項目）の工夫：かべ新聞なので、「目的」と書いて説明をはじめるのではなく、リード文のようなものを設けるのも工夫のひとつでしょう。今回のまとめの箇所はとても重要な所です。目立つ工夫もあってよかったですね。
　　意見の工夫：自分なりの意見を述べることも大切です。このかべ新聞では「自分たちができることを進める」と決意が示されています。いいですね。次は、具体的になにをするか？考えてみてください。
大人の人も知らないような内容を、分かりやすくまとめた新聞です。さらにいろいろなことを調査し、一層、自然保護に関心をもってください。期待しています。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑪の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――
千波湖について調べたことを、項目ごとにまとめました。魚を観察したこと、アオコの実験をしたこと、鳥を観察したこと、植物について話を聞いたこと、そして市役所で聞き取り調査を行ったことを説明してくれました。いろいろなことを学んだことが、よく分かりました。
中でも、アオコ対策についての聞き取り調査は、よく書かれていました。アオコが大量に発生する原因と、それに向けての対策を知ることができました。今度は、自分たちで何ができるか、もう少し具体的な方法を考えてみるとよいでしょう。
アオコの自由研究の様子も分かりました。でも、この実験で何が分かったのかが書いてありませんでした。おもしろそうな実験なので、今度は観察した様子や、実験結果、その結果ら分かることなどを書くと、かべ新聞を見る人も興味がわきます。よろしくお願いします。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
“まとめ”を見ると、貴重な体験をたくさんしたので、ほかの人にも環境について学んでほしいという気持ちが出てきたことが分かります。大切なことですね。自分でできること、「リサイクルからはじめよう」という決意もうかがえました。
新聞記事の大切な要素は、「いつ、どこで、だれが、なにを、どのように、どうした」という内容です。一つ一つの記事に、その要素が入っているかどうかを確認すると、読者にも分かりやすい新聞記事になりますね。それから、「読む人に何をつたえたいのか」という視点も大切です。自分が最も説明したい内容について、どうしたら読者に伝わるかを考えてみましょう。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑫の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
逆川の豊かな自然が一目でわかる新聞になっています。その中で、きれいな水を守るために、いろいろな取り組みを行っている様子もわかりました。
ゲンジボタルやヘイケボタルが舞う川の様子が分かりました。オニヤンマも見られますね。魚ではホトケドジョウや、サケの遡上も見られるようですね。サワガニが見られるということは、水がきれいであると推測できます。自然豊かな逆川ですが、この他にも、採集できなかったもっと多くの種が存在することも、知っておきましょう。
自然豊かな逆川を、どのように保全していくかについての紹介もありました。ごみ拾いや草刈りなども、みんなで行っているのですね。一人ではできなくても、人が集まるできることがあります。これからも、一致団結して、逆川緑地を守っていきましょう！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
“まとめ”に、きれいな水を守る方法を記しました。まずは、自分でできることを行いたいという強い気持ちが感じられました。
かべ新聞では、逆川エコクラブの活動に参加して観察できた生きものを紹介してくれました。上にも述べましたが、逆川には、今回紹介されていない生きものもたくさん生息します。これまでの記録を調べて紹介することも大切だと思います。水戸市の逆川では、「逆川を愛する会」の皆さんが、いろいろな活動をしています。取材するのもいいですね。
最近になって見られるようになった昆虫として、ナガサキアゲハとツマグロヒョウモンを紹介してくれました。このチョウが、どんな生き方をしているのかを簡単に記すと、環境との関連がよく見えてきます。それぞれの記事で、読む人がおもしろいと思うようなことを加えてあげると、一層、内容が濃い新聞になりますね。
逆川緑地をもっともっと調べ、そして、みんなで豊かな自然を残していってください。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑬の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
水戸駅の近くにある千波湖とそれに続く桜川、ビオトープの生きものについて紹介しました。3 か所ごとに、どんな魚が生息しているか、一目でわかるような工夫がありました。その表を見ると、千波湖の周りには、ウナギやメダカも生息していることが分かり、びっくりしました。それは、ウナギやメダカが絶滅の恐れのある種として注目されているからです。かべ新聞では、絶滅の恐れのある種も示して説明してあげると、読者の関心が高まったと思います。
かべ新聞では、桜川と千波湖の外来生物（外来魚）について示してくれました。この内容も、今、注目されている内容なので、よかったと思います。外来生物は、もともといた種を食べてしまったりするので、問題になっている種ですね。そのような説明を書いておくと、かべ新聞の内容がより深まりました。
かべ新聞では、千波湖のアオコのことについても触れました。生態系ピラミッドを示したり、アオコを減らすのにはどうしたらよいかを説明したりしたこと、よいアイディアでした。アオコの正体として、ミカズキモやイカダモなどの植物プランクトンを紹介しましたが、その他にも原因となるプランクトンがいます。今度、詳しく調べてみてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
かべ新聞は、千波湖周辺に住む魚のことと、アオコのことについて解説しました。魚たちが住みやすい環境をつくるには、アオコを少なくすることだという思いが伝わるかべ新聞となりました。魚とアオコとの関係が、もう少し詳しく解説されると、読者の興味が高まったと思います。つまり、生態系ピラミッドの中の、植物プランクトンと動物プランクトン、そして魚の 3 グループが、増えたり減ったりするとどうなるかについて、シュミレーションするなどした結果を解説すると、より内容を深めることができるしょう。
それからもうひとつ、このかべ新聞は全国の人が見るものです。千波湖や桜川がどこにあるのかを説明すると、水戸についてあまり知らない人でも、興味・関心が高まりますね。
千波湖の魚たちを守るにはどうしたらよいか、これからも考えていってください。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑭の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
水戸市の桜川、千波湖、逆川、そしてビオトープの生きものについて、大変詳しく、かつ項目ごとに色分けして縁どられ、とてもきれいに、そしてわかりやすくかべ新聞をまとめることができました。
きちんと日付を書いた記事も見られました。"いつ""どこで""だれが"ということを記すことは、自然調査の第一歩です。大切なことが何気なく記されており、感心しました。
新聞記事や本で調べた内容も、分かりやすいように紹介しました。新聞記事などは、他の人たちが調査地の生きものをどのようにみているのかを知る上で、とても良い方法です。自分の考えをまとめる際も、役に立ちますね。
生きものは同じ場所にいないことや、植物が水をきれいにする働きがあること分かったようですね。素晴らしいです。水戸市の自然をどうしたらよいのか、どうしていきたいのか、考えるためのいいきっかけになりました。次のかべ新聞にも期待したい作品となりました。

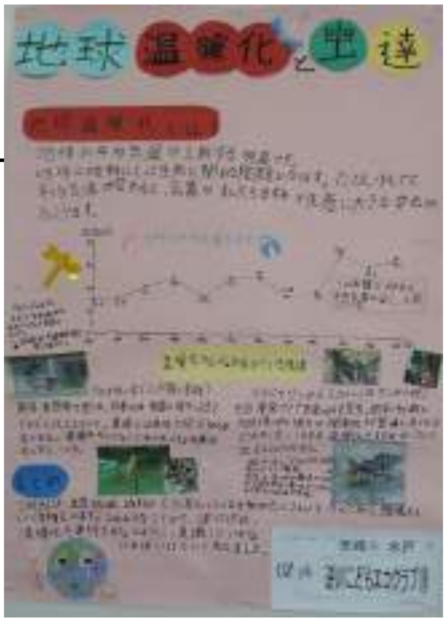
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
とてもよくまとまっているかべ新聞です。今回の"ゴシドウ"ではハードルを上げて、少し専門的な話題に触れてみましょう。
千波湖周辺に住む生きもののことについて調べました。場所によって生きものの種が違ったり、採集される量が違ったりしたことが分かりました。実はそのことが、まさしく"生物多様性"の意味なのです。今回の新聞記事では、4 か所の生きものの記事が掲載されました。その 4 か所を比べるとどうなるか考えてみたでしょうか？記録された種について"表"にするのもよいでしょう。また、種数を比べる"グラフ"を描くのもいいですね。4 か所を比べると、共通する点や異なる点が浮き彫りになります。それがなぜかを考えることが、環境保全を考える第一歩になるはずです。
これまで逆さ川を愛する会エコクラブの人たちと活動した経験は、血となり肉となるでしょう。これからも、いろいろなことにチャレンジしてください。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの

逆川こどもエコクラブ⑮の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――
とっても分かりやすいかべ新聞ができました。ビオトープをつくるビフォアとアフターが時系列に並べてあり、写真とあわせてみると、その変化が一目瞭然です。
皆での作業風県、直後の様子、そして現在の様子、自然回復の様子がよく分かりました。ビオトープの中の生きものの変化も、表にまとめました。個体数も示したことにより、種数と量の 2 つを比較することができました。ビオトープを造成したことにより、たくさんの生きものが戻ってきたことが分かります。
説明書きの量も適当です。文字があまり多いと、読む気になれませんし、少ないと、内容が分かりません。このかべ新聞は、文章がコンパクトにまとまっていたので、とても読みやすいものになりました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
コンパクトでよくまとまったレポートです。かなり、レベルの高い作品ができたので、“ゴシドウ”も、レベルを上げてコメントしますね。“かべ新聞”という視点から、いくつか見方を考えてみたいと思います。
新聞記事の見出しを見ると、それを見ただけでも内容の予測がつくように工夫してあります。「生物調査結果」だと、調査をしたことは分かるのですが、その結果の予想がつきません。たとえば、「ビオトープ作りで千波湖に自然よみがえる！」のようなタイトルにするのも、よいかもしれませんね。
理科のレポートでは、目的、ねらい、調査方法、結果、わかったことなどの項目立てをして報告します。しかし、新聞記事はそれにとらわれる必要はないと思います。“なぜビオトープ作りがはじまったのか”とか“ビオトープ作りをしての感想、意見、意気込み”といった内容があってもよいのではないでしょうか？！かべ新聞を見た読者は、記者（制作者）のそんな声が聴きたくなるのではないでしょうか。ビオトープ作りとかべ新聞作りを通して、心に強く残ったことがありますよね。その声、きいてみたいです。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：千ばこの生きもの



逆川こどもエコクラブ⑯の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――
地球温暖化に興味をもって、昆虫の暮らしの変化と温暖化とを関連付けて報告してくれました。
最初に温暖化の説明があります。特に水戸市の平均気温の変化のグラフを示していること、いい考えですね。110 年の間に2℃も上昇しているとは驚きです。
温暖化の影響を受けた昆虫として、２種を選び解説してくれました。写真で姿を示し、生態も詳しく記してくれたので、とても分かりやすい記事になりました。この、２種の生態については、後ほど詳しく記しましょう。
まとめの内容もいいですね。自分の言いたいことが、読者にはっきり伝わります。温暖化の影響を減らすために、自分では何ができるか考えてみることも大切ですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
生きものは子孫を残すためにいろいろな工夫をしています。分布域を広めようとすることは、生きものが持つ生得的な特徴といえるでしょう。今回紹介してくれたウスバキトンボとヨコヅナサシガメの生き様を、詳しく見てみましょう。
ウスバキトンボは、5 月から 6 月にかけて南方から遠路はるばる日本にやってきて、暖かくなるにつれ北上するトンボです。繁殖力が強いので、夏の間はどんどん北に進むのですが、水戸市で冬を越すことはできません。ウスバキトンボの見られるようになる時期については、確かな論文がまだ見当たりません。もう少し具体的なデータを集めたいと思います。これからの調査に期待しましょう。心配しているように、温暖化が進むと水戸市でも冬を越すウスバキトンボが見られるようになってしまうかもしれませんね。ヨコヅナサシガメは、昭和初期に外国からの貨物に紛れて九州に入ってきたと考えられています。その後次第に生息域を拡大し、1990 年代になって関東地方でも見かけられるようになりました。そもそも日本にいなかった昆虫なので、ヨコヅナサシガメ自身の力で分布域が広がっているのか、温暖化の影響で分布域が広がっているのかを判断するのは、とても難しいですね。ヨコヅナサシガメの生態的な調査をもっと行ってみませんか？
生きものの暮らし方は多様で、一面からではとらえきれないところがたくさんあります。これからも、いろいろな調査を続けてください。

茨城県水戸市　かみおおのアースレンジャー
壁新聞のタイトル：ハクセキレイは子育て上手～上大野小で子育てをしたハクセキレイ～

かみおおのアースレンジャー①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
ハクセキレイの子育てを、クラス全員でやさしく見守り、そしてくわしく観察していった様子が手に取るように分かりました。今まで知らなかったことが、たくさん発見できましたね。
上大野小学校の職員室前のプランターに、鳥が巣をつくるなんてびっくりしました。おそらく、「小学校の周辺は緑がたくさんある自然豊かな学校なんだなあ」と想像しました。
みんなで毎日観察したことで、いろいろなことが分かりました。毎日１個ずつ卵を産むけど、ふ化日をそろえるために卵を温め始める時期は同じであることに気付くなど、やさしくセキレイを見守らないと発見できないことですね。
この観察を通して、生きものをやさしく見守る心が育ったと感じました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・
親鳥がヒナ鳥を育てる様子からも、いろいろなことを学びました。ヒナ鳥に危険がせまったときや、えさの与え方など行動は、まるで人間の親が子を育てるような姿で、子供たちも心を奪われたのではないでしょうか。
1 枚のかべ新聞に、ハクセキレイの子育ての様子がまとめられていますが、この新聞を作成するまでには、子供たちのたくさんの記録や感想があったことと思います。それらをすべて見られないのは残念ですが、「親鳥が『ジジ』と鳴くと、ひなが『チチ』と鳴きます」というような感想がかけるようになった 3 年生の姿に心打たれました。
これからも、いろいろな生きものを観察していってほしいものです。

かみおおのアースレンジャー
壁新聞のタイトル：ハクセキレイは子育て上手～上大野小で子育てをしたハクセキレイ～

かみおおのアースレンジャー②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
5 年生の理科では、植物の成長に何が必要かを、いろいろな実験を通して学びますね。それを応用してイネでも実験してみました。5 年生らしい課題の見つけ方に感心しました。
まず初めの実験では、土の種類を変えてみました。5 種類の土では、田んぼの土が一番育ったのですね。やはり、農家の人たちが毎年イネを育てている土は、イネにとってもいい土なのですね。理科のインゲンマメの実験で、肥料の有無と成長の仕方の実験は行ったでしょうか？赤玉土に、チッソ、リン酸、カリなどの肥料を与えるとどのようになるか、一度行ってみたい実験ですね。
土の量や、場所の違いによるイネの育ち方についても実験してみました。思った通りの結果が得られなかったようですが、それが実験ですね。イネを毎日観察したことで、植物をやさしく見守る心が育ったはずです。いい経験ができましたね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・
実験を行うとき、条件を統一することはとても大切なことです。今回の実験では、ちょっと工夫したほうが良い点がありますので、下記に示しました。
土の量を変えてイネを育てる実験では、一見、土の量だけに目を向けがちですが、ほかの条件も考慮する必要がありそうです。まず、土の中の養分（肥料）の点も考慮に入れるべきでしょう。“土あり”と“土なし”では養分の量が違ってしまいます。また、水耕栽培で野菜を育てると、地植え以上に収穫が上がるというような報告もあります。土の有無で成長の仕方をはかるのは難しいですね。場所によるイネの育ち方の違いも調べました。これも不確定な要素がありそうです。次回の実験では、工夫してみましょう。
作物を育て、何らかの収穫ができたときは、とてもうれしいですね。その気持ちを大切にしてあげているなと感じた新聞記事でした。

かみおおのアースレンジャー
壁新聞のタイトル：ハクセキレイは子育て上手～上大野小で子育てをしたハクセキレイ～

かみおおのアースレンジャー③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーー

空を飛ぶ植物の種に興味をもって、その仕組みを探りました。おもしろい点に、興味を持ちましたね。自分では動くことができない植物が分布を広げようとするとき、種を遠くまでどうやって運ぶかがカギとなります。飛ぶ工夫について、いくつも条件を変えて実験したこと、素晴らしいと思いました。
実験を行うと、いろいろな条件の違いがあるので、必ず誤差が生じてしまいます。それを補うために、それぞれ 10 回も実験を行って、その平均を求めました。実験の意味をよく理解していると感心しました。一つの実験を行うと、新たな疑問が生じたのでしょう。さらに次の実験を行うなど繰り返されたのも、かべ新聞を見てよく分かりました。
実験結果では、(1)～(4)で 1 枚羽の種の実験をしていましたが、(5)と(6)は複数羽の実験になりました。実験にも物語があると思います。前の実験と、次の実験がどのように関連になっているのか考えて、実験のシナリオをつくってみましょう。どうして実験を行うのか、その理由を記すことも大切ですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・
生きものは、自分の子孫を残すために、さまざまな工夫をしています。自分の生育範囲を広げるために、風に乗って遠くまで運ばれるような種をつくる植物の戦略も、その一つですね。今回は、長い時間飛んでいることができるのは、どのような形であるかを調べました。遠くに種を飛ばすためには、時間のほかに、距離も重要になってきますね。次の課題も見えてきました。チャレンジしてみてください。
それから、実際に飛ぶ種子につい調べたことも、記してくれました。実験を行う前に、植物のことをよく知らねばなりませんね。とても大切なことといえるでしょう。いろいろな植物（形）の種を飛ばしてみた結果から、モデルをつくって試すようなことも、実験できそうですね。
ところで、実験計画の(1)～(6)の記載と、実験結果の(1)～(6)の内容にズレがありますね。まとめるときには、注意してください。

茨城県龍ケ崎市　龍ケ崎市環境楽習講座
壁新聞のタイトル：エネルギー・水を学ぶ　　08-20　08-21（全２枚）

龍ヶ崎市環境楽習講座①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーー

太陽光でポップコーンを作ったこと、とてもおもしろかったです。ガスなどの火を使わなくても、太陽の光だけでポップコーンができてしまうとは驚きです。太陽の光のパワーを知る体験ができましたね。
風車や自転車を利用して発電したこと、貴重な経験ですね。電気をつくることは、ものすごく大変であることを体験できたことで、節電も積極的に行うようになるでしょう。
エコクッキングしたことで、食べ物を無駄なく使うことなど勉強しましたね。世界的な食糧事情を考えると、食料を無駄なく使うことはとても大切なことです。このことが、意識せずに体験できたと思います。よかったですね。
今回、かべ新聞で紹介してくれた活動は、別々に見える取り組みですが、実は「エネルギーを上手に使おう」という観点からは、共通する内容になります。今回参加した子供たちは、知らず知らずのうちに、エコな生活ができる人に成長していくでしょう！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
いろいろな体験をした感想を、１枚のかべ新聞にまとめてくれました。タイトルも大きくて見やすくなっています。みんなが、楽しく環境について学んだことが、紙面を通して感じ取ることができました。とても、いい体験を夏休みにしましたね。
こんないい経験をした子供たちの皆さんは、どこの人たち（クラブ）なのか、とても知りたくなりました。それから、私も参加してみたいと思いました。いつ行ったイベントなのか、次の開催日はいつなのかについても紹介してくれると、読者にとってとてもうれしい記事になります。今度紹介するときは、そんな点にも注意してまとめてください。

龍ケ崎市環境楽習講座
壁新聞のタイトル：エネルギー・水を学ぶ

龍ヶ崎市環境楽習講座②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――
エコクッキングでは、水を無駄に使わない工夫、食べ物を無駄なく利用する工夫、ガスを効率的に使う工夫などについて学びました。食料やエネルギーを無駄なく使おうとする取り組みですね。私たちでもできるとても小さな活動ですが、食料やエネルギーについて世界的な視点で考えた時も、とても大切なことです。これからも、これらの活動を実践していってください。
霞ヶ浦で船に乗り、水質を調査しました。また霞ケ浦環境科学センターでは、顕微鏡でプランクトンを観察しました。学校では体験できない、乗り物や機材を使って調査できたことは、とても貴重な体験です。感想を見ても、よい経験をしたことが感じ取れました。
紹介した二つの活動とも、「水を大切にする」という観点から、関連がありますね。水を上手に使うことによって、水が流れ込む湖や海もきれいになっていくことを、気づいてほしいものです。そして、自然を守る活動を自ら進んで行えるような人になってください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
二つの体験をした感想を、1 枚のかべ新聞にまとめてくれました。二つの内容が色分けして見やすくなっています。みんなが、楽しく環境について学んだことを、紙面を通して感じ取ることができました。
プランクトンの観察では、高価な顕微鏡を使って観察している様子が写真でわかりました。どんなプランクトンが見られたのでしょうか？とても興味あることですね。ところで、霞ヶ浦のプランクトを調べてみると、種類や発生量が季節によって変わってきます。調査は、いつ行われたのか、どんなプランクトンがたくさん見られたのかなどについて、知りたくなりました。
新聞記事の制作では、大切な要素“5W1H”（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）を、意識しながらつくることが、とても大切です。読者にとっても分かりやすい記事になりますので、“5W1H”をもう一度見直してみましょう。

茨城県大子町　八溝自然たんけんたい
壁新聞のタイトル：サシバのすめる里山作り　　08-22

八溝自然たんけんたい さんへ
師範から一言！――――――――――――――
八溝自然たんけんたいのみなさん、サシバのすめる里山を作りたい、ということで里山だよりをたくさん貼ってくれたかべ新聞を送ってくれてありがとう。里山だよりを読むと、里山のたんぼに住んでいる生き物調べや、久慈川や押川などの水質や生き物を調べ、野に咲く花も調べました、鳥の声にも耳をすましました、生き物調べなどとともに水の勉強をしたりとたくさんの活動をしたことが良く分かります。
たんぼってお米を作るために大事だなーとは、町のこども達も分かっているようですが、八溝自然たんけんたいのかべ新聞を見ると、もっともっといろいろと大事な役割があることが分かります。いろいろな生き物が生きている、その生き物をエサにして生きている生き物もいます。生き物って虫や魚だけではありません。草や花など植物も生き物ですね。田舎の風景を作っている。いいなー。田舎の生活も支えてもいるんだね。
でも活動してみて、田んぼや川に住む生き物が少なくなってる、サシバやいろんな野鳥も少なくなっていることが分かったのですね。農薬や除草剤でエサになる虫や虫を育てる草などがなくなってしまったからかな？都会でも最近はスズメが少なくなったと言われています。生き物が生きるためには、エサと住むところ、外敵が少ない、いないことが大事です。
都会の家はスズメが住めるような穴がなくなってしまった。外敵のカラスがとても増えたことなどが原因のようです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・
新潟などではトキが増えるように農薬を使わない田んぼで、エサとなるドジョウが生きられるように頑張っている農家の人もいるようですね。サシバが住　める里山とは、住む場所の森をなくさないようにして、エサがたくさんいるようにすることが大切ですね？みんながができることは何だろうか？
農　薬や除草剤にたよらない環境にやさしい農家の人を増やすこと、というのはよく分かります。でも農家の人も生活があります。お米もたくさん作らなくてはいけ　ないでしょう。農薬や除草剤でお米がたくさん取れるようにしたいのではありませんか？みなさんはサシバの住める里山にしたい。虫や魚がたくさんいて、草や　花もたくさんあった方がいいなーと思っています。農家の人も幸せになり、みんなも幸せになるには、どうしたら良いのだろうか？ぜひ、みんなで話し合って、　考えて、そして行動することにつなげてほしいと思います。同じことをまた言いますが、みなさんができることは何なのだろうか？むずかしい問題を投げかけてごめんなさい。
一　つ気になったことがあります。このかべ新聞を読んでいて、だれがこのかべ新聞を作ったのかな？と疑問に思いました。どうも目線がこどもの目線ではなく大人　の目線になっています。文章も大人の語句の使い方であり、こども達にこうなって欲しい、こうして欲しい、などが目立ちます。たとえば、「わたしたちの活動　のねらい」に子ども達の大切な豊かな人間性を育てる、というのがありますが、わたしたちとは、誰ですか？サポーターのみなさんですか？こども達ですか？こども達が書いた絵はあります。でも書いた字はあるのかな？こどもの叫びが聞こえてこないのですが・・・
やはりこどもたちが作ったかべ新聞にしたいですね。上手でなくても良いです。こどもの発想を十分活かして、こどもの字で文章で作ったかべ新聞を期待しています。

栃木県宇都宮市　チームミネ
壁新聞のタイトル：みんなの活動　09-01

チームミネ さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
みんなの活動をそれぞれ一枚ずつの写真で報告してくれました。とっても分かりやすくていいですねー！６月（？）に田植えをして、秋に稲刈りをして、収穫祭ではみんなが育てたお米を食べたのかな？苗を植えて、そのままで稲刈りができるのではなく、途中で雑草取りをしたり、水を増やしたり、へらしたりといろいろとあったのだろうと思います。ふだん、何気なく食べているご飯のありがたみが十分に分かっただろうと思います。田植えや稲刈り、モミすりなどみんなは機械を使わずに手でやったのですね。昔の人は大変だったと実感しましたね。
フクロウの巣箱を架けましたね。フクロウの巣箱って意外と大きいんだね。木の高い所に架けたのですね。高い所に上るのはこわくなかったですか？写真で見るとニコニコ顔だから平気でしたね。フクロウは巣箱に入りましたか？入るかどうかはとっても楽しみですね。
夏休みに昆虫採集をしたんだね。どんな昆虫が捕れたのかな？ちょうちょ、バッタ、トンボなど、あとはどんな昆虫だろうか？クモ？！・・・クモは昆虫じゃないね。網を持っていないこどもは昆虫発見係りかな？捕った昆虫は、あとで逃がしてやったのかな？昆虫を捕るコツも教えてもらいましたか？
ホタルも見ましたね。ホタルを見る時の注意も教えてもらいましたね。かいちゅう電灯を点けてナイトハイクをしたのでしょうが、ホタルのいるところでは、かいちゅう電灯は消しましたか？写真をとるのはむずかしいね。三脚で固定してとらないとぶれてしまいますね。でも、なんとなく幻想的な写真になっていて、いいなーと思います。
生き物調査でイモリを見つけ、絶滅危惧種のタガメも見つけましたね。外来種のアメリカザリガニもいましたか？絶滅危惧種のメダカはどうでしたか？
ごみ拾いは、寒くて雨が降って大変でしたね。写真を見るときれいな道でごみなど無いようなところですが、どうでしたか？ごみが無いのは、すばらしいことですが、ごみ拾いをしてしゅうかくが無いのも残念な気もしますね。複雑な気持ちになりますね。ふくろの中には、何か入っているようなので、空き缶やレジ袋、たばこのすいがらなどは拾ったのかな。寒い中、良くがんばりましたね。ごくろうさんです。町がきれいになってよかったね！
「食育とエコ」5 学年の親子 160 名が参加して、にぎやかにやりましたね。講師の先生から「いただきます」「ごちそうさま」の意味や“いのちを感じてみましょう”のお話に感動して、おはしの持ち方も教えてもらったのですね。持ち方というより、礼節を知ることにより、おはしの持ち方や使い方の意味も分かりましたね。すばらしいことです。

チームミネ
壁新聞のタイトル：みんなの活動

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
峰小学校の全児童がクラブのメンバーです。でもたくさんの児童がどうやってエコ活動をするのかな？と思っていたら、各学年やクラス、委員会、放課後子ども教室などに分かれて活動をしているということでした。なるほど、全員が同じ活動をする場合とそれぞれがちがった活動をすることで、みんながエコ活動をするうまいやり方ですね。そのようにやると全員がどこかのグループに入って、エコ活動ができるんですね！もしかしたら、複数のグループに入って、たくさんエコ活動をした人もいるのでしょう。みんなの活動になっていますね。
「みんなの活動」というタイトルも、その通りだとよく分かりました。
チームミネのすばらしいやり方の二つ目は、親子でいっしょにやる活動を大事にしていることです。親子でふだんからお話合いをしているでしょうが、いっしょにエコ活動やると、またちがったふんいきの中でお父さん、お母さんのすばらしさ、こどものすばらしさをおたがいに発見できる機会になります。またエコ活動というのは、学校の中だけの活動ではなく、ふだんの生活の中の活動であることを再発見できる機会でもありますね。
チームミネのすばらしいやり方の三つ目は、全体活動でやっているクラス対抗のベルマーク収集です。クラス対抗で競争するとみんなが力を合わせて、がんばりますね。ベルマークはたくさん集まったでしょう。委員会活動でやっているアルミ缶回収やペットボトルキャップ回収、牛乳パック回収も競争するやり方を取り入れる、あるいは毎週の回収量を棒グラフにしてみんなの努力が目に見えるようにすると、また次の週もがんばろうとなって、たくさん集まるかと思います。こんな工夫もしていますか？
アンケートに書いてある保護者の方、児童のみなさんの感想にも、この食育とエコの活動がとっても良い活動であったことがよく分かります。ふだん、当たり前に食べていたことをふり返り、いのちの大切さに気付き、感謝する気持ちを思い出し、親子で話し合うきっかけにもなったようです。こういう機会がないと改めて食を考えることはないと思います。時々はこういう活動もやった方が良いですね。
160 人分のおやきと玄米おにぎりの準備もとても大変だったろうなと思います。冷蔵庫の残り物は、どうやって集めたのかな？はしとお皿はみんなが持ってきたのかな？マイはしは私も持ち歩いていますが、マイ皿は持っていないな。
玄米は放課後子ども教室で収穫したお米を使ったのですか？
峰小学校の周りは、自然がいっぱい！うらやましい環境ですね？いつまでも美しい自然を残すようにみんなで自然を大事にして、自然を楽しんでください。

栃木県宇都宮市　東峰エコキッズ
壁新聞のタイトル：東峰エコキッズ新聞　　　　　09-02(幼児)

東峰エコキッズ さんへ
師範から一言！

メンバーが未就学児ということで、新聞を直接作れないのは残念ですが、すばらしいエコ体験をしていると感じました。新聞の見出しや構成はサポーターの方が中心に書いているのだとは思いますが、さすが見やすく分かりやすくなっています。「何を食べるのかな？」や「こんなにいいことがあるんだね！」等、記事を読んでみたくなる小見出しだと思います。写真や絵も効果的に使われています。バケツを使ってウグイを放流している子供たちの様子は、ほんとにうれしそうです。自分で放流したウグイには愛着がわくでしょうし、ウグイとともにウグイの住む川も大切にしながら育ってくれるでしょう。
初めてミミズを触るのはドキドキするものですよね。「やわらかい」「つめたい」といった感想を読んでいると、子供がミミズをつかんでいる様子が目に浮かびます。ミミズと触れ合うだけでも貴重な経験です。ミミズコンポストは、キャベツとバナナを試したのはおもしろいです。キャベツは1週間でも無理、バナナの果肉は数日といった日数が書いてあるので、エサを食べる早さのイメージがわいていいと思います。そのまま入れておくと、いずれなくなるのでしょうか？

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・

ウグイの放流は「稚魚のうちに増水で流されたり、食べられたりするので‥」とありますが、ウグイの住む環境を人間がこわしてしまったということでしょうか？ウグイが暮らしやすい環境を取り戻すのが本質ですので、稚魚が隠れる場所を作ってあげることも考えられます。その川の本来あるべき生態系に近づくといいですね。
コンポストに使われるミミズはシマミミズという種類が多いようで、食べる量は数で大体決まってきます。どんなミミズでもいいわけではないのですよね。何匹くらい入れたのか機会があれば教えてください。また、ミミズは雌雄同体のため 2 匹いればどんどん増えると思いますので、ぜひコンポストを長く続けてみてください。
アイヌの「人間も自然の一部」という考えは大切ですね。「アイヌ語がおもしろい、おどりが楽しい、着物がきれい」といった感想の他に、子供たちにモノを大切にする心が伝わってくれたことを期待します。

栃木県宇都宮市　環境未来館こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：1年間の活動　　　　　09-03　09-04　09-05（全３枚）

うつのみや自然探検隊①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

「里山だいすき！！」「大切な緑を守ろう！」「緑はみんなの財産！」といったみんなの声や伝えたいことが書いてあるのは、とてもはいいですね。
スライドショーを見ているかのように写真と色紙が配置されていて、おもしろい構成です。
自然の中で見つけた昆虫や植物のことは、名前だけでなく「どんなことに気付いたか」が大切です。写真の横に名前とともに気付いたことが書いてあるので、しっかりと観察したことが分かります。
オニヤンマは飛んでいましたか？それとも止まっていましたか？飛んでいるときは同じところを行ったり来たりパトロールします。止まっているときは、水平には止まらずハネを広げて枝などにぶらさがります。止まり方は、オニヤンマと同じように黄と黒色のしましまのコオニヤンマなど他のトンボと見分けるポイントなので、今度みつけたらじっくりと観察してみてください。
ハガキはタラヨウの葉っぱかな？傷をつけると黒くなって文字のようになるよね。はがき「葉書」の語源といわれ、郵便局の木ともいわれているよ。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★

せっかくはってある写真に説明がないものがあるので、“何をしたのかなあ？”と想像することも楽しいですが、それぞれの写真に説明があると親切だと思いますよ。“手に何をもっているのかな？”“みんなで何をしているのかな？”など新聞を見ていると気になります。逆に考えると、新聞をみている人に何か伝えたいことがある“写真”をえらんで新聞にのせるというのがポイントです。
山グリはイガの中の実を取り出してみましたか？あのイガを取るのは大変ですよね。クリが好きな動物たち（イノシシやサルなど）は、手ぶくろやクツを使わないで中の実を取り出すのですから、好きなものを食べるための知恵をもっているのでしょう。イガの中からどんなふうに実を取り出すかも、色々と試してみると楽しそうです。

環境未来館こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：１年間の活動

うつのみや自然探検隊②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――
宇都宮の自然をみんなでさがして、楽しかった様子が写真から伝わってきます。新聞の中心近くにある木の枝からは力強さを感じます。そして、新聞にドングリがはってあるアイデアはおもしろいですね！
色紙を切って作った葉っぱは、ギザギザがあるものとないものがあって、葉っぱのみゃくまでついていて、よく観察しているなあと感心しました。葉っぱのギザギザがあるか、どのくらいの大きさのギザギザか、どこにギザギザがついているか、というのが葉っぱを見分けるポイントなので今度じっくり観察してみて下さい。
自然さがしをした日付が「5 月 3 日」と「9 月 21 日」と書いてあるので、春と秋の話題であることが分かっていいですね。
5 月のれんげ祭では、アスパラガス、レンゲ、ハコベ、ノビルを食べたのかな？「メッチャおいしかった」という表現から、ノビルが美味しかった感動が分かります。春の身近な草だけに、食べ方におすすめがあったらぜひ教えてください。
9 月の戸祭山緑地では、カマキリとセミのぬけがらを見つけたのですね。9 月だとカマキリも成虫になっているから、りっぱなカマだけではなく、ハネも付いていたでしょう。緑色のハネの下にはうすくて透明なハネがしまってあって、飛ぶときに見えます。その透明なハネがむらさきに色づいていたらオオカマキリです。今度つかまえたら観察してみてね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
新聞なので全体的にもっと文章があった方が分かりやすくなると思います。「自然をさがしました！！」というタイトルなので、どんな自然が見つかったか説明をつけて、新聞を読む人にぜひ教えてください。
また、たくさんの自然探検隊のメンバーが探したと思うので、みんなの感想が知りたいなあ。
写真だと分からないけど、りっぱな松の木はどれくらいの大きさだったのかな？人といっしょに写真をとると大きさが分かって、新聞をみている人にも分かりやすくなります。例えば小さいものであれば、手のひらにのせてとると大きさが分かりますよね。
セミのぬけがらは、何ゼミのぬけがらだったのかな？あまり気にしたことはないかもしれないけど、ぬけがらを見ればしゅるいやオス・メスも分かります。今後見つけたら何ゼミか、しらべることにチャレンジしてみたらどうですか？

環境未来館こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：１年間の活動

うつのみや自然探検隊③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――
色紙でつくった葉っぱが新聞のわくからはみ出したようにはってあるのが、かべ新聞としてはおもしろいです。葉っぱが立体的にうかび上がってみえます。
「これからやりたいかつどう」が書いてあるのは、とってもいいですね！体験をしてみたら、“どう感じて”、“これからどうしたいか”が大切です。いらなくなったものを捨てないで他のモノを作ってみたり、木の実などの自然のモノを使ってクラフトをしたり、色々と工夫をして楽しんでください。タンポポとレンゲ草は 30 分でたくさん見つかったのですね！タンポポやレンゲ草は身近なところにたくさんありそうなので、これから見つけたときに、おいしかったことを思い出して楽しい気持ちになりそうですね。おすすめの食べ方があったらぜひ教えてください。
キノコは木についていたり、足元にあったりするので、いっぱい見つけたのはよく観察しながら森の中を歩いたからだと思います。キノコはかれていく植物を分解して、土にもどすという大切な役割をもっています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
大きく 4 つの記事をていねいに書いてくれたのは良かったと思いますが、色紙の色と文字の色がにているので、文字が見えにくくなってしまっています。せっかくなので、目立つ色の文字にした方がいいですね。「これからやりたいかつどう」に書いてある文章は、色紙の色と文字の色がちがうので、はっきり見えますよ。
森の中に入って気持ちよく感じるというのは、共感する人が多いと思います。私もその一人です。そのように感じたことを新聞に書いてくれて、うれしく思います。なぜそう感じるのかというのは、今も科学的に研究がされていますが、体にいいことがいろいろ分かってきているのですよ。
橋の上からザリガニが見えるなんて、きれいな水なのですね。そのザリガニはおそらくアメリカザリガニです。昔は日本にいなかった生き物で、外国から人間がつれてきました。今ではいたる所で見かけるので、宇都宮のきれいな川にもいると知って、その川に住む他の生き物たちのこれからが少し心配です。

栃木県足利市　毛野南小エコクラブ
壁新聞のタイトル：学校から広がる環　　　　09-06

毛野南小エコクラブ　さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
見たとおり壁新聞（かべしんぶん）らしい編集（へんしゅう）ですっきりした印象を受けました。5つのテーマが色違（いろちが）いの台紙に載（の）せられてわかりやすい編集の工夫がみられます。油から石けんを作ったり、紙くずからハガキを作るのは，わたしも体験したことがありますが、わりばしで鉛筆（えんぴつ）を作るのは初めてで、試してみたくなりました。また、長い文章の感想を読んでみると子どもたちにとっては緑のカーテンも樹木（じゅもく）の二酸化炭素吸収量（にさんかたんそきゅうしゅうりょう）も初めての体験だったようで、面白さや感動を感想の中から読むことができました。それぞれの記事を取り囲むように写真が配置されているのもわかりやすい心づかいと感じました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
標題は活字体の文字を使ってきれいに仕上げているのが美しさの特徴（とくちょう）になっていますが、5 枚（まい）のテーマごとの小見出しは長いものも短いものもあり、伝える工夫がもう一つほしかったですね。色文字を使ったり、イラストなども使うと小見出しが引き立つと思いますので、この次には工夫をしてみて下さい。
それから各自が書いた感想文で使った筆記用具を統一（とういつ）して原稿（げんこう）用紙を使って書くと文字にムラがなくなりきれいになると思います。ぜひ試してみて下さい。
それと中央にある白い紙は、みんなで仕上げたハガキですよね、これにも説明があると見る人も気がつくとおもいますよ。

栃木県栃木市　イオンとちぎチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：エネルギーを学ぼう　　　　09-07

イオンとちぎチアーズクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
テーマが新聞の真ん中に大きく書いてあり、目をひきます。そして、それぞれの記事の小見出し「グリーンカーテンづくり」や「エコテックとちぎでチアーズクラブ活動発表」など、分かりやすく記事が構成されていますね。写真と記事（文字）のバランスもいいと思います。グリーンカーテンが日に日に育っていく様子を見せるために、5/25、8/11、9/16の写真を使ったのは、とても分かりやすいです。このように時間がたって変わっていくものを記事にするのには、たとえば 4 か月間写真をとり続けないといけないので大変ですが、その分いい記事になっていますよ。
エコプロダクツ展に来たのですね！参加者も多かったと思いますが、とてもたくさんの会社やグループの人たちがエコに関する活動をしているのが分かったと思います。一人ですることは小さくても、みんなで活動をしたことを合わせると大きな効果につながります。
植樹活動は、おうふく 400 段も階段を上り下りして行ったのは大変だったでしょうが、いい経験をしましたね。日本の山はこうばいが急なので、木を植えるときだけでなく、切った木を山から降ろしてくるのが大変です。木は植えたら育てて、“使う”ことが大切です。木を使うために切ったら、また新しく植樹をくり返すことで森を育てることにつながります。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・★・・
グリーンカーテンを知らない人のために、何のためにグリーンカーテンをするのかといった説明があると、やってみようと思う人が増えるかもしれません。ソーラークッキングもそれがどんなものなのか説明があるといいと思います。例えば、“火を使わずに、太陽の熱エネルギーを集めて調理ができる！”といった説明です。
エコテックとちぎで、活動発表をしたのですね。発表はきんちょうしたようですが、「伝える」というのはとても重要なことです。この新聞もみんなの活動を伝えるいい手段になっています。発表は、直接会って伝えることができるし、場合によってはコミュニケーションができることもあるので、これからも機会があればどんどん挑戦して下さい。
たくさんの活動内容や学んだこと、体験したことはよく分かりましたので、もっと新聞をよくするために、“どう思ったか”、“これからどうしたいか”なども書いてくれることを今度は楽しみにしています。

栃木県佐野市　イオン佐野新都市チアーズクラブ
壁新聞のタイトル：イオン佐野新都市チアーズクラブ　　09-08

イオン佐野新都市チアーズクラブ　さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――
イオンチアーズクラブのみんな、カラフルなかべ新聞をありがとうございます。31 人で相談しながら、完成させたのですね。いろいろなことに取り組んでいますね。ことしのテーマは「エネルギー」だそうですが、それ以外にも毎年続けていることはことしも実行したのでしょう。
東京ガスエネルギー館を見学して「エネルギー」について勉強しましたね。遠くまで出かけました。行き帰りの乗り物の中では、みんなでどんな話をしますか？
記事の「いろいろな発電方法」では、火力発電のほかに「太陽光発電」や「風力発電」という自然エネルギーを使って発電することを学びました。東日本だいしんさいのあと、原子力発電所が止まってしまっています。電力が足りなくならないか、心配です。
全エネルギー使用の約 23%が電力ですが、そのほかのエネルギーもふくめて「省エネルギー」が大切なことがわかりましたね。
CO2 ともつながりがあること、地球温暖化の原因であること、緑の植物や土が CO2 を減らしてくれることもわかったようですから、エネルギーの使い方をみんなで考えてみるとよいでしょう。
みかもクリーンセンター見学では、ゴミの処理を勉強したのでしょう。ペットボトルやかんはリサイクルされること、ゴミが資源になることが分かったと思います。センターではゴミを仕分けしていたと思います。ゴミは決められた通りに分けて出すことがたいせつです。家庭から出るゴミは１週間に 20kgでしたね。自分の家から出しているゴミはそれより多いですか、少ないですか？みんなで比べてみるのも良いですよ。“ゴミをいっぱいとってきました”とは、どういうことでしょう？ちょっとわかりませんでした。
足尾の植樹には、何人くらい参加しましたか。傾斜（けいしゃ）のきついところもあるようですので、大変だったでしょう。ことしは、どんな木をうえましたか。取り付けた植樹板にはどんないいメッセージを書いたのでしょうか。例を書いてくれると良かったと思います。
皆さんの植えた木々が大きく育ち、山が緑におおわれる日が来るのが楽しみです。“まだまだみどりがたりません”と書かれていますが、あと何年くらいかかりますか。“山をみどりでいっぱいにしたいです”の気持ちをいつまでも忘れずに、植樹をつづけてください。足尾銅山のように、一度自然がこわされてしまうと、元に戻すことは容易ではありません。
廃油を使ったエコキャンドルつくりは、毎年やっているのですか？ずいぶん用意するものが多くてたいへんですね。作り方も手が込んでいます。できあがったキャンドルは、何に使うのですか？停電のときや、そのほかにも使い方がありそうですね。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
いろいろなテーマの活動を簡潔に良くまとめておられます。小学生の学年の差（修得した授業や漢字の使い方など）をどのように克服されたのですか。こどもの字で、ことばで書かれたことはたいへん良かったと思います。
色紙や字の色の組み合わせもきれいで、読みやすく仕上げられていると思います。ただ、エコキャンドルの部分は、文字がすこし読みにくいですね。
　みんなへのコメントには、わたしがもうちょっと知りたいな、と感じたことも書いておきました。活動に参加していないこどもたちも、この新聞を読むと思います。読者の立場で、出来あがった新聞を読みなおしてみてください。例えば、「自転車でエネルギーをつくりました」とは、何を伝えようとしたのでしょうか。みかもクリーンセンターに自転車で電気を起こすような設備があるのでしょうか？

栃木県鹿沼市 「創造の森」子供会
壁新聞のタイトル：「元祖とちまるくん」をつくって遊ぼう　　09-09

「創造の森」子供会　さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――
まさに、ゆるきゃら「とちまるくん」にそっくりのにんぎょう？がたくさんできましたね。参加したみんなは、ていがく年からこうがく年までいるようですが、みんな楽しそうな笑顔で写っているのが印象的です。今泉小4年と書いてありますが、かべ新聞をつくってくれたのが４年生ということと思いました。
写真の①から⑩までが、ふつうの「とちまるくん」の作り方ですね？写真が鮮明でわかりやすくできています。とくに「②じゅんび」で工作にひつようなものは、すぐわかりますね。
みんなのクラブは、「とちまるくんづくり」のほかにも、鹿沼市エコライフフェア、ECOテック＆ライフフェア、西鹿沼環境フェアなど行事のたびに参加者に作って楽しんでもらっているようですが、みなさんが作り方を教えるのですか？その時の参加した人たちは、同じくらいのこどもでしたか。とちまるくんにどんな感じをもったでしょうか？栃木県のゆるきゃらなので、興味を持ったのではありませんか。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
自然観察会でひろった「とちのみ」でゆるきゃらを作ることをだれが考えついたのかな？
落ちているとちのみは、大きさがまちまちでしょうから、大きいみをそろえるのはたいへんだったでしょう。殻がついていないといけないし、どこの森でひろいましたか？ほかのみの中に、にているものはなかったかな。
どの作業がいちばんむつかしかったですか？殻を外すことかな、それとも顔を作るところですか。みんながくふうしたところ、みんなで相談したところ、できあがった時にどんな感じだったか、などなどみんなの声をかべ新聞に書いてくれたら、もっとよかったと思います。
「元祖とちまるくん」をつくって、どのような遊びをしたのですか？そのことも書いてほしかったな。
写真に写っているみんなのふくそうは、寒い季節と暑い季節が混じっているように見えました。何回か繰り返しておこなったのですか？

サポーターの方へ★☆
ゆるきゃらそっくりの「元祖とちまるくん」は、なかなか愛嬌があってかわいらしいですね。壁新聞からは、参加した皆さんが楽しんだ様子が見てとれます。目や口として貼り付けるシールは良いアイディアですね。屋外での「とちのみ」集め、屋内でのとちまるくんづくり、バランスのとれたよい活動と思います。
上にも書きましたが、植樹に関連する活動も行っておいでですので、よちらも取り上げて頂くこともできたと思います。
植樹がもたらす効果についても、こどもたちが学ぶ機会になると思います。ところで、とちの木について何を学びましたでしょうか？いろいろな知識はネットからでも割合簡単に手に入れる時代になりました。「創造の森」子供会では、こどもが体験し、自分で気づき、感動するという場を与えていただいていると思います。会社のCSR活動のひとつとして「創造の森」で木を植え、育てる活動をされていることと推測しております。その機会を利用して子供たちにも自然に接する行事をされている事でしょう。
壁新聞のアイディアは4年生が考え出したものでしょうか。きれいでなくても、また、少しくらい間違っても、こどもたちに自分の体験などを表現する経験をさせることは大事なことです。
この壁新聞では、とちまるくんを作ることは良く分かりました。作った後、どのように遊んだのか、栃のみに関連した何かを学んだのか、こどもたちはどのように感じたのか、あれば書いていただけると良いでしょう。来年は、ぜひそういう新聞を見てみたいです。

栃木県真岡市　真岡児童館やさしクラブ
壁新聞のタイトル：絆未来への一歩　　　　09-10（推薦）

やさしクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
やさしクラブのみなさんが作ってくれたかべ新聞「絆未来への一歩」、細かい字でいっぱい書いてありました。すみからすみまでじっくりと読みました。感動して涙が出そうになりました。みなさんの気持ちがいっぱいつまった内容が書いてありました。とってもすばらしい新聞です。絆未来への一歩というタイトルがぴったりの新聞です。
全国フェスティバル 2013 に県の代表で参加した経験が書いてありました。フェスティバルで出会ったほかの地域のメンバーとの交流やそれぞれの地域の特性に合わせた活動が行われていることに感動して、くわしく書いてくれました。その中でも沖縄での台風の意味が、私たちが考えている以上のことがあると気が付いたことはとても立派です。私たちは、自分の身の回りの経験から常識あるいは当たり前と考えていることが、ほかの人にとっては常識ではなく、当たり前でもないとみなさんは気が付きました。このことだけでもフェスティバルに参加した意義があると思います。予選は通らなかったけれど、交流タイムをふくめて他の県のメンバーと知り合いになれたことが、大きなしゅうかくだと思います。
2020 年の東京オリンピックの時には、みなさんは中学生になっている人、高校生になっている人もいますか？みんなの活動によって世界の人に復興した日本を見せてあげたいですね！みんなの活動が生きた姿になるでしょう。
東京オリンピックは東京周辺で実施されるのではなく、日本で行われる、日本人がみんな参加して開かれる行事です。みなさんがやっている活動もオリンピックに参加していることです。ほこりを持って、そして東北大震災を忘れずにオリンピックを成功させましょう。
「日本のいいところ」アンケート結果は、私が思った 1 位は、困った人を見るとみんなで助けあう絆があることだと、みなさんの活動を見ていると、そう思います。みなさんは、日本のいいところを実践している日本人そのものです。
みなさんが自分の手で書いたかべ新聞は素朴ですが、心がこもったすばらしい新聞です。この次の新聞にはどんなすばらしい活動をみんなの手で書いてくれるか楽しみにしています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
絆　未来への一歩、それを深めてくれたのは 2011 年 3 月の東北大震災でした。みなさんが活動しているプロジェクトDや児童館ショップでの活動は、すべて東北大震災の復興につながる絆であり、未来への一歩です。みなさんが活動している顔はうれしそうにたのしそうに、そしていっしょうけんめいにやっています。写真を見て、活動内容を読んでいると涙が出てきそうになりました。この中で大事なことが書いてありました。“東北大震災を忘れないようにしよう”
そのために自分たちができることは何なのだろうか？ドングリを育てて東北の森を復興させたい、身近な不用品でみんなが使える新商品を作り、売り、そのお金で復興の資金にあてたい、自分たちができることを背伸びせずに地道に進めているみなさんの活動に敬意を表したいと思います。

栃木県大田原市　森の小人
壁新聞のタイトル：楽しく学んで大きな花が咲きました　　　　09-11（推薦）

森の小人 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
かべ新聞『守ります、私たちの環境』を興味深く読みました。新聞には、みんなの9つの活動の記事が書かれています。これらの他にももっとたくさんの活動をしているようですね。
内容もバラエティのある活動のようすが分かるように書かれていて、みんなの感じたことやこれからやりたいこともわかる、とてもよい新聞です。それぞれの活動にうまくマッチしたかわいいイラストが切り張りされていて、みんなの気持ちが読む人に伝わってきますね。色の取り合わせもきれいですね。
全体を通して良いサポーターが、活動の柱となる考え方を持っているからだろうと思います。
足尾の植樹には、もう9回も参加してるんですね。みんなの先輩から続けているのはすばらしいことです。森には環境を良くするいろいろな働きがあります。足尾の山が緑に覆われる日がくることを願っています。みんなのかべ新聞は、まとめに書いている「家庭でも、学校でも自然にやさしい活動をしていきたい」という気持ちがよく表れていると思いました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
水生生物調べは、名前の分からない生き物をどうやって調べるのですか？名前が分かった時はうれしいでしょう？気持ちの悪い生物の名前は何でしたか。川の水をきれいにするにはどうすればいいかな？みんなで話し合ってみませんか。
アジア学院では自然農法をまなんだと書いてありますが、普通の農法との違いは分かりましたか？どんな野菜を作っていましたか？また、外国の人にも会えたのですね。ユニセフ募金を手伝ってわかったと思うけど、世界中にはいろいろな状況のもとで暮らしている人がいます。食糧が足らない国もあるので、日本の農業が役に立つとうれしいですね。若草園ではお年寄りと話ができましたね。フリマでもいろいろな人と出会えたでしょう。こういう人とのふれあいは勉強になるし、みんなが成長すると思います。でも、くさいブタと、くさくないブタがいたのはなぜだろう？
たくさんの活動の中で何が一番楽しかったですか？自分の経験から、やっぱり「キャンプ」だったと推測します。家を離れて泊まるのは、何か新鮮な感じでしょ。自分で食事をつくり、みんなでたべる、最高です！後片付けも新しい体験がありましたか？苦労したこと、工夫したこと、なども書いてもらうと良かった。
サポーターの方へ★☆
みなさんの活動は、偏らず、こどもたちが興味を持ち、しかも成長に役立つような活動を取り入れています。ガールスカウトのプログラムの中に「環境のテーマ」を巧みに織り込んでいますね。「なぜなのかきちんとわかったうえで・・」という事は重要です。
新聞も子供たちが参画して作ったことが見えますが、その割合を増やし、サポーターが文字通りサポートに徹することができれば、もっと良いと思います。

栃木県大田原市　ガールズ
壁新聞のタイトル：守ります私たちの環境　　　　09-12

ガールズ　さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――
中身がいっぱいつまったきれいなかべ新聞をありがとう。3 月の黒羽光厳寺見学にはじまり、10 月のアジア学院収穫祭まで、半年のあいだにずいぶんいろんな活動をしましたね。みんなは小学 1 年生から 3 年生のガールスカウトなのですから、よくがんばりました。また、大きく成長したことでしょう。活動を書いたはっぱが増えて、上へ延びて行き、立派な花が咲きました。花植えや植樹、キャンプ、川の観察、老人ホーム訪問など幅広い活動でびっくりしました。
3 月の光厳寺見学では、炭焼きや井戸、牛を見ることができました。まだ桜の花や新緑には早かったかもしれないけれど、昔の生活を感じたのではないかな？
4 月の図書館の花だんに花を植えたのはすばらしいですね。いつもみんなが使うところなので感謝の気持ちを表す良い活動です。写真が小さいのでどんな花を植えたのかちょっとわかりませんでした。みんなの活動に対しても、さっそく周りから反応があり良かったですね。足尾の植樹は、みんなにはきつい仕事でしょう。でも、昔はげ山だったところがだんだん緑になってゆくのはうれしいですね。栃木県のひとがとても熱心に事活動を続けていることは素晴らしいことです。
6 月のフリマもおもしろかったでしょう。家でいらなくなったものを、必要な人が安く買って利用する、これは物をだいじに使うことと同じです。また、木を使ったものづくりもいっしょにやったのはとてもよかったです。
7 月と 10 月に 2 度もキャンプをしたのですね。みんなで手分けして食事を作ったり、竹細工をしたり、楽しみましたね。なるべくゴミを出さない工夫をしたり、皿の洗い方も正しくするなど、感心しました。きらいだった野菜も食べられるようになったかな？
8 月の与一まつりのとんぼのエコクラフトつくりやしょうがい者との交流、いいですねぇ。水生生物教室は那珂川でしょうか、毎年続けていると水質の変化が分かりますね。まさに、継続は力なり、です。ぜひ、これからも続けてください。また、何が川を汚しているのか、みんなで考えて見るのも良いと思います。
9 月の若草園訪問、折り紙のコマを作っていっしょに、おじいさん、おばあさんと遊んでとてもよろこばれたみたいですね。じぶんの孫と遊んでいるような気持だったかもしれないね。人がよろこぶのを見ると、自分もうれしい、とてもいいことです。これからも訪問してあげてください。
10 月のアジア学院収穫祭はなにを勉強しましたか？たべものが回っていくこと、農業が大事な産業であること、いろいろな国の人と協力できることなどを知ることは、とてもためになります。
みんなは、切れ目なく活動を続けていますね。毎年繰り返されることのほかに、あたらしい活動も入ってくると思います。写真にも大人の方が写っています。サポーターの方々かとおもいますが、正しい指導の下に活動されていることが良く分かる新聞でした。

ガールズ
壁新聞のタイトル：守ります私たちの環境

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・・
はじめにも書きましたように、盛りだくさんで、充実した活動を長く続けておられることに、敬意を表します。
日本国民が皆さんと同じように行動すれば、地球の持続性には問題はないと思います。しかし、国民のレベルはそこまで達していません。ですから、みなさんのようなエコな仲間を増やしていく必要があるのだと思います。将来を担う子供達には、エコを自然体で実行できる習慣を身に着けてもらいたいと考えます。
新聞は、どうみても小学校低学年手によるものとは思えません。書いてある内容には、こどもたちの感想も含まれているのですが、自分たちの活動を紙の上に表現する機会として、つたなくても良いので作らせてはいかがでしょうか？

栃木県那須塩原市　黒磯ゆたかクラブ
壁新聞のタイトル：川の生き物たち　　09-13　09-14（全２枚）

黒磯ゆたかクラブ さんへ
師範から一言！

川にいる生き物についてのかべ新聞ありがとう。みんなが手分けして、ていねいにきれいな字で書かれていて、とても読みやすい新聞です。同じクラブが、同じテーマについて2班に分かれて2枚のかべ新聞を作ったと思いますので、まとめて感想を書きました。
黒磯小学校5年生のみんな58人が「みつめよう くろいそ」をテーマに、身近な環境について調べようとした活動ですね？
黒磯周辺は、那須岳と温泉、アユ釣りで有名な那珂川など自然がゆたかな町がイメージされます。クラブの名前にもなっていますし、よい自然環境を残していきたいというみんなの気持ちが、このテーマになったと思います。

①の新聞は、上半分を使って川の生き物を調べるために必要な道具のこと、調査のしかた、調査した結果を記録する方法などが、くわしく書かれています。下半分には川の水のよごれの程度を4段階に分けて（水質階級というのですね）、それぞれの水質のところにすむ生き物の例（指標生物（しひょうせいぶつ）といいますね）が書かれています。よく調べていますね。何を使って調べましたか？
②の新聞には、指標生物のとくちょうをこまかく書いています。かわげらやヒルはずいぶん種類が多いですね。今回の活動を始める前に、そんな生き物を見たことがありましたか？

黒磯ゆたかクラブ
壁新聞のタイトル：川の生き物たち

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・
これで、生き物の調べ方や見つけた生き物の名前調べの方法はわかりましたので、じっさいに川に行って調べたと思います。いつ、どこで調べましたか？その結果をかべ新聞に書くと良かったですね。指標生物と一致した生き物はいくつ見つかったのでしょう。じっさいに見たこと、感じたこと、身近な環境で気づいたことをみんなで話し合ってみると良いでしょう。川に入るときに気を付けなければいけないことは守れましたか？
じっさいに川で見つかった生き物の名前を判定するのは、なかなかたいへんでしょう。その時に役に立つのが新聞に書いてあるそれぞれの生き物のとくちょうでしょう。川で見つかった生き物の名前は、すぐわかりましたか？「かわげら」は250種類あると書いていますね。なかなかぴったり合わないかもしれません。
ここまで書いてきて、ふと、この新聞には続きがあるのではないかと思いました。今回は、川で調べる前の準備について書いたもので、次の新聞に調べた結果を書くというように。まちがっていたら、ごめんなさい。調べた川の水質階級はいくつか、生き物は川のどのあたりにいたかなど、川で調べた結果が書かれている新聞を、ぜひ読んでみたいと思います。

★☆サポーターの方へ★☆
新聞を読んで、川の生き物を調べた結果が書かれていないので、上のような感想になりました。野帳の書き方も書いてありますので、調べるポイントはこどもたちもわかっていると思います。
①②に書かれていることは、本やインターネットで調べれば、分かってしまいますが、実際の川に行き、自分で調べて、気づき、考え、疑問を抱き、仲間で意見を交わす、これらのことがより大切と思います。間違いを心配することはありません。
「子どもたちからのメッセージ」欄には、“川に住む生き物を調査し、それぞれの場所によって生活する生き物がちがうことがわかりました。ぜひ見てください。」と書かれていました。那珂川のどの地点では、どの指標生物が見つかり、水質階級のいくつに該当するなどを読んでみたいと思いました。なお、水質階級Ⅱの表現は、「少しきたない水」ではなく、「ややきれいな水」が正しいのではないかと思います。（環境省のホームページより）
わたしの感想が誤解であれば謝らなければなりませんが、②のスジエビについての記述に
「海水が少し混ざっている汽水域に住んでいます」と書いてあり、河口まで調べに行くのはたいへんだと思ったからです。こどもたちへの説明には、ご配慮をお願いします。

栃木県壬生町　きらりクラブ
壁新聞のタイトル：めざせ！緑の森林大使　　　日本環境協会賞　09-18（推薦）

きらりクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
きらりクラブのみなさん、とってもすばらしいかべ新聞を作って、送ってくれてありがとう。かべ新聞というより活動報告書、調査報告書といった方がふさわしい、内容がもりだくさんの新聞です。
クラブのメンバー全員が活動に参加して、間伐をする、梟が住める森にする、土壌生物を調査する、森、木の働きを調べる、きのこ汁を食べて森の恵みを実感する、レジャーの遊具を作って森に親しむなど、森のすばらしさを実感して、みなさんが森林大使に合格したのではないかと思います。
「森の良さを知ってもらおう！～時間を忘れて～」の活動は、みんなが楽しめる遊具などを作る活動であり、全学年 123 名が参加して楽しく、元気よく活動しているのがよく分かります。自分たちが楽しめるだけでなく、壬生北小学校のみんなが楽しめる場所に出来あがったようですね。どこに何を作るかも考えました。北っ子の森の持ち主の山井さんの許可もとりました。落ち葉のベッド、ふとん、いいなー。ふかふかしてにおいも良くて、もしかしたら寝ていて横を向いたら虫も出て来て、わ―ビックリなどもあって、自然そのものですね！雨が降ると落ち葉ベッドもぬれて、かわくのに時間がかかりますので、落ち葉の下にハンモックより目の細かい網、カラス除けの網などをしいて、落ち葉ベッドがぬれたら、網を持ち上げて乾かすなどの工夫もしていますか？
北っ子の森の状態があんまり良くなかったようですね。でも間伐をして日の光が差し込むようにしたので、草もはえるようになり、風通しも良くなり、生き物も増えて、良い森になるでしょう。間伐前の森と間伐後の森の写真を見ると違いがはっきりと分かりますね。間伐材を輪切りにしてカレンダーを作りましたね。なかなかすばらしいカレンダーですね。このカレンダーを学校の入り口に置いて、日直さんが 1 ケ月ごとに日付をずらすようにしたら、いいと思います。あるいは、もっとたくさん作って、各クラスに置いたらどうでしょうか。

きらりクラブ
壁新聞のタイトル：めざせ！緑の森林大使

キノコ汁作りも楽しそうですね。私もキノコ汁は大好きです。さぞ北っ子の森でとれたキノコはおいしかったでしょう。私もいっしょに食べたかったなー。みなさんのうれしそうな顔とともに山井さんをはじめ協力をしてくれた人たちのうれしそうな顔がとってもいいですね。キノコ汁は大きななべにいっぱいありますが、全部食べ終わりましたか？このような経験を通して森の恵みを実感するとともに食べ物に感謝する気持ちになったのは、とてもよかったと思います。自然の中でできる食べ物や人がいっしょうけんめい育てて作った食べ物に感謝することを忘れがちになりますが、みなさんは、感謝の心を思い出したようでうれしいです。
またすばらしいかべ新聞を待っています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
梟さん、北っ子の森に来てよ！ということで巣箱を作りましたね。木の高い所に巣箱を架けました。はしごを上ってこわくなかったですか？巣箱は 1 ケだけだったのですか？鳥の大きさによって巣箱の出入り口の大きさを変えますが、梟の場合はどのくらいの大きさの穴をあけたのですか？私の庭には牛乳パックを使ったえさ箱を木につるしています。4cm 位の丸い穴をあけています。今はシジュウカラが毎朝、えさ（ひまわりの種）をついばみに来ますよ。鳥がたくさんいるような森にしたいですね。そのためには住むところとエサが無いとだめですね。ぜひ、みんなで気長に巣箱作りとエサを置いておくことを続けると良いと思います。鳥がいっぱい来るようになれば、季節ごとに鳴き声を楽しんだり、鳥を見て何の鳥だと調べたり、いつ鳥を見つけたか？いつ鳴きはじめたか？など鳥観察、鳥ウォッチングもおもしろいですよ。
土壌生物の調査、森と五感、木のもつ良さ、森の仕組み、木ってどんな性質があるの、それぞれ観察、実験したり、インターネットや本で調べたことをていねいにまとめてくれました。
土壌生物はツルグレン装置を使って、実物を観察しました。木のもつ良さは、実際に実験をして実感しました。森と五感では、聴診器を使って音を聞きました。調べ物をするときの大事なことは、実際に実物に触ったり、実験をして確かめたりすることが非常に大切です。インターネットで知ったことや本で調べたことをまとめるだけでなく、その中の一つで良いですから、実際に書いてあることが本当かどうかを自分たちで確かめることが大切です。
書いてあることと自分が感じたことが違うかもしれません。自分が感じたこと、確かめたことが一番の宝です。ぜひ、自ら実験をしたり、観察したりして確かめることをおすすめします。そして感じたこと、気が付いたこと、見つけたことなどを自分の言葉で表現するようにすると良いと思います。たとえば、フィトンチッドの香りってどんな香りですか？むずかしいかもしれませんが、自分の言葉で表現してみてください。
森の恵みを体験しよう、梟おいでよ北っ子の森などのページめくりの報告書が一つずつのかべ新聞になるのではないでしょうか？

栃木県壬生町　キラキラクラブ
壁新聞のタイトル：よみがえれ　地球の緑　　09-17

キラキラクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
中央の大きな木のシルエットが目立つかべ新聞はこれが唯一（ゆいいつ）でしょうか、とても印象強く記憶（きおく）に残ります。
木の葉の形をした紙に子供たちの感想文が書かれ、どんぐりの形に切り抜いた写真がいっしょに並（なら）んでいて形の美しさが目に飛びこんできます。
ここで取り上げた体験は、足尾銅山（あしおどうざん）、田中正造（たなかしょうぞう）と植樹体験（しょくじゅ）、地球温暖化（ちきゅうおんだんか）、ミミズの働き、未来へのメッセージと盛（も）りだくさんの活動を紹介してくれました。
私も森の中で活動するのが好きなので、初めにミミズの記事を読んでみて、子供たちがミミズの働きに感動しているのをうれしく思いました。木の大きさから二酸化炭素（にさんかたんそ）の吸収量（きゅうしゅうりょう）を求め、大人の呼吸量の何倍になるかという課題は、いろいろな授業（じゅぎょう）で広まって来ています。ここで学んだことは友達やおうちの人にも話してみて下さい。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
樹木（じゅもく）の形の大きな見出し、ハトの形の小さな見出し、さらに感想文と記事ののせ方に基本的（きほんてき）なルールを守ってかべ新聞が作られています。
ちょっとわかりにくかったのは、葉の形の感想文と丸い形や吹（ふ）き出しになっている感想文のちがいがわかりませんでした。
もしかすると区別はしていないのかもしれませんね。また、この体験教室に参加した子どもたちの顔がとても明るく楽しそうな表情（ひょうじょう）で、こちらもうれしくなりました。かべ新聞全体の流れやテーマによって形や色で区別するとわかりやすくなると思います。

栃木県壬生町　にこにこクラブ
壁新聞のタイトル：レッツゴー‼森のたんけんたい　　09-15

にこにこクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
にこにこクラブのみなさん、力作のかべ新聞を送ってくれてありがとう。みなさんは、3 年生なのですね。3 年生でもこんなにすばらしいかべ新聞を作れることにびっくりしました。
ぎょうざみたい！"オオムラサキのよう虫をもらったことをきっかけに、オオムラサキをそだてるかつどうを始めたのですね。はじめにオオムラサキのことを知ろうということで、わからないことをみんなではなしあって、大しま先生におしえてもらいました。電話ではなすことやFAXをすることもみんな自分たちでやったのですね。すごいなー！
6 月 18 日に大しま先生に出前こうざをやってもらい、オオムラサキのことをいろいろとおしえてもらったのですね。FAXで送ったわからないことや知りたいことのこたえも教えてもらったのですね。大しま先生におれいの手紙も出したのですね。りっぱです。
6 月 18 日にインタビューをうけて、6 月 19 日の下野新聞に出たなんてすごいことです。たぶん、みんなでたくさん下野新聞を買って、思い出としたのでしょう。
インタビューはどきどきしたと思います。でも、このようなけいけんをつんで、どうはなしたら分かりやすいか？ひょうげんする力をつけることができますよ。しつもんにちゃんと答える力もつきます。
9 月 25 日によう虫を7ひきもらい、冬をこせたら来年はちょうちょになるので、たのしみですね。
ゴーヤの緑のカーテンを作り、すずしいひみつきちをつくろう、という活動もやったのですね。さいきんは、夏がとてもあついので緑のカーテンは、とても助かりますね。でも、ひみつきちをつくるには、アーチを作らないといけない。そのためにきかくしょを書いて、校長先生にたのんだのですね。みんなの書いたきかくしょとせつめいがりっぱだったので、校長先生は「ごうかく」とはんをおしてくれたのですね。3 年生でもこんなりっぱなきかくしょが書けるなんてびっくりしました。きかくしょを書くためにインターネットからあつめたしりょうも用意したとは、すばらしいことです。
ゴーヤの緑のカーテン作りの日にちが、ちょっとわかりにくいのですが・・・
6 月 12 日にきかくしょを作った。6 月 14 日にきかくしょを見せに行ったと写真にかいてあります。でも、きかくしょの日づけは 7 月 2 日になっている。ゴーヤのなえうえは、5 月 21 日にやったようですが、きかくしょがごうかくするまえにスタートはしていたのですか？10 月 1 日に緑のカーテンのひみつきちでみんながたのしんでいますが、夏本番の 7 月、8 月はカーテンができていたのですか？5 月になえをうえていたので、水をちゃんとやっていれば、あつい夏に葉もいっぱいになっていたと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
草木ぞめは親子でやったのですね。アカネやどんぐり、たまねぎなどでそめたようですね。よそういじょうにきれいにそまったようですね。工作を親子でやると親が作ってしまうが、草木ぞめはこどもがいっしょうけんめいにやって、良かったと保護者のかたがかんそうをいっています。親がつい、手を出してしまうが、がまん！がまん！こどもの力を信じてやらせるのが、だいじですね。
このような活動をとおして、先生が期待する課題発見力、思考力、表現力、実践力が少しずつ身についていくようです。ぜひ、先生方の指導をよろしくお願いします。

栃木県壬生町　すまいるクラブ
壁新聞のタイトル：町のクリーン大作戦　　　　　　09-16

すまいるクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――
壬生北小学校 4 年生のみなさん、みんなで作った力作のかべ新聞を送ってくれてありがとう。
町をきれいにしたい、ごみをへらしたい、という目標を持って、クラス全員が力を合わせて節水、ペットボトルを捨てないで楽しいロケットを作りました、清そうセンターの見学、ごみひろい、マイはし作り、生ごみからひりょう作り、をやりました。1 年間でたくさんのことをやり、私もびっくりしました。1 年間の活動で 4 年生のみんなは、どんなことをすれば町がきれいになるか、きれいにするためにはどんなことが問題か、などが分かり、一回り大きな人間になったのではないでしょうか？
学校のまわりの森を調べよう、ということで生き物を調べました。いろいろな生き物がいることは住みやすい町を作ることであり、クリーンな町作りと同じ、住みやすい、楽しい町にすることですので、みんなの活動は、大変すばらしいと思いました。
みんなの活動のすばらしいことの一つ目は、活動が子どもたちだけの活動になっていないで、保護者の方もよく見ていて、参加していること、そして学校の先生も活動のじゅんびだんかいから終わった後まで、しっかりと参画していることです。保護者や先生が良く見ていて、はげましの言葉をかけることは、こども達のやる気をひきだし、問題をちゃんと考えることにつながると思います。
二つ目のすばらしさは、き画書を書いて、自分たちの活動の目的は何か？どんな活動をするのか？いつやるのか？メンバーはだれか？じゅんびする物は何か？などをあらかじめメンバー全員で考え、それを紙に書いてまとめ、学校にていあんするやり方をやっていることです。活動をする前にこのようなことをあらかじめ考えてじゅんびするやり方は、これからみんなが大きくなった時にも役に立つやり方です。自分たちがやろうとすることをちゃんと頭の中に入れることにもなり、また、まわりの人のりかいをえることにもなります。壬生北小学校のやり方でしょうが、良いやり方はこれからも続けてほしいと思います。
三つ目のすばらしさは、これらの活動をとおして、自分にどんな力がついたかを、自分で発見し、紙に書いてしっかりといしきするやり方です。自分は何ができる力があるのか？をいしきして、この次はどんな力をはっきするようにしたいか、など前に進む考え方ができるようになります。一人ですべてのことはできません。その時はどうしたら活動の目標を達成できるのでしょうか？そうです、みんなでぶんたんして、他人と話をし、こうしょうするのが得意な人、のこぎりやかなづちを使うのが得意な人、書くのが得意な人、物を集めるのが得意な人など得意な人がやるようにしたら良いと思います。そのようにみんなにやってもらうリーダーとしての力、とうそつする力があなたには付きますよ。
すばらしさの四つ目は、活動のふり返りをちゃんと書いていることです。活動をやりっぱなしにしないで、活動をふり返って、自分は何ができたか？何に気が付いたか？これから自分は何をやろうか？などをまとめたことです。反省することもあります。反省して次へのステップにしてみんなが成長します。

すまいるクラブ
壁新聞のタイトル：町のクリーン大作戦

かべ新聞全体の構成もみんなが考えたのかな？先生のしどうがあったのかな？みなさんのかべ新聞は、項目ごとにまとめてあり、流れがあって分かりやすいです。このような新聞作りは、新聞だけでなく、調べたことをまとめて発表する場合にも使えますので、良い参考例になります。みんなもできるようにすると良いと思います。
6 月の 2 週間、みんなで節水活動をしました。感想に書いてある"一人では少なくてもクラス全員になるとすごい量になりました"とってもすばらしいことに気が付きましたね。このようなことは、節電でもそうです。環境の問題は、「自分だけがやってもしょうがない」と言うことをよく聞きますが、一人一人が集まると大きな結果になることが多いですね。
リサイクルマークを調べました。意外とたくさんあることにびっくりしたでしょう。そうです商品についているようにリサイクルにまわすとごみが少なくなります。もう一歩みなさんの活動を進めて、身近にある商品にどんなリサイクルマークがついているかを見つけることもやると良いと思います。実際の商品を見ることが大事です。
マイはし作りは上手に作れましたか？ふだん、ナイフを使うことはないでしょうから、むずかしかったのではありませんか？けがはしませんでしたか？木をけずるだけでなく、模様もいれて格好いいはしになったようですね。私はふだんマイはしを持ち歩いています。割りばしを使わずにマイはしで食事をするとお店の人も「ありがとう」と言って、割りばしをしまうでしょう。

すまいるクラブ
壁新聞のタイトル：町のクリーン大作戦

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
昔（江戸時代）のリサイクルを調べました。江戸時代は物を大切にする時代であったようです。使い終わったり、こわれた物もすぐ捨てないで何とか使えるようにいろいろと工夫したようです。かさの破れを直す、紙は作り直す、穴の開いたおなべも直して使った、布きれは別の布といっしょに合わせて使う、みんながお腹から出したものも肥料として使うなど、江戸時代はリサイクル社会です。今の私たちの暮らし方にたくさんのヒントが江戸時代の暮らしにありますね。江戸時代のリサイクルで今でもやっていることはありませんでしたか？
ペットボトルでロケットを作って、飛ばして遊んだようですね。とても楽しかったかと思います。使い終わったペットボトルは、意外といろいろな使い方があります。口のところを細くして水が少しずつ出るようにして、花などの水やりに、あるいは鳥の水やりに、まわりにきれいな絵を描いて花びんにする、切込みを入れて風車も作れます、水車にもなりますよ、などなど、みんなも工夫してみてください。
自治会にごみを捨てないで、ごみ拾いに協力してください、とのチラシを配ったとのこと。
大変すばらしい活動です。みなさん達のこどものしんけんな願いが通じたかな？みなさんのすばらしさは、行動にうつしたことです。ごみを見てどうしようかと、考えているだけでなく、今、自分たちでできることは何だろうか？と考え、ごみを拾うことだ、そしてちいきの人の協力もひつようだとチラシづくりになったのですね。環境の問題は自分でできること、小さいことで良いですから、続けることが大切ですよ。
世界と日本のごみの量を調べました。意外と世界（アメリカ）のごみが多かったようですね。身近な壬生町と隣の町のごみの量を調べる。壬生町のごみと、栃木県全体のごみとをくらべるなど、身近な所に目を向けて調べることも大切ですよ。ごみの量だけでなく、どんなごみがあるのか、種類も調べてみるとごみをへらす工夫、アイデアも出てくるかと思います。

★☆先生へ☆★
企画書に書いてある漢字や語句は、4 年生には難しくないですか？私も学校へ行って出前授業をやり、ワークシートを書いてもらいますが、学年に応じた漢字と語句の使い方にとても注意をしています。漢字配当表を見ながら、漢字を書いています。児童にどういう意味か？どう読むか？をアドバイスすれば良いことではありますが・・・学年ごとの企画書を用意することは大変でしょうが・・・

群馬県前橋市　前橋市児童文化センター　環境冒険隊
壁新聞のタイトル：①里山新聞～昆虫の森～　②植物名の由来③サバイバルに挑戦　④mini 生態系について　⑤貴重な生物を守る技術　⑥ミニ生態系とは？　10-01～06　全 6 枚　①が推薦（予算がないため代表辞退）

前橋市児童文化センター環境冒険隊①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――――――
昆虫は種類が多く、どこででも見つけることができます。数が多いので、まだまだわからないこともたくさんあります。昆虫を調べると、いろいろな発見があったことだと思います。
まとめに書いてある「昆虫は人間たちと生きていく生き物です」とは、まさにそのとおりですね。人にきらわれることもある昆虫ですが、人間とともに生きていけるようにするには、どうしたらいいか考えるためにも、これからもいろいろな昆虫を調べてみてください。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
次は、どれか 1 つの昆虫にしぼってくわしく観察するのもいいかもしれません。新聞を読むと、昆虫の森など、多くの昆虫がすむことができる環境があるようですね。
みなさんの好きな昆虫について詳しく調べて、次の新聞を作って、ぜひ全国のお友達に紹介してあげてください。群馬にはこんな昆虫がいます、というように。

前橋市児童文化センター環境冒険隊②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――――――
花や虫の名前がどうやってつけられたか、興味をもったわけですね。いいところに目を付けました。
日ごろ、気にしないことに気を付けてみる、これは自然とふれあう時にも、とても大切なことなのです。犬というのは、人の役に立たないという意味なのは、ちょっとかわいそうな感じですね。でも、新聞に書いてあるように、命は大切なものです。どんな生き物にもやさしい気持ちでふれあえるといいですね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
これはおもしろいことなので、ぜひ他の生き物の名前がどうやってついてのかも調べて、また全国のお友だちに教えてあげてください。「こんな変わった名前のつき方もあったよ！」のような発見もあると思います。

壁新聞のタイトル：

前橋市児童文化センター環境冒険隊③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
最後に書いてありましたが、こういう活動は、楽しいものですが、それだけではなく災害が起こったときにとても役に立つものです。日ごろから練習しておかないといざという時に使えないで困ったりします。とくに水の確保は重要な問題になります。これからもぜひ続けていってほしいものです。災害は起きないほうがいいのですが、もしも起きてしまった際に備えておいてくださいね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
とても重要な活動なので、新聞の次号も期待しています。次は、実際に災害が起きた場合は、このようなことが必要だ、このようにすればいい、といった感じの今回の知識をどこでどう生かすかを書いた、全国のお友だちが読んでさらに役に立つような新聞を待っています。

前橋市児童文化センター環境冒険隊④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
生態系というととても大きなものを想像することが多いのですが、じつはほんのちょっとした場所にも生態系はあるのですね。そのような生態系を理解するために、このような活動をするのはとてもおもしろいですね。作り方もしっかり書いていてくれているので、これを読んだ人たちもためしてみることができるのはとてもよいと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
せっかく完成された mini 生態系ですので、今後どのように変化していくかを 1 か月後、3 か月後、というように記録して次の新聞で教えてくれるとうれしいです。生態系はバランスで成り立っているので、ちょっとしたバランスのくずれで壊れてしまうこともあります。それを知ることもいい勉強になりますよ。

前橋市児童文化センター環境冒険隊⑤の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
きれいで貴重だから勝手に持っていく人がいるというのは悲しい話です。ぜひ、みなさんは「そういうことをしてはダメ」とはっきり言える大人になってください。最近は技術が進歩したので、このようにして増やすこともできるようになりました。でも、ほんとうは自然の中に生えている植物なので、やはりその場所をみんなで守っていくという気持ちが大切です。サクラソウのような植物が増えるといいですね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
この技術で作られたサクラソウやモウセンゴケはこの後どうなるかを次の新聞で教えてくれるとうれしいです。またサクラソウの生えている場所は今どうなっているのか、今後どうやって守っていったらよいのかを合わせて書いてくれるとさらによいと思います。

群馬県太田市　スター☆クラブ
壁新聞のタイトル：スター☆クラブ新聞　　10-09

スター☆クラブ さんへ
師範から一言！
――――――――――――――
いろいろ活動に取り組んで、環境について考えているのですね。自然だけでなく、工作や芳香剤などさまざまなものを取り入れているところもとてもよいと思います。活動の内容も、とても幅広いものになっています。みなさんが楽しんで取り組んでいることが新聞を読むと伝わってきます。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
せっかく作ったリサイクル工作や芳香剤ですので、使ってみたらどうだったか、という使用した感想もレポートしてくれるとうれしいですね。新たな活動も加えて「このような楽しいエコ活動もあるんですよ」ということを、次の新聞で、全国のおともだちに発信していってほしいと思います。

群馬県沼田市　しらさわエコキッズクラブ
壁新聞のタイトル：しらエコが調べた「江戸の5R」　　10-07・08（全 2 枚）

しらさわエコキッズクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
江戸時代はとても環境に負荷をかけない時代だったと言われています。そんな江戸の生活をしらべて、自分たちの生活に生かそうという試みはとてもよいことだと思います。ぜひ私たちも江戸時代の「5R」を取り入れた生活をして、あまり環境に影響を与えないようにしたいものですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
次はぜひ、新聞に書いた江戸時代に行われていたことを現代で試したらどうなるかを実践してほしいと思います。この次の新聞では、そんな、この後の実践した話をのせてくれると、全国のお友だちもより興味をもってくれると思います。

しらさわエコキッズクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
群馬県には尾瀬があるのですね。日本の自然保護の歴史には必ず登場するとても有名な場所です。一時期たいへん荒れてしまった時代もありましたが、それもマナーを守らない人がいたせいとも言われます。
マナーを守ることが自然を保護することにもつながりますね。また都会のような気軽な格好で行ける場所でもありません。こうやって新聞で教えてあげることも大切なことです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
自然の豊かな尾瀬ですが、みなさんの周りにある自然と比べてみるとどうですか？
同じ「自然」でもいろいろな違いがあると思います。身近な自然と比べることにより、尾瀬の大切さ、身近な自然の大切さにあらためて気づくことができることでしょう。次の新聞、期待しています。

埼玉県三芳町　竹の子エコクラブ
壁新聞のタイトル：竹の子エコ新聞2013　　11-01

竹の子エコクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
竹の子エコクラブさんは、クラブ結成が平成 14 年、クラブ人数が 81 人と継続して活動しているクラブです。メンバーの入れ替わりはあると思いますが、クラブとしてまとまって充実した活動をしている様子がわかります。
かべ新聞は 5 つの活動について書かれていますが、どれも読みごたえがあります。活動の内容、感想が自分の言葉で書かれているので、皆さんの伝えたいことがよくわかります。
「森のビンゴゲーム」では、季節による違いがよくわかりますね。皆さんの観察力も、季節が変わるごとに鋭くなってきたのではと思います。環境にやさしいモデル駅となった四ツ谷駅の見学も面白いです。ホームの屋根にコケの種のシートがおいてあるのですね。去年より成長していたそうですが、そうゆう発見からも皆さんの鋭い観察力がよくわかります。
一つひとつの活動から、少しでも多くのことを学ぼう、考えようという姿勢があって、とてもよいと思いますよ。これからも皆さんで協力して、素敵な活動を続けてほしいと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
グループリーダーが中心になって、活動内容を決めているそうですが、とても素晴らしいことだと思います。なので、どうして今年はこの活動をすることになったか、など話し合いの内容もかべ新聞に少し書けるとさらによいと思います。

埼玉県宮代町　MIYASHIRO エコ☆スターズ
壁新聞のタイトル：エコ☆スタ新聞　11-02

MIYASHIRO エコ☆スターズ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
中高生が中心のクラブらしく、自分たちの活動を周りの人にも広げていますね。
環境のイベントを主催しているというのが、さすが中高生だなと思います。スポーツごみ拾いは面白い企画ですね。参加する人に、楽しんでもらおうという皆さんの気持ちがよくわかります。点数を重さで計算するというのもおもしろい工夫ですね。さらにグラフを作って、どの点数にすれば妥当になるか、考察しています。活動内容を検証するというのも、さすがだなあと思います。また、参加者にアンケートを取っているのもよいと思います。参加した人自身も、一日のふりかえりになってよいと思いますし、皆さんの今後の活動にもつながりますね。他の活動でも、参加した方の声が書かれているのがよいと思います。
皆さん部活など忙しい中で、活動されているそうですが、だからこそそれぞれの活動時間をとても大切にしているように感じます。色々制約がある中で、活動を充実させる工夫があって、それはとてもいい勉強だと思いますよ。これからも大変だと思いますが、続けられるといいですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
かべ新聞では、文章がわかりやすく書かれていると思います。縦書きの一文が少し長くて読みにくい気もしますので、2 段に分けて書いたりすると、メリハリがついて読みやすくなると思います。
内容はとてもよいので、ぜひそういった読みやすい工夫もしてみて下さい。

千葉県市川市　ガールスカウト千葉県第 52 団
壁新聞のタイトル：ガールスカウト52団　エコ新聞　12-03

ガールスカウト千葉第 52 団 さんへ
師範から一言！
――――――――――――――――――――――
エコについて調べたことが詳しく書かれていて、読みごたえのある記事になっていると思います。
イラストや資料を使って、わかりやすいですね。「エコ配」については、私は聞いたことがありませんでした。都会の街中ではたまに見かけますね。「再生可能エネルギー」の記事の中に「調べた理由」が書かれていますが、これはとてもよいと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・
他の記事でも、調べた理由があるといいなと思いました。また、調べてみての感想もあるといいですね。エコカーや再生エネルギーなどは、私たち人間にとっても、地球環境にとっても、よいものだと思われますが、車などはすぐに買い替えることはなかなか難しいと思います。なので、エコカーだけでなく、今家で乗っている車でも、なるべく環境にやさしくするにはどうしたらいいか、考えてみるとよいと思います。また、そのアイディアをかべ新聞に書いてみるといいですね。

千葉県市川市　かいさん ず
壁新聞のタイトル：エコについて多方面から考える　　　12-01

かいさんず さんへ
師範から一言！

「かいさんず」の皆さんは、家族で活動をしながら、市のエコクラブ活動にも参加されているようですね。
たくさんのクラブと交流しながら、今後も楽しく活動を続けてほしいと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
かべ新聞のタイトルにある「エコについて多方面から考える」というのは、とてもいいテーマだと思いますが、もう少し皆さんがテーマに沿って考えた内容を書いてほしいなと思います。とはいえ、考えることはなかなか難しいことです。なので、まずは皆さんが活動をして学んだこと、感じたことをもっとていねいに書いてみましょう。例えば、月の満ち欠けを観察した様子を、カレンダーのように書いてみるといいと思います。毎日観察するのはなかなか大変だったと思うので、そのように頑張ったことはどんどんアピールするといいですね。また、動物の生態については、オラウータンの遊具として、ホースで作ったジャングルがあったそうですが、なぜその遊具がオラウータンの生態に合っているのでしょうか？動物園で教えてもらったことや、本などで調べたことを書くと、読んだ人にもわかりやすくなると思います。

千葉県市川市　のはら くらぶ
壁新聞のタイトル：のはらくらぶ新聞　　　12-02

のはらくらぶ さんへ
師範から一言！

皆さんで仲良く、楽しく活動している様子がよく伝わるかべ新聞ですね。クラブの紹介が書いてあり、読む人に対して、まず自己紹介をしているということで、とても親切でよいと思います 4･6･8･10 月に行った活動も、一つずつ丁寧に書かれていますね。活動日、内容、感想がしっかり書いてあるので、とてもわかりやすいです。また、観察したものをスケッチしているのはとてもよいと思います。写真もいいですが、スケッチする時にはじっくり観るので、特徴をよく理解できたのではないでしょうか。
スケッチには、調べたことも書かれていて、皆さんしっかり勉強しているんだなと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
干潟観察では、「634 人」のカニを捕まえたそうですが、とてもたくさん見つけたのですね。数えるだけでも大変そうです。そんなにたくさんのカニが住める、干潟の豊かさを色んな人に知ってもらえるといいですね。1 年間の活動を通してのまとめや感想などを、代表で高学年のメンバーなどが書くと、もっといいと思います。かべ新聞の応募用紙には、来年やってみたいことなどが書かれていたので、これをかべ新聞にも書いてみるといいと思いますよ。

千葉県習志野市　谷津干潟ジュニアレンジャー
壁新聞のタイトル：谷津干潟から愛をこめて　お･も･て･な･し2013　未来を作るジュニアレンジャー　　　12-04

谷津干潟ジュニアレンジャー さんへ
師範から一言！

一目見て、とっても楽しそうなかべ新聞だな～と思いましたし、どんなことが書いてあるのか、読むのが楽しみになりました。
谷津干潟での色々な活動について、どれも詳しくわかりやすく書いてあり、とても読みごたえがあります。谷津干潟がラムサール条約に登録されたのは、1993 年とのことで、地域での保全活動にも歴史があるのですね。
かべ新聞に、イベントに参加した人の数が書いてありますが、どれもたくさんの方が参加されていて、地域全体で干潟を守っていこうという意識があって素晴らしいと思います。皆さんのようなジュニアレンジャーががんばって活動していることが、地域の方の関心の高まりにもつながっているのだと思いますよ。

とっておきのゴシドウ★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････
記事の中で、特に面白いなと思ったのは、アオサの石けんです。アオサといえば食べることしか思わなかったのですが、どんな石けんなんでしょうか。かべ新聞を読むと、普段の活動がとても充実したものであることと、皆さんが谷津干潟をこれからも大切にしていきたいという気持ちがよく伝わります。一人ひとりが積極的で、メンバーやサポーターさんと協力しながら、楽しく活動できているのではと思います。これからもぜひ、このような活動を続けてほしいと思います。「いきごみ」に書いてあるように、「世界進出」、世界でも活躍する皆さんを期待しています。

千葉県柏市　酒井根小学校エコクラブ
壁新聞のタイトル：酒小エコ新聞　　　12-05　12-06　12-07　12-08（推薦）（全4枚）

酒井根小エコクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
酒井根小エコクラブの皆さんは、合計 4 枚のかべ新聞を作っています。①のかべ新聞では、身近な昆虫の観察などについて書かれています。標本作りは、貴重な体験でしたね。かべ新聞によると、チョウのりん粉を落とさないようにしたり、バッタのはねを広げたりするそうです。とても細かい作業ですね。でもそうやって苦労して作った標本は、とても思い入れの深いものになったのではと思います。
とっておきのゴシドウ★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･
作った標本は学校で展示をしたのでしょうか？観た人の感想や反応なども、かべ新聞に書くと面白いと思います。また、作る途中で気づいたこと、新しい発見があればそれも書くといいですね。アカボシゴマダラというチョウの観察もしたのですね。このチョウはもともと南西諸島にしかいなかったそうですが、近年は関東でも見つかっているとのこと。愛好家が放してしまったそうですが、それにしても暖かい地域で過ごすチョウが関東でも生きられるというのは、温暖化も関係しているのでしょうか。その辺も調べてみると面白いと思いますよ。

酒井根小エコクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
②のかべ新聞は、学校でエコ活動に取り組むよう呼びかけている内容です。節水対策として、ミカンの皮で給食の食器をふいているのですね。誰でも簡単に取り組める、いいアイディアだと思います。学校でその習慣がついて、家でも取り組んでいる人もいるのではないでしょうか。水や電気の使った量を、表やグラフで表しているのはいいですね。目で見える目標があると、取り組みやすくなると思います。皆さんは、どうして節電・節水やエコ活動をするのか？を考えて書いていて、それはとても大事でよいことだと思います。なので、ぜひもう一歩考えを深めてみるともっとよいと思います。
とっておきのゴシドウ★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･
エコ活動をすると、お金の節約にもなって、自然や生き物を守ることになる、とありますが、それはさらにどんなことにつながると思いますか？例えば、節電はお金の節約だけでなく、電気を作る時に出る二酸化炭素を減らすことができ、地球温暖化を防ぐことにつながりますね。自然や生き物を守ることは、私たち人間にとっても暮らしやすい環境を守ることにつながるのではないでしょうか。その辺りもじっくり考えてみてほしいなと思います。

酒井根小学校エコクラブ
壁新聞のタイトル：酒小エコ新聞

酒井根小エコクラブ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
③の新聞は身近な自然についての内容です。カラフルでかわいらしい新聞ですね。
「花の種類」の記事では、春夏秋冬に色々な花が咲いていることが書いてあります。皆さんは「次はどんな花が咲く季節かな」と楽しみながら、季節の移り変わりを注意深く観察していたのでしょうね。学校にたくさんの花が、いつでも咲いていたら、行くのがとても楽しいですね。ジャコウアゲハの観察日記もしっかり書かれていて、良いと思います。タマゴを発見してから、羽化までちょうど１か月ですね。文だけでなく、絵が描いてあるのでわかりやすいです。しっかり観察しないと絵は描けないので、時間はかかったかもしれませんが、よく観察できて良かったと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
編集後記や主張にある「自然を大切にする」というのを、もう一歩ふみこんで、具体的にどんなことをすればいいか考えてみましょう。主張には、節電・節水のことが書いてありますね。そのように具体的な行動を書くと、皆さん自身も取り組みやすいし、かべ新聞を読んだ人にも参考になります。皆さんのかべ新聞を読んで、多くの人が自然を大切にする取り組みをしてくれるといいですね。

酒井根小エコクラブ④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
④の新聞も身近な自然についての内容です。学校の近くにある下田の杜について書かれています。
下田の杜はたくさんの生き物がいるだけでなく、地域の収穫祭も行われるなど、人にとっても身近な場所なのですね。稲や柿といった食べ物が採れるといった楽しみもあることがわかります。また、下田の杜だけでなく、学校にもたくさん自然があることを書いてくれています。皆さんの先輩たちが最初に学校の自然を守ろうとがんばってくれたのですね。それを続けるのは大変なことだと思いますが、後輩である皆さんもがんばっているのが伝わります。きっと先輩たちもよろこんでいると思いますよ。皆さんも後輩たちに自然の良さを伝えていってほしいと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
下田の杜の様子は、地図のようにしても面白いと思いますよ。また、学校の自然と同じところ、違うところはどんなことか、観察して比べてみるのもいいですね。見つかる植物や動物（昆虫）の違いなども調べてみると、色々なことが発見できて、さらに楽しくなると思いますよ。

東京都新宿区　こどもエコ広場新宿
壁新聞のタイトル：こどもエコ広場新宿新聞　　13-01

師範から一言！
━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
きちんと年間の計画を立てて活動しているのですね。
活動の内容もひとつにしぼるのではなくて、環境全体について学べるように工夫されています。サポーターの大人の方々もたいへん心強い存在なのでしょう。学校以外の場所で、このような活動を続けて行える機会はなかなかないものです。とても貴重な経験ですね。みなさんのそんな様子が伝わってくる新聞です。
今後の活動にも大いに期待しています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
たくさんのメンバーがいますね。きっとそれぞれの人ごとに、どの活動がいちばん勉強になったか、楽しかったか、やりがいがあったか、いろいろな思いを持ったことでしょう。次回はそんなみなさん１人１人の声を聞かせてください。そうすると、活動のおもしろさや大変さ、そしてそれにより勉強になったこと、が日本のおともだちにより伝わると思います。

東京都北区　赤羽北児童館
壁新聞のタイトル：いろいろ体験エコ新聞　　　　　　13-02

赤羽北児童館 さんへ
師範から一言！

年間を通じての活動、お疲れ様でした。
みんなで遊ぶ公園の清掃やペットボトルのキャップ集めなど、社会のために役立つ活動もしていることがまずすばらしいと思います。
環境をよくするためには、まず１人１人が思いやりの心をもつことが大切ですよね。また、アクリルたわしをお母さんに母の日のプレゼントとして贈るというアイディアもすばらしい！　お母さんもきっと喜んだことでしょうし、家庭で使う洗剤も少なくできて、まさに一石二鳥ですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
それぞれの活動ごとに、いろいろな経験を通じて、メンバーのみなさんが感じたことがたくさんあったのではないでしょうか。
たとえばアクリルたわしを贈ったときのお母さんはどんな様子でしたか？　その後、洗剤の量は？　この次の新聞では、そんなその後の話を載せてくれると、全国のお友達もより興味をもってくれると思います。

東京都青梅市　おうめこどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：おうめこどもエコクラブ環境活動新聞　　　　　13-04

おうめこどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

いろいろ見方を変えて、環境について取り組んでいるのですね。
自然だけでなく、人や歴史も取り入れているところもとてもよいですね。活動の内容も、とても幅広いものになっています。
青梅という東京の中ではとても自然が豊かな地を生かした活動です。地域を生かすという点でも、とてもいい活動内容だということが新聞を読むと伝わってきます。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
青梅マラソンの舞台として全国的にも知られている青梅市ですが、実はとても自然が豊かな場所でもありますね。
地元であることを生かした身近な活動を続けることで、「東京にもこのように自然豊かな場所があるんですよ」ということを、全国のおともだちに発信していってほしいと思います。

東京都調布市　リトル・キャッツ・アイ
壁新聞のタイトル：遊遊新聞　　　　13-03

リトル・キャッツ・アイ さんへ
師範から一言！

広島から転居されたとのこと。まずは身近なところから、ということで自宅マンションの花壇から、というアイディアがとても素晴らしいと思います。
遠くにある豊かな自然、これも大切ですが、まずはいつでもかけつけることのできる身近にあるものからよくしていこう、これが環境をよくする基本ですね。次にとりあげてくれるのはどんな自然かな？　来年度からの活動も大いに期待しています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
ちょっと見ただけでは自然が少なく感じられる東京（調布は都心部ではわりと豊かなほうですが）でも、実はいろいろな自然があふれています。意外と星が見える、というのもひとつの発見ですよね。広島とのちがいも踏まえつつ、来年はどんな東京の自然を見つけ出して、全国のおともだちに知らせてくれるかを楽しみにしています。

神奈川県横浜市　港南台自然観察クラブ・クロロ
壁新聞のタイトル：団地のいきものさがし　ことし一番、、、2013　　　　14-01

港南台自然観察クラブ・クロロ さんへ
師範から一言！

皆（みな）さんの 1 年間の活動の中からベスト 3 を選んで紹介（しょうかい）してくれました。ホタルの紙芝居（しばい），飛ぶ種の模型，セミの羽化の 3 つが多かったようです。
ホタルの育て方から自然の大切さを学んだり、セミの羽化に命の不思議を感じたりすることはとても大切な体験です。この感動を友達やおうちの人にも教えてあげて下さい。左のの自然観察カードの内容（ないよう）が小さくて見えにくいものでしたが、よく見ると観察メモが書かれています。普段（ふだん）は気にかけない匂いや音、手ざわりなども記入されていて、細かいことももらさず調べてみようとする姿勢（しせい）はすばらしいものです。このような探究心（たんきゅうしん）を失わないようにしましょう。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
上の段（だん）の黄色いスペースでこの活動が 20 年目を迎（むか）えると書いています。かべ新聞を見るとクロロのタイトルとこの黄色いスペースの配置や中央の写真の並（なら）べ方などはよくできていると思いましたが、下の段（だん）の子どもたちの感想文は、ランキングごとにまとめて意見をのせるなど工夫がないとうまく理解（りかい）されないことがあります。
子どもたちの感想文もいちど原稿（げんこう）用紙に字の大きさをそろえて書いてみるときれいになりますよ。また，左の端（はし）の自然観察もせっかくのよい観察結果が整理されていないために見ずらくなってしまいました。たとえば表にしてみるだけでも他との比較ができるようになります。次回は工夫してみましょう。

神奈川県川崎市　エコチャレンジクラブ

壁新聞のタイトル：①ラッキーエコ情報！　②カラフル新聞　③いろいろ体験新聞　④見てみてびっくり！じゃじゃじゃ！新聞

14-02～05　全 4 枚　①を推薦

川崎市青少年の家エコチャレンジクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――

ガサガサガサでは、記事を読んで身近な川の昔のようすが目に浮(う)かぶようです。それだけ子どもたちの体験がしっかりはっきりしたものだからです。どんな生きものが見つかったかもきちんと書いてわかりやすくなりました。また、安全に活動することにも注意したことは、他の活動団体(だんたい)にはみられないユニークなめくばりと思いました。山にも川にもどこにでもあぶないところがひそんでいます。いつもそれを見逃(みのが)さず、用心深く安全に活動したいものです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・

エコチャレなどで、エコバッグを活用することを学んだことはよいことと思います。さらに学んだことをおうちに人にも話をして役に立つことを知らせて下さい。学んだことを生活に役立てていくことはとても大切なことです。また、この活動でいもほり、やきいも、やきマシュマロなど面白い体験ができましたね。どうすれば安全に活動できるかについても自分で考えることができるようになったと思います。このようなあぶないところをみつけることを重ねることで安全な活動が続けられることになります。

川崎市青少年の家エコチャレンジクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――

いつも自分の家で食べているのとは違(ちが)う，ホウレン草とコーンの入ったカレーは美味しそうですね。まわりの人に食べてもらった感想が書かれているのも理解(りかい)を深めてくれ、すばらしいことと思いました。また、ガサガサ体験では見つけた生きものの名前を調べていて、とてもわかりやすくなっています。特にミドリガメやシジミが身近な川にすんでいるのは驚(おどろ)きました。多摩川(たまがわ)でとれたいきものの種類をくらべて、水がきれいになっていきものが増えたことをかべ新聞に書いてくれました。このような調査(ちょうさ)は大切なことと思います。また、ジャガイモのやきいもつくりも楽しそうですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・

一番目についたのは、カレー作りの感想を棒(ぼう)グラフで示(しめ)していることです。感想をまとめてカレーの評判をアンケートをとっていることは，よく思いつきましたね。なかなかわかりにくいことがらをアンケートで比(くら)べるというのは社会科学ではよくつかわれる方法です。また、多摩川(たまがわ)の水がきれいになったことをいきものの種類で考えたのもすばらしいことです。このようにいろいろな科学の方法をたくさん学んで下さいね。

エコチャレンジクラブ

壁新聞のタイトル：①ラッキーエコ情報！　②カラフル新聞　③いろいろ体験新聞　④見てみてびっくり！じゃじゃじゃ！新聞

川崎市青少年の家エコチャレンジクラブ③の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――

地産地消という難(むず)しい言葉を理解(りかい)して、カレー作りにすぐに役立ててみたことはすばらしいことです。カレー作りではゴミを出さないように気を付けたのも大切なことです。また、ガサガサは面白い体験をしましたね。身近な川にたくさんの生きものがいることを発見できましたね。取れた生きものの名前を調べてみましょう。季節で魚が違うことがわかると思いますよ。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・

カレーを作るときにゴミが出ないように気を付けたとありますが、どんな工夫をしたのでしょうか。それを書き残してくれると読んだ人も試してみたくなります。竹とんぼでは羽をけずるところはけがをしないでできたようですね。安全第一で取り組みましょう。

川崎市青少年の家エコチャレンジクラブ④の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！

――――――――――――――――――――

カレーを作った時の、レシピをていねいに書いてくれてありがとう。これなら私(わたし)も真似(まね)をして作ってみることができます。また、ガサガサ体験は面白かったでしょうね。普段(ふだん)は入らない川の中にはたくさんの生きものがいることにきがつきましたか？身近な川にもたくさんの生きものがいることを発見できましたね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・

カレー作りでは、カレーを食べた感想がないのが残念でした。料理と科学はとてもよく似(に)たところがあります。感想文も科学を表現(ひょうげん)するためには大切な方法です。出来上がったカレーはどのようにおいしかったのか、どんな工夫をしたのか、きちんと記録しておくことが、もう一度このカレーを再現(さいげん)するためには必要なことです。記録すると忘れなくなり、いつでも自分で作ることができるようになります。楽しい体験ですからきちんと記録する習慣(しゅうかん)を身につけましょう。

神奈川県藤沢市　大鋸児童館こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：こどもエコクラブの活動　　　　　　14-07

大鋸児童館こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
大鋸児童館こどもエコクラブのみなさん、こんにちは！
いろんなことがつまった楽しいかべ新聞をありがとう。
毎月、ちがった活動をみんなであつまって、やっているようですね。ことしのテーマは「水」とのこと、水質調査、メダカのしいく、水のろか実験などもりだくさんですね。
5 年生のお兄さん（おねえさん）が、リードしながら仲良く楽しんで活動しているようすが伝わってきます。
むかしはいえにも兄弟がおおぜいいて、年上の人が年下の人のめんどうを見るのはよくありましたが、いまは兄弟のかずも少ないし、年のちがうともだちと遊ぶ機会も少ないでしょう。みんなの活動のすすめ方は、とてもよいと思います。藤沢メダカは、元気のようですね。すなおな感想も書かれていて、いいですね。きっと、どんどんかずが増えるでしょう。えさは何を与えていますか？
新聞の上の方から書き始めて、下へ行くほど字が小さくなりました。初めに、何をのせるか、スペースの割り振り、ならべ方などを相談するとよいでしょう。じっさいの新聞も「へんしゅう会議」をやって決めていると思います。
行事に参加したり、活動して、「エコとはなにか」自分の考えは見つかったでしょうか。
エコははばが広く、奥も深いです。あまりむつかしく考えないでまず楽しむのが良いでしょう。そのうちに、しぜんに自分が好きなエコが見つかると思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
8 つの活動が書いてあり、テーマに色ちがいの下線を引き、写真をかこむ線のいろを同じにして、つながりを分かりやすくした工夫は、とてもよかった。ところで、どの行事がいちばんたのしかったかな？いちばんむつかしかったのはどれかな？やってみたことを思い出して、みんなで話しあってみると良いと思います。きっと、いろんな感想やいけんがでるとおもいますけれど、自分で考えたことをみんなに聞いてもらうことも、よいことです。かならずしも、一つの意見にまとめなくても良いと思います。
緑のカーテンは、児童館につくったのですか？エコクッキングで料理したゴーヤーはそこでとれたものでしょうね。ひょうたんのみをたべて、おいしかったひととのどがこわれそうなひとと感想がまったくぎゃくですね。食べたみの部分がちがったかな。水のろか実験で、先生はうまくいったのに、みんなのは失敗した原因はつかめましたか？
道具やよごれた水の流し方にちがいはなかったかな？目の前のものを観察しながら、ちがいを見つけるやり方は大事です。ろか方法はどこで使われているか、聞きましたか？水道の水はろかで作られています。（浄水場）水の飲みくらべは、なんでたのしくなかったのかな？

★☆サポーターの方へ☆★
バラエティに富んだエコクラブの活動計画を立てていて、工夫の跡を感じます。こどもたちが楽しく取り組めることが一番良いことと思います。何よりも、環境活動を嫌いにならないように、少しずつ環境問題を考えるように仕向けられていることは、いいです。できるだけ学年横断的な活動にすることが、上級生にはリーダーシップを身に着け、下級生は上級生に対する接し方を学び、コミュニケーションの場を広げると思います。
目次の部分と活動結果を示す部分のスペース配分を工夫すると、もう少し詳しく書けると思いますので、その辺のヒントを子供たちに与えていただくと良いでしょう。これからのこどもエコクラブの活動に期待しています。今回、書かなかった活動についてもかべ新聞をお待ちしています。

神奈川県大和市　引地川水とみどりの会こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：引地川 Clean 戦隊ゴーレンジャー　2013　　　　　14-06

引地川水とみどりの会こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
みんなの熱心なひごろの活動がよくわかるかべ新聞です。
毎月引地川の清掃をやっているのですね。季節によっては、厳しい時もあるのではないかと思います。
どうかいつまでも続けてくださいと言いたいところですが、みんなが清掃しなくても良い状況になることが、もっと望ましいのではありませんか？ 「ゴミを捨てにくくする環境を作ること」を目指していることはすばらしいです。一日も早く、そのような日がくることを願っています。
川のよごれについては、下水道の普及や工場などの排水規制により、以前より水質は改善されています。一方では、かべ新聞に載っているように、大小いろいろなゴミが投棄されてまるで川がゴミ捨て場のようですね。海へ流れ込んだ後の影響も考えて、ビーチクリーンに参加して小さくなったゴミも確認しています。海の生き物への影響や海洋汚染を実感できたと思います。
ゴミが散らかっている状況を見て、みんなはどんなことを感じましたか？そのことも少し新聞に書いてもらうと良かったと思います。
みんなは、高校生のリーダーやサポーターの方から、引地川のクリーン活動の目的や意味を聞いていると思いますが、自分で体験して気づくことは大切です。ゴミの中には、リサイクル法などでリサイクルに回さなければいけないものも多いですね。限られた地球の資源を大切に使うためにも、少々面倒でも正しいリサイクルに出してほしいです。国も、3R（＊）活動として環境保全の柱の一つにしています。　＊3R:リデュース、リユース、リサイクルのこと。
これからも、けがなどしないように気をつけながら活動を続けてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
新聞のまん中に引地川を配置して、みんなの活動している写真を貼りつけてあり、とても良くまとめていると思いました。クラブの紹介、活動内容、活動の結果などが簡潔に、要領よく書いてあるので、よくわかりました。限られたスペースにたくさんある活動を文章にうまくまとめましたね。写真もよく選択されています。左側の“こんなゴミもあった”の写真には、説明がないのでちょっとわかりにくいものもあります。
清掃ボランティア以外にも、カッコーフェスタ、FMやまと出演など幅広い活動をしているようですね。それらのことも、次のかべ新聞で読んでみたいと思いました。
★☆サポーターの方へ☆★
たいへんよくまとまった分かりやすい新聞です。日頃の活動を含め、良いご指導をされていると感じました。「子どもたちからのメッセージ」では、かべ新聞を作るときの感想が書いてありますが、清掃活動で感じたことも書いていただくと良かったです。（かべ新聞にも）
自治体と連携した素晴らしい市民活動だと思いました。ありがとう！

富山県高岡市　高岡保育園エコクラブ
壁新聞のタイトル：”たのしくすずしくおいしく～ゴーヤと一緒に大きくなろう～”　　16-02

高岡保育園エコクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――
たかおかほいくえんエコクラブの　みなさんが　そだてた　ゴーヤは、とても　おいしそうですね。
きっと、みなさんが　がんばって　みずやりをしたから、みなさんの　せたけよりも　おおきい　とてもりっぱな　ゴーヤカーテンになりましたね。
みなさんで、ゴーヤのわたとりに　ちょうせんをしたのですね。
わたのところに　にがいあじが　あるので、じょうずにとれると　おいしくなりますよ。
じぶんたちで　そだてて、しゅうかくして、わたとりをして　つくった　ゴーヤチップはとくべつですね。
オレンジいろの　ゴーヤも　できた　とのことですが、みどりいろの　ゴーヤの「み」をそのままそだてると　きいろくなり、オレンジになりますね。
オレンジになったゴーヤは、にがくなくなり、あまくなりますよ。
もしよかったら　たしかめてみてください。
これからも　たのしく　かつどうを　してくださいね！

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
収穫したゴーヤを、子どもたちが自分でわたとりをして、それを食べるというのは、とても素敵な活動ですね。ただ日射しを和らげるためだけでなく、育てる楽しみ、収穫する喜びを大切にした活動をされていることが伝わってきました。
「ぼくよりおおきくなったよ」という感想があるように、しっかり観察されている様子も伝わってきます。わたとりに挑戦をしたときは、どんな風だったのでしょう？知りたいなあと思いました。
きっとされていると思いますが、水やりをしながら、水を大切に使おうなど身の回りのエコについても、子ども達が考えてくれたらいいなあと思います。
子ども達もサポーターのみなさんも、これからも一緒に楽しみながら活動してくださいね。

富山県高岡市　エコばとクラブ
壁新聞のタイトル：地球にやさしくecoばとしよう！　　16-08

エコばとクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――
みんなのそだててくれたゴーヤのはっぱに、みんなのかんそうがいっぱい！ありがとう。じ を かくのはまだまだたいへんなねんれいだとおもいますが、ちゃんとことばにしてかいてあらわしてくれていていいな、とおもいました。
それぞれよくよんでみると、たくさんのいいことがかいてありました。「みずやりたのしかった」「はながきれいだった」。しょくぶつをうえたり、そのおせわでみずやりをしたり、ということはすくないのかな？ゴーヤをそだてたことでみずやりというたのしいけいけんがまたひとつふえました。そうやってまいにちゴーヤをみているから、きれいなはなにもあえたよね。よかった！そして、なんといっても「すずしかった」というかんそうはいいですね。だって、みどりのカーテンはすずしくなるようにそだてていたんだもんね。いちばんだいじなことがちゃんとわかってるな！っておもいました。
たいへんなみずやりをちゃんとやって、かわいい　はな をみて、すずしいたいけんをしたみなさんはやっぱりゴーヤがだいすきになったんですね。「ゴーヤだいすき」っておもったおともだちがいちばんおおかったものね。ことしのけいけんをいかして、らいねんもゴーヤのみどりのカーテンにちょうせんしてみてください。がんばって！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
しんぶんづくりにみんながさんかしていていいなとおもいました。じをかくのがむすかしいおともだちは、えをかいてみてもいいかも！ゴーヤをよくよくかんさつしてかいてみたり、みずやりしているところをかいてみたり。そうやってゴーヤといまよりもっとなかよしになると、ゴーヤのおせわももっとたのしくなるとおもいますよ。
おうちでゴーヤのはなしはしたかな？おうちのひとともはなしをしたり、いっしょにごーやをそだててみるのもいいかも。おうちもすずしくなるといいですね。

富山県高岡市　ちくば ECO キッズ
壁新聞のタイトル：ちくばECOグリーン大作戦　　16-09

ちくば ECO キッズ さんへ
師範から一言！

ごーや のほかにも、なたまめ や あさがお のかーてんも そだてたのですね。
れたす や ぴーまん などのやさいもとれてやさいがたべられるようになったかな？
サポーターの方へ
ゴーヤの他にも、ナタ豆や朝顔のグリーンカーテン、レタスやピーマンといった野菜も収穫していて、食育への意識や、活動の幅の広さを感じました。
野菜が採れた園児の写真やメッセージから、本当に嬉しい様子が伺えます。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・・
田んぼでの稲刈りなど、他の活動にも興味が有りますので、機会があればぜひ見せて頂ければと思います。
新たに取り組む活動の予定もあるそうなので、今後も活動を楽しみにしております。

富山県高岡市　よっさエコクラブ
壁新聞のタイトル：大きくな〜れ！わたしたちのグリーンカーテン♥

よっさエコクラブ さんへ
師範から一言！

みどりみどりみどり…「グリーンカーテンせいちょうのきろく」の どの しゃしん を みてもみどりがいっぱい！りっぱなみどりのカーテンにそだちました。すばらしいですね。そのしゃしんのなかでも、たてもの の なかからのしゃしん は いいですね。そとがみえないくらいしっかりとはっぱがそだっているようすがわかります。これをみると、わたしもおへやにいるきぶんになりました。みどりのはっぱをとおりぬけて、すずしいかぜが ふきこんできているきぶんになりましたよ。じっさいにも、ずいぶんすずしかったんだろうな、とそうぞうしています。
ゴーヤ三きょうだい、かわいいですね。おともだちみんなでみつけたのでしょうか。なぜこんなにうまいぐあいにならんだのか、かお が にやけてしまいます。ふふふってね。ゴーヤのあかちゃんをみつけたときのおともだちのえがお、ほんとにすてきですね。うれしかったんでしょうね。こういったちょっとしたちいさなはっけんが、やるき、げんきの「もと」になるんですね。そんなすてきなばめんをしゃしんにおさめてくれたせんせいにはくしゅ。ありがとうございます。
たのしいかつどうができました。らいねんもがんばってみどりのカーテンづくりにちょうせんしてくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
せんせいがた の けんきゅう の せいか とでもいうのでしょうか。ほんとうにしっかりとしたみどりのカーテンになりました。
おともだちもあついなか、みんないっしょうけんめいみずやりをしてくれているようすもわかりました。そうやっていつもちかくにいるから、かわいいはながさいたことや、つるがぐるぐるまきになっていることにきづくことができたのだとおもいます。
らいねんもぜひみどりのカーテンにちょうせんして、あたらしいはっけんをことしいじょうにいっぱいしてください。

富山県高岡市　だいいちエコクラブ
壁新聞のタイトル：グリーンカーテンでエコに大成功！

16－11

だいいちエコクラブ さんへ
師範から一言！

みんながたのしそうに　ご一や　をつくっているのがわかりました。
みずをだしっぱなしにしない、せつでんにもきをつけていて
とってもえらいです。

サポーターの方へ
園児達が楽しそうにゴーヤを作りに取り組んでいる様子が
写真を通して伝わってきました。
水の出しっ放しや、節電にも心がけていて、活動の熱意も
感じます。
ゴーヤを育てることで、家族間のコミュニケーションも増えた
事も素晴らしい事です。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・・・
写真の数が多くて、見ていてとても楽しいですが、園児達の
直接の感想やスケッチなどがあっても良いのかなとも感じました。

富山県高岡市　さくら保育園エコクラブ
壁新聞のタイトル：エコ･さくら･ゴーヤ･あさがお　すずしいね

16-12

さくら保育園エコクラブ さんへ
師範から一言！

とれた　ご一や　をおそなえしたり、みんなでちょうりしているようすがわかりました。
つかうでんきをきょねんよりもすくなくできたのは、すばらしいですね！

サポーター方へ
収穫したゴーヤをお供えしたり、園児達に食べやすいように工夫したりと、最大限に活用している様子が伺えます。
また、電気の使用量を昨年より１１％もさくげんできたことはうれしいですね。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・・
ゴーヤの成長過程が分かりやすく載っていますね。その分、園児達の写真が小さいように感じ、もったいなく感じました。
園児達が育てている写真などをもっと載せると、分かりやすいかと思います。

富山県高岡市　伏木スマイル エコクラブ
壁新聞のタイトル：グリーンカーテンでエコ大作戦！！　　　　　16－10

伏木スマイル♡エコクラブ さんへ
師範から一言！

ごーや をつくるのがはじめてだったのに、281 ぽんもとれたんですね！すごいです！
おおきくそだった ごーやとみんながならんでくれたのでおおきさがよくわかりました。

サポーターの方へ
ゴーヤでグリーンカーテンを作るのが初めてとのことでしたが、ゴーヤの実が 281 本も収穫できて凄いですね。
園児達の身長から、植えた頃と成長した写真の比較が分かりやすいです。
自分たちより大きく育ったゴーヤを見て、園児達もさぞ喜んだ事かと思います。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
ゴーヤのキャラクターや地域行事の作品も載っていて良いですね。
黄色くなったゴーヤが爆発したことが印象に残ったとのことですが、昔の人はわざと黄色くなるまで残しておいたそうです。中の種が熟すことで甘みが増し、オヤツとして食べていたようです。
次回は爆発する前に取ってみて、観察してみるのも面白いかもしれませんね。

富山県高岡市　エコじょうず！かクラブ
壁新聞のタイトル：ゴーヤさんとおともだちになったよ！！　　　　　16-06

エコじょうず！かクラブ さんへ
師範から一言！
わー、うえてる うえてる！みんなでいっしょうけんめい、なえ を うえているようす、わかりました。しゃしん をみると、6 がつ、7 がつ と どんどんゴーヤがおおきくなって、まどをかくしていくようすがよくわかりました。ことしはじめてグリーンカーテンにちょうせんしてくれたんですね。それで、でんきのしようりょうが 12％へっているって、すごいですね。みなさんがちゃんと ついひ や みずやり などのおせわをしてくれたおかげですね。ありがとう。しゅうごうしゃしんのグリーンカーテンのまえにいるみなさんは、どんなもんだい！といっているみたいにみえました。がんばったもんね。
「ゴーヤでつくりもんまつり」さいこうですね。わたし、とってもきにいっています。ゴーヤはグリーンカーテンにしたり、たべてみたりすることはあるけど、げいじゅつさくひんにもなっちゃうんですね。たのしい！あし が はえて め がついて、ちいさいものもまがったものもつかってあって、みていてとってもたのしかったです。
このしんぶんのなかでいちばんいいな、とおもったのは、「ゴーヤをそだててうれしかった」ということば。みずやりたいへんだっただろうとおもいます。にがいゴーヤもちょっぴりにがてだったかもしれません。だけどそだてたことがうれしかった、ってかいてあって、よんでいるわたしもほんとうにうれしかったです。ありがとう。
らいねんもグリーンカーテンにちょうせんしてみてね。でんきのしようりょうももっとへることをきたいしています！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
ことしはじめてのグリーンカーテンづくり、うまくいってよかったですね。「おおきくな～れみどりのカーテン」のスローガンどおり、だいせいこうでした。おおきくなったゴーヤはちょうりしつでおりょうりしてもらえるのだとか。いいですね。しゅうかく して すぐに ちょうりし てもらえるなんてさいこうです。やさい は しんせん というだけでも おいしさがぐっとあがります。
もしできれば、みんなでなにかゴーヤのおりょうりつくりにりょうせんしてみるのもいいかもしれませんね。おうちでもゴーヤのはなしをいっぱいしたり、ゴーヤのりょうりもおてつだいしてつくってみてくださいね。もっともっとゴーヤのことがすきになるとおもいますよ。

富山県高岡市　国吉光徳エコレンジャークラブ
壁新聞のタイトル：ゴーヤマンパワーでみんな元気いっぱい！！　　16-03

国吉光徳エコレンジャー さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーー
くによしこうとくエコレンジャーのみなさんの　グリーンカーテンは、ゴーヤのはっぱがおおきくて、とてもよいカーテンですね。
みなさんが　みずやりをがんばったり、つるをネットにつけてあげたり、がんばっておせわをしたから、りっぱなグリーンカーテンになりましたね。
とちゅうでアブラムシが　つくようになったけど、みなさんで　たいじしたのですね。
しゃしんで　みなさんが　もっている　ゴーヤの「み」は、とてもりっぱで、おいしそうですね。
　うんどうかいの　ゴーヤマンレースは　とってもすてきな　レースですね！
どうやってゴーヤを　そだてていったのか　よくわかります。
みているひとに、ゴーヤを　そだてる　たのしみが　つたわってきますね。
これからも　げんきいっぱい　かつどうして　くださいね。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
運動会のゴーヤマンレースは、これは本当に素敵ですね！
私の子どもにも一緒に参加させたいなと思いました。子ども達自身も、見ている人たちも楽しめる、すばらしい内容だと思います。毎日水やりしたことや、アブラムシを見つけて退治するところまで盛り込まれていて、すごいの一言です。
普段の活動と、運動会のように地域や保護者の方にも見ていただけるところでの活動とが繋がっていて、子ども達の毎日の生活の一つ一つを大切にされているのだろうなと思います。毎日の生活の一つ一つを大切にすることが、環境を大切にすることに繋がると思います。
これからも、素敵な活動を続けてくださいね！

富山県高岡市　はんにゃの　すまいる　エコキッズ☆
壁新聞のタイトル：グリーンカーテンで”エコデビュー！”　　16-04

はんにゃのスマイルエコクラブ さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーー
はんにゃのスマイル　エコキッズのみなさんは、はじめてグリーンカーテンに　ちょうせんしてくれたのですね。はじめてとは　おもえない、りっぱなカーテンです。
はっぱがおおきく、しっかり　おひさまの　ひかりを　さえぎってくれていますね。
みなさんが、がんばって　みずやりをしたり　おせわを　したから、おおきく　そだったのですね。
ゴーヤってどんなしょくぶつか、しっかりかんさつしたのですね。
びっくりするぐらい　おおきくなったり、ぎざぎざしているのをはっけんしたり。
あじは　にがかったですか？　ホットケーキに　したら、おいしく　たべられそうですね。
ゴーヤのみは　あかくなって　やわらかくなるのは　くさったのではなく、みが「じゅくした」のです。なかの　やわらかくなったところは、すこしあまくなっていますよ。
みどりのときは　にがいのに、「じゅくす」とあまくなるって、ふしぎですね。
これからも　いろんなことを　はっけんしながら、たのしく　かつどうを　してくださいね。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
とても初めてとは思えない、立派なグリーンカーテンだと思います。子ども達も、元気に楽しく育ててくれている様子が、写真や、感想から伝わってきます。子ども達が、声をかけたりしながら、友達のように大切に水やりを頑張ってくれたというのは、本当に素敵ですね。
また、子ども達が書いてくれた感想をみると、しっかりと観察している子どもが多いのかなという印象を受けました。植物を大切にすることや、水を大切にすること、身の回りのものを大切にしていくということを、これからもぜひ続けていただければと思います。
ぜひ、またグリーンカーテンにも、他の活動にも挑戦してください！

富山県高岡市　カトリックエコクラブ
壁新聞のタイトル：グリーンカーテンでエコ　　　　16-05

カトリックエコクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
わー！みどりいろ に おれんじいろのゴーヤが9つ、9 にんのゴーヤがそろいましたね。
カトリックエコクラブのみなさん、グリーンカーテンをそだててくれてありがとう。なえを うえるところから まいにち の みずやりありがとう。かべしんぶん の しゃしんから、みんながいっしょうけんめい みずやり を しているようすがわかります。せなかをまるめておみずをこぼさないように、ちゃんとゴーヤにとどくように、きをつけながらやっているようすがわかって、とってもうれしくなりました。
みなさんのみずやりのおかげでぐんぐんそだって、あたらしくなった ようちえん のえんじゃ でのせいかつも、グリーンカーテンのちからでずいぶんすずしくすごすことができたようでよかったです。
ゴーヤのちからってすごいですね。たてものも、かべがみどりにつつまれて、みためにもなんだかすずしげだったんじゃないかなっておもいます。
9 つのゴーヤの え、いいなー。かたちといい、いろ ぐあい といい、よくかんさつできていていいですね。みなさんがゴーヤについておもっていることもよくわかりました。「すずしかった」「おおきくそだった」そして、「たのしかった」というかんそうもありました。まいにちのみずやりはきっとたいへんだったとおもうんだけど、たのしかった！とおもえるってほんとにすてきなことです。（はくしゅ！）らいねんもグリーンカーテンをぜひそだててください。そして、そだてることがこんなにすてきなことなんだっていう たいけんをいっぱいしてくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
みなさんはゴーヤをたべてみたんだよね。「にがかった」「おいしかった」ってかんそうにありました。
ところで、このオレンジいろのゴーヤはたべてみましたか？オレンジいろのゴーヤはきってみると、なかにたねがあって、そのたねのまわりがまっかになってとろとろしています。そのたねのまわりのあかくなっているところ、みためにはちょっと こわいかんじもしますが、さいきんはこれがおやつに だいへんしん したりしているみたいですよ。きかいがあったらたべてみてください。そしてかんそうをきかせてくださいね。

富山県高岡市　しょうとくエコレンジャー
壁新聞のタイトル：エコでニコニコ　ぼくらのたいせつな”いのち”と”ちきゅう”

しょうとくエコレンジャーズ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
しょうとくエコレンジャーの　みなさんは、あついひも　みずやりを　がんばったのですね。
はっぱが　いっぱい　しげって、とてもすてきな　みどりの　カーテンに　なりましたね。
おおきな　はっぱが　おひさまの　ひかりを　しっかり　さえぎる、だいせいこうの　カーテンです。
ゴーヤも　たくさん　しゅうかくできましたね！ちいさく　みのった　ゴーヤが、きゅうりよりも　おおきくなるって　すごいですね。
みんなで　そだてた　ゴーヤは、にがいけれど　おいしかったでしょうね。
「ありがとうカーテン」 みなさんの　ニコニコえがおの　えが、とてもステキです。
ゴーヤに　かかれた　ありがとうの　メッセージ、どれも　ステキです。
ゴーヤいがいにも　しょくぶつを　そだてて　みてくださいね。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
大きな葉っぱがしっかりと茂って、緑のカーテンとしての機能は十分ですね。写真から、とても上手に育てられたことが良く分かります。
また、ゴーヤを育てたり収穫をすることを通じて、子どもたち同士が、子どもと先生が、そして子どもと保護者のみなさんが、楽しんで関わってくださった様子がとても素敵だと思いました。
省エネ対策には、電力使用量が減るなど明確に削減効果がわかる対策と、あまりわからない対策とがあると思います。どちらも周りの人たちと楽しみながら取り組むことが大切だと思います。しょうとくエコレンジャーズのみなさんは良い雰囲気で活動されているのですね。
かべ新聞を見ながら、ゴーヤだけでなく、それ以外のエコについても話がはずんでいると素敵だなあなんてことを思いました。
これからも楽しく活動してくださいね！

石川県津幡町　あがたクリーンクラブ
壁新聞のタイトル：MISIA の森　～春夏秋冬～　　　17-01

あがたクリーンクラブ さんへ
師範から一言！

MISIA の森の一年を観察してみて、これだけ多くの植物や動物を見つけることができて凄いですね。そして、これだけ多くの命が見られる森の存在はとても大切なものです。これからも森の自然を守っていけると良いですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・
動物や植物を調べるにあたって、一年中見られるものや、特定の季節でしか見かけないものがあったかと思います。
今度は、季節によって変化をする動植物を調べてみて、変化する様子を記録してみると面白いかもしれません。
例えば、同じ種類のチョウでも、春と夏に出てくるものは大きさがちがったりします。季節によって見れる生き物たちの変化にも注目してみてください。

福井県あわら市　吉崎赤手ガニ環境調査隊
壁新聞のタイトル：ぼくらのまちには自然がいっぱい生きものいっぱい！　　　エコマーク賞　18-01

にこにこクラブ吉崎赤手ガニ調査隊 さんへ
師範から一言！

昨年に引き続き、活動内容もかべ新聞もしっかりしたもので感心しました。
一つひとつの活動が、「知る」「守る」「伝える」のどれに当てはまるか、よく考えて活動されていて、良いですね。楽しく活動することは大事ですが、どうしてその活動をするのか、つまり「ねらい」を意識して活動すると、とても充実したものになると思います。皆さんの活動はそれがよく伝わるので、他のクラブの参考にもなると思いますよ。
昨年度までは水質調査が中心の活動だったそうですが、今年度は生き物調査を始めたのですね。新しい切り口での活動は、また違った発見があったのではないでしょうか。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
かべ新聞を読んで不思議に思ったのは、③の活動で小さい鳥居を作ったことです。ごみ捨て禁止の看板と一緒に鳥居を作ったようですが、どうして鳥居なのかな？ちょっと詳しく知りたいなと思いました。また、昔に比べると少し環境が悪くなっているそうですが、具体的にはどんな風に悪くなっているのでしょうか？祖父母の方々に詳しく聴いてみて、今と比較するような調査ができると、地域の方々の関心を高めることにつながると思います。

山梨県甲府市　和泉エコクラブ
壁新聞のタイトル：美しい富士山を守ろう！　19-01

和泉エコクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――
富士山の世界文化遺産登録おめでとう。富士山は日本人が一番大好きな山で、日本一高く美しい山で、昔からそのすがたがたくさんの人にあいされてきました。また、たくさんの絵や本にえがかれ、かみさまの山としてしんじられてきました。そのような富士山がいつも近くで見られてうらやましいです。
1 年間のいろいろなエコ活動がきせつごとにわかりやすく書かれていて、すばらしいかべ新聞です。ごみひろい、エコキャップをあつめるなどの7しゅるいのエコ活動をまとめてくれてありがとう。いろいろなエコ活動にチャレンジできたことはスゴイ！そのほかに、くさとり、ごみひろい、なつとふゆの水しつちょうさや、そしていろいろなやさいのしゅうかくもしたんだね。写真がたくさんあるので、そのようすが手にとるようにはっきりとわかります。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
富士山は世界遺産になったので、たくさんの人が来て、ごみがふえたり、自然がこわされたりすると、せっかく世界遺産になった富士山の美しさがなくってしまいます。いつまでもたくさんの人たちにあいされる美しい山でいてほしいので、皆さんがやっているエコ活動の一つのごみひろいが富士山できたら最高だね。
かべ新聞の「ぼくたち　わたしたちにできること」の7しゅるいのエコ活動はとてもたいせつなことなので、ひとりでも多くのおともだちがエコ活動にさんかできるように、次回はその字をもっと大きく、めだつようにかいたほうがいいと思います。
酸性・アルカリ性の PH による水しつちょうさはもちろんのこと、ほかにも COD，水温、水のとうめいどなどによる水しつちょうさもあるので、次回はほかのちょうさにもチャレンジしてみよう。
にんげんやいきものにとって、水は一番たいせつなものなので、この水しつちょうさといっしょに、ちょうさしている湯川にどのような魚や虫などがどのくらいいたとかもしらべると、この湯川の水しつについてもっとべんきょうできると思います。皆さんのエコ活動を応援します。

長野県坂城町　村上小学校6年生
壁新聞のタイトル：美しいホタルのために地球のために　東洋ライス賞　20-01

村上小学校 6 年生 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
かべ新聞部門での特別賞・【東洋ライス賞】の受賞おめでとうございます。とても価値のある受賞ですね。毎日の努力が認められましたね。
「ホタルと地球のために」という大きい見出しがかべ新聞の読者の目を強く引きます。このように素晴らしいかべ新聞は見たことがなく、かんぺきです。
学校の校章であるホタルを守るために、平成 22 年から 4 年生の時から学校近くを流れる福沢川のホタルの数の調査をおこない、ホタルの生息を増やすために水質調査をおこない、きれいな福沢川を保っていこうと地域への協力を依頼したりすることによって、ホタルの生息数がかなり増えていったのですね。「ホタルのため」にという大きな目標に向かって、学校と地域の人たちがお互いに協力した結果だね。
こどもホタレンジャー環境大臣賞も受賞したのですね。おめでとうございます。また、地球温暖化と省エネのために、太陽光発電装置、自然エネルギーなどの学習も素晴らしいですね。皆さんのこのような活動を「多くの人に伝える」ことが本当に重要なことですね。
次回のかべ新聞が今から楽しみです！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
このような素晴らしい活動を通して経験した感動を年下の子どもたちやまわりの人たちにも引きついで、今後もぜひみんなで続けられるよう「多くの人に伝える」運動をして欲しいと思います。
皆さんも、せんぱいも、年下の子どもたちも、そして地域の人たちも、たくさんの「ホタル」サポーターでいっぱいになりますね。同時に環境をよくするためのエコ活動もぜひ続けていってください。

岐阜県山県市　高富中学校生物部（Gyobu）
壁新聞のタイトル：River　Watching　21-01

高富中学校生物部（Gyobu）さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーーー
こどもエコクラブのかべ新聞にはいろいろな新聞があります。多くはこどもエコクラブが 1 年間に活動したイベントをまとめたものです。ごみ拾い、リサイクル活動、稲作り、施設見学、野菜つくりと料理などいろいろです。
高富中学校生物部の新聞は、さすが生物部の活動紹介であり、専門的なレベルの高いというか、花、昆虫、魚、など名前をよく知っているなー、という立派な新聞です。
生物部が創設されて 1 年目ということで、メンバーの皆さんが張り切って調査したことを写真やイラストを通じて紹介してくれました。生物部にとって格好のフィールドである、鳥羽川を知ろうということで、鳥羽川に生息する花、魚、微生物、水生生物という切り口で実態、実情を把握する 1 年であったようです。
1 年間を通じて把握した生き物を丁寧に紹介してくれました。大変たくさんの生き物が鳥羽川には生息していることがわかりました。活動にニュース性があるということで新聞社やTV局の取材も受けました。皆さんが、一般の方にも鳥羽川の素晴らしさに気付き、守ってもらいたいとの考えを発信できた貴重な経験でした。
次回のかべ新聞がどのようになっているか、大変興味がありますし、面白い切り口、チャレンジングな切り口での活動がスタートしていることを期待しています。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
活動の写真も丁寧にたくさん掲載していただきました。但し、4 つのグループに分かれて活動したのですが、花、魚、微生物、水生生物を採取、観察、調べているという特徴的な写真がどれであるか、わかりません。皆、川に入って何かしているのはわかりますが、私たちは魚を観察、採取しているのですよ、私たちは微生物を採取しているのですよ、私たちは、花を観察しているのですよ、などといった特徴的な写真は難しいですかね？
水生生物のポスターと魚のポスターは、魚が重複しているので、2 年目からはどうしましょうか？
さて、2年目以降はどういう活動にするのでしょうか？生物部としての存在を発揮するのは、どのような活動をしたら良いでしょうか？生き物が好きな皆さん方、生徒が集まって、好きな生き物を見ていたい、飼ってみたいというフェーズは卒業して、次のフェーズは何をするのか、部員の皆さんで十分に議論してください。
皆さんは何をしたいのですか？鳥羽川を守りたい、守りたいとはどういうことですか？あるいは鳥羽川の生態系を解明して、鳥羽川の自然を守りたいという目標にすることもできるでしょう。生態系の実態を解明するとなると、4 つのグループの総合力を発揮することが必要でしょう。鳥羽川の生態系の中の食物連鎖を調べることも面白いテーマかと思います。
絶滅危惧種を見つけたから、これを守るのはどうしたら良いかをテーマにもできるでしょう。あるいは外来種もいたから、この問題を取り上げるのも良いでしょう。外来種がいると昔からの在来種による食物連鎖がどうなるのでしょうか？
今回のかべ新聞を見ていると皆さん方は実力と熱意と好奇心が溢れているようですから、単に毎年の生き物を写真に撮って紹介するだけでなく、生物部としてのテーマを決めて、必ずしも一つでなくてもよいですので、実態紹介と生物部としての見解、考え方などをまとめると良いのではないかと思います。期待しています。

岐阜県飛騨市　一般社団法人飛騨シューレ
壁新聞のタイトル：みんなのエコ新聞　21-02

飛騨シューレ さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーーー
みんながいっしょうけんめい、字を書いて、絵をかいて、おりがみ（？）いろがみ（？）をみんなで切って、はりつけて、とってもかわいくて、みんなのきもちがいっぱいつまっている新聞です。ありがとう！ありがとう！
おかた　こうたちゃんが、じょうずにだいこんをきりえでつくってくれました。そして、はっぱは、あまからくにこんで、かわはせんぎりにして、きんぴらにする、だいこんのみはにものにしたり、おろしたり、さらだにしてたべることができるよとかいてくれました。むだなところがない、ほんとうにえこなやさいだということがよくわかりました。こうたちゃんもおてつだいをして、だいこんをりょうりするのかな？
いぐち　つむぎちゃんは、みちばたのくさで、くりすますりーすをつくってくれました。
とってもじょうずなりーすをもって、つむぎちゃんがうれしそうにしているしゃしんがいいなー。さいしょにつるくさでわっかをつくるのかな？あかとしろのてーぷをまいて、すぎのはっぱをつけて、まんなかにおはなをつけてかんせいかな？いうのはかんたんですが、つくるのは、たいへんだったとおもいます。くりすますのときにおうちにかざって、けーきをたべたり、じゅーすをのんで、くりすますのうたをうたったのかな？
間せば　つばきちゃんは、6 月 2 日に田うえの体けんをしました。きかいをつかわないで、ひもにそって、手でなえをうえたのですね。まっすぐうえるのがむずかしいから、ひもでまっすぐにうえたのですね。一れつ　うえるのでもたいへんですね。のうかのひとは、たくさんうえなくてはいけません。とってもたいへんなしごとだとわかりましたね。まいにち　たべるごはんをのこさずたべることが、のうかのひとにはたいへんうれしいことだとわかりましたね。
6 月 30 日には山の中を歩きました。歩きながらまわりを見ると、いろいろなくさやはな、木もみえましたね。そして鳥のこえもきこえましたか？ほかの人とすれちがうときは、こんにちは！がんばって！とかいろんなこえもきこえたでしょう。つばきちゃんのウォーキングのくつをすけっちで書いてくれたのかな？
かわいいけだまがついていました。
柘植みゆちゃんとつげゆうとちゃんは、まきストーブがECOだよ！としょうかいしてくれました。つげちゃんのおうちでは、まきストーブをつかって、おじいちゃんがいらない木をもってきて、ねんりょうにするので、木を買うおかねがすくなくてよいし、大工ごやもきれいになるという、いいことがかさなるのですね！火をつけるちゃっ火ざいは、これもおじいちゃんの山の杉のかれはをつかうので、おかねのせつやくになります。りょうりをするのも、べんりです。にものやお湯もわきます。ピザやパンもやけます。電気をつかわなくてよいので、おかねのせつやくになります。せんたくものもよくかわくのだそうです。いいことづくめですね！ECOをじっこうするとおかねもせつやくできて、しぜんにもやさしくなることをつげちゃんはきがつきましたね。
すばらしいことにきがついたとおもいます。おかねがせつやくできて、おいしいものもたべられるので、おなかもいっぱいになります、うふっ！うふっ！

一般社団法人飛騨シューレ
壁新聞のタイトル：みんなのエコ新聞

サポーターの方へ★☆
こどもの目線で、こども自身が作った壁新聞の素晴らしさが溢れ出ている新聞です。ぜひ、このやり方を続けて頂き、こども自身が気がつき、そして行動に結びつけるようにして頂ければ、こどもエコクラブの目標に到達すると思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
だいこんやくしゃということばをきいたことがありますか？だいこんは、こうたちゃんがいうように、ぜんぶたべられるだけでなく、けんこうにもよい、おなかにもよいので、あたらない（たべものをたべて、おなかがいたくなったりすると、そのたべものにあたったといいます）といわれています。そこから、だいこんやくしゃということばができました。いっしょうけんめいえんぎをするけれど、おきゃくさんからは、じょうずなやくしゃにはみえないので、あたらないやくしゃのことをだいこんやくしゃといいます。だいこんにしたらへんなつかいかたをしているなーとおもっているかもしれませんね。
「みんなの川をまもろう」ということでぎゅうにゅうパックのうまいつかいかたをしょうかいしてくれました。のこったぎゅうにゅうやたべのこりをみずであらい、そのまま川にながすと、きれいな川がよごれて、さかながすめなくなります。きれいな、とうめいな水にするためには、きれいな水でうすめないとだめです。そこで、どうしたら川の水をよごさないようにできるのだろうか？そうだ！ぎゅうにゅうパックでたべのこりをふいて、よごれをのぞけばよいのだ！そのとおりです。よいことにきがつきましたね。おとうとやいもうともてつだってくれたとのこと、すばらしいやりかたですね。
よごれたぎゅうにゅうパックは、ごみとしてすてるのですね。もうちょっと、いいやりかたがあります。それはなにかというと、おさらについたたべのこりをパンでふきとるのです。
パンをたべるとごみはなにもでません。がいこくの人は、パンでスープなどをふきとってたべています。みんなもまねをしたらよいとおもいます。
わたしの家のエコ生活をこまかくしょうかいしてくれました。
おふろのみずで、せんたくをし、そうじをし、おはなにみずやりをします。
ごはんのさいごには、おちゃわんにお茶を入れて、ごはんをひとつぶものこさないようにする。
冬のさむいときは、ふくをたくさんきて、さむさなんて、へいきだよ！
つかわないへやの電気やみていないテレビはけすとエコになるよ！としょうかいしてくれました。
そのとおりですね！みんなのおうちでじっこうしているのですね。むずかしいことではありません。ちょっとちゅういしてみると、いがいにやれることがあります。こんなことをすこしずつ、まいにちつづけることがたいせつです。がんばらなくてよいです。やれることから、すこしずつじっこうすることがたいせつだとおもいます。

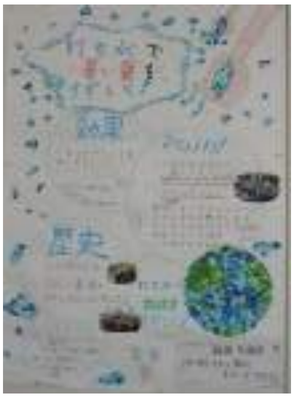
静岡県静岡市　清水イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：①ウミガメの旅流（ほうりゅう）　②海のエネルギー　③打ち水で暑い夏をすずしく　④人と自然のつながり　⑤未来の森新聞　　22-01～05　全 5 枚

イオン清水チアーズクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
色紙で縁取られた新聞は色彩的にもきれいで、読みやすい新聞に仕上がっています。写真も効果的に使われています。
特にウミガメの子と指がいっしょに写っているので、子ガメが小さいことがよく分かります。色紙でつくったカメもよくできているなあ、と感心しました。しっかりと観察しているからですね。
ウミガメのためにみんなでゴミ拾い。いいことをしましたね。実際に海に行ってゴミ拾いを体験することで、海をきれいにしようという気持ちが高まったと思います。ウミガメを守るために、注意してもらいたいことが書いてあるので、新聞を見た人たちにもきっと気持ちが伝わるでしょう。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
みんながゴミ拾いをして、どのくらいゴミが見つかったか知りたいなあ。そしてどんなゴミが多かったかな？ウミガメが砂浜でケガしてしまうようなものがあったら大変です。
産卵しているウミガメや産まれて間もないウミガメの子を見たことがありますか？見かけたらその様子を是非また新聞でも教えて下さい。いつまでもウミガメが産卵にくる自然豊かな海岸であることを願っています。
「たこ」とウミガメの話は違うことのようだけど、海は風のエネルギーによっても動かされています。ウミガメが暮らす海を動かしている風のエネルギーは目に見えませんよね。でも、モノが揺れていると風が吹いていることに気づきます。みんなは、たこを使って風のエネルギーを感じることができたんだと思いますよ。

イオン清水チアーズクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
海についてエネルギーとしての資源と、食糧としての資源という2つの切り口でまとめたのは着眼点がすばらしいです。
それぞれの資源についても、1 つ目、2 つ目…というようにポイントが絞ってあるので、まとめ方の構成としてレベルが高いですね。
イラストもとても効果的で、風と波と電気や船との関係がイメージとして分かりやすくなっています。
コンブをゆでた緑色の姿と海の茶色い姿が色紙で貼り付けてあっておもしろいです。読んでいて思わず、うなずいてしまいました。
みんなで約 100 袋もゴミを拾ったとは驚きです！ゴミを「捨てる」ではなく「落とす」という表現も気に入りました。きっとみんな落とさなくなるでしょう。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
海岸のゴミと、海のエネルギーや食りょう資源はどんなつながりがあるのかを考えてみてもおもしろいです。海岸のゴミが海の中に流れてしまうと、海が汚れて、住んでいる生きものが減って、おいしい食りょうが食べられなくなってしまうかも？！
ところで、コンブって長いよね。ラッコって知っているかな？ラッコは海に流されないようにジャイアントケルプというコンブを体に巻き付けることがあるけど、その長さは 20～50m とか！
何故、人は海にゴミを捨てるのでしょうね。エネルギーや食糧のめぐみを受けながら海と共生していることを、みんなのように体で感じることが大事だと思います。
海はとても大きなエネルギーをもっているけど、それをうまく利用するために研究が続けられているので、これからも注目していてください。

清水イオンチアーズクラブ

壁新聞のタイトル：①ウミガメの旅流（ほうりゅう）　②海のエネルギー　③打ち水で暑い夏をすずしく　④人と自然のつながり　⑤未来の森新聞



イオン清水チアーズクラブ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――

新聞全体から涼しさが伝わってきます！青けいとうの数種類の色紙をうまく散りばめて表現した打ち水と、緑けいとうも組み合わせて表現した地球のちぎり絵は眼をひきます。文字の色や丸みのある枠など、打ち水のイメージをよく考えてあり、デザイン性も高く感じられます。クイズも読む人の興味をひくいいアイデアです。
打ち水をしてみたい人にとって、打ち水を効果的にするためにも「Point」はとても役に立つと思います。何故朝夕にするのかなど、よく調べてありますね。打ち水をして 40℃が 36℃になるのを実際に体験したのかな？！みんなで打ち水をしている写真がはってあったので、どんなところで打ち水をしたのか知りたくなります。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
水は蒸発するときに熱エネルギーをうばうので、打ち水はその特ちょうを利用しています。それなので、気温が低い朝夕でも水は蒸発しますが、気温が高いときだと「すぐ」蒸発するので効果が出ないのです。
打ち水は江戸時代からの歴史があるとか。何故その後は打ち水がされなくなってきたのか考えてみましたか？冷房がなかった江戸時代は、暑さをしのぐ工夫のひとつとして打ち水がされていたのでしょう。冷房をがまんすることだけ考えてしまうと、熱中症が心配なので、ぜひ打ち水を取り入れたいものです。
打ち水は水資源を大切にするためにも、雨水や一度使った水を使うのが基本なので、「Point」でもっと強調してもいいと思いますよ。

イオン清水チアーズクラブ④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――

イモリやオタマジャクシがいっぱいいるなんて素晴らしい田んぼですね。お茶の手もみ、田植、草とりなど、自然に触れ合いながら、お米やお茶がテーブルに届くまでの苦労を知ることができて、とても良い体験をしたと思います。そんな体験をしたみんなの“自然に人の手入れが必要”という言葉は説得力がありますよ。
「人と自然のつながり」という大きなテーマを、森から生まれる水を出発点に里、町、ぼくたちの命のエネルギーまでの「自然のつながり」が、イラストや写真、色紙のちぎり絵を使って、分かりやすくまとめてあります。
この自然のつながりの中で体験したことから、すばらしい思いを感じてくれたと思います。是非豊かな自然がこれからも残るように、自然の良いところをまわりの人に伝えて下さい。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
この新聞から、みんなが五感を使って自然を楽しんだことが分かりました。お茶の「においをかいで」、生き物や土・草と「触れ合い」、美しい景色を「見て」、おそらく鳥の声や風の音なども「聞いた」かな。おいしいごはんも「味わった」ことでしょう。美しい景色だけでなく、そんな五感を通して心がやすらいでいるのですね。
「たいけんしたこと」には書いてないけど、写真を見ると木を切ったり運んだりしたのかな。木が密集して暗い森は、地面に日差しが届かないので植物も少なく土砂が流れでやすくなります。木を間引いて切ることで、日差しが地面に届くようになるよね？！少しずつ草や低い木などの植物も増えてくるよ。明るく元気になった森林は、土砂くずれを防ぐだけでなく、水を貯えたりキレイにしたりしてくれます。

清水イオンチアーズクラブ

壁新聞のタイトル：①ウミガメの旅流（ほうりゅう）　②海のエネルギー　③打ち水で暑い夏をすずしく　④人と自然のつながり　⑤未来の森新聞

イオン清水チアーズクラブ⑤の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
――――――――――――――――――――

新聞全体の内容構成がよく、写真や色紙のちぎり絵が分かりやすく配置されているので、読む人の興味をひきつけます。森のめぐみである「冬イチゴ」の何気ない話からも、森を楽しんでいるようすが伝わってきました。人工林のじゅんかんサイクルの絵では、“けんぜんな森林”に低い木と草の絵が描いてあり、見事です！！
皮むき間ばつとは、とてもおもしろい体験をしましたね！皮をむくときは、どのくらいの力で引っ張ればいいのかな？！自分たちが間ばつした森を 1 年後、2 年後と訪れると、森の変化を実感できるでしょう。マッチを使う機会が最近はないので、マッチ棒が折れたり、火が手につきそうでドキドキしたりしたのではないでしょうか。杉の葉や枝を使って、どうやったら火が消えないようにできるか体得できたかな。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・・
皮むき間ばつは、木を切る前に皮をたくさんはがす所が普通の間ばつとまったく違います。生きている木は重さの約半分が水なので、枯らしてから切った方が運ぶのが簡単です。日本の山は斜面が急なので、この「運ぶ」という作業が大変です。木の皮は虫がつきやすいので、たくさんむいておいた方が、つるつるピカピカのまま乾燥して、切った後にいい木材として利用できるわけです。
みんなが杉の葉や枝で火を起こしたように、昔の人は食糧としてのめぐみだけでなく、エネルギーとしても森を利用していました。そのような場所が「里山」です。落ち葉は畑の肥料としても利用していました。里山のような環境を是非大切にしてくださいね。

静岡県三島市　三島市環境探偵団

壁新聞のタイトル：①環境探偵団　1班　活動報告　②環境探偵団　2班　活動報告　③環境探偵団　3班　活動報告　④環境探偵団　4班　活動報告　　22-06～09、22-08 のみ横　全 4 枚

三島市　環境探偵団①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――
富士山の森は近くでは出会わないような生き物がいたり、どうくつがあったりと、雄大な自然の中でいくつもの驚きがあったようですね。世界遺産となった富士山のようすが伝わってきます。野生のシカに出会えたなんてラッキーとも思いますが、それだけシカが増えているのかな？！シカが木をかじっていることを、この新聞を見た人も知ってびっくりするかもしれませんよ。また発見があったら教えて下さい。
みんなが生活で使っている電気についても勉強したのですね。難しい話も多かったと思いますが、自然のエネルギーである風の力で電気を作ったり、太陽の熱の力で料理をしたり貴重な体験ができたと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
自転車をこいで電気をつけるのは予想以上に大変だったでしょう。普段乗っている自転車より、きっとペダルをこぐのが重かったはずです。自転車のタイヤをまわすことで電気エネルギーを作っているのだけど、電気を作る分だけ、みんながこぐエネルギーが余計に必要になっているんです。
活動内容と感想に書いてあることを、①活動内容と、②その活動によって発見したこと、分かったこと、③新聞を見る人に伝えたいこと、④感想に分けて書くといいですよ。また、新聞の記事をいくつかのグループ（例えば、シカの話と富士山でみた地形や風景の話）に分けてまとめると、もっと分かりやすいと思います。はってある写真もそれぞれ、何の写真なのか、教えて欲しいなあ。

三島市　環境探偵団②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――
"富士山のめぐみに触れよう"というフレーズは、読む人のきょうみをひくのでいいと思います。富士山の森の中を歩いている様子が実況中継のように伝わってきます。"富士山じゃないみたい"と思うほど、遠くからみる雪をかぶった富士山とのイメージが異なって、見渡す限り森だったのですね。富士山のきれいな"わき水"とともにミシマバイカモを見に行きたくなってきました。
自然エネルギー体験は多くのことをしましたね。たくさんの体験の中で、どれが一番心に残ったかな？！
自転車発電は、豆電球3つのうち１つつけるのも大変だったようですが、具体的に書いてくれたので、人のこぐエネルギーで発電する大変さがよく分かります。電気の作り方がいろいろあることを楽しく学べて良かったと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
記事を大きく2つ"富士山"と"自然エネルギー"に分けてタイトルをつけているので、富士山の話は全てまとめた方が分かりやすいと思います。活動内容として書いてあるネイチャーゲームはどんなことをして、地球温暖化の話はどんな注意点を教えてもらったのか知りたいなあ。新聞の下にまとめてはってある写真も、何の写真なのか分かるようにしてあると、もっとよくなりますよ。
"わき水"は地下を流れていた水が地面に出てきたものなので、それがきれいということは富士山の森によって作られた豊かな「土じょう」のおかげでもあります。「土じょう」は聞きなれない言葉かもしれませんが、かたい土と違って分解された落ち葉等も含まれていてフカフカです。森を歩いていて、フカフカに感じたかな。

三島市　環境探偵団③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――
富士山について 3 つ、エコセンターについて 3 つについての話がそれぞれ枠をつけて分けて書いてあり、内容にあった写真がはってあるので読みやすいです。
緑のカーテンでは色々な植物が使われますが、ナタマメもあるのですね！ゴーヤもそうですが、食べられるものだと育てるのも楽しくなります。自転車発電は大変だったようですが、電気をつくるのが大変なことが体験できて良かったと思います。雨で土が流されて根がむき出しになっていたり、たおれていた木がたくさんあったりしたのは元気な森なのか心配です…。たおれている木や落ち葉などは、みんながたくさん見かけた「キノコ」によって分解されていくのでしょうね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
せっかくたくさんの体験をしているので、初めて知る人にも分かりやすいように、説明がもっとあると親切ですね。例えば、緑のカーテンは何のためにするのかな？ツル植物がカーテンのように強い日差しをさえぎってくれて、室内の温度があがらないようにしてくれます。みんなに伝えたいことや自分たちがこれからしたいことがあったら、それも新聞に是非書いてください。
ソーラークッカーは太陽の力を使っていますが、太陽のエネルギーには光と熱があります。今回は太陽の熱を使ってジャガイモ料理をしたことになり、最近ニュースで耳にする太陽光発電は光を使っているんですよ。太陽の光エネルギーは植物が栄養をつくりだす（光合成といいます）ときにも必要で、地球は太陽からたくさんのエネルギーをもらっています。

三島市　環境探偵団④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――
記事の1つ1つに説明がついているので分かりやすく、写真も効果的に使われています。感想の中に体験を通して分かったことと、これからみんながどうするか（川がよごれないようにみんなで協力する）が書いてあって、まとまりもいいと思います。
源兵衛川に入っている写真がありますが、夏でもヒンヤリとした水だったのではないでしょうか？！「どぶ川」と言われていたのは知りませんでしたが、今ではトビケラやミシマバイカモが見られる環境に回復したのは、地域の人の熱い思いと協力があったのでしょう。環境がこわれるのは簡単ですが、回復するのはほんとに大変です。
様々なエネルギーについては難しいことも多かったと思いますが、体験することでエネルギーを大切にする気持ちが育ってくれればいいと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
内容が広いので新聞の名前を「自然・エコ新聞」に決めたのはいい発想だと思いますので、記事にサブタイトルがあると、もっと分かりやすくなりますよ。例えば、「富士山の自然」「エコな乗り物」「太陽でクッキング」といった感じです。あと、文字の色はとくに伝えたいキーワードだけ色を代えると、パッとみやすくなると思います。
"エコ"という言葉は最近では色々な言葉にくっついていますが、どんな意味があるのかな？かなり広い意味で使われているのですが、環境にやさしいモノや行動を表していることが多いです。今度エコという言葉をみたら、何が環境にやさしいのか是非考えてみてください。ソーラークッカーは筒の中に料理するものをいれたのかな？鏡のようなもので光を一か所に集めると、その場所がどんどんあたためられて、料理ができるほどの熱になるんですよ。

静岡県富士市　愛鷹アースレンジャー
壁新聞のタイトル：ハコネサンショウウオ　　22-28

愛鷹アースレンジャー さんへ
師範から一言！
――――――――――――――――――
赤渕川でのハコネサンショウウオの観察について詳しくレポートが書かれています。感想で、捕まえるのが大変なこと、どこにいるのか、触った感触なども書いてあり、みんなで一生懸命探している様子も伝わってきます。また、小さく冷たい水にいるサンショウウオを傷付けないような気配りもあっていいです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
年に1回毎年同じ時期に観察することは、その地域の自然や生き物を調べるためにも大変有効で大切な活動です。
新聞に、これまでの 5 年の調査について書かれていますね。サンショウウオの数は、このグラフからは、増えているのか減っているのかは読み取れませんが、地元の大人（専門家）はどのように考えておられるのかな？　身近にいる生き物を通じて、自分たちの住んでいるところの自然を守っていく気持ちがみんなの中に少しでも感じられたらいいですね。

静岡県富士市　原田湧水クラブ
壁新聞のタイトル：『もったいないぞめにチャレンジ』　　　22-10

原田湧水クラブ さんへ
師範から一言！

クラブ名の由来の説明がとってもすてきですね。富士山の裾野という素晴らしいフィールドがあるのがうらやましいな。 10 年以上活動のクラブなので、いろいろな活動ができているようです。
今回の新聞では玉ねぎ染めの報告がメインかな。「もったいない」染め、と言うネーミングいいですね。染めに使った後の玉ねぎの皮を堆肥化する徹底ぶりもいいと思いました。
玉ねぎ染めだけでなく、ドングリ染めもしていて、いろいろな植物で染め物ができることを体験できているのもすてきです。
とりわけ、面白いと思ったのはドングリ染めの感想の「カブトムシの好きな酸っぱい匂い」というところ。どんな匂いなんだろう、カブトムシの好きな匂いってどんなんだろう？と自分でも体験したくなります。 実際に染め物の作業のその場にいないと感じることができない体験ですね。これからも五感をいっぱい使って活動を続けて下さい。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
ドングリ染めに使うドングリの量はどのくらいいるのかな？ドングリの種類はどんなのかな？布は何を染めたのかな？ ばいせんは何を使ったのかな？
他のエコクラブのお友達が、「ドングリ染め、自分もやってみたい」と思った時に、どんな風に作るのか、その方法も詳しく書いてみるのもいいかも。

静岡県富士市　元吉原自然学校
壁新聞のタイトル：元っ子新聞　植物の楽園への道しるべ　　　22-18

元吉原自然学校 さんへ
師範から一言！

まず、元っ子新聞の「広告らん」に目がいきます。ナヨナヨワスレナグサ、何だそれ。答えを探しながら、新聞のそれぞれの記事を読んでいくと、浮島ヶ原自然公園でたくさんの絶滅危惧種の植物が見られることが分かります。タコノアシって、八本の花があるの？たこのような吸盤があるの？と実際見に行きたくなります。広告らんにあるように、詳しく知りたければ、公園に遊びに行くしかないようです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
私の方から「とっておきの」アドバイスはありません。今回のように、もっと詳しく知りたいと思わせるような書き方、そして、ぜひ行って自分で確かめなきゃ、と読者に思わせる新聞は、新聞としては大成功です。
私は、活動内容の「ソーラーソバ」もどんな活動なのか、とっても気になります。一度浮島ヶ原自然公園を訪ねて見たいなあ。次はどんな切り口で新聞をまとめてくれるのか、次号が楽しみです。

静岡県富士市　青葉台児童クラブ
壁新聞のタイトル：青葉台eco新聞　　　　22-25

青葉台児童クラブ さんへ
師範から一言！

非常に見やすい、素晴らしいかべ新聞です！！！普通の新聞と同じ感じですね。オドロキです。
★印の大きい見出しがあり、これだけでもこの新聞に何が書いてあるかの内容を想像できます。
環境マップがどのように作成され、それぞれの写真に説明が書かれていて、最後に全体の感想が書かれていることが一番重要ですね。
このかべ新聞を見たお友だちは、工場やビオトープに行ったふんいきになり、手に取るように理解できると思いますよ。
感想によれば、工場の中にはいろいろな生き物がいて、排水しょりもきちんとされていて、工場が環境にやさしい会社であることを自分たちで確認できたことがとても大切なことですね。また、クラブでのエコキャップ集めなどの３つの活動紹介もいっしょうけいめいにがんばっているようすがはっきりとわかります。次のかべ新聞を楽しみにしていますよ。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・
このように環境にやさしい工場が今までに工場排水の問題がなかったのか、問題があったとしたら、どのように解決したのか、また水の最終放流口、安全公園やビオトープで今までどのような生き物がいて、COD，水の汚れ具合、水温などの変化などによって、生き物がどのように変わっていったかを調査をするともっといいと思います。
この調査によって、環境の変化やその原因がわかり、今後どのようにしなければならないのかというヒントになるかもしれません。これをきっかけに、近くの川、湖、公園、森林などの皆さんのまわりの環境の調査にもチャレンジしてください。

静岡県富士市　岩北エコらぶ
壁新聞のタイトル：こんな事楽しかったよ　　　　22-22

岩北エコらぶ さんへ
師範から一言！

年間のたくさんの活動の中から、2つの活動について詳しく報告をする書き方は、クラブ全体の動きも分かるし、活動の一部についてはさらに詳しくわかるので、かべ新聞でのクラブ活動報告としては、いいスタイルですね。夜の観察会では、アカネズミやヒミズを観ようとかなりの時間待ったのに出会えなかったんですね。生きもの観察は、必ず出会える、とは限らないですので、出会えるまでまた挑戦してください。
岳南電車という地元の電車に乗ってのハイキングも、その土地でしかできない貴重な体験です。とりわけ、公共交通を使ってみんなで移動するのは、環境に配慮した活動になります。検札の印が、切符を買った駅で違うというような細かい違いも見つけられて、楽しそうです。「鉄道草」と呼ばれる植物があることも、私自身この新聞を読んで初めて知りました。これからもいろんな発見を教えてくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・
夜の観察会の様子が、もう少しよく分かればいいなあ。アカネズミやヒミズがどんな暮らしをしているのか等が書いてあると、なぜ夜に観察をするのか、その理由が分かるのですが。また、どのくらいの時間待ったのかなあ、そんな情報もあると、生きものと出会うことの大変さがもっと伝わってきたと思います。

静岡県富士市　ふじかわっこ！エコ遊び塾
壁新聞のタイトル：富士川っ子エコクラブ新聞　　　　22-23、24　全 2 枚

富士川っ子エコクラブ　①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
毎月の自然観察や農作業等の活動内容がよく分かります。
8 月の水生生物調査では、カニやはや、トビケラやカゲロウの幼虫が見つかったみたいですね。今回見つけた生き物から考えると、調査した川はきれいな水質のところみたいですね。みんなが住んでいる近くの川なのかな？　調べた生き物に点いてはたくさん感想があるけど、富士市に住んでいない人にも分かるようにしてくれるとさらにいいんだけど。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
富士川っ子クラブは、大きい学年の子がサポーターになって、小さな学年の子のお世話をする仕組みがあるのかな。兄弟以外の人のお世話を小さい頃からする経験は、きっと成長して大人になっても役に立つことまちがいなし。どんな風にサポートするのかとても気になります。その他にも、「じっくさん」がテレビに出たお話があるように、たくさんの大人の人が、みんなの活動を支えているのかな？　どんな人たちで活動をしているのか、そのことも今度はぜひ新聞で教えて下さいね。

富士川っ子エコクラブ　②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
この新聞のタイトルの中で、とっても気になる言葉が「モリッチ」。モリッチって何だ？と、まずその記事に目が行きます。そうか、クラブのリーダーさんが、モリッチと言う何かをいろいろなところに隠し、それを出来るだけたくさん見つけたチームが勝ち、と言うゲームのようですね。得点の高いゴールドモリッチもあるみたい。班活動をしながら、班の人が仲良くなる良い企画ですね。望月さんの作文で、あまりやる気のなかった望月さんが、モリッチのおかげで、学校とは違う環境の中での活動に参加して良かった、と書いてあります。「モリッチを探せ」を考えたリーダには大変うれしい感想でしょうね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
ネイチャークラフトの活動も楽しそうですね。オリジナルで楽しそうな作品がたくさん並んでいます。ドングリを使っているようですが、富士川っ子クラブさんの活動場所ではどんな種類のドングリが見つかるのでしょうか？クラフト作りをするとともに、木のことについて学んだと思うので、ぜひそのことも新聞に書いて知らせて下さいね。

静岡県富士市　ガールスカウト静岡県第 75 団
壁新聞のタイトル：ガールスカウト　エコキャンプ　　　　22-21

ガールスカウト静岡県第 75 団 さんへ
師範から一言！
――――――――――――――
夏休みのエコキャンプでの様子が大変よく分かる新聞ですね。調理道具に牛乳パックを使ったり、廃材でキャンドルを点けたり、火をおこしたり、環境のことも考えた、いろいろなエコアイディアの実践ができましたね。
竹で机を作るアイディアは「さすが」と思いましたね。作るのは大変だったようだけど、使い心地はどうだったのかな？

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
道しるべの作成にも、自然の素材を使っていて工夫しているなあ、と感心しました。この道しるべは、ウォークラリーか何か、キャンプの活動で使ったものなのかな？　「9 歩先に手紙がある」という記事がとっても気になりました。
どんな風にこの道しるべを活用したのか、もう少し説明があると、さらにキャンプでの様子が詳しく分かったのになあ。いずれにせよ、これからもエコキャンプ続けて下さいね。

静岡県富士市　吉小わんぱくエコクラブ
壁新聞のタイトル：吉小わんぱくエコ新聞　　　　22-11

吉小わんぱくエコクラブ さんへ
師範から一言！

生ごみ処理機の名前がダックス食ん太というのがかわいいですね。そして、ダックス食ん太を利用して生ゴミを分解して行く様子を土の温度差で調べるアイディアはとても新せんです。調べたあとに「人間と同じカロリーが高いものが好き」という感想もとても印しょう的です。
その他にも、「もったいないチャレンジ」の活動について、実際にお金がどのくらい節約でき、二酸化炭素もどのくらいの量が減らせるのか調べたのも、他の人に分かってもらうための良い情報です。これからも、毎日もったいないチャレンジ続けてね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
もったいないチャレンジには何家族の人が取組んだのかな？
みんなで取組んだ合計の結果なんかも書いてあると、吉小のみなさんが学校だけでなく、お家のみなさんと頑張っていることが、もっと伝わる新聞になるでしょう。

静岡県富士市　吉永自然探検隊
壁新聞のタイトル：ぼくたち吉永自然探検隊　　　　22-19

吉永自然探検隊 さんへ
師範から一言！

学校のビオトープ観察だけでなく、赤渕川でのハコネサンショウウオの観察、虫の観察など、1 年を通じて生きもの探検ができていますね。ハコネサンショウウオについては、初めて知りました。赤渕川の上流の穏やかな流れにいて、体の大きさが 10 ㎝位なんですね。数が「どんどん増えている」のかな？　増えているのは、みんなが保護活動とかしているからですか？　もっとハコネサンショウウオについて分かる情報がほしかったですね。
ビオトープについても、学校内のビオトープの写真が無いので、よくわからないのですが、120 種類もの植物について調べているのはびっくりしました。外来種の数も数えているんですね。自分たちの住む自然や環境は少しずつ変わります。これからも続けて観察してね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
植物博士が観察会を支えているのですね。その他に、地域の大人の方にはどんな「達人」がいるのかなあ？一緒に活動している大人の人レポートなんかもあると面白いかも。
また、ビオトープの植物についてどんな植物や木、生きものがいるのか、もう少し詳しく記事をかいてくれると、みなさんの活動場所がどんな自然なのかもう少し具体的に想像することが出来ると思います。今度はビオトープの観察についてだけにしぼってかべ新聞をつくるのもいいかもしれませんね。その時には、そのビオトープが出来たころと現在の様子が比かくしてあったりすると、ビオトープを学校で作った場合どのような生き物のすみかに変わっていくかが分かっていいと思います。

静岡県富士市　広見こどもパークレンジャー
壁新聞のタイトル：広見こどもパークレンジャー　活動内容紹介＆自作の和紙で感想発表＆ドングリ大集合　22-26、27
全２枚

広見パークレンジャー　①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
うきしまが原自然公園ではパークレンジャーとして「和紙（わし）」を作り、その「わし」にザリガニつりをしたこと、ドングリでこまを作ったこと、森の観察会をしたことなど、いろいろなかんそうを書いてくれてありがとう。
皆さんのかべ新聞から楽しかったことがよくわかりました。またいろいろなドングリの葉っぱや実も集めましたね。
お米が中国からくる前は、何千年も前のじょうもん時代の日本人は、うきしまが原自然公園にもあるマテバシイやスダジイのどんぐりの実をなまで食べたり、おじやにしたり、せんべいにしたりして、一番よく食べたそうです。
こんど、自然公園でどのような味がするか食べてみるといいね。日本一大きいと言われているホウノキの葉っぱがあったんだ。その大きい葉っぱでおめんのあそびができるんだよ。森や公園には自然の楽しみがたくさんあり、わくわくしたり、いろいろなことをはっけんしたり、たくさんのふしぎがあるので、これからもいろいろなたいけんをしよう。

とっておきのゴシドウ★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥
次回のかべ新聞ではこどもパークレンジャーがどんなことをやるのか、「わし」のことももっとくわしくおしえてほしいと思います。
また、ザリガニをどのようにしてつるのかをおしえてね。ドングリのことももっとしらべるとおもしろいと思います。
たとえば、ドングリのねっこはドングリの上から出るか下から出るでしょうか。そのねっこが森の中でどのようにそだっていくか、春になるとそのドングリはどのようになるかなどをかんさつしてみると、もっとドングリのふしぎをはっけんできると思います。次回のかべ新聞を楽しみにしています！

広見こどもパークレンジャー
壁新聞のタイトル：広見こどもパークレンジャー　活動内容紹介＆自作の和紙で感想発表＆ドングリ大集合

広見パークレンジャー　②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
出張パークレンジャーで浮島ヶ原自然公園に行ったんだね。そこでは春と秋の自然観察をしたり、夜のセミの羽化観察もしたり、和紙作りにも挑戦したんだね。
かべ新聞にはたくさんの写真があるので、それぞれのようすがはっきりわかります。キンランを発見したんだね。スゴイ！最近、キンランはぞうき林が少なくなり、林の雑草をからなくなったり、盗まれたりして、その数が少なくなっています。そこで環境省のレッドリスト（2007 年）では、キンランはぜつめつきぐしゅ（生き物の種などがほろんでしまうこと。）にされている珍しい草花ですよ。
草ぶえはどのような葉っぱを使ったのかな。どんな音が出たのかな。音が出るまでは難しく息が苦しくならなかったかな。最初は音が出るまではむずかしいよね。
ドングリこま大会ではみんな真剣にやって、大人に負けないで、子どもが優勝したことは、すばらしい結果でしたね。

とっておきのゴシドウ★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥‥★‥‥
浮島ヶ原自然公園のぜつめつきぐしゅのキンランを大切に守ってあげてください。どのように守っていくかは自然公園を管理している人にそうだんしてください。
今では１年間になんと４万種以上の世界の生き物がぜつめつしていると言われています。そしてこのスピードはどんどんはやまっているそうです。これ以上ぜつめつしないように、皆さんで知恵を出して、いろいろなくふうを考えるといいね。自然観察では、いろいろな生き物のふしぎ、発見、おどろき、かんどうがありますので、春と秋の自然観察でいろいろなたいけんができるといいね。ドングリでは、やじろうべい、ふえ、人形などの工作でも遊べますよ。また、草ぶえの音が出るようになったら、次にメロディがえんそうできるようになれば、かんぺきだね。次のかべ新聞では、どのようなたいけんができたかその記事を楽しみにしています！

静岡県富士市　伝法児童クラブ
壁新聞のタイトル：①⑥ワクワク紙ワールド　②③牛乳パックのへんしん　④⑤紙で役立つおもちゃを作ろう　22-12～17
①を推薦　全 6 枚　H26：クラブ名変更

伝法太陽キッズ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――
なぜ、テーマに「紙」を選んだのか、その理由が自分たちの住んでいる産業と関係している、という「はじめに」がちゃんと書いてあるのがいいですね。そして、いらない紙をつかって、本当にいろいろなものを工夫して作ることができました。なかなかリサイクルしにくい紙バンドでの工作もたのしそう。新聞のタイトルもいろいろな紙で作られていて、この新聞そのものが今回の活動の作品と言えますね。
新聞から全体の活動が分かり、さらにそれぞれの活動の詳細が分かるので新聞としても読みやすいし、構成もいいですね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
かべ新聞 1 枚の中に伝えたいことを全部のせるのは難しいかもしれないけれど、エコカレンダーの中身ももっと詳しく知りたかったなあ。作品を作った後は、自分で使ったのかな？　誰かにプレゼントしたのかな？　作品を使った後の活用方法も書いてあると、ごみが生き返った意味がもっと読んでる人に伝わると思います。
さらに、みんなの日常生活で、紙製品がどんなふうに生まれ変わっているのか、今後調べてまた新聞で紹介してくださいね。

伝法太陽キッズ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――
「牛乳パックの紙すき」をテーマに各グループで紙作りに挑戦したようすがよく分かります。何度も試して 3 回目できれいな押し花入り紙を作ったグループや、いろいろな形の紙を作ったグループも、最初の作品でうまく行かなかった失敗を2回目以降の紙作りの工夫へとつなげることができましたね。紙皿のような立体的な作品もできてよかったです。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
作った作品はどのように使ったのでしょうか？　手作りはがきで家族や友人にお手紙だしたのかな？　いろいろな形の紙も、プレゼントなんかに使ったのかな？　リサイクルなどで作品を作る時は、作ったあとの作品をどのように使うのか、そこまで考えて作ってみてね。
もし今回も作った後利用したのであれば、そのことも新聞で伝えてくれるといいなあ。
それから、牛乳パックが私たちの生活の中で、どんなものに生まれ変わって使われているのか、そんなことも一緒に調べて報告してくれると、今回の作品作りの大切さがもっと伝わると思います。

伝法児童クラブ
壁新聞のタイトル：①⑥ワクワク紙ワールド　②③牛乳パックのへんしん　④⑤紙で役立つおもちゃを作ろう

伝法太陽キッズ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――
このグループも「牛乳パックの紙すき」にテーマに各グループで紙作りに挑戦したようすがよく分かります。うすい紙、色のついた紙、匂いのする紙、そして大きい紙、それぞれ違う性質の紙をつくることにがんばりましたね。とりわけ、匂いのする紙づくりはたのしそう。コーヒーの粉は絶対使わない方が良いとか、リンスの使い方とか、自分で作ってみるときの参考になります。
色のついた紙作りにチャレンジしたグループは、花紙を利用して色づけをするアイディアを教えてくれたり、乾かす時の注意点なども教えてくれて、とても勉強になりますね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
大きい紙作りのグループは、紙を破らず、大きな紙がすけてよかったです。
「パルプのえきを多く使った」と書いてありますが、1 枚の紙を作るのに、牛乳パック何枚分の材料が必要だったのか気になります。そして、作った大きい紙で絵など書いたのかな。その辺も教えてくれると、さらに面白い新聞になったと思います。

伝法太陽キッズ④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――
このグループは赤ちゃんから大人まで喜ぶようなおもちゃを紙で作ることにチャレンジしたんですね。赤ちゃんがよろこぶ音の出るおもちゃにきょうみがとってもわきます。音が出るボールはぜひ実物を手に取って、どんな音がするのか試してみたいなあ。また、なかなか再利用しにくいトイレットペーパーの芯を、転がして音が出るおもちゃに変身させたアイディアはすてきです。それから、動くおもちゃも楽しそう。ぴょんぴょんウサギなど、ぜひ遊んで動かしてみたいなあと思いました。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
お金をかけずに作って遊べるおもちゃの数々。ぜひ、たくさんの種類のおもちゃを作って、学校でお祭りをしてほしいなあ。また、赤ちゃんがよろこぶおもちゃは、本当に赤ちゃんがよろこんだかどうか、実際に試してみて結果を新聞に報告してね。それぞれのグループでの報告や感想だけでなく、クラス全体での取組みについての意見なんかも書いてあるとさらによかったかな。これからも、活動がんばってね。

伝法児童クラブ
壁新聞のタイトル：①⑥ワクワク紙ワールド　②③牛乳パックのへんしん　④⑤紙で役立つおもちゃを作ろう

伝法太陽キッズ⑤の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
このグループは富士市をもり上げるために、富士市の大事な産業である紙を使っておもちゃを作ることにチャレンジしたのですね。その目的が新聞にしっかり書かれているのがいいですね。それに、紙のおもちゃを 6 しゅるいも考えたなんてすごい！それぞれの形など、自分たちで思いついたのかな？何か本なんかで調べたのかな。とりわけ、紙の笛についての感想は、お金がいらない、こわれても何度でも作れる、というのがいいなあ。また、完成したおもちゃが、どんなことに役に立つのかみんなで考えたところも、大事なことです。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
せっかくいろいろな紙のおもちゃを作ったようなので、低学年の人に教えてあげて、みんながどう思うかその感想も聞いて、新聞で教えてくれるといいなあと思いました。どんなおもちゃが一番人気があるのか、知りたいです。さらに、人気のおもちゃを他のお友だちに紹介して、そのおもちゃで遊んでもらうことで、今回の活動目的の「富士市をもり上げる」ことにつながるんじゃないかな？

伝法太陽キッズ⑥の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
このグループは段ボールの利用方法をいろいろみんなで考えたようですね。どんなものを作るのかみんなで作戦会議をしたり、うまくいかないところを、いろいろな工夫を考えて直してみたり、グループで一緒にひとつのものを作ることの楽しさ、大切さも感じたのではないでしょうか？
ダンボールハウスづくりやダンボールベット、ダンボール机など、生活に使えそうなものを作ることができました。それもダンボールのいいところをうまく使って作ったのがいいです。ひとつだけ、ダンボールブックに書いた内容があまりよく分からないのが残念でした。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
ダンボール作品を他のクラスメートや家族に見せたり、意見を聞いたりしましたか？
みんなの知恵を他の人にも伝えることで、実際の生活に役立つことがでてくるかもしれません。「ひなん所で使えそう」と言う感想が書いてありましたが、災害など何かあった時に、今回の学習が役に立つかもしれません。
最後に、もうひとつ。ダンボールを作っている会社のお話はとっても大事なお話なので、他の人にぜひ教えてあげて下さいね。

静岡県牧之原市　まきのはら水辺の楽校
壁新聞のタイトル：水辺の楽校壁新聞　　22-29

まきのはら水辺の楽校 さんへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
まきのはら水辺の楽校の平成 25 年度の活動は、田んぼの活動とホタルのほご、そして釣り体験ですね。写真をじょうずに使って、みんなの活動をかべ新聞にまとめてくれました。みんなが協力してお米づくりやホタルのほごにちょうせんしました。魚釣りはみんなもキスやクロダイ、ジンダベラなどを釣って楽しんだのですね。
今年もみんなの田んぼのいねは、いのししに食べられてしまったようですね。残念ですね。
農家の人は、どうやっていのししに食べられないようにしているのかな？来年こそはいのししに食べられないように、いのししをふせぐことをして、お米がたくさん取れるようにしたいですね！
いねのお米のみをとった残りのほのところは、しめなわを作ることに使えます。ほをくさらせてたいひにすることもできます。いねって全部、役に立つのですね。
ホタルのほごの活動もしました。ホタルを見ることはできましたか？ホタルのえさやホタルの幼虫をアメリカザリガニは食べてしまうのですか？アメリカザリガニは、はさむツメを大きくふりまわすので、こどもたちには人気ものですが、ほかの生き物にはたいへんめいわくな生き物です。昭和の初めにウシガエルのエサ用としてアメリカからもちこまれましたが、その後、日本全国にひろまって、日本にむかしからいた生き物を食べたりして、今は悪ものになっています。

まきのはら水辺の楽校
壁新聞のタイトル：水辺の楽校壁新聞

釣りは楽しいですね。私も釣りはだいすきです。魚がえさに食いついて、グッ、あるいはブルブルとひっぱるしゅんかんが、なんともいえず気持ちが良いですね。クロダイも釣ったお友だちがいるようで、楽しいそしてすごい釣り場ですね。
海の活動としてしおひがりもしたようですね。ハマグリが取れたようです。ハマグリはおすいものにしても、やいてもおいしい貝です。私もいっしょにしおひがりでハマグリを取りたかったなー。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
みんなが毎日食べているお米のごはんができるまで、どんなに大変な仕事があるか分かりましたね。さいしょは土づくりです。どんな土でもよいわけではありま せん。やはり、お米がたくさんなるためには、栄養ほうふな土がひつようです。落ち葉たいひを混ぜて土を作ります。代かきもしました。たんぼにうえる苗もつ くりました。そしてドロドロの田んぼに入って、田植えをしました。さいしょは気持ちわるいと感じますが、どろどろがおもしろくなってきたようですね。秋の いねかりまでは、雑草を取ったり、水のふかさにも気をつける仕事があります。ようやく秋になっていねかりをして、サバかけして干して、だっこく、もみのせ んべつをして、からをとって、お米になります。１年間をとおして農家の人は、こんなにたくさんの仕事をしています。当たり前にお米が食べられるのではあり ませんね。農家の人にかんしゃして食べようね。ひとつぶも残さず食べましょう。
かんそう文を読むと、代表のお友だちが北海道に行って、クラブの活動を発表してきたようですね。飛行機にのるめずらしいけいけんをして、どきどきする発表 をして、遠くのお友だちとなかよくなったなど、たくさんきちょうなけいけんをしたようですね。この次は、ほかのお友だちが代表になって発表できるように、 すばらしい活動をしてください。
☆★サポーターの方へ★☆
田んぼの活動のように１年間をとおして、いろいろな体験、活動ができるのはいいですね。もちろん、こどもたちには全ての活動に参加させることが必要ですが。
肉体的な活動をすると共に調べ学習を入れて、さらに楽しい田んぼ活動にすることもどうでしょうか？例えば夏場の田んぼの生物調査では、どんな生き物がどのくらいいるかを調べるとか、稲刈りをして１本の稲に何粒のお米がなっているかを調べるとか、等はどうでしょうか？猪に食べられてしまったようですが、来年はぜひ、猪被害に遭わないように対策をお願いします。

愛知県名古屋市　みやねクラブ
壁新聞のタイトル：「香流川だより」「Beautyful　River 香流川」「香流川だよ、全員集合」「香流川丸わかり新聞」「宮根の宝香流川」「こちら香流川研究所」「香流川新聞」「環境新聞」「かんきょう新聞」「環境エコ新聞」「香流川自然新聞」「香流川新聞」「香流川新聞」　　23-02　全 12 枚　香流川丸わかり新聞が推薦

みやねクラブ さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
みやねクラブのみなさん、こんにちは！
一面にたくさん文字がつまったかべ新聞、ほんものの新聞のように見えました。素晴らしいかべ新聞をありがとう。
文字のかたちや大きさが違うので、みんなで手分けしてこの新聞を作ったことがよく分かりました。かべ新聞のタイトルを何にするか意見が分かれたみたいですね。でも、新聞を読むと香流川のようすやみんなの活動がよく分かりました。6つの部分に分かれていますが、順番に読んでいくと、協力してくれた「名古屋水辺研究会」のこと、研究会の人と香流川に行き、教わりながら水辺の生き物をとって調べたこと、「スジシマドジョウ」というぜつめつきぐ種がいること、香流川にはいまでもたくさんの生き物がいるけど昔はもっとたくさんいたこと、外来種のブルーギルをつかまえてしょぶんしたいこと、昔のきれいな川にもどす活動にみんなが何をすればよいかを考えて、4つのことをきめたことがわかりやすく書かれていると思いました。
写真やかわいらしい魚やかにの絵が記事に合わせてじょうずに配置されていて、文字だけではできない興味を持たせる効果が出ていると思います。
9月、10月2回の生き物しらべでずいぶんたくさんの生き物が見つかりましたね。9月が21種、10月が28種です。香流川にはいろんな生き物が生きていけるかんきょうがあるのですね。そして、その川や自然をきれいに、ゆたかにすることを考えはじめたことは、すばらしいことです。ぜひ、そのことを次のかべ新聞に書いてください。みんながこの活動をつうじて知ったこと（水辺研究会のように、川をきれいにしようとがんばっている人がいること、きけんな外来種のこと、香流川にたくさんの生き物がいたこと、川を汚してはいけないこと）をほかのみんなにつたえてください。
とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
スジシマドジョウは、香流川にしかいない生物だそうですが、「次の学年にバトンをわたせたなと思いました」のことばが、みんなの生き物をたいせつにする気持ちがよく表れていると思いました。採餌（動物がえさをとって食べること）のことが書かれていますが、じっさいに見ることができましたか？ブルーギルのよ うな外来種は、一度広がるとたいじするのがたいへんです。なぜ外来種が日本の川や湖にいるのか、考えてみてください。
☆★サポーターの方へ★☆
充実した内容のかべ新聞をありがとうございます。記事も児童の活動したことや感じたことが、素直に書かれていると思いました。新聞の構成や、配色、写真やイラストの使い方も工夫されていて、たいへん楽しい新聞になっています。「みやねクラブ」60人は、学年ごとに分かれて活動しているのでしょうか？上下の学年のつながりを推測させる記述もあり、良いコミュニケーションが受け継がれているように思いました。
香流川の現状に気づいて、環境破壊を防ぐための話し合いが行われたこと、香流川への恩返しに自分たちができることを次のテーマとして「身近なことからアクション」を考えていることも、よいサポートと思います。ぜひ、子どもたちの思いを実現させるように、ご指導をお願いします。「身近なアクション」についてのかべ新聞をお待ちしています。

愛知県半田市　半田こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：ふしぎ　ふれあい　新聞　　23-03

半田こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――
半田こどもエコクラブのみなさん、こんにちは！
みなさんのクラブは、もう10年以上続いていますね。クラブのメンバーは、どんな人たちかな？師範は、少し迷いました。親子で自然を体験するクラブで、リーダーは高校2年生。かべ新聞つくりの写真を見ると、小学生とおとうさん、おかあさんですし・・・。
38名ひく22名（サポーター：主にご両親）ひく2名（高2リーダー）は14名（主に小学生）、違いますか？この14名が「ふしぎふれあい新聞」を作ったと思いました。
活動や見つけたものの写真、みずべの生き物のじょうずなイラスト、せみやカブトムシのおりがみなどをとりまぜて、色使いにも工夫されて、きれいな新聞になりました。
デイキャンプはどこでやりましたか？川の近くですか？川にエイがいたのは、驚きですね。
でも、海に近いところでしょうから、迷い込んだのかな？みんなの元気いっぱいの活動が伝わってくる新聞になっています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
ずいぶんいろんな活動をしていますね。海の生き物の観察2回、食物採集3回、自然のめぐみを食べていますね。七草がゆ、えびのてんぷら、シジミの味噌汁、 サポーターの人が料理してくれるのかな。「海」「川」「山」と広く活動しています。短いですが、感想が書いてあるので、楽しそうなようすがわかります。できれば、いつ、どこで活動したか書いてくれるともっとよく分かると思います。「トビハゼの放流」は、初めて聞きました。稚魚をどのようにして手に入れるのですか。放流する川が、くさくて、汚いのは心配ですね。ゴミをとってきれいにしてから放流したのは、すばらしいことですね。トビハゼも喜んだことでしょう。でも、だれが川を汚すのか、みんなで話しあってみてはどうでしょうか。
マザーレイクフォーラムに参加して、何をしましたか？何を感じましたか？その辺をもう少し書いてほしかったです。
☆★サポーターの方へ★☆
上に書いたことは、メンバー構成を推測して書きました。
ずいぶんあちこちへ出かけて、自然を観察していますね。参加された子どもたちは楽しいでしょうね。食べ物つきですし。
かべ新聞の記事を書くときに、場所と月日を入れることをご指導ください。自然は季節によって変化するので、季節が分かるようにするとよいでしょう。
行政とも協力されて、自然を通じたESDを勧めておられることに感心しました。活動内容を会員が話し合って決めるそうですが、こどもたち（たぶん小学生）の意見も取り入れられていると思いますが、子ども目線の活動も良いと思います。次の新聞をお待ちしています。

愛知県春日井市　上条小こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：1年間のあしあと（生き物マップ）　　23-04①　23-05②（②が推薦）全2枚

上条小こどもエコクラブ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
たくさんの生き物を見つけることができてすごいですね。
それぞれ種類ごとに分けて、よくまとめられていると思います。
生き物たちも手作りで、一つ一つとくちょうをつかんでいます。
とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
どういった場所に、どんな生き物が、どれだけいたかということをまとめてみましょう。
調査を続けていく事で、その生き物が年々増えている、へっているなどの詳細も分かるようになります。
学校の周りにこれだけの生き物がいることは、とてもすばらしい事です。
これらの生き物がいなくならないように、これからも活動を続けてくださいね。

上条小こどもエコクラブ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
スゴロク形式で活動を紹介するアイデアは面白いと思います。
写真の様子から、皆さんが楽しく学んでいる様子が伺えますね。
個人的に、モモスビーが面白かったです(^^)
とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
大きなゴミを拾っての川のそうじ、おつかれさまでした。
新聞のマンガのように、川へゴミを捨てることは、生き物がいなくなってしまうことなどの、大きな問題となります。
クリーン作戦をすることは、たくさんの生き物を守ることにつながります。
これからもこのすばらしい活動を続けていけると良いですね。

愛知県豊田市　ゴーウィングス
壁新聞のタイトル：ESD 新聞　　　　23-01

ゴーウィングス さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――――
ゴーウィングスのみなさん、こんにちは！クラブの名前のいみはなんですか？みんなの活動を写真で表して、かんたんな説明がありました。分かりやすい、楽しいかべ新聞をありがとう。わずか2名だけれど、ずいぶんたくさんの活動をしましたね。サポーターの方といっしょですか？9カ月の間にこんなにいろいろなところに出かけて、体験しました。
みんなの活動をかぞえてみました。生き物とのふれあいが7回、料理作りと食べ物体験が　7回、イベント・セミナー参加が8回でした。それぞれの内容もバラエティに富んでいますね。いろんなことを知ることができましたね。
新聞の上半分は、おおきな「チャップマンシマウマ」の絵が描いてあり、シマウマのとくちょうが示されています。どうぶつえんで見ましたか？とてもよく描けています。やさしい顔がいんしょうてきです。みんなのどうぶつ好きが表れています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
へびを抱いたとき、どのように感じましたか？恐くありませんでしたか？へびはひんやりしていたでしょう？なぜでしょう？アサギマダラが自宅に来てくれて、何を考えましたか？できれば、体験したときに気づいたこと、感じたことを短くてよいから、書いてみてください。
ソーセージ、バウムクーヘン、名古屋コーチンはやきとりかな？アフリカの料理は材料に何を使うのですか、むつかしかったこと、くふうしたこと、などもみんな知りたいと思いますよ。
ESDの取り組みで、いろいろなイベントに参加しましたね。どのイベントが面白かったでしょうか。それも書いてほしいです。
☆★サポーターの方へ★☆
短期間にたくさんの活動をされたことに、驚きました。こどもたちが体験した分野もずいぶん幅広いです。小学4年生は、環境教育を始めるちょうど良い年齢でしょう。それぞれの活動で、こどもたちがどのように取り組んだかが、新聞からは必ずしも伝わってきません。知識を身につけることも大切ですが、子どもたちに気づかせることを考えてみて欲しいのです。それぞれの活動・イベントで、こどもたちが感じたことを書かせてみてはいかがでしょうか。また、ひとつ提案ですが、活動全部を載せるのではなく、いくつが重点を絞って記事にすることを考えてみても良いのではないでしょうか。そうすれば、こどもたちが活動で何をつかんだか書けると考えます。
ESDの会議が開かれる地元として、張り切って活動されたと推察いたします。今後も子どもたちが環境に対する気づきができるよう、サポートをお願いします。

愛知県豊明市　豊明エコキッズ
壁新聞のタイトル：エコキッズ2013　　　　23-06

豊明エコキッズ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――――――
豊明エコキッズのみなさん、こんにちは！
ピザと豚汁用野菜作りと水質パトロールのようすが、うまくまとめられていて、みなさんの活動がよくわかる良いかべ新聞になっています。活動の写真、とても上手なイラストをうまく配置して、説明も簡潔にまとめてあります。半年間、よくがんばりましたね。水質パトロールでは、最優秀賞を獲得したのですね。おめでとうございます。おいしい野菜ピザができたようですね。野外で調理するのは、キッチンのようにはいきませんね。写真からは、楽しそうな様子がわかりました。
豚汁と竹パン作りもいいですね。愛知県は伝統的なみそがあるので、おいしいでしょう。竹はベンチを作ったり、パンも作れるんだね。竹林が近くにあるのかな。
浄水場やクリーンセンター、新エネルギー館の見学と幅広く環境を考える機会を持てたと思います。私たちの生活を支えてくれている現場を見て、何か感じましたか。みなさんが体験を通じて気づいたこと、考えたこと、話し合ったことが、日頃の生活や行動に生かされることを期待しています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
野菜作りは、楽しかったですか？畑はどこにありますか？夏野菜は、水やりや雑草、虫など手入れがたいへんですね。みんな苦労します。肥料のやり方などは、自分で調べたのですか？工夫したりしたことも書いてくれると良かったと思います。
皆瀬川の水質調査は、生き物調査と同じときにしましたか？結果を見ると、A、B地点ともあまりきれいではありませんね。河川の生活環境基準値をオーバーし　ています。何が原因かみんなで話しあってみるのも良いでしょう。ポスターに書かれていることは読み取れませんが、川の水をきれいにするためのことが書いて　あるのでしょう。上手なイラストでしめした魚などの生き物は、皆瀬川で見つけたものですか？いまでもいろいろな生き物がいますね。ゴミ拾いもやったのです　ね。どんなゴミが多かったですか？川がだんだんきれいになっていくといいですね。

☆★サポーターの方へ★☆
地域ぐるみの活動が、すばらしいですね。野菜作りや、収穫物を使ったピザつくりなど子どもたちも楽しい、良い体験をしたことと思います。
上にも書きましたが、夏野菜のつらいところは水やり、雑草とり、虫よけにあると思います。たぶん無農薬栽培と思いますが、一般の人が知りたいと思う野菜作りの情報を新聞に書いてくれると良かったと思います。
社会見学も、水を中心につながりのある企画で良かったですね。
水質調査では、最優秀賞に選ばれた理由はどこにあったのでしょうか？みなさんのご苦労や工夫したことにすこし触れて頂くと印象が違うと思います。
もう10年になるこの活動を、これからも続けて頂きたいと思います。次のかべ新聞をお待ちしています。

愛知県あま市　きだエコクラブ
壁新聞のタイトル：リサイクル工作新聞　　　　23-07

きだエコクラブ さんへ
師範から一言！

立体工作が上手くできて良かったですね。
紙の色も利用して、上手く再現出来ていると思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・
　小川の生き物が2000年にはたくさんいたようですが、2013年にはカエルしかいなかったようですね。
この13年で他の生き物たちはどうしていなくなったのでしょう？
そういった原因を調べてみるのも、勉強になるかと思います。
もしかしたら、昔のように生き物たちが戻って来るかもしれませんよ。

三重県四日市市　四日市尾平イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：エネルギー　　　　24-03

イオンチアーズクラブ四日市尾平 さんへ
師範から一言！

「地球温暖化」や年代ごとの家電製品の「エネルギー」の使い方の変化について、大きな字で非常に分かりやすく説明されている素晴らしいかべ新聞です。
「地球温暖化って」と「どうして地球は温暖化するの？」の意味がきちんと整理されて書かれていて、「地球温暖化」のことがこの記事を読めばだれでもかんたんに理解きますね。
また、年代ごとに、身近な家電製品の「エネルギー」の使い方が一目で分かるように書かれた記事で、さらに家電製品の移り変わりもよく分かりますね。
みなさんのかべ新聞は読者へのやさしい思いやりをもって書かれていますね。
「地球温暖化」と「エネルギー」は地球に住んでいる私たちにとって一番身近な、大切な環境やエネルギーしげんに関する問題です。みなさんのエコ活動のサポーターとして応援しています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
「地球温暖化」と「エネルギー」に関して、「わたしたちにもできることはたくさんあるんだ！」とかべ新聞に書かれています。
そうなんです！小学生でも大人でもできることはいっぱいありますよね。私たちがこの大切な地球を守っていくため、すべての人が一人、一つずつでも、エコ活動ができれば、最高ですね。
「わたしたちにもできることはたくさんあるんだ！」は非常に重要なキャッチフレーズですので、もっと大きな字で書いてもよかったかな。皆さんの地域でどのような活動をしたか、結果はどうだったか、そしてこの活動は永く続けていかなければなりませんので、かべ新聞でもっと積極的にアピールしてはいかがでしょうか。

三重県四日市市　海蔵しぜんクラブ
壁新聞のタイトル：①海蔵川生物調査　②おとまりキャンプ　　24-01，02　①が推薦

海蔵しぜんクラブ　①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

みなさんのかべ新聞から海蔵川にいろいろな生き物がいることが写真や絵からはっきりとわかります。
この生き物調査がどのようなじゅんばんでおこなわれたのか写真つきでせつめいされているので、よくりかいできますね。
すばらしい生き物調査ありがとう。これだけおおくのしゅるいの生き物をつかまえて、名前もきちんと調べて、かんさつしてから、川にもどしてあげたことは、さらにとても大切なことですね。
最後にはかならずとらえた生き物を川にもどすことは、ぜひこれからもつづけてくださいね。
海蔵川にすてられていたゴミひろいもやったんだね。これはスゴイ！最後の勉強会では皆さんでどのようなことをはなしあったのかな。生き物調査でわかったことを皆さんいっしょにはなしあうことは、とてもじゅうようなことですね。また皆さんの感想から、その時の楽しかったようすがいきいきとつたわりますよ。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
海蔵川でのこのような生き物調査をぜひ、こんごも、つづけてやってくださいね。
海蔵川に住んでいるたくさんのしゅるいの生き物を調査したのだから、「海蔵川の子ども水生図鑑」を作ることを考えてはどうでしょうか。
ゴミひろいもやりながら、水の調査もやるといいね。つまり、酸性・アルカリ性の PH、COD，水温、水のとうめいどなどによる水質調査で、海蔵川の生き物がどのように変わっていったかを調査をすると、さらに海蔵川のことをよく理解できるね。みんなでいっしょにきょうりょくして、大好きな海蔵川の生き物がもっとたくさんすめるきれいな川にしましょう。次回のかべ新聞を楽しみにまっています。

海蔵しぜんクラブ
壁新聞のタイトル：①海蔵川生物調査　②おとまりキャンプ

海蔵しぜんクラブ　②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

「おとまりキャンプ」の報告ありがとう。出発から帰りまでキャンプでのできごとが写真つきでせつめいされているわかりやすいかべ新聞です。
自然観察会では、木、草花、虫、鳥などのどのようなことを教えてもらったのかな。
野外すいはんでのカレーは自分たちでおいしくつくれたのかな。カレーのじゅんびでは、ほうちょうでやさい、にくなどをきって、はんごうでごはんもたいたのですね。ネイチャークラフトではどのようなものをつくったのかな。森にある木のえだ、木や草のみやたねなどでクラフトをつくったのかな。キャンプでのこのような活動は、わくわくして、おどろきがあって、はっけんがあって、かんどうがいっぱいあったと思います。それらの楽しかった思い出をきっと絵の作品集に書いたのですね。おともだちといっしょにすごした楽しいキャンプのことをわすれないでください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
森のキャンプでは皆さんがきもちよくすごし、かんじて、自然をおもいきり楽しむことができたと思います。
その自然を知れば知るほど自然となかよくなり、自然の中で生きている木、草花、虫、鳥などとともだちにもなれます。そして、人間やそのほかのいきものは、自然から一番たいせつな食べもの、水やくうきなどをもらって、いきていますので、その自然のことをもっとべんきょうできればいいね。次回のかべ新聞では、自然のべんきょうのこともっと書いてほしいと思います。楽しみしていますよ。

三重県鈴鹿市　鈴鹿イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：エネルギー「節約」新聞　　　　24-04　24-05（24-04 が推薦）

イオン鈴鹿チアーズクラブ①の新聞をかいてくれたみんなへ
師範から一言！
とってもすばらしい、そして絵や写真がいっぱいあってみんなの活動がよくわかるエネルギー節約新聞を送ってくれてありがとう。それにしてもみんなはたくさんの活動をやりましたね。ビックリです！！
キッズISOにちょうせんということで、電気、ガス、水道の節約にちょうせんしました。これらの活動でだいじなことは、みんながいっしょうけんめい、どりょくして節約したことではなく、ちょっとした行動、少しむだをしているのではないかな、と思って電気を切る、シャワーを出しっぱなしにしない、歯をみがくときに水をちょっと止めるなどをすると節約になることを数字でかくにんしたことだと思います。
そうです！エネルギーを節約することは、肩に力をいれてがんばることではありません。きがついたちょっとしたむだをやめることで、意外にもエネルギーをたくさんへらすことができるのです。いっしょうけんめいやるといきぎれをして、3 日ぼうずになりますが、自分でできるちょっとした行動であれば、毎日続けることができるはずです。
みんなはメーターがどこにあるかを見つけて、メーターの数字で節約の結果を調べました。とってもすばらしいやり方だと思います。自分たちでもこんなことができるのだと気が付いたでしょう。そして自信になったと思います。「これから」を読んでみるとみんなの意識がとても高くなったことが読み取れます。これからも、がんばらなくてもよいですから、ちょっとしたことを続けると良いと思います。お家の人もみんなが成長したことにビックリし、たのもしいこどもになったと喜んでいるようですよ！
エネルギー節約は、お金も節約になり、お家の人もうれしいです。そうするとみんなのおこずかいも増えるかも知れないね。自分のためにエネルギー節約をやると良いと思います。地球のために、なんて考えなくても良いです。自分のため、お家のためにやれば、結果として地球のためになりますよ！

鈴鹿イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：エネルギー「節約」新聞

里山保全の活動もすばらしい！育ちすぎた木やこんでいるところの木を切ると、どうなるか？分かりましたね。風通しもよくなり、太陽の日が地面までとどくようになると、草もはえてきます。昔のぜつめつきぐしゅの「ささゆり」がふっかつします。生き物だっていっぱいになるでしょう。ふった雨もすぐに流れださないで、山の中にたくわえられます。水が地面にしみこんで、きれいなわき水になります。どろも流れださないで、どしゃくずれもなくなります。それだけではありません。みんなもけいけんしましたね！まきがたくさんとれました。だんろの火になり、あたたかくなります。炭に変身します。炭は肥料にもなり、においけしにも使えます。木酢液もとれました。害虫たいじに使えます。今でも使っている人はいますよ。しいたけができる木にも使えます。
切られた木もこんなにいろいろと利用されると、たぶん喜んでいると思います。切ってそのままにしておくと里山保全にはなりません。里山保全って自分たちのくらしに大変役に立つのだなーって実感しましたね。
もりた農園の経験もしました。バイオディーゼルの勉強もしました。
みんなは 2013 年の 1 年間で大きく成長しましたね。こんど入ってくる下級生を教えることができるようになったと思います。楽しい思い出をたくさん作ってあげましょう。
エネルギー節約新聞のまわりには、かんばつ材からみんなが作ったバッチがはってあるとのこと。さわってみたらつるつるでした。そうか、写真だったのか？残念！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
一つ師範からみんなに質問を出します。みんなで考えてください。むずかしい質問ですよ。
なぜ、落葉樹は冬になると葉っぱを落とすのだろうか？落とさなくても良いのではないかな？落とすからには、何かりゆうがあるはずだよね？一人一人が考えた答えを書いてくれるとうれしいです。来年のかべ新聞にみんなの答えが小さく書いてあったら、師範もうれしいです。

鈴鹿イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：エネルギー「節約」新聞

イオン鈴鹿チアーズクラブ②の新聞をかいてくれたみんなへ
師範から一言！――――――――――――――――――
おいも発電、水力発電、風力発電の 3 つをまとめてみましたね。そうですクリーンエネルギー発電新聞になりました。写真と絵をふんだんに使って、みんなの活動を紹介してくれました。24-04 のメンバーよりは高学年生なのかな？水力発電や風力発電の見学結果を細かく説明してくれていますので、たぶん高学年生かなと思いました。おいもがエネルギーの元ですよ！そうか、みんなの新聞を読んだら、確かにエネルギーが出ていました。おいもをてんぷらにしたり、ふかしたり、煮たり、焼きいもにしたりして食べています。そして私たち人間ははたらいたり、勉強したり、走ったりしているけれど、おいものエネルギーで動いているのですね。もう一つ、発電することもできるよ！ということでみなさんは発電にチャレンジしました。車輪がまわって発電が成功したことを確認できました。
おいもを作るまで、苗を植え、2回の草ぬきをして、おいもほりをしました。この時のみんなのエネルギーはお米だったのかな？まだおいもはできていないので。今回は、おいもは食べなかったのかな？せっかく自分たちで作ったおいもだから食べれば、きっととてもおいしかったと思います。
しゅうかくしたおいもをチップスにして、かんそうさせ燃やして発電させたのですね。発電のやり方は、おいもをそのまま燃やす方法とおいもをアルコールに変えて燃やしても、発電ができますね。
おいもをアルコールに変えるのは、お酒をつくるのと同じです。日本はこういう技術は得意ですよ。いもじょうちゅうという言葉を聞いたことがありますか？おいもをはっこうさせてアルコール＝お酒にしたものをいもじょうちゅうと言います。
かんそうさせたチップスはどうやって、かんそうさせたのですか？太陽の熱でかんそうさせたのかな？何か燃やしてその熱でかんそうさせたのかな？太陽の熱なら良いけれど、何かを燃やした熱（＝エネルギー）を使ったとしたら、ちょっと問題かな？おいものエネルギー引くかんそうのエネルギーが、おいもから取り出されたエネルギーになり、どのくらいになるのだろうか？
おいもからエネルギーを取り出して発電するのは、バイオマス発電といって、日本では多分これから増えていく、あるいは増やさないといけない発電だと思います。そのような体験をみんながやったことは貴重な経験です。
耕作放棄地を利用したこともとっても良いことですね。畑などは何もしないとざっそうが生えて、農地として使おうと思っても良い畑にもどりにくいことや虫などがいっぱい住んでしまい、こまることも多いようです。

鈴鹿イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：エネルギー「節約」新聞

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
水力発電所と三瀬谷ダムを見学して、水力発電所のダムの役割を勉強しました。ダムって発電だけに利用するのではないのですね。こう水にならないよう に水をためたり、下流の水量をちょうせつしたり、畑や田んぼに必要な時に水を流す、などとってもだいじな役割をしていることが分かりましたね。日本は山が たくさんあって、ダムと水力発電所が作れるところが多く、再生可能なエネルギーが得られる、クリーンなエネルギーであるなどいいところがいっぱいあるの に、どうして水力発電所が増えないのだろうか？みんなも見学したときに良い話はいっぱい聞いたと思うが、ぎもんに思うこともたくさんあっただろうから、そ んなことも聞いてみたり、みんなで話し合うと良いと思います。
風力発電も見学したのですね。風力発電もクリーンなエネルギー発電で す。でも、日本は世界で 13 位だそうです。ほかの国はいっしょうけんめい風力発電を作っていますが、どうして日本は少ないのでしょうか？また、新聞にも書 いてありますが、風が弱かったり、反対に強すぎてもダメなようですね。どうしてだか分かりますか？発電所の人に聞きましたか？
今回は実際のクリーンエネルギーの発電を体験する、見学をする、見てみる、作ってみるなど貴重な体験をしました。実際に見たり、聞いたり、さわったりすることがとても大事なことです。2013 年は最初のいっぽかも知れませんが、とても良い経験をしたと思います。
少しずつ発電について理解できるようになったら、いろいろな問題点にも気付くようになってください。なぜ、広まらないのだろうか？なぜ、たくさん作らないのだろうか？など
ぎもんのことも考えるようにすると良いと思います。そんなことが気が付くようになると、自分で解決しようと思う人も出て来るかも知れません。環境に意識の高いみんなだから、これからの日本を作っていく人が出て来ることを期待しています。

三重県鈴鹿市　キラキラレインボー
壁新聞のタイトル：こどもエコクラブニュース 2013

キラキラレインボー さんへ
師範から一言！
“おひさまがみんなのいのちをつないでる”
こどもエコクラブのみんな、まだ小学校2ねんせいですか？
はじめてかべしんぶんをつくったのに、ずいぶんがんばって、いろいろなことをしらべて、おもしろいきれいなしんぶんを作ってくれましたね。ありがとうございます。もじもていねいに書かれていますし、いろのつかいかたもくふうしていますね。
おじいさん、おばあさんといっしょになって、しらべたのですね。どうやってしらべましたか？いちばんよくつかったほうほうは、パソコンのインターネットでしょうか？それとも、としょかんで本やずかんを見てしらべたのでしょうか。
いちばん上に「太陽系」のずがありました。ちきゅうは、太陽から3ばんめのわくせいですが、きおんが15度くらいでいきものにちょうどよいのです。もっとちかくても、もっとはなれても、いきものにはあわないので「太陽系」でいきものがいるのは、ちきゅうだけです。太陽からちょうどよいエネルギーをもらって、みんなのいのちがつながっているんだね。これからも、このちきゅうがつづいていくように、わたしたちも「エコなくらし」をつづけましょう。
こんど、「三重県総合博物館」がオープンしたそうですね。むかしいた「ミエゾウ」というおおきなぞうが展示されていますか。きょうりゅうのてんじもあると、うれしいですね。
げすいしょりじょうにも行ったのですね？けんびきょうでびせいぶつがうごくのも見て、どう思いましたか。

キラキラレインボー
壁新聞のタイトル：こどもエコクラブニュース 2013

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
このなかで、いちばんみんなによんでもらいたいものは、なんでしょうか？やはりきょうりゅうかな。しんぶんつくりでいちばんむつかしかったことはどこでしょうか？
おじいさんのじだいのむかしのせいかつとくらべて、なぜ「エコなくらし」をしないといけないとおもったのですか？おとうさん、おかあさんとはなしあいましたか？
おじいさんたちは、みんなのみらいがエコでたのしいものになるようにねがっているとおもうな。これからも、いろんなことをきいてみて、じぶんでかんがえてみる。でも、わからないことがあれば、おじいさん、おばあさんにたずねてみましょう。わからないことがあってもいいです。いろんなことにきょうみをもつことはだいじなことです。
これからも、じぶんでみたり、しらべたり、けいけんしたことをかべしんぶんにかいてください。紙しばい、できるといいね。
★☆サポーターの方へ★☆
とてもバラエティに富んだかべ新聞です。宇宙から古生物、水の浄化の微生物、生活の今昔、さらに未来のロボットが活躍する社会へと、ストーリーができていますね。小学校2年生には、まだ少しむつかしいテーマもあるように思いました。エコライフとロボットの説明文は、文字が小さくてよく読めないところがありました。昔と今をくらべることで、なぜエコライフにつながるのか、わかりにくかったです。
便利な世の中になりました。お孫さんも、自分で調べることもできると思います。自分で調べる事の面白さに気づいてもらうこと、経験して何かに気づいてもらうことが、大切と思います。教育といいますが、教えるよりも自分で気づくように、導いていただくことを希望します。よくご存じの事とは思いますが。
新聞は、ひらがなで書かれていますが、とてもきれいなので、おじいさんかおばあさんがお書きになったと推測しました。できるだけ、こどもたちに書かせていただきたいと思います。まちがったり、直して汚くなったりするかもしれませんが、その過程で学ぶことも多いと思います。たぶんお忙しい両親よりも、祖父母の方が孫と接する時間の余裕もあると思います。先人の知恵を伝えていく、良い機会になると思います。次号をお待ちします。

三重県明和町　明和イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル：イオン明和チアーズクラブ　テーマはエネルギー　24-07

イオン明和チアーズクラブ さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
イオン明和チアーズクラブのみなさん、こんにちは！
いろんなみんなの活動のことがぎっしり書かれた素晴らしいかべ新聞をありがとう。
毎月、熱心な活動を続けていることに感心しました。ことしのテーマは「エネルギー」だそうですが、そのほかにも「海岸そうじ」や「里山の竹林整備」などを継続しているのですね。大変立派なことです。地域の方々からも感謝されているのではありませんか？
エネルギーについて、ずいぶんはば広く勉強しましたね。風力・太陽光・太陽熱・バイオマスの自然エネルギー（再生可能エネルギー）、LNG 火力発電・プロパンガスクッキング、とずいぶんもりだくさんですね。施設の見学もあり、自然エネルギー・人力エネルギーの実験もあり、はば広い分野を対象にした良い活動と思います。
毎回、活動目的をはっきり決めていることは、とてもよいことと思います。活動の後でふり返りができますね。うまくいったこと、次に直した方がよいことなどがわかり、活動をじょうずに行えるようになると思います。「やったこと」「わかったこと」「思ったこと」を、かんけつにまとめて書いていることも、良い点ですね。
みんなで話しあったのですか？たぶん、みんな少しずつ意見が違うかもしれません。無理に合わせる事はありません。世の中のことは、正しいことが一つとは限らないからです。自分と違った意見を持つ人がいることを知ることは大切です。
みんながおとなになる頃には、地球温暖化などの環境問題の解決の見通しがたっているといいですね。
これからも一緒にがんばりましょう！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
4 月から 12 月まで活動の目次を示し、内容を文字と写真の組み合わせてじょうずに表現しています。文字が小さくなり少し読みにくかったけれど、みんなの活動をもれなく新聞にのせようとがんばった結果だと思いました。じっさいの新聞では、写真をめくれるようになっているそうですが、こちらで見る新聞は全体写真なのでめくれません。せっかくのアイディアを見ることができずざんねんんです。
里山の竹林整理は、暑い季節でたいへんだったでしょう。紀北町の植林活動では、どんな木を植えましたか？とても興味があります。いろいろな木を混ぜましたか？急斜面での作業には気を付けてください。
★☆サポーターの方へ☆★
とても内容の濃い、すばらしいかべ新聞をありがとうございました。毎年続けてきた活動と推察しますが、もりだくさんで、バランスのとれた活動計画と思いました。こどもたちの取り組み方についても、しっかり目的を決めて、実行したこと、感じたことなどをきちんとまとめる習慣づけをされているようで、よいご指導のようすがうかがえます。かべ新聞作成には、年末からお正月にかけて3回も会合を開いて取り組んだようですね。その成果は、十分現れていると思います。
下御糸小学校 6 年生となっていますが、写真を見ると下級生も一緒に活動しているのでしょうか？6 年生が卒業した後も活動を継続するためにも、よろしいですね。
サポーターの方々のご努力にお礼申し上げます。次年度は、何がテーマでしょうか？
また、その成果が書かれたかべ新聞の発行を楽しみにしています。

滋賀県大津市　瀬田北中学校　科学部
壁新聞のタイトル：活動報告2013　25-02

大津市立瀬田北中学校　科学部 さんへ
師範から一言！ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
新聞の題名の代わりに『S．J．H科学部通信　出張版』という面白いタイトルが目を引きますね。紙面は大きく 4 分割（ぶんかつ）で、一つ目には中学校のことや科学部のこれまでの活動がまとめて記載（きさい）されています。とても優れ（すぐれ）た配置（はいち）だと思いました。
近くにあるびわ湖やそこに流れ込む長沢川（ながさわがわ）の概要（がいよう）が書かれています。最後（さいご）に今年の研究として、昨年（さくねん）の先輩（せんぱい）たちの成果（せいか）である「カナダモによる水質（すいしつ）の変化（へんか）」の再現（さいげん）実験（じっけん）では，カナダモをたくさん入れたから水質がよくなるということはないという結論（けつろん）にいたりました。そのことがかべ新聞に淡々（たんたん）と書かれていて、冷静（れいせい）な科学者の卵（たまご）のように感じました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
やはり、かべ新聞には新聞タイトルがある方がわかりやすいですね。ここは「出張版」となっていますが、『S．J．H科学部通信　号外』などのようなタイトルをつけると新聞らしくなってくると思います。
かべ新聞の構成（こうせい）は十分できていると思いましたが。小見出しの文字の大きさがさまざまでした。この次には文字の大きさを統一（とういつ）すると美しくなります。また、新聞記事の中を吟味（ぎんみ）すると本文の活字が単調（たんちょう）ですね。重要（じゅうよう）な部分だけはゴシック体にするなど、注目されるような字体や色，罫線（けいせん）など工夫（くふう）ができるとわかりやすくなりますよ。
タイトルのつけ方やレイアウトにはすぐれたものがあると思いますが、やはり写真にはキャプションをつけて下さいね。理解（りかい）を深めるには大事なことと思います。継続（けいぞく）的（てき）なテーマですので、来年以降（いこう）の展開（てんかい）に期待しています。

滋賀県草津市　NPO 法人子どもネットワークセンター天気村こんぺいとうクラブ、放課後ディサービスソラマメくらぶ
壁新聞のタイトル：自然びびび新聞　　　　　25-03 次点

NPO 法人子どもネットワークセンター天気村こんぺいとうクラブ さんへ
師範から一言！

こんぺいとうクラブの自然びびび新聞のすばらしさは、クラブのみんながじぶんのことばでかいて、新聞を作ったことです。
しゃしんを入れて、たのしそうに、おいしそうに、いっしょうけんめいにやっていることがよくわかりますよ。えもじぶんたちでかいてくれました。いいですねー。
田んぼや畑でおこめをつくったり、おいもをそだてて、いもほり をしたのですね。いねかり はじょうずにできましたか？お米つくりといえば、いなご ですね。イナゴのつくだにを食べたのははじめてですか？いがいとおいしいでしょう。むかしはのうか ではみんなたべたようですよ。今はデパートでも うっているようです。むかしのことがなつかしい、それよりもおいしいから、かって、たべるのでしょう。
もぐらの赤ちゃんをはっけんしました。とってもめずらしいことですね。わたしもはじめてみました。こんなちっちゃいんですね。
ありのすのなかのようすや、かまきりのかまのはたらきなどもしっかりと見て、かいてくれました。よーくかんさつすることがいちばんだいじですよ。みんなはよーくみることができているようで、いろいろなはっけんができるようになるでしょう。
もちつき や やきいもつくりもやったようですね。もちつきは、たいへんだったでしょう。おもたくて“よいしょ”“よいしょ”とかけごえをかけてやるとたのしいよね。やきいもつくりで、みんなが火にフーフーいきをかけているのですね。できあがったやきいもは、たべたのでしょう。おいしかったとおもいます。できたてはあつくて、手でもつのがたいへんです。でも やきいも もフーフーいってたべるのがおいしいですね。
あそんでビビビ！！びわこ大はしを走ってわたったのですね。がんばったね！はしのすきまから足がみえる え がとってもいいですよ。びわこにうかんでいる きいろいとり は なんというとりでしょうか？
せかいのこどもたちのあそびは、どこもおなじで、ひろい ばしょ でくふうしてあそんでいるのですね。せかいのこどもは手をつないで、なかよくします。こどもは へいわ です。

NPO 法人子どもネットワークセンター天気村こんぺいとうクラブ、放課後ディサービスソラマメくらぶ
壁新聞のタイトル：自然びびび新聞

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
田んぼでとれたお米やむぎでおにぎりを作ってたべたら、やっぱりじぶんたちで いねかりをしたので、おいしいおにぎりになっていましたね。おにぎりは しお をつけてたべてもおいしいし、やいてもおいしいですね。おみそ をつ けてもおいしいですよ。
みんなはおにぎりを手で作ったのかな？おにぎりにするやり方はできたかな？まるいおにぎり、さんかくのおにぎり、などいろいろなかたちができますね。じょうずにできたのかな？
“びわこのうた”はとってもいいうたです。3ばんまであるんですね。本田のおにいちゃんといもうとさんがつくったうたのようですね。
こんなすばらしいうたをつくれる本田さんはうたもうまいのでしょう。わたしも うた は だいすきです。ことばはかいてあるのでわかりますが、どういう曲になっているのかな？なんとなくうたってみましたよ。ここにかくのは、むずかしいけど、♪♪♪こんな曲かな？
びわこのうたをうたいながら、くさ でつくった いえ であそび、くさふとん にねころんで、びわこ でおよぎ、ながれついた木であそぶ、など たのしい けいけんをたくさんしましたね。
つる の おりがみをはってくれました。もうひとつは、なんだろう？ふね かな？わたしもおりがみはだいすきです。つる のほかに、かえる、ペンギン、ラッコ、きょうりゅう、くじゃく、ちょうちょ、などをおります。こんどあったらおりがみをあげますから、びわこのうたをきかせてください。たのしみだなー。

☆★サポーターのみなさんへ★☆
こどもの素直な姿が出ています。素直な文字が書いてあります。とっても良いと思います。少しだけサポーターの方が手伝って新聞を作りました。でも、良いですよ。こども達が自ら書いた文字がとっても素晴らしいと思いました。

滋賀県草津市　志津幼稚園　エコ探検隊
壁新聞のタイトル：しぜんとなかよく　しづっこエコ新聞　　　エコまる賞　25-04　幼児

志津幼稚園　エコ探検隊 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――
ようちえんのみなさんが身近な４所へ出かけ、『しぜんとなかよく　ともだちと　げんきにあそぶこども』というテーマで４ヶ所（かしょ）で探検（たんけん）をして、これをマップにしています。テーマの一つは自然（しぜん）と仲良く（なかよく）なること、もう一つは友だちと元気に遊ぶことの二つで、かべ新聞にのった写真をみると元気な笑顔（えがお）があふれていることから、これらは達成（たっせい）できたようです。注目しているのはドングリやオオバコで遊ぶこと、たけのこ掘り（ほり）など食べ物に直結（ちょっけつ）している稼働（かどう）があることでした。このような実践（じっせん）的（てき）な活動が、子どもたちにも豊か（ゆたか）な感情（かんじょう）や器用（きよう）な指使いを教えてくれることになります。
もう一つのこの新聞の特徴（とくちょう）は，小さな写真も含め（ふくめ）て、写真のキャプション（写真につけた説明（せつめい）文のこと）がすべてについていて本文はなくとも写真だけを追いかけると体験（たいけん）活動の一日の活動内容（かつどうないよう）がわかります。本文がなくとも活動を理解（りかい）していただくためにこのような手法（しゅほう）を使ったのはすぐれていると思いました。
それぞれの記事を取り囲む（とりかこむ）ように同じ色紙の台紙の上に載せ（のせ）て、掲載（けいさい）されています。この方法（ほうほう）はわかりやすい心づかいと感じました。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
標題（ひょうだい）は活字体の文字を使ってきれいに仕上げているのが美しさの特徴（とくちょう）になっていますが、大きく５つの活動ごとの小見出しは長いものも短いものもあり、伝える工夫（くふう）がもう一つほしかったですね。
色文字を使ったり、イラストなども使うと小見出しが引き立つと思いますので、この次には工夫をしてみて下さい。それから各自（かくじ）が書いた感想文など、参加（さんか）した子どもたちの声を原稿（げんこう）にしてのせてほしかったですね。
写真はそれだけで伝える働き（はたらき）が大きいですが、原稿（げんこう）にも参加（さんか）者の意見と感想をのせるといいと思います。また、地図の中にある鳥居（とりい）のようなマークはなんでしょう。遊具でしょうか、きっと小槻（おおづく）神社の鳥居（とりい）なんでしょうね。地図記号とはちがうので気になりました。

滋賀県甲賀市　油日小こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：ビオトープから地域へ目を向けてみたよ。”地域の川にすむ魚たち”　　　25-05

油日小学校エコ委員会 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――
ビオトープから地域へ目を向けて見たよ、ということで地域の川にすむ魚たちを調べてまとめてくれたかべ新聞ですね。
地域をこまかく分けて調べてあります。A地点からJ地点まで 10 ヶ所の魚や川にすむ生き物の種類を調べましたね。油日小学校のエコ委員会のメンバーが分担して調べたのですか？１年生から６年生までが入ったグループで、別々の場所を調べたのかな？
魚や生き物の名前を委員会のメンバーは、こんなにたくさんの種類を知っているとは、びっくりしました。全部で 20 種類あるみたいですね。あみですくって生き物の種類と数をかくにんして、また川や池ににがしてやったのかな？ビオトープでつかまえた外来種のアメリカザリガニは駆除したのですね。アメリカザリガニが住みついて数がふえると、水草などがなくなって、魚やとんぼなどの生き物がいなくなってしまう問題が各地であるようです。場所にもよりますが、アメリカザリガニがいると、３年で前のじょうたいと一変してしまうようです。アメリカザリガニは昭和の初めににウシガエルのエサとして、アメリカから持ちこまれたものが、野外ではんしょくして、今は日本全国で見られる生き物です。8ヶ所の地点で見つかったザリガニは在来種のニホンザリガニで、アメリカザリガニではなかったのですか？ウシガエルも元々は日本にいなかったかえるです。うしがえるはいろんなものを食べてしまうので、特定外来種にしていして、駆除することがひつようなカエルです。
親子で学ぶ環境フェスティバルもすばらしい活動です。何がすばらしいと言って、各学年ごとにやることがちがっていて、学年におうじて、低学年は花や虫の話、中学年はごはん作りや丸太切り、高学年は琵琶湖の環境や災害現場の見学など、それぞれの学年に適した活動をやったようですね。油日小学校エコ委員会のみんなが楽しそうに、がんばって、そしてしんけんにやっているようすがよくわかります。お父さんやお母さんなど大人の方のしえんがあり、安全に、楽しくやれたようですね。
ミニ水族館の説明書もみんなが作ったんですね。えらい！自分たちで作ったので説明も上手に出来ていると思います。自分たちがやっているおもしろさや大変さを分かってもらい、そして聞いてる、見ている人たちが感心しているだろうなと想像ですますよ。
また来年も、地域の川にすむ魚たちの調べ学習をつづけてください。たくさんの調べデータが集まったら、どういう環境のところには、どんな魚がすむか？すむ魚の種類や数で自然の変化がわからないか？なども注目して調べると良いと思います。
また写真がいっぱいで生き物もいっぱいの力作のかべ新聞を待っています。

油日小こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：ビオトープから地域へ目を向けてみたよ。"地域の川にすむ魚たち"

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
調べた地点で多くの場所がコンクリート護岸になり、昔と自然条件は変わったけれど、まだこんなにすんでる生き物たちということで、マップ（地図）にまとめて書いてくれました。
みんなでつくる油日学区地図に魚やザリガニだけでなく、サルもはり付けて生き物地図としてまとめてくれました。サルもいるんですね！いいところですね。ちょっと残念なのは地図がうすくてよく見えません。川や池がどこにあり、どう流れているか？がよくわかりませんでした。
これだけの立派な調査をしたので、川の上流と下流での生き物のちがいがなかったのでしょうか？
ビオトープは１３年になるのだけれど、地域の調査はまだ始まったばかりかな？昔の調査結果もあるでしょうから、生き物の種類や数などに変化はなかったのかな？などを知りたいなーと思いました。これから毎年、生き物調べをするのかと思います。ぜひ、水の分析をしたり、護岸の植物の変化なども調べながら、川にすむ生き物の環境に変化がないのか？なども調べるともっとすごい調査になるでしょう。今回の調査だけでも素晴らしいと感心していますが。

滋賀県多賀町　多賀町アストロクラブ
壁新聞のタイトル：アストロ新聞　　　　25-06　サンジ

多賀町アストロクラブ さんへ師範から一言！

全体が手書き文字で、記事の範囲（はんい）がとてもわかりやすく、縦（たて）書きや横書きがまざっているのにかべ新聞らしい作り方で感心しました。また、取り上げたテーマが宇宙（うちゅう）からゴミ問題まで手広く、それぞれに勉強したことやメッセージなども書かれていて楽しくなりました。
とくに「みんなが幸せになってほしい」という見出しは、このような視点（してん）は初めて（はじめて）のことで、被害（ひがい）にあった人に送ってはげましていることに感動しました。寄せ書き（よせがき）の文字が小さいけれど、富岡（とみおか）町からの声はちゃんと届い（とどい）ていることを確かめる（たしかめる）ことができました。このような交流を大切にして、これからも続け（つづけ）て下さいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
全部が手書きの文字でバランス良く（よく）書かれています。最近（さいきん）、ぼくのところに届く（とどく）かべ新聞には、全部パソコンで書かれた記事をはっただけのものがありますが、みんなで力を合わせて作ったという印象（いんしょう）は手書き文字の方が強いと思います。
大きな見出し、中くらいの見出し、小さな見出しと内容（ないよう）と色を変え（かえ）て書く工夫（くふう）が見られますね。これはとても大事な工夫です。
さて、本文をみると、縦（たて）書きと横書きを記事ごとに採用（さいよう）していますが、注意深く記事を書いていますが，少し大きさの統一（とういつ）ができていません。これをきれいにするにはます目のある原稿（げんこう）用紙を使って下書きをつくり、それをはりつけるか、下書き重ねて上から新しい紙に少し太めのサインペンで書きなおすときれいに仕上がります。トレーシングペーパーなど使うといいですね。

京都府京都市　西京極児童館自然探検隊 2004
壁新聞のタイトル：自然っていいよね、でも怖いよね　　26-02

西京極児童館自然探検隊 2004 さんへ
師範から一言！

皆さんは普段からエコクラブのホームページにも活動報告がたくさんあって、がんばっている様子がよくわかります。
普段から川での活動を行っている皆さんにとっては、昨夏の台風 18 号の被害はとても印象に残った出来事と思います。私も、よくテレビで見る観光地の嵐山で、あんな洪水が起きたのは、とても驚きました。自然の良さを学びながら、怖さも学ぶことができた一年間の活動だったのではないかなと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
自然の「良さ」と「怖さ」の比較がよくわかるように、対比して書いてみるのもいいですね。例えば、「良さ」を左側に固めて書くといったようにすると、もっとわかりやすくなると思います。桂川での洪水は、皆さんにとっては初めてだったようですが、昔はあったのでしょうか？
洪水が起こる原因としては、異常気象もあると思いますが、周りの山や、河川路の変化など、昔と変わったところがないか調べてみるのもいいですね。昔から自然は「怖い」とは思いますが、私たち人間の影響でその怖さが増しているところもあると思います。その辺も考えたり、調べたりしてかべ新聞に書いてみるといいと思います。

京都府京都市　かつらがわエコキッズ
壁新聞のタイトル：かつらがわエコ新聞2013　　26-01

かつらがわエコキッズ さんへ
師範から一言！

京都市内を背景にしていて、面白いデザインのかべ新聞ですね。そのまま京都市の観光案内にできそうなくらいステキな地図だと思います。それに、活動内容にもしっかり合い、上手く作られていて感心します。京都市の歴史や文化から、生物多様性を考えるというのは、意外なイメージもありましたが、皆さんのかべ新聞を読むと、よくわかりました。ナラ枯れやマツ枯れ、フタバアオイの減少など、歴史ある京都の自然にも変化が表れているのですね。祇園祭で使われるチマキザサや桂ウリのことは、私のような他の地域の人は知らないので、勉強になりました。桂川にヌートリアがいるのはびっくりです。私の住む地域にはいないようなので、見たことがないのですが、群でいたら結構怖い気がします。台風の時にはどこかに逃げていたのでしょうかね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
色々な活動について書いてあるので、タイトルをもう少し大きく書いたり、文章を枠でくくったりしてみると、もっと読みやすくなると思います。「今年の目標」のように、背景の色を変えてみたりしてもいいですね。

大阪府大阪市　せいわエコクラブ
壁新聞のタイトル：「水はどこから」　27-01

せいわエコクラブ さんへ
師範から一言！

せいわエコクラブのみなさんは、４才から高校３年生までのメンバーで、年中たくさんの活動をされているのですね。
イラストや写真がたくさん使われていて活動のようすが良くわかる、すてきなかべ新聞です。
記事を書いた人の名前がきちんと書いてあって良いですね（署名記事といいます）。
下水道科学館の説明には絵も添えられていたり、はい油キャンドルづくりのやりかたは文章と絵の番号が対応していて、とっても分かりやすいですね。味噌づくりもですが、みなさん説明がとても上手ですね。
「チリモン」って何だろう？と思いましたが、チリメンモンスターのことですね！私も子どもの頃に探したことがあります。
探すのも楽しいし、何の生きものか考えるのも楽しいですよね。大阪湾は実はとってもきれいだ、などの「へぇ～、そうなんだ！」といったことをかべ新聞にのせると、見ている人も「へぇ～！」となり、伝えることができますね。
しめなわ作りではなぜ「いね（ワラ）」を使うのだろう、など、活動するなかで感じた「ぎもん」や、それを調べてどうだったということが書かれていて、なるほど～！と思いました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
まず、記事によって「月・日」が書いてあるのもあれば、「月」だけのものもあります。できれば☆月☆日に行ったということが分かるように、統一すると、より見やすくなると思います。どういう活動をしたかという説明だけでなく、その活動のどんなところがエコにつながっているのかについても書いてみてください。そうすることで、説得力がグッとアップしますよ。
「イタセンパラが増えるように、私達、人の協力も大切」と実感されたのは、とってもステキなことだと思います。ぜひ、次のステップとして、具体的に何ができるのかをみなさんで調べたり考えたりしてみてください。それもかべ新聞に書いてみてくださいね。
毎年、活動をされるなかで「今年のテーマ」があるようなら、かべ新聞にも大きく書いてみましょう。それぞれの活動とテーマとのつながりがわかりやすくなります。大阪市で 10 月から本格的なごみ分別が始まったとのことですが、もしできそうなら、ぜひ、周りの大人・子どもたちの反応や感想を調べてみてください！
ごみ分別をすることで、前よりも環境やごみについて関心が高くなったのか、ごみの量が減ったのか増えたのかなど、何らかの変化が起きていると思います。どんな変化が起こったのかというのは、とても貴重な情報だと思います。
何年も続けて活動していることで、変化を感じたり、発見があったりすると思います。そういうことも、ぜひ書いてみてください。
これからも「自分たちのできること」をどんどん発信してください！

大阪府高槻市　柱本保育園こども未来学舎　え～こ・レンジャー
壁新聞のタイトル：ゆきぐみ　え～こ・レンジャー新聞　エコまる賞　27-02（推薦）　27-03（推薦）　27-04　（全３枚すべて幼児）

はしらもとほいくえん　え～こレンジャー　ゆきぐみのみなさんへ
師範から一言！

はしらもとほいくえん　ねんちょうの　みなさんのかつどうが　よくわかる　すてきなかべしんぶんですね。しゃしんも　えも　たくさんあって、わかりやすいです。じも　ていねいにかいてあり、よみやすいですね。
さいえんでは　たくさんのやさいや　くだものを　そだてているのですね。みなさんが　みずやりなどの　おせわを　がんばっているのですね。どれも　とても　おいしそうです。
みなさんが　とくにすきな　やさいやくだものは　なにですか？さつまいものつるは　どんなあじでしたか？えんどうまめの　さやを　ひりょうにしたら、ごみにならないので　エコですね。
　せみのぬけがらちょうさは、とても　たくさんのかずのせみを　しらべたのですね。
あぶらぜみより　くまぜみが　とてもおおいのですね。まいとし　しらべていて、きょねんより　ことしはおおかったですか？せみのぬけがらも　ひりょうにできるとは　びっくりしました！
みなさんは　ほいくえんで　たくさんのエコかつどうを　しているのですね。おうちのひとにも　ほいくえんでどんなことをしているのか　おはなし　してくださいね。

サポーターのみなさんへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・
子どもの視点でわかりやすく工夫された、とても素敵な壁新聞ですね。すっきりまとめられていますが、子ども達が描いた絵や文字がしっかり使われていて、子ども達にとっても思い入れのある壁新聞になったのではないでしょうか。完成したときに、きっと子ども達も大喜びだったのでしょうね。自分たちの今までの活動をふりかえり、頑張ってきたなあと実感できたのではないかと思います。
ちょっと欲張りなことを言うならば、味噌づくりの記事は、作っている様子や食べている様子などが具体的にわかる写真や絵などがあっても良かったかもしれません。
セミの調査やプロジェクトＤなど、毎年続けている活動が次の年長さんにも受け継がれていくのは、とても素敵なことだと思います。きっと、昨年はこうだったけど今年はこうだね、といったお話とかもされているのでしょうね。これからも素敵な活動を続けていただければと思います。
たくさんのかつどう　これからもがんばってくださいね。

柱本保育園こども未来学舎　え〜こ･レンジャー
壁新聞のタイトル：ゆきぐみ　え〜こ･レンジャー新聞

はしらもとほいくえん　え〜こレンジャー　つきぐみのみなさんへ
師範から一言！

はしらもとほいくえん　ねんちゅうのみなさんは　さいえんかつどうを　ほうこくしてくれました。
たまねぎ　さつまいも　ほかにもたくさん　そだてて　つくったのですね。
たまねぎの　しゃしんをみると　おおきいものも　ちいさいものもいろんなおおきさがあって　おもしろいですね。
みずやりなど　みなさんが　いっしょに　がんばって　そだてた　やさいはどれもとてもおいしそうです。まいにち　すこしずつ　やさいが　そだっていくのは、おもしろいし、わくわく　しますね。
しゃしんだけでなく、じや　えが　いっぱい　かいてあって、とても　わかりやすいかべしんぶんですね。たのしい　ようすが　とても　よくわかります。
おちばで　ひりょうづくりも　しているのは　すごいですね！
らいねんも　みんなで　ちからをあわせて　おいしい　やさいを　たくさん　つくってくださいね。

サポーターのみなさんへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・
子ども達の文字や絵が上手に使われていて、みなさんとても楽しく菜園活動されている様子が伝わってきます。雨水タンクからの水やりや落ち葉から堆肥作りをされているとのこと。毎日の園の生活でエコ活動されていることが、「環境に良いことをわざわざする」と構えなくとも、自然と当たり前のこととして子ども達の身に付いているのでしょうね。
たくさんの野菜を育てられている中で、メインの紹介を玉ねぎとさつまいもに絞ってされたことが、とても見やすい壁新聞に繋がったのではと思います。
活動の中で、子どもらしいおもしろい感想があったり、子ども同士で子どもならではのやりとりがあったり等、楽しくて興味深い出来事も、たくさんあるのでしょうね。特に印象的な出来事があったら、ぜひ壁新聞にも紹介してください。
これからも、子どもの発見や驚き、友達と一緒にするエコ活動を、楽しく続けていってください。

柱本保育園こども未来学舎　え〜こ･レンジャー
壁新聞のタイトル：ゆきぐみ　え〜こ･レンジャー新聞

はしらもとほいくえん　え〜こレンジャー　ほしぐみのみなさんへ師範から一言！

はしらもとほいくえん　ねんしょうの　みなさんの　たのしいかつどうが　のっています。
さくらんぼや　ぶどうのしゅうかくは　とても　たのしそうですね！ぶどうのいろが　だんだん　かわっていくのって、ふしぎで　おもしろいですね。じぶんで　しゅうかくした　くだものは　とくべつ　おいしいですね。
らいねんも　いろいろな　やさいや　くだものを　しゅうかくしてみてください。
おちばを　たくさん　あつめて、ならべて、へびになったり　ばすになったり。しぜんの　くさや　きや　はっぱで、いろいろなことをして　あそぶことができますね。みんな　とってもたのしそうです。
ほかにも　いろんな　あそびを　かんがえてみてね。

サポーターのみなさんへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
子どもの発達段階にあわせた、無理のない楽しい活動をされていらっしゃることが伝わってきます。
まず、子ども達が身近な自然や周りの環境に対しての気付きや感動を大切にされていること、自然の中で楽しく遊ぶことを大切にされていること、本当に素敵だと思います。
さくらんぼ狩りやぶどうの収穫など、実りを見守り、収穫する喜びがあり、食べる楽しみがあって、子ども達も色々なことを感じて楽しんだのだろうと思います。写真に日付があるので、記録としてもとても良いですし、後から思い出す手助けにもなりますね。
子どもはそれぞれの時期特有の視点や発見があり、それに大人が柔軟に寄り添って活動されている様子が、とても素敵です。まだまだ子ども達は言葉で表現することに慣れていないと思いますが、これからも、子どもの気付きを上手に見つけ、こういう壁新聞など目に見える形にしていってください。
これからも、楽しい活動を続けてくださいね！

兵庫県神戸市　細田児童館エコキッズ
壁新聞のタイトル：エコキッズしんぶん　28-07

細田児童館エコキッズ さんへ
師範から一言！

細田児童館エコキッズのみなさんもたくさんの活動をしている様子。その中から、今回はまち探検のことを新聞にしてくれたんですね。いいなって思ったところは、「かんきょうにやさしいってどういうこと？」という疑問を持ち、その疑問を解くためにみんなでまち探検にでかけたということ。これはどういうことかな？と疑問をもっても、それを解決するために行動を起こすことはなかなかできないことだね。でもみんなは動き出している。それが何より素晴らしい！って思いました。
かべ新聞には地図も書かれていて、どこにどんなものがあったのかとってもわかりやすくなっていました。わたしもこの地図を持ってみなさんの地域を歩いてみたくなりました。これからも「環境にやさしい」ってどういうことかな？という疑問をいつも持ちながら、活動を続けていってください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
かべ新聞の最初のメッセージに「地球や環境にやさしい」とは「人間や動物にやさしいこと」とありました。ほんとにその通りだと思います。みなさんが暮らすまちが人間や動物にやさしいまちになるようにエコキッズのみなさんだったらなにができそうかな？そんなことも考えながら活動できるといいなと思います。がんばって！

兵庫県神戸市　魚崎児童館エコクラブ
壁新聞のタイトル：エコチャレンジ新聞　28-06

魚崎アースレスキュー隊 さんへ
師範から一言！

夏やすみには、リサイクルかつどうやリサイクルについてしっかり勉強したね。そのようすがかべ新聞からよくわかりました。
ゴーヤの緑のカーテンはすずしかったかな。この緑のカーテンのおかげで、エアコンはつかわなかったのかな。
リサイクルランドで家やびっくり箱などをみんなでなかよく作ったようすが写真でよくわかりました。
パッカーシャの見学では、いろいろなゴミのすてかたを勉強したね。毎日いろいろなゴミがかていやこうじょうから出てきて、パッカーシャがあつまるゴミしょうきゃくしせつで、そのゴミをもやして出るねつをつかって、しせつの中のだんぼうにつかったり、お湯をわかしたり、温水プールでつかったり、電気を作ったりしているところもあります。
夏やすみの宿題はリサイクルについての自由作文を作ったおともだちもいたことでしょう。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
次回のかべ新聞では、学校のゴーヤの緑のカーテンで、どのくらいすずしくなったかしらべて、そのほうこくを楽しみしています。
リサイクルランドでは、作った作品をもうすこしくわしくしょうかいしてください。
パッカーシャの皆さんの見学でまなんだいろいろなことをもうすこしくわしくかべ新聞にほうこくできたらいいね。次回のかべ新聞をきたいしています。

兵庫県神戸市　ゆきのごしょエコクラブ
壁新聞のタイトル：ゆきのごしょエコ新聞　　　　　　　28-01

ゆきのごしょエコクラブ さんへ
師範から一言！

いろいろなニュースがあるのでとてもたのしいかべ新聞です！よんでわくわくするかべ新聞です！
ゴーヤのみどりのカーテンはどのくらいのひろさだったのかな。ゴーヤの葉っぱでつくられるひかげはてんねんのエアコンのかわりになり、電気をつかわないので本当にエコだね。さらに、えいようたっぷりのゴーヤは夏やさいのだいひょうだね。マリーゴールドはセンチュウという虫よけにいいと聞いたことがありますので、やさい畑でうえてみましょう。
牛乳パックでの手づくりの母の日プレゼントは、お母さんたちがよろこんでいたようすがそうぞうできます。
ひょうご出前環境教室では、たくさんの人たちがいろいろなじゅぎょうをやって、ひとつひとつのじっけんやたいけんから学校ではなかなかおそわらないたいせつなことを学べたね。
きっとこれらのじゅぎょうでは、皆さんがかんどうしたこと、わくわくしたこと、はっけんしたこと、ふしぎだったことなどたくさんあったと思います。次のかべ新聞では、この出前環境教室で新しいこと、かんどうしたこと、わくわくしたことなどの記事を楽しみしています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
それぞれの出前環境教室でのけっかもじゅうようだけど、皆さんのかんそう、いけん、かんどうなどがもっとあれば、このかべ新聞を読んだともだちに皆さんのきもちがつたわるとおもいます。さらに、こんご、学校や家庭の中でどのようにしたいか、どのようにしなければならないかをかんがえて、かべ新聞ではっぴょうしてもいいね。がんばってください。

兵庫県神戸市　しのっちょ・バレーヌ
壁新聞のタイトル：しのっちょしんぶん　　　　　　　28-05

しのっちょ・バレーヌ さんへ
師範から一言！

「エコカレー作りの挑せん」というかべ新聞のみだしがかがやいています★★★
「エコカレー」という名前が素晴らしい！「エコカレー」にかんする目標やまとめもきちんとすっきりとせいりされていて、写真でもどのようにエコをしたか、そのようすがはっきりわかり、みなさんの写真の笑顔がすてきです。もう、完ぺきです！単なるカレー作りでも、それぞれのじゅんびだんかいで、しっかりエコのことを考えて、さらにそれぞれエコをおこない、エコの方法もいろいろなしゅるいがあることを皆さんのかべ新聞はじゅうぶんにアピールしています。このかべ新聞を読んだともだちにもきっと大ひょうばんであったと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
「エコカレー」という一つのテーマにしぼってかべ新聞を作ったことが、すっきりして大変よかったと思います。次回のかべ新聞のテーマも一つにしぼったほうが、おともだちはそのエコのテーマをじゅうぶんに理解することができると思います。次のかべ新聞を心から楽しみにしています！

兵庫県神戸市　DOHOエコレンジャー
壁新聞のタイトル：ぱんだエコしんぶん　　　　　28-04　幼児クラブ

どうほう eco レンジャー さんへ
師範から一言！

どうほう eco レンジャーのみなさんも、年間を通してたくさんの活動をしてくれていますね。ありがとう。地域清掃にグリーンカーテンうんどう、廃材での作品作りにも取り組みました。廃材での作品作りはおうちの方と一緒に取り組んでいるとのこと。いいですね。
テーマにあわせておうちの人と協力しての作品作りはとっても楽しかったと思います。捨てられるはずだった物も、みんなの手で作品になって生まれ変わることができた。素敵ですよね。
わたしがなによりいいな、と思ったのは、園内だけでなく地域に出かけて行って活動していること。いろんなゴミが落ちていましたね。それでも『とってもキレイになりました☆』と感想を書いてくれています。自分たちの暮らす地域がきれいになるってうれしいよね。
これからも元気に活動していってください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
地域清掃の感想に「ゴミがたくさん集まるのを見て楽しかった」というのがありました。
だんだん集まっていく様子がたのしかったんだね。でもね、たくさん集まるってことは、たくさん落ちていたってことで、たくさん落ちていたってことは地域があんまりきれいじゃなかったってことだよね。なんだかつまんないかもしれないけど、ごみが集まらない地域になるようにみんなで力を合わせていこうね。そうそう、活動のあとはしっかり手洗いを忘れずにね。

兵庫県神戸市　神楽こども園　りんごキッズ
壁新聞のタイトル：りんごきっずのちきゅうにやさしい！だいぼうけんしんぶん　　　　　28-03　幼児クラブ

神楽保育園　りんごキッズ さんへ
師範から一言！

お米づくりにビオトープの観察。そしてやさい作りにみそづくり。年間を通じてたくさんの活動ができました。がんばりましたね。たくさんの写真があってみなさんの活動の様子がよくわかります。ビオトープにはめだかがいるのですね。ハスの花がきれいに咲いていますね。きれいだ～！！
お米作りは種まきから体験したのですね。教えてくださる大人の方の話をしっかりと聞いている様子がわかりますよ。
おおきなスイカが収穫できたんですね。みんなが一所懸命お世話したからですね。フルーツポンチはとってもおいしかったことでしょう。自分たちで作った野菜はほんとうにおいしいですよね。目の前で収穫してすぐに食べられるなんてとっても贅沢です。これからも、毎日を自然と仲良く過ごしていってくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
たくさんの活動ができました。とん汁を作っておうちの人にごちそうしたとのこと。いいですね。
作る喜び、分け合う喜び、とてもよい体験ができたと思います。これからも、「みんなへの感謝」をキーワードに活動を続けていってください。

兵庫県姫路市　ひめじアースエンジェル
壁新聞のタイトル：調べよう！生活排水　　　　　28-11、12　全 2 枚

ひめじアースエンジェル　①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――――
ひめじアースエンジェルのみなさん、清掃活動に取り組んでくれてありがとう。
新聞には 4 月と 5 月の活動について書かれているけど、毎月活動してくれているのかな？みんな熱心に取り組んでくれている様子が写真からわかりました。落ちていたものは、たばこの吸い殻や紙などが多かったのかな。みんなの活動が広がって、ゴミの落ちていない街になっていくといいですね。
ゴミを減らすための工夫も書かれていていいですね。ここに書かれていることなら、だれにでもできそうです。さっそく取り組みましょう。「清掃宣言」もいいですね。清掃活動をすること、家庭ごみを減らすこと、リサイクルに関心を持つこと、どれも大切なことです。しっかり取り組んでいってくださいね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
メンバーの感想に「なぜゴミをすてるんだろう」というのがありました。ほんとに、どうしてだろうね。そのことがわかれば、ゴミを捨てないようにしてもらう工夫や呼びかけができるかもしれません。どうしてゴミをポイ捨てするのか、どうしたらそれをやめてもらえるのか、ぜひ考えてみてください。何かわかったらまた報告してください。待ってます。

ひめじアースエンジェル　②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――――
COD パックテストを使った水の汚れ具合の調査を体験したんですね。例えばしょう油を流してしまった場合、そのしょう油が薄まって夢前川と同じ水の汚れ具合になるにはどのくらいのきれいな水が必要なのかなんとなくわかったでしょうか。すごくたくさんの水が必要になることがわかったと思います。これも、この調査を体験したからわかったことだよね。やってみるってすごく大切なことだと思います。「COD って何？」の説明のところに数値によって魚たちがどうなるのかイラストがありました。ちょっと小さいのが残念だけど、説明としてとてもわかりやすくてよかったです。今回の体験をいかして、川の水の COD の数値ができるだけ小さくなるよう、水を汚さない工夫をしていってください。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
今回生活排水について学びました。次の一歩として、実際に川に行って水質の調査をしてみるというのはどうでしょう。毎年 6 月の初めに「身近な水環境の全国一斉水質調査」という活動があり、全国各地で一斉調査が行われています。よろしければ、そんな活動に参加してみるのもおもしろいと思いますよ。

兵庫県姫路市　ファイヤーエコガールズ
壁新聞のタイトル：オオサンショウウオの住む川　　　　　28-13、14　全 2 枚

ファイヤーエコガールズ さんへ
師範から一言！
――――――――――――――――――
生き物の特徴をよくとらえたイラストがたくさん！エコまるたちも登場して思わず近寄って見てしまいました。そのくらいインパクトのある新聞になっていますよ。いいですね。
オオサンショウウオが住む川について調べようと思ったきっかけや、調べた内容、そこでわかった問題点もきちんとまとめられていて良いと思いました。自分たちに関わる、将来の大切なこととしてとらえて、そのことについての思いもきちんと書かれています。とても良い新聞になりました。
姫路市にはかわいいエコキャラクターがいるんですね。どんな子なのかプロフィールが知りたくなりました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
おばあちゃんの住んでいる街、自然豊かで動植物もたくさん住んでいる素敵な街ですね。その街に産業廃棄物処分場が計画されているということ。本当に難しい問題について取り組み始めましたね。
産業廃棄物については、きっとどこの自治体でも頭を抱える問題になっていると思います。人々の便利な生活を優先すればゴミとなるものが必ずと言っていいほど発生します。また、災害時に発生したがれきなど、何とかしなくてはならないものもあります。その最終処分には、人口の少ない山村部が選ばれることが多いように思います。そして、そういった場所には、守りたい、残していきたい自然がたくさんあるんですよね。
一日二日といった短い期間で解決できるような簡単な問題ではないと思います。でも、これからも注意深く見守っていってください。

兵庫県姫路市　水田家
壁新聞のタイトル：2013 年　河川の水質調査　　　28-17

水田家 さんへ
師範から一言！

「8 月河川水質調査」という題名から、これは夏休みを使ってみんなで調査してくれたんですね。ありがとう。水田家のみなさんのかべ新聞の良いところは、どうして、何のためにやろうと思ったのかという目的がはっきりしていて、それがきちんと書かれていること。目的がはっきりしていると活動の方向がよこにそれずに進めることができますね。そして、やったらどんな結果になりそうか、予想しているところもいいと思います。
まとめられた結果は、調査した場所がわかる写真と、結果のわかるバックテストの写真があって、だれがみてもわかりやすいと思います。
2 つの川を調査して、どちらもきれいではないとわかったとき、そのままにしないで、もう一度調べてみたり、もっと上流に行って調べたりしています。もうこれだけ、と終わりにしてしまわずに、もう一歩進めて調査できているのもよいと思いました。
野外での活動は、危険な場面の多くあります。無理のないように気を付けて取り組んでくださいね。次はどんな調査をしてくれるのか、楽しみにしています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
今回の活動を通して、夢前川の上流（雪彦山登山口）や林田川上流（鹿ヶ壷）の水はきれいで、市川や夢前川下流域は汚れていることがわかりました。上流と下流、違いはなんでしょう。調査に行って何か感じたことはありませんでしたか？実際に見て触れて感じたこと、そんなことも新聞にかかれているといいなと思います。そして、できれば、キッズのみなさんに新聞を書いてもらいたいな。次回、ぜひ挑戦してみてください。待っています！

兵庫県姫路市　なお＆なみクラブ
壁新聞のタイトル：リサイクルマークのいろいろ　　　28-15, 16　全 2 枚

なお＆なみクラブ さんへ
師範から一言！

大きな文字とはっきりしたイラストでとてもわかりやすくまとめられていていいですね。
1 枚目のマークは、たしかにあちこちでよく見かけますね。2 枚目のマークの中でガラスびんマークは私も最近あまり見かけない気がします。そんなあまり見かけないマークも調べてくれてあり、この新聞を見た人は「へ一そうなんだ！」と思ってくれたと思います。ペットボトルリサイクル推奨マークの中心の白い部分に注目してみてください。実はペットボトルの形をしているんですよ、気づきましたか？どのマークも何気なくですが、意味がわかるようなデザインになっているんですね。みなさんの地域のリサイクル活動にこれからも協力していってくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
今回の調べ学習でマークについて知ることができました。どころで、そのマーク、どこについていましたっけ？マークを調べるのとあわせて、どこにどんなふうに書かれているのかもまとめてみるともっといい新聞になると思います。
気づいているとは思いますが、環境に関わるマークはまだまだたくさんあります。機会を見つけて調べてみてください。楽しい発見があるかもしれませんよ。

兵庫県姫路市　NYAXA（ニャクサ）
壁新聞のタイトル：タガメ新聞　　　28-18

NYAXA さんへ
師範から一言！

このタガメ新聞をよめば、タガメのことがすべてわかりますね。素晴らしい新聞です！新聞というよりずかんといったほうがよいと思いますが、ずかんでもこのようにくわしくタガメのきろくは書かれていません。
42 日かんのタガメのさとおやせいかつのレポートには、ひじょうにおどろきました。このタガメ新聞をよんだともだちをだいひょうして、このたいへんなどりょくに「ありがとう」のメッセージをおくりたいと思います。
エサとり、水くみ、だっぴ、しっぱいしたはなしなどいきいきと書かれていて、まるで「えいが」を見ているようで、わくわくして、かんどうしました。
これだけのりっぱなタガメのレポートがつくれたので、「子どもタガメはかせ」とよばせてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
げんざい、タガメは「ぜつめつきぐしゅ」にしていされていて、私がすんでいる神奈川県のタガメはほとんどぜつめつしたそうです。
「子どもタガメはかせ」として、こんごもタガメがたくさん生きていけるようにするには、どのようなほうほうがあり、どのようにすればよいかなどをまわりの人たちといっしょに考えて、チャレンジしてください。大せいこうをいのります。

兵庫県芦屋市　グリーンキッズ
壁新聞のタイトル：グリーンキッズ　No.14　　　28-19

グリーンキッズ さんへ
師範から一言！

かべ新聞 NO,14　昨年もお伝えしましたが、長く続けるということは、とってもすばらしいことです。14 年目の報告ありがとう！
今年の報告は、ダンボールコンポストでできた堆肥を使った活動 2 つですね。ダンボールコンポストの堆肥でダイコンが元気に育ちましたね。野菜くずなど「ゴミにしなくて良かった！」って実感できたんじゃないかな。ゴミも減らせてそのあとも有効に使えていいことがいっぱいです。ダンボールコンポストの管理は手間がかかるかなって思えるけど、どうでしたか？育ったダイコンはみんなで食べてみましたか？どう、甘くておいしいダイコンになっていたかな？
プロジェクト D でもダンボール堆肥は大活躍ですね。昨年は 4 本育ったとのことでしたが、今年は何本育つか楽しみです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
きっといろいろな活動をしているのだろうと思いますが、今年はこれ！っていう活動に注目してまとめてみるというのは、まとめの方法の一つとしてとてもいい方法だと思います。どんな活動をどうやったらどういう結果がでたのか、そんなことがわかる新聞になるといいですね。次回はどの活動にスポットをあてて報告してくれるかな？楽しみにしてします。

兵庫県伊丹市　エコスマイル
壁新聞のタイトル：エコスマイル新聞 2013　　　　　28-20

エコスマイル さんへ
師範から一言！

まずは、今回もかべ新聞を送ってくれてありがとう！今年もたくさんの活動に取り組みましたね。
活動分野ごとに色分けされたコメントでとってもわかりやすかったです。
今年の活動の中で、梅の木の下で抹茶をいただくという活動。なかなかユニークでおもしろくていいな、と思いました。ただ抹茶をいただくだけではエコ活動とは言えないけれど、梅の種類のことを学んだり、梅のにおいをかいだり、色合いを楽しんだり、五感を使った活動もできていますよね。そこがいいなあと思いました。かべ新聞にも書かれていますが「この時期にしかできないこと」に取り組めているところも、とってもいいなあと思いました。
これからもスマイル（笑顔になれる）活動を続けていってくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
昨年の「とっておき」で活動を行った日も書かれているといいですね、とお伝えしました。今年の新聞ではちゃんとそのことができていました。ありがとう！そうやって一つずつまとめのポイントを身に着けていけると、ますますすばらしいまとめになっていきます。いいですね。

奈良県斑鳩町　広げようECO！生活委員会
壁新聞のタイトル：東小広げようECO新聞　　　　次点だが辞退　29-02

広げようeco 生活委員会 さんへ
師範から一言！

ベルマークの収集、空き缶つぶしとゴミパトに関するECO新聞の記事を楽しく読みました。
ありがとう！一段落ずつ3種類の活動が写真付きで説明されており、大変分かりやすい内容なっていますね。
ベル—マークが商品に付いている場合は、いろいろなところに付いていて、またベルマークが付いていない場合もあるようだね。見落とさないように注意が必要だね。
私は空き缶つぶしを山の頂上にある山小屋で経験したことがあり、みなさんの学校と同じような目的でした。空き缶のプルトップで車イスをもらって、一日も早く車イスを必要な人たちに送れるようになったらいいね。ゴミパトも大切な活動だね。燃えるゴミ、燃えないゴミ、プラゴミなどを分別しているのかな。皆さん一人一人が、引き続き積極的なECO活動を期待します。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
ベルマークをどのように使っているのかな。現在も東日本大震災で困っている同じ小学校の子どもたちの援助や、海外で小学校に行けない子どもたちの援助などたくさんの種類にベルマークを使えたらいいね。
毎日いろいろなゴミがたくさん出ていると思うので、ゴミを出さないくふう、ゴミを出さない日を作る、ゴミ出し禁止運動などをお友達と一緒に考えてみよう。

奈良県斑鳩町　整美･ボランティア委員会
壁新聞のタイトル：斑西小エコ新聞　　　　　フェス参加辞退　29-01

斑鳩西小学校　整美ボランティア委員会 さんへ
師範から一言！

アルミ缶やプルタブを集めて、虹の家に車イスを送れるように積極的に協力しているようすをかべ新聞からはっきりと理解できるすばらしい内容です。かべ新聞の読者に Q&A も大変分かりやすいですよ。
平成２５年度４月から１２月２０日までの短い期間で総合計約16kg も集まったことは驚きです。あのように軽いアルミ缶やプルタブがこのような重さになったことは、皆さんの毎日の努力の結果ですね。
虹の家の皆さんもきっと大変喜んでいると思います。一日でも早く虹の家に車イスが送れるように期待します。

とっておきのゴシドウ★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････
皆さんのリサイクル運動は、資源の再利用はもちろんのこと、皆さんが物を大切にするという心の豊かさを持っていることです。
さらに大切なことは、皆さんの運動が虹の家のりっぱなふくし活動になっていることです。
このような運動は続けることが重要ですので、お友達と協力しながら今後も頑張ってください。車イスを楽しみにしていますよ。

和歌山県紀の川市　エコジャンプ
壁新聞のタイトル：だれでもできる　エコな１年　　　　　30-01（全１枚）

エコジャンプ さんへ
師範から一言！

１年間のエコ活動がはっきりとした、きれいな絵に書かれているので大変分かりやすいかべ新聞ですね。特にそれぞれのエコ活動を数字で説明しているところが、どのくらい大変なエコ活動であったかを理解できるので、素晴らしいと思います。
皆さんが毎日生活してところから出てくるダンボール、ペットボトル、ビン、プラスチック、古着等が１年間でこれだけたくさん集まり、毎日のエコ活動の結果がこのかべ新聞一枚にまとめられているので、エコ活動にあまり関心のない人たちへのりっぱなお手本になりますね。これからも毎日ガンバッテね。皆さんのエコ活動を応援します！

とっておきのゴシドウ★･･････★･･････★･･････★･･････★･･････★･
今後のエコ活動のために、毎年これらのエコ活動の数字を保存して、次回のかべ新聞に結果を発表するといいね。毎年の変化が分かり、どのようなところが良かったとか、もっと良くするための方法を考えたり、また数字が少なくなった場合はどこに原因があるか調べたり、解決したりすることができて、さらに皆さんのエコ活動がますますじゅうじつしてくると思います。
また、皆さんの１年間のエコ活動で、どのくらいくろうしたとか、どのようなところが問題であったとか、どのようなところが良かったとかの感想があると、かべ新聞の読者が皆さんのエコ活動をさらに理解してくれて、もっと応援してくれると思いますよ。来年を楽しみしています！

鳥取県鳥取市　エコ隊わかばーズ
壁新聞のタイトル：もったいないことしてないかい？わかば ECO 新聞　　　31-01　幼児クラブ

わかば保育園 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
新聞の中央（ちゅうおう）に太い木の幹（みき）と覆い（おおい）かぶさるような木の葉（このは）、さらに左上にはお天道様（おてんとさま）がある、大胆（だいたん）な構成（こうせい）のかべしんぶんです。右側（みぎがわ）から「もったいないことしてないかい？」とマンガキャラクターが といかけるのもほかにはない工夫（くふう）で、おもしろい表現（ひょうげん）と思いました。
ほいくえんのこどもたちにとって自然（しぜん）の中であそぶのはとても大切なことで、その上、牛乳パック（ぎゅうにゅうぱっく）で葉書（はがき）を作ったり、エコキャップあつめやむだな電気をつかわない、近所（きんじょ）のゴミひろいなど大人でもなかなかできないようなテーマを取り上げ（とりあげ）ているのはすばらしいことです。
お友だちやおうちの人にもこのエコ活動（かつどう）のテーマ「もったいないことをしてないかい？」のはなしをしてくれるようにねがっています。きっと大人はみんなおどろくと思いますよ。

サポーターさんへのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
今回の新聞を読んでみて、園児の手がかべ新聞づくりにあまり加わっていないような印象を受けました。きっと木の幹になっている部分の切り紙細工は保育園児の手わざだと思いますが、それ以外は大人の手仕事の印象を受けました。
こんな場合には樹木の緑色の部分も保育担当からの応援を得て、この部分も園児の手で切り紙細工を製作するなど、しっかりした作品としてまとめることも園児に体験させたいなと思いました。
僕も出前授業でいろいろな教育活動を担当することがありますが，学習のねらいと達成の目標は、いつも先生や保護者のみなさんから聞かれたら、すぐにこたえられるように紙に書いて準備をしています。園児たちが感じたハガキ作りやゴミ拾いの達成感は、このかべ新聞の中から伝わってきますが、ひとりひとりがかべ新聞を作った達成感も感じ取れるような工夫にも取り組んでほしいと思いました。

鳥取県米子市　彦名地区チビッ子環境パトロール隊
壁新聞のタイトル：エコでつながろう　　　31-02

彦名地区チビっ子環境パトロール隊 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
ロシアからやってきた友好団（ゆうこうだん）に彦名地区（ひこなちく）チビッ子環境（かんきょう）パトロール隊（たい）のみんなのエコ活動（かつどう）を伝え（つたえ）たという記事（きじ）をみて、先進的（せんしんてき）な取り組み（とりくみ）をしていることにおどろかされました。
小さな文字のかべ新聞でしたが、じっくりと読んでみると，６つの活動を続け（つづけ）ていることがわかりました。
紙すき、はい油ろうそく、分別ゴミ、環境（かんきょう）パトロール、わりばしリサイクル、自分の家でできるエコ作戦（さくせん）、そしてこれを伝え合う活動です。写真（しゃしん）も文字もくわしく取材（しゅざい）がなされていてとても興味深く（きょうみぶかく）読みました。あそびを通して自然体験（しぜんたいけん）やクラフトをするのはとても重要（じゅうよう）な活動です。長く続けてほしいと思います。
君たちの活動の場所（ばしょ）が公民館（こうみんかん）などに決まっているのなら、このかべ新聞をはりだして宣伝（せんでん）をしてください。みんなの活動を知ってまわりの人たちはきっとおどろきますよ。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
全体（ぜんたい）に文字が小さくテーマごとのお話の流れがわかりにくいように感じ（かんじ）ました。ひとつひとつの話題（わだい）はよくわかるのですが、それらがどのように組み合わさって学習につながっていくのか、もう少しつながりを工夫（くふう）してみて下さい。
もちろん、学んだことを伝えることも大切なことと思います。たとえば、環境パトロールなどは事例（じれい）の少ない取り組みなので、次回（じかい）はこれを大きく取り上げて、地域（ちいき）活動の目玉にするようになれば、ロシア友好団に続いて特色（とくしょく）がはっきり出てくると思いました。ぜひとも工夫してみましょう。

鳥取県米子市　メダカみ～つけ探検
壁新聞のタイトル：水の生きもの２　　　　　　31-03

メダカみ～つけ探検 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――
標題（ひょうだい）「水のいきもの２」のとなりにメンバーの名前を書いてくれたのはわかりやすくていいですね。よい工夫（くふう）と思いました。中海七珍（しっちん）はいろいろなかべ新聞でも取り上げ（とりあげ）てくれますが、どんな特徴（とくちょう）があるのか説明（せつめい）した例（れい）をみません。どこかで説明してくれると地元の人にも地方の人にも理解（りかい）が深まる（ふかまる）と思います。ここでは実際（じっさい）に食べた話も載っ（のっ）ているので、その感想（かんそう）もおもしろいですね。
開講式（かいこうしき）で早速（さっそく）ゴビウスへ出かけた話が載っています。
僕（ぼく）もゴビウスがハゼ科の学名だということを知っていますが、初めて（はじめて）の人も多いので、ここでは宍道湖自然館（しんじこしぜんかん）の愛称（あいしょう）だということをちょっとだけ説明（せつめい）しておくといいですね。
メダカを見つけたという記事（きじ）には自然体験（しぜんたいけん）の大切さが書かれていますが、メダカを網（あみ）に追い込ん（おいこん）でつかまえたのは少しかわいそうです。小さな魚は水がにごるとえらから新鮮（しんせん）な水が入らなくなって死ぬ（しぬ）ことがあります。それほどすばやく泳ぐ（およぐ）魚ではないので小さなたもあみでさっとつかまえると魚も元気ですよ。野生の生き物（いきもの）が元気に観察（かんさつ）できるように、次回ためしてみて下さい。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
それぞれのプログラムのおもしろさはわかるのですが、全体の展開（てんかい）がわかりにくいですね。
体験学習（たいけんがくしゅう）に的（まと）をしぼってみるのもよろしいかと思いますよ。かべ新聞（しんぶん）の真ん中（まんなか）あたりに水鳥公園でつかまえたメダカのスケッチが載っ（のっ）ています。初めて見る人でもメダカがこんなに太ってはいないと感じると思います。自分で書いたスケッチを図かんや実物（じつぶつ）と見くらべてみてください。
目の位置（いち）やひれの形と位置、尾（お）の広がり方などメダカの特徴（とくちょう）がよく表れ（あらわれ）ていないとメダカだとわかりません。目はもっと上で、体は背（せ）が弓のように丸く、お腹（おなか）より胸（むね）のまわりが太くなっていること、胸（むね）ひれと尾びれはぴんと伸び（のび）ていることなどを忘れる（わすれる）とメダカらしさがなくなります。この特徴（とくちょう）は忘れ（わすれ）ずにえがきこんでおきたいと思いました。

鳥取県米子市　自然といきものみ～つけ探検
壁新聞のタイトル：YONAGO ジャングルエコの集大成　　　　　31-04

YONAGO ジャングルエコ探検 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
ジャングルエコの集大成（しゅうたいせい）という標題（ひょうだい）で、生き物（いきもの）観察（かんさつ）会、野鳥観察会、食べ物探検（たんけん）、中海体験クルージング、岸本（きしもと）ガーデンプレイスの５つが赤色紙に取り上げ（とりあげ）られています。ここでは中海七珍（しっちん）が記載（きさい）されていますし、その料理も載っ（のっ）ています。「探験」は「探検（たんけん）」の間違い（まちがい）ですね。
また、ゴビウスでたくさんの生き物（いきもの）に出会った感動（かんどう）が書かれています。この感動は水鳥観察会や岸本（きしもと）ガーデンプレイスでもたくさんの生き物（いきもの）を観察しています。とくに岸本（きしもと）ガーデンプレイスでは「森の中のすずしさ」に気がついていますね。五感（ごかん）を使っ（つかっ）て自然（しぜん）を理解（りかい）することは大切なことで、ぬるぬるしたり、冷たかっ（つめたかっ）たり、熱かっ（あつかっ）たり、自然はいつもやさしく教えてくれます。観察には五感（ごかん）を十分に活用してみましょう。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
小見出しが赤い色紙に赤い文字で書かれていて、読みにくいと思いました。
切り紙やイラストで５つのテーマで記事（きじ）をまとめた工夫（くふう）のあとが見られます。文字が横書き（よこがき）で統一（とういつ）されているのはいいのですが、かたむいて文字が貼り（はり）つけられていて、かべ新聞を壁（かべ）に貼り（はり）つけた時には読みにくいのではないかと懸念（けねん）しています。また、写真（しゃしん）が小さいように思います。たくさんの友達（ともだち）が写っ（うつっ）ている写真はもう少し大きな印画（いんが）紙で印刷（いんさつ）して貼りつけたいと思いました。

鳥取県米子市　それ行け中海探検
壁新聞のタイトル：中海と友達になろう　31-05

それ行け　中海探検 さんへ
師範から一言！

標題（ひょうだい）の大きな文字が特徴（とくちょう）をよく表し（あらわし）ています。
ちょっと残念（ざんねん）なのは「友達（ともだち）」の漢字（かんじ）がまちがっています。標題だけにまちがいに気づいた人は、先に進ま（すすま）ずこまりますね。これからは気をつけましょう。また、この新聞もメンバーのリストが載っ（のっ）ていますが、リーダーとサブリーダーという役割（やくわり）をしています。これは大事（だいじ）なことで、いろいろなことを進める（すすめる）ためには年齢（ねんれい）や実力（じつりょく）とは関係（かんけい）なく、役割を決め（きめ）て行動（こうどう）することがとても大切な訓練（くんれん）になります。
物事（ものごと）をスムーズに決めて、安全（あんぜん）な行動や学習（がくしゅう）のまとめなどにも、この役割を置く（おく）ことは役立ち（やくだち）ます。
さて、かべ新聞をみると水質調査（すいしつちょうさ）、体験（たいけん）クルーズ、ゴズつり、ゴビウス、ホタル観察（かんさつ）会などたくさんの活動（かつどう）を続け（つづけ）ていることに感心（かんしん）し、それぞれのまとめもよくできていると思いました。活発（かっぱつ）に活動している写真（しゃしん）やスケッチなども工夫（くふう）がみられ、すばらしいと思いました。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
中海の解説（かいせつ）のために中央（ちゅうおう）下にパンフレットのような印刷物（いんさつぶつ）を貼り（はり）つけていますが、遠くからは読めませんでした。その上に中海の食材（しょくざい）を使っ（つかっ）た料理を作っている写真（しゃしん）がありますので、ここで中海の生き物（いきもの）の解説をもう少ししてほしかったですね。そうすればホタル観察会や十神山（とがみやま）の観察とも連動（れんどう）していろいろな場所（ばしょ）にいる生き物（いきもの）と友達（ともだち）になることを説明できたのではないでしょうか。
ゴシドウでも標題（ひょうだい）の漢字（かんじ）の間違い（まちがい）は、直しましょうと申し上げ（もうしあげ）ておきます。これを防止（ぼうし）するためには、一度（いちど）書いた原稿（げんこう）を別（べつ）の人が読んでまちがいを探し（さがし）てもらい、まちがっていたら直すことです。専門的（せんもんてき）な言葉（ことば）では校正（こうせい）といいますが、かべ新聞（しんぶん）の正確（せいかく）さを保つ（たもつ）ためには必要（ひつよう）な作業（さぎょう）です。ぜひ、ためし下さい。

鳥取県米子市　イオン チアーズクラブ　日吉津
壁新聞のタイトル：次世代のエネルギー　31-06

イオン日吉津チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

タイトル、大きい見出し、小さい見出しと本文、どれもバランスがとれてわかりやすいと思います。
テーマごとに色をかえた工夫（くふう）もよくできています。また、エネルギーへの関心（かんしん）を実際（じっさい）に調べ（しらべ）てみるのはすばらしいことで、今後、わたしたちがエネルギーをどうすればいいのかについても考えてみているのは、他（ほか）にも例（れい）が少なく大切な活動（かつどう）と思います。
太陽光発電（たいようこうはつでん）の勉強（べんきょう）も大切です。米子ガスでの体験学習（たいけんがくしゅう）では、都市（とし）ガスの臭い（におい）の元はTBM（t－ブチルメルカプタン）で、プロパンは卵（たまご）の腐っ（くさっ）た臭い（におい）でメルカプタンを使っ（つかっ）ていることなど、ちがいがあることを学習しています。大人の見学会でもここまでは解説（かいせつ）しないのではないでしょうか。貴重（きちょう）な体験になりましたね。
もう一つはふるさとの森で苗木（なえぎ）の里親運動（さとおやうんどう）で、ヤマザクラを選ん（えらん）だのはどのような理由（りゆう）でしょうか。これも調べ（しらべ）てみるとおもしろいと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
かべ新聞（しんぶん）全体（ぜんたい）をみると気がつくと思いますが、使っ（つかっ）ている色の数が少ないように感じ（かんじ）ました。デザイン業界（ぎょうかい）では、こんな状態（じょうたい）を「ねむたい」という表現（ひょうげん）をします。みなさんの色鉛筆（いろえんぴつ）はたくさんの色があると思いますので、えんりょせずに強い色や激しい（はげしい）色の組み合わせがあってもいいと思います。その方が元気いっぱいな感じを表す（あらわす）ことができると思います。それから写真（しゃしん）をあちこちに貼っ（はっ）ていますが、かべ新聞（しんぶん）の余白（よはく）がまだありますので、もう少し大きくしてとなりの文字にかぶさっているとか、解説（かいせつ）を書いた吹き出し（ふきだし）の色も変え（かえ）てみるとか、注目（ちゅうもく）させる工夫（くふう）がみられるとおもしろくなりますよ。

島根県出雲市　上津探検隊
壁新聞のタイトル：ケロケロカエル調査新聞　Ⅶ　　32-01

上津探検隊 さんへ
師範から一言！

カエルランドなどのビオトープを通して、生態を調査する活動は素晴らしいですね。
生息数などのグラフも分かりやすくまとめられています。活動の様子を多くの人の知らせる努力もとても素晴らしいです。沢山の人に知って貰い、協力してもらえると良いですね。
来年も目標に向けて、がんばってくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
モリアオガエルの数が年々減っているのが心配ですね。生息地を整備することも大事ですが、どうして数が減ってきているのかも調査した方が良いかもしれません。
例えば、水質がモリアオガエルにとって住みにくいものになっているかもしれませんし、エサになる昆虫なども減っていることも考えられます。
一つの生き物が減るということは、周りの生き物にも影響してきます。
モリアオガエルだけでなく、その近辺の生き物や環境を調べていくと、原因が分かるかもしれませんよ。

岡山県津山市　わくわくエコクラブ
壁新聞のタイトル：わくわく新聞2013　　33-01　推薦

わくわくエコクラブ さんへ
師範から一言！

わくわく新聞という名前だけあって、皆さんのかべ新聞を読んで本当にわくわくしました。なぜならば、イノシシのひがい、大豆のしゅうかく、水質調査、ホタルフォーラム、お米のしゅうかく、かべ新聞などの活動発表などがあり、いろいろなわだいがいっぱいで、皆さんがいろいろなことにチャレンジして、わくわくしてかべ新聞を作ったことが分かるからです。
来年は大きいさつまいもをほれるように、イノシシのひがいを小さくするほうほうをまわりの人たちとそうだんしたり、大豆も枝豆で食べられるようにくふうできればいいね。また大豆でとうふを作ったり、みそを作ったりもできるんだよ。
皆さんがおこなったくわしい水質調査はたいせつなエコ活動で、皆さんの川がきれいになり、ホタルなどが住めるようにこの水質調査をつづけていってほしいと思います。
お米のなえのうえつけやしゅうかくで、お米つくりの大切を実感できたことは、農家の人たちがどのくらいくろうして、お米を作っているかも理解できたと思います。次回のかべ新聞にはどのような活動をほうこくしてくれるかわくわくしてまっています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
かべ新聞に書いてあるわくわくするような活動を今後もがんばってつづけてほしいと思います。
イノシシのひがいや大豆のしゅうかくが次回はどのようななったかも知りたいな。水質調査でいきものの観察があれば、もっと楽しくなり、自然のいきものの勉強にもなり、さらに水質といきものの変化を毎年しらべると、もっとわくわくしてくると思うよ。その活動発表を聞きにきた人たちも、きっとわくわくして聞いてくれると思います。皆さんのエコ活動を応援します！

広島県広島市　フジこどもエコクラブ広島
壁新聞のタイトル：①「エコ×2 新聞」 ②「思い出新聞」　　34-01、02　全 2 枚　①が推薦

フジこどもエコクラブ広島①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

環境に関心のあるメンバーが今年もたくさん集まってくれましたね。ありがとう！そして今年もたくさんの活動ができました。
かべ新聞では一回ごとのまとめを担当の人を決めて、新聞本体とは別の紙にまとめて書いてくれているのかな？こうやってそれぞれがまとめたものを持ち寄ってまとめるというのも、かべ新聞の書き方の一つとして良い方法だと思います。考えましたね。そして、こうやって分かれていると、新聞を読む人も、ここはひとつのまとまりなんだな、ってわかりやすいと思います。
内容を読んでみると、「地球を守りためにはいろんな人が協力していくことが大事なんだと思った」といった感想や、「海を守りましょう」そして「自然を大切にしていきましょう」など、読んでくれる人へのメッセージも書かれていてよかったです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
新聞には写真もあって「やったこと」はとてもよくわかりました。では具体的にはどんなことがあったのかな？たとえば、第 2 回のゴミの学習ではゴミのどんなことを学習したのかな？ゴミの分別のことかな？街にポイ捨てされていることかな？また、第 7 回では、双葉山にふしぎを探しに行ってどんなふしぎに会えたんだろう。「ドングリなどがたくさんあった」ようだけどドングリのほかに何があったんだろう。知りたいな。どんなことを学習できたのかもうちょっと詳しく書かれているとうれしいな。きっともっといい新聞になると思います。がんばって！

フジこどもエコクラブ広島
壁新聞のタイトル：①「エコ×2 新聞」 ②「思い出新聞」

フジこどもエコクラブ広島②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

新聞を読むと、フジ見学では、屋上でグリーンカーテンを育てているところや、駐車場にあった電気自動車の充電設備などしっかり見学して学習してきたことがわかりました。また、環境マークについても学習したんですね。いろんなマークを見つけられたようでよかったです。
シーカヤックに挑戦したというところのこの地図、いいですね。ただ乗ったというだけでなく、どこを通ったのか地図があるとわかりやすいです。日曜日の大鳥居に人が多いのは観光に来られた方々かな？
二葉山ではドングリを使ってキーホルダーやブレスレットを作ったようですね。ちょっと小さめだけど絵があってそのことがわかりました。図を使ったり絵をかいたりして示すことでかべ新聞はとてもわかりやすくなりますね。見る人の注目を集めやすくなるうえ、見やすくなっていいですね。
新聞に貼られている写真で、みなさんがとても楽しく活動していることもよくわかりましたよ。もしできるなら来年も参加して継続した活動をしていってもらえたらいいなと思います。レッツトライ！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
海のゴミ調べについて、円グラフかな？書いてくれています。プラスチックのゴミが多かったということを示したかったのだろうと思います。プラスチック以外の物はどのくらいあったのでしょう。このグラフからはちょっと読み取れませんでした。少なかったけどあった（だろう）ゴミについても、その割合がわかるグラフになっていたらもっと具体的でわかりやすくなったと思いますよ。

広島県福山市　めだかの学校
壁新聞のタイトル：未来へつなごう　芦田川の自然　～今年も見つけた　小さな命～

めだかの学校 さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――――
府中大渡橋では今年もアカザが見つかったとのこと。よかった。希少となったアカザに会えるなんてすてきなことですね。
昨年も新聞を読ませてもらっていて、その後どうかな？と心配していました。とても気になっていたので自分のことのようにうれしい！です。
カワヨシノボリが川底の石にくっついている様子や、その動きをよく観察していますね。そしてそのことをちゃんと新聞にかけていることもとってもいいと思いました。
2 年ぶりのウエットランドの植物調査。この調査でも今回と前回の調査の結果をわかりやすい図と言葉できちんとまとめられていてとってもいいと思います。前はどうだったのか、そして今回どうなったのか、といった変化がわかると、じゃあ次はどうしよう、何をしよう、という活動の目的や方向がみえやすくなります。次回の調査もうれしい変化の期待ができそうですね。「ナマズスマイル」この写真いいですね。普段なかなか見ることができない実物写真というのはとてもインパクトがあっていいですね。実物写真は人を引き付ける力があります。かべ新聞を読む人も近寄ってよくよく見てくれると思います。ナマズ、かわいいですよね。こういったエコクラブをやっているからこその出会いが活動を続ける力になるんだろうなと思っています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
それぞれの活動ごとにまとめをかいてくれていますね。とってもいいですね。そしてそこに書かれていることはとても大切なことです。「芦田川は汚い川といわれるけど、たくさんの魚が住んでいるし自然がいっぱいあるすてきな川。
「みんなに知ってもらいたいや、生活排水が川に流れ込むのを減らすため食器の汚れをふき取ってから洗うなど実践しています。この活動が地域にも広がれば川がきれいになると思う」など。みなさんのこれらの「思い」は本当に大切なことだと思います。なんとか地域に広げる活動をやってみませんか？みなさんの思いは新聞を読んでもらえば伝わるかもしれません。けれど何にどう取り組んでみたら、やったらいいのかってことはわからないかもしれせん。具体的にどんなことを地域のみなさんにやってもらいたいのか、協力してほしいのか、そんなことを伝える活動をやってみてもらえたらいいなと思います。
大学生になった先輩メンバーさん、ぜひ知恵と力を貸してあげてください！

広島県福山市　緑丘こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：自然と電気～へらす、とりくみ～　34-04

緑丘こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――――
今回は、自然を楽しむことと電気をできるだけ使わないエコな生活について考えて取り組んでくれたのですね。ありがとう。たくさんの写真でみなさんの活動の様子がよくわかりました。
秋の里山歩きではいろんなものを見つけましたね。「ひっつきむしの生命の旅の始まり」なんて、なかなかしゃれています。これからひっつきむしがどんな旅をしてどこで新しい命を輝かせるのか、なんだかわくわくします。植物が子孫を残すための戦略として、動くものにくっついて移動する、そんなことも発見できてたのしい里山歩きになりました。
はっぱでかるたとりをする場面や、たくさん拾ったドングリなどの写真もいいですね。それから、どこを歩いたのかわかる地図があって、とってもいいですね。学区の中のこのあたりだということがわかれば、新聞を見た人たちも行ってみよう！命の旅に参加しよう！って思えるかもしれません。里山歩きの仲間が増えるかもしれませんよ。もし参加する人ができれば、それこそかべ新聞の威力です。すてきだと思いませんか？
ソーラークッカーの実験楽しくできてよかったです。なんといってもダンボール材を使って、手作りしているところがいいですね。太陽の動きに合わせて向きをかえたり、雲が出てきて実験が怪しくなったり苦労したけど、「どれもおいしい」結果になってよかった！みんなの言うとおり（新聞に書かれている通り）、ソーラークッカーは災害時にも使えそう。ただ太陽がないとできないよね。そこが難しい。何かいいアイデアないかな？

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
今回、県代表として全国フェスに参加してくれたのかな？どうでしたか？同じような活動しているクラブがあったでしょうか。全国に広がるエコクラブの仲間。それぞれの地域で「わかった！」「すごい！」「やったー！」などたくさん感動体験をしています。これからも地域のことを知る活動や、環境をよくする活動を元気に続けていってください。

山口県山口市　平川小学校　エコ委員会
壁新聞のタイトル：平川小eco新聞2013　　35-01

平川小学校　エコ委員会 さんへ
師範から一言！

平川小学校が目ざしているのが、「めざせ平小エコ名人」と「大好き九田川」の２つなのですね！とてもいいキャッチフレーズです。キャッチフレーズがいいと、それぞれどんなことをしたのだろうと活動の内容を知りたくなります。
小見出しが葉っぱのデザインになっていて、おもしろいアイデアだと思いました。背景に色紙を使っているので、白い葉っぱが小見出しを目立たせてくれています。
すべての主な活動内容に対して、活動している写真と、その活動によってどうなったかという成果の写真があり、写真の使い方がとても効果的です。写真があることで、ゴーヤは小さかったものが実に見事に成長していることが誰にでも分かり、カーテンコンテストでの特別賞も納得です。そして、ゴミもたくさん集まったことがよく分かります。節電、節水のポスターも、はっきりとしていて分かりやすいポスターになっています。
「ふり返り」のところに、エコへの取り組みの大切さだけでなく“楽しさ”が分かったとありますね。それは、真剣にエコに取り組んでいたからこその感想だと思います。ぜひ今度は節電と節水の結果を教えてくださいね。楽しみにしています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
eco 週間を設定してエコ目標をとくにがんばる週をつくったのはいいアイデアだと思います。エコ委員会のメンバーは自分たちもエコ活動をして、さらに他の人にもエコ活動をがんばってもらう立場でもあるので、その工夫が感じられます。すでに実施しているかもしれませんが、月ごとに点数がどうかわるかグラフにすると、目でその変化が分かるので、「来月はがんばろう」という気持ちにもつながりやすく、みんなで活動するときには効果的ですよ。
ゴーヤの種を地域の人たちにくばってエコ活動を広げたいという考えはすばらしいです。自分たちの活動にとどまらず、みずから考えて“行動”を起こすことができていますね。これからも平川小からエコ活動の輪を広げていってください！

山口県下松市　ほしふるまちのこどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：「つくる」からはじめる　エコクッキングⅡ　　35-02 35-03 全2枚提出 35-02 が推薦

ほしふるまちのこどもエコクラブ①を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

まずタイトルが目をひきます。“「つくる」からはじめる”という言葉をつけたのもいいですね。新聞は内容も大事ですが、読んでもらうことがスタートなので、タイトルや見出しに工夫があることはいいことだと思います。
ジャガイモの栽培は、植え付け、芽かき・土寄せ、収穫とそれぞれ写真を使ってせつめいしてあるので分かりやすいです。日付が入っているのも、どれくらい期間がかかったのか分かっていいですね。ポイントが細かく書いてあるので、この新聞をみてやってみようと思う人にとって参考になると思います。エコストアでは、地産池消を学ぶことによって、地元の野菜を使った方が運ぶのにエネルギーを使わないことが分かったことでしょう。旬の食べ物をクイズで学ぶのはいいアイデアですね。最近はスーパーでいつでも買える野菜や果物があるので、旬を知ることが大切です。エコストアで学んだことからエコクッキングのメニューを自分たちで考えたことは、メニューが初めから決まっているより時間もかかって大変だったと思いますが、よいアプローチだと感心しました。
“エコなクッキングをするためにどうすればいいか”という話し合いの中で、具材を大切にするだけでなく、料理をするときの火や水といったエネルギーや資源も大切にすることに気づくのはすばらしいことです。クッキング中はリーダーやジュニアサポーターの存在も大きかったような気がします。感想にもあるように、大変さの中にも楽しさがあれば、きっとメンバーの各家庭でのエコクッキングにつながるでしょう。
下松農業公園の方々のサポートのように地域で、子供から大人まで、エコクッキングを支える体制ができているのは、めぐまれた環境だと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
とても色取りにぎやかな新聞になっていてきれいですが、色紙の同じ色は関係する記事に使った方が効果的です。パッとみたときに、オレンジの色紙が“学ぶ”と“エコクッキング”、緑の色紙が“生かす”と“つくる（ジャガイモの栽培）”で同じなのでそれぞれ関係あるのかな？と思ってしまいそうです。エコクッキングの活動が、①学ぶ、②体験する、③生かす、の 3 つを柱にしているのですね。どんなエコ活動でも、この生かす（活かす）につながれば大成功だと思いますし、その手前の“気づく”だけでも大きな成果です。これからの活動も期待しています。

ほしふるまちのこどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：「つくる」からはじめる　エコクッキングⅡ

ほしふるまちのこどもエコクラブ②を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

H21～25 の切戸川の生物調査の貴重なデータを新聞としてまとめてくれたのですね。データを比較することで年々の変化がよく分かります。調査した日の水温も書いてくれたのでそれを見ると、H22 は 9 月でも水温 27℃とかなり暑い年だったのですね。
調査している様子や見つかった生き物の写真がいっぱいあって、見ているだけで楽しくなります。写真で記ろくを残すことは"調査"として大切ですし、新聞として多くの人に"伝える"手段としても分かりやすくて有効だと思います。
調査をしたみんなの感想と「4 年間の切戸川の変化」のまとめが書いてあるので、みんなの気持ちが現れた記事になっています。そして、このようにデータの変化を見ることで、メンバーの子供たちが地元の川をきれいにしようという"いしき"が高まっていることが感じられます。
H24 のビーシュリンプはびっくりです。変化のまとめに書いてあるようにペットとして飼育していたものが捨てられたのだと思います。1 匹見つかったということは、もっと生息しているかもしれません。いぜん、私も自然が豊かな川でグッピーを見つけたことがありますが、そこにいてはいけない生き物です。なぜいけないのかというと、もともといなかった生き物を人間がつれてきてしまうことによって、もともといた生き物や植物が食べられたり、エサをとられてしまったりして、その地域にいた生き物のつながりがこわされてしまうからです。神奈川県の方ではアライグマやタイワンリスによる動植物に対する被害も多くなっているのですよ。
ウナギが見つかったのはいい意味でびっくりですね！ウナギは世界的にも今年（2014 年）絶滅危惧種（ぜつめつきぐしゅ）になってしまったので、切戸川の環境をぜひ大切にしてください。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
テナガエビは毎年見つかっていますね。せっかく見つけたらじっくりと観察してみてください。エビやカニは左右に 5 本ずつあしがついていますが、テナガエビの特徴である長いハサミがついているのは何番目のあしでしたか？そしてザリガニのハサミはどうでしょう？今度またじっくり観察してみてください。調査は 1 回何時間くらい実施しているのでしょうか？H22 と H24 はとくにたくさんの生き物が見つかっているように感じます。H24 は水質階級三の生き物もいますね。こどもエコクラブの活動だけではむずかしいかと思いますが、その原因なども分かると、どうすればいいかというアクションプランがあるかもしれません。
この生きもの調査は、環境を考える上でも、子供たちがふだんはふれ合うことができない生き物とふれ合う意味でも大変すばらしい活動です。さらには外来種（がいらいしゅ）の問題にまでも気づきがあります。これからもぜひ、この調査活動を続けてほしいと思います。

山口県周南市　ガールスカウト山口県第３団
壁新聞のタイトル：みつば新聞～ガールスカウト地球防衛計画～　　35-04

ガールスカウト山口県第 3 団 さんへ
師範から一言！

文字の大きさや色使いがとても見やすく、読んでみたくなるような小見出しになっています。しっかりと実施内容と感想が書いてあり、さらにクイズや4コマまんがあるので楽しく読むことができました。クイズがあると、それにこたえるために内容をくりかえし読むことが多いので、伝えたいことを読者に伝えるよい手段の1つだと思います。
海岸などをきれいにしたいというメンバーのみんなの自主的な行動はとてもすばらしいです！
街中は明らかに人が捨てたものばかりで、食べ物のゴミが多くて悲しいことですね。でも、みんなの活動を直接見たり、この新聞を読んだりすれば、ゴミを捨てる人が減ってくれるはずです。
感想をみると、ゴミ拾いはきっと大変だったと思いますが、きれいになってうれしい気持ちになっていることが伝わってきます。海岸の清掃は、そこを利用する人はもちろん、そこにくらす植物や生き物もとてもうれしいはずです。生き物にとっては、直接ダメージを受けたり、生活する場所がなくなったり、エサがなくなったりすることにつながってしまいます。
街や海が、ボランティア活動で清掃をしないときれいにならないのはおかしいですよね。ごみについては自然環境を悪化させないように、人間ひとりひとりの意識でできることです。メンバーのみんなのような意識の人がふえれば、きれいな街、海、地球になるでしょう。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
ゴミの分別もいい体験だと思います。分別すればリサイクルできるものもあるし、埋め立てるゴミをへらすことができます。
ゴチャゴチャに捨ててしまってからでは分別が大変なので、捨てるときに分けるのがいいです。今回ゴミ拾いをしたときは、分別しながら集めましたか？それとも、１つの袋に集めて最後に分けましたか？分別しながらいくつかの袋に分けて集めた方が、時間が効率よく使えますね。
海岸と街中のゴミの比較のアイデアはおもしろいです。外国からの漂流物もあったようで、海にさかいがないことを感じさせます。海岸ならではの流木やクラゲは人が捨てたわけではないですが、たくさん見つかりますよね。ゴミが多いと大変ですが、砂浜に打ち上げられた貝がら、サンゴ、ヒトデ、ウニ、流木や色とりどりのビーチグラスを集めて、標本をつくったり、クラフトをしたりするのも楽しいですよ。ビーチコーミングと呼ばれていて、イベントとして行われているところもあります。

徳島県三好市　ホタルと共に暮らし隊
壁新聞のタイトル：ホタル隊新聞～自然と調和して暮らす知恵～　　36-01

ホタルと共に暮らし隊 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――――
ホタルと共に暮らし隊の 2013 年ホタル隊の活動テーマ「太陽のチカラ」”自然と調和して生きる知恵”のかべ新聞を隅から隅まで見ました、読みました。とっても素晴らしい新聞でした。感動しました。写真と文章がよく一致して、分かり易い、問題、課題をしっかりと捉えて実態を把握し、次への問題提起も忘れない特級品のかべ新聞です。
真ん中の太陽と周りをホタルとサギソウで彩った太陽の力がまた素晴らしい。テーマがはっきりしていて、そのテーマに沿ったいろいろな側面から太陽の力を表現し、気がつかせてくれる活動内容がピッタリしています。
3 人がそれぞれの活動のコメントを書いています。新聞の構成から文章書きも 3 人が主体で行ったのでしょう。しっかりした、分かり易い内容の文章でした。国語力も十分にある 3 人と見受けました。
芋作り、出来立て、採りたての芋はとても美味しかったと思います。私はじゃがいもを庭で作りました。今年（2014 年）は豊作でした。じゃがいもも出来立て、採りたての新じゃがは柔らかくて、とても美味しいです。野菜もそうですね。自分たちで丹精込めて作ったものは、どういう訳か美味しいですね。太陽の力、太陽の恵みがいっぱい詰まった収穫物です。
梅シロップ作り、干し柿づくり、ソーラークッキングと楽しい、美味しい活動は力が入りますね。徳島県は太陽の照射時間が長いので、ソーラークッキングはちょうど良いですね。私たちボランティアが学校へ行って、ソーラークッキングでお菓子作りをしても、最近は、学校では食べることができません。アレルギーなどの安全の問題や衛生上の問題などで学校は非常に神経質になって食べることはできません。太陽熱で調理できることを見るだけです。残念です。皆さんは、食べたのですね。よかった！
スイッチにステッカーを貼って、どこの電気か分かりやすくして、SW―OFFの行動に結びつける。これも人間の行動心理にかなったやり方です。わからないことには、人間は臆病になり、行動を起こしません。しかし、はっきりとわかったことには人間は反応します。このような地道な活動によって、学校コツコツ削減コンテストでも成果が出たのでしょう。
安全のために会社では、地下などに埋まった配管を地上に出して、”見える化”を進めています。見えないところで何が起こっているか？事故が起きてから原因を探っても遅いです。見える状態にして、少しでも事故を減らすようにしています。環境も安全も”見える化”は大事ですね。

ホタルと共に暮らし隊
壁新聞のタイトル：ホタル隊新聞～自然と調和して暮らす知恵～

環境を良くする、環境を守る活動に、一発逆転満塁ホームランはありません。コツコツのように一人ひとりが地道に出来ること、小さなことで良いですから継続することで、ようやく成果が出るものです。
よしずで節電、省エネルギーになると言われています。皆さんは実際にやってみました。これが大事なことです。活動してみる、体験してみる、自分たちの目で確かめる。皆さん方の行動力に拍手します。実際に期待した通りであったか？今回の場合は、比較の仕方がちょっと違っていたかもしれません。同じ条件（方角や太陽の当たり方などが同じ部屋、生徒の有無も同じ）でよしずのある部屋とよしずの無い部屋を比較したら、もっとはっきりとした違いが出るかもしれません。でも、今回の実験では、4 学級の協力が得られてデータを取ることができました。素晴らしい、学校の一体感ですね。あるいは皆さんの熱意で 4 つのクラスの協力が得られたのかな？
バイオ技術でサギソウを増やしましょう。これもとてもチャレンジングな課題です。そして難しい課題です。しかし、皆さんは取り組みました。2 年後が楽しみな活動です。下級生に引き継いでぜひ、成功させたいですね。私のふるさと栃木県にもサギソウがたくさんあります。今、私の住んでいる神奈川県の庭に植えたけれど 1 年でダメにしてしまいました。どうやったら毎年咲くようにできるのですか？教えてください。サギが飛んでいるようすの花がいいですねー。
この次はどういうテーマにするのかな？同じテーマ「太陽のチカラ」でもいろいろな切り口がありますから、継続しても良いでしょう。次のかべ新聞を楽しみに待っています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
この新聞の素晴らしさは、的確な、テーマに沿った自分たちの活動の紹介ができていることだけでなく、この新聞を読んだ人が教えられることがたくさん書いてあり、そしてしっかりとした文章で書かれており、とても勉強になる新聞であることです。中学生ってこんなに素晴らしいことに気付き、書いて、発信できる学年であることにも感心しました。
太陽光発電の現状認識と将来への課題を書いてくれました。日本の現状は再生可能エネルギーの割合が少なすぎますよね！自然の力を利用したエネルギー、太陽光、太陽熱、風力、地熱、波力エネルギーなどたくさんあります。例えば1年間に日本に降り注ぐ太陽のエネルギーで、日本人1億 2000 万人が 1000 年間生きられるというデータがあります。あるいは、地球上に到達する太陽光のエネルギー量は 1 平方m当たり約 1kw です。
太陽光のエネルギーは傑出していますが、ほかの再生可能エネルギーを含めて、どうして普及しないのか？普及させないのか？お金だけの問題ではないでしょう。雨の日もある、風が吹かない日もある、波が静かな日もある、出来ない、困難な理由はいくらでも挙げることはできます。どうしたら出来るかを考えたいですね。みなさんの若い力、知恵でどうしたら出来るかを考えてみましょう。エネルギーの供給と共に、使う私たち、需要側の工夫、暮らし方にも考える余地がないでしょうか？

香川県高松市　シオンエコサイエンスクラブ
壁新聞のタイトル：シオンエコ新聞～メダカ見っけ　　　　　37-01

シオン・エコサイエンスクラブ さんへ
師範から一言！

ボランティア清掃（せいそう）やエコキャンプなど、身近な場所（ばしょ）でどんな活動（かつどう）をしているのか、知ってもらうことも大切な活動です。身近な自然（しぜん）環境（かんきょう）の中から、メダカに着目（ちゃくもく）して、どのように変わってきたか、みんなで考えてみることは大切なことです。さらに、これは来年になってもそのままの環境が続いているかどうか、調べ（しらべ）て確（たし）かめることを続けて下さい。数年分の調査（ちょうさ）データがあれば変化（へんか）の程度（ていど）もわかるようになりますよ。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
身近な環境（かんきょう）に生きているメダカに着目（ちゃくもく）したのは素晴らしいことです。
メダカはきれいなながれのある川が１０メートルもあれば一生を過ごすことができる生物（せいぶつ）で、大洪水（だいこうずい）でもない限（かぎ）り、離（はな）れた川との移動（いどう）をすることもありません。地域（ちいき）に根付い（ねつい）た生き物（いきもの）としてこれほど適（てき）したものはありません。
最近（さいきん）はペット屋（や）さんからいろいろな色のメダカが売られていますが、この調査（ちょうさ）ではミナミメダカ（いままではクロメダカとよばれていた在来種（ざいらいしゅ）を対象（たいしょう）にして、調査を続けて下さい。

香川県善通寺市　善通寺こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：こども樹木医になろう　　　　　37-02

善通寺こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

「樹木医（じゅもくい）」という見慣れ（みなれ）ないタイトルと大きく4つの小見出しでまとめ、たいへんうつくしく、わかりやすい紙面（しめん）になっています。
色使い（づかい）も木の葉（このは）や鳥のシルエットを使う（つかう）など、デザイン的（てき）にも優（すぐ）れていると感じました。文字と写真（しゃしん）配置（はいち）のバランスもいいですね。写真には手書きの吹き出し（ふきだし）がのせてあってわかりやすい工夫がみられました。
また、右下に「これからの取組（とりくみ）」がまとめてあります。これはかべ新聞の作成（さくせい）のためにワークショップを開催（かいさい）したのでしょうか、たいへんよくまとまっています。子どもたちの行動（こうどう）計画に大人もひきつけられると思います。来年のかべ新聞が楽しみですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
ここに登場（とうじょう）する樹木（じゅもく）は、イチョウ、ケヤキなどですが、樹木医（じゅもくい）になった子どもたちからどのような街路樹（がいろじゅ）の診断（しんだん）をするのか、これからが楽しみにです。
これからの取組（とりくみ）でも「木を大切にして自然（しぜん）ゆたかな地球（ちきゅう）」にしていこうという決意（けつい）が書かれていますので、かべ新聞もそのような標題（ひょうだい）でもよかったのではと思いました。
３番では公園利用について園長さんに取材（しゅざい）していますが、新聞の機能（きのう）にはインタビューも重要（じゅうよう）な仕事です。QAのスタイルでまとめていますが、メッセージを強く出すためには小見出しをつけるなどもう一歩ふみこんでおきたいですね。

愛媛県松山市　エコ・サイエンスクラブ
壁新聞のタイトル：エコ・工作新聞　38-01

エコアースクラブ さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――――
"エコ・工作新聞"とは活動内容にぴったりの名前ですね！1 年間にたくさんの工作を楽しみながら、かんきょうやエネルギーについて多くの発見があったと思います。写真には活動をしている（モノを作っている）様子だけでなく、できあがったものも写っているので、どんなものを作ったかひと目で分かります。日にちも書いてあるので、後で見たときにもいい記録になります。
"いろいろな電池のせいさく"では、くだもの、しょうゆ、やさいや自分の体などたくさんのものを使って電気が通るか実験したようですね。「メロディーがなるかな？」「LED がつくかな？」とわくわくしながら実験するのは、発見やおどろきがあるのでそれが大切だと思います。
しがいせんスライムとは、おもしろく便利なものを作りましたね。しがいせんは目に見えないので、同じとうめいでもしがいせんが通ったり通らなかったり、くもりでもしがいせんがあったりと、おどろくことが多かったでしょう。しがいせんは人の皮ふによくないので、日焼け止めをぬったことがみんなもありませんか？しがいせんスライムの色がかわったときは、スライムが日焼け止めをぬることを教えてくれているので便利ですね。
二酸化炭素の分子もけいは、酸素 2 つと炭素 1 つでできているので、とてもシンプルだからこそ覚えやすいです。"クリスマスツリーにかざって…"というアイデアは、このもけいはかざりにも見えるので「なるほど！」と思いました。新聞を見た人たちに広がってくれて、まちの中のクリスマスツリーにもかざってあるといいですね。
LED ディスプレイそうちは、絵と光を組み合わせて、どれもすばらしい作品が出来あがっています。信号きなど身のまわりに LED が使われることがふえてきましたが、いろいろな絵ができあがったように、是非いろいろな LED の使い道を考えてみてください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
1 つの活動に対して数人のメンバーの感想が書いてあるテーマ（LED ディスプレイ、いろいろな電池など）があって、楽しく新聞を読みました。同じことをしても感じ方はみんな少しずつちがうので、数人の感想があるのはいいなあ、と思いました。そして、せっかくいい感想が書いてあるので、色のこいペンを使ったり、字の大きさを大きくしたりする工夫をすると多くの人にとって見やすくなると思いますよ。
ポンポンじょう気船作りは、工作と実験を楽しみながら、①水があたたまるとじょう気になること、②じょう気はモノを動かすエネルギーを作り出すことを学ぶことができる活動ですね。このじょう気のエネルギーは、みんながふだん使っている電気のエネルギーの多くを作り出すもとになっているのですよ。
雨ふりけんちきは、工作をしている様子の写真を見ると、細かいさぎょうをしていることが分かります。どんなときに、どんなしくみで音が鳴るのかな？雨のおかげで地球上の水がじゅんかんしていて、"めぐみの雨"という言葉があるように生き物すべてにとって雨は大切です。その一方で、日本は世界的でも雨が多い国なので、はげしい雨で生活上のひがいがでることもあります。 "雨"についてきょうみをもつことができたよい活動だと思います。

愛媛県新居浜市　レインボーキッズ
壁新聞のタイトル：いま　できること　One　for　All　All　for　Our　Children　38-02

レインボーキッズ さんへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――――
新聞の最初に大きく書いてある"伝えようメッセージ"と"つなげようバトン"という力強いメッセージが内容からも伝わってきました。「メンバーから一言」をみて、小 2 から中学生、高校生、大学生まで自分にできることをアクションにつなげているこが分かりました。
H20 年から続けている植樹活動自体がすばらしいことですが、①昔植えた木に背の高さをぬかされてしまったこと、②植えた木が花や実をつけるようになったという文をみて、メンバーの自然を大切にする心も大きく育ったことを感じました。しし鍋を食べながらの地域交流も、バトンを受け取っていることにつながっています。東北の被災地の苗木の里親になったのも、自分たちにできることとして、"植樹"があることに気付いたのでしょう。トベラは潮風に強いので海岸にも多い木です。是非これからも"植樹"を通して受け取ったバトンを、他の人に渡していってください。
いろいろな生物の飼育をしてきましたがカブトガニはまだありません。海で暮らす生き物の飼育は、水の汚れ、酸素だけでなく塩分も関わってくるので大変だと思います。近くでこのようなボランティアがあれば私も手を挙げたいところです。カブトガニが見つかる海、素敵です。是非これからも続けて、飼育のコツを広めていってください。
海の森を見学して、ゴミの埋め立て地がどんどん広がっていることに驚いたことでしょう。ごみの埋め立地はどんどん増えてしまうので、森にしていく取り組みは、緑が増えるという点であった方がいいですが、元々あった海の自然は減ってしまうので、できるだけごみは出さないように心がけたいですね。
江戸時代にはてってい的にリサイクルをしていたのに、今ではリサイクルできないものも増えたので埋め立てるゴミがどんどん増えています。一人が出すゴミの量が変わらなくても、世界の人口は増え続けているのでゴミの量は増え続けることになります。新聞に書いてくれた「必要なだけ買う、使い切る、リサイクルする」という気持ちがこの新聞を見た人たちに広がることを期待します。
ふうせんかずらの種はハートマークがついていて私も好きです。写真ではなくて実物を新聞につけてあるので初めてみる人もよく分かります。グリーンカーテンになるツル植物はたくさんあるので、日本中みんなで楽しみながら、グリーンカーテンの輪が広がるといいと思います。

レインボーキッズ
壁新聞のタイトル：いま　できること　One for All All for Our Children

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
活動内容が写真からも分かり、8 年前に植えた木が大きくなった様子は、人といっしょに写っていることでとてもよく分かります。一方で、写真が多い記事と無い記事がかたよったり、一部見づらい写真があったりするので、その写真で何を伝えるのか考えながら写真を構成すると、もっとよくなると思います。また、「メンバーから一言」にあるような色のこいペンを使うと、記事もはっきりとして読みやすくなりますよ。
ブナの原生林ではササの花を見たのですか？50～60 年に 1 回花を咲かせますが、花が咲くと枯れてしまいます。ササは地下茎でつながって、そこから栄養をもらってどんどんと広がっていくので花を咲かせる必要がないのですが、その土地での栄養がたりなくなったりすると、これ以上ふえることができなくなるので、花を咲かして種を飛ばして新しい場所を求めていくのです。50 年というとめったに見られないような気がしますが、ササはいろいろなところにあるので、住んでいる県内でも毎年どこかで花が咲いていると思いますよ。
「多様な生物、自然にふれる」では、シイタケの植菌にもチャレンジしたのですね。シイタケはカビなどと同じ菌の仲間で、いつも食べている部分は種のかわりに胞子を飛ばすためのものです。本体は外からは見えないほだ木の中に糸のように張りめぐらされているのです。ほだ木の中の温度や水分が菌にとって快適になるように考えながらお世話をしてあげると、たくさんシイタケがとれるでしょう。
カイコは野生にはいませんが、カイコの原種といわれるクワゴや同じ仲間のヤママユなどが自然界にはいます。ヤママユは黄緑色のきれいなマユを作るので、葉っぱの落ちた冬の木（クヌギなど）の枝にマユがぶらさがっていないか探してみるのも楽しいです。飼育していて気付いたかと思いますが、この仲間の成虫は口が退化してしまっているので何も食べることができません。カイコはハネも飛ぶきのうを失っているので、人と共存する歴史ある昆虫ともいえます。

高知県高知市　フジこどもエコクラブ高知
壁新聞のタイトル：フジこどもエコクラブ高知新聞　　39-01

フジこどもエコクラブ高知 さんへ
師範から一言！――――――――――――――――
きょう、外はどしゃぶりの大雨です。気分がめいってしまう日です。でも、フジこどもエコクラブ高知のみんなが作った新聞は、とても温かい、そして楽しいみんなの活動がきれいな写真で作ってあり、読んでいたら気分が良くなりました。ありがとう！
とにかくとっても楽しそうにみんなで力を合わせて、田植えをし、ビーチクリーンアップをし、海にもぐって青い魚を見つけて、スコアオリエンテーリングをし、いねかりをして、収穫をしたお米でエコクッキングをし、愛媛のフジこどもエコクラブとの交流もしました。7 回も自然にふれる活動やものづくり体験をしました。
一つ一つをかんけつにまとめて、写真の切り方も工夫して、みんなのしんけんな、楽しそうな表情も良く表現できていて、すばらしいかべ新聞になっています。
田植えはどろの中に足を入れた時は、どんな感じでしたか？ヌルッとして気持ち悪かったかな？あるいは気持ち良かったお友だちもいたのではないですか？なえを植える時に、まっすぐにするようにひもにそって植えたのですね？その理由の一つがアイガモが泳ぐためだったと新しい発見がありましたね。
スコアオリエンテーリング、これもおもしろいゲームですね。私は会社につとめているときに、夜のまっくらな中で、目印をさがし、きまった時間で歩く歩行ラリーというのを何回もやりました。とってもおもしろいきょうそうゲームでした。みんなも楽しんでゲームをやったのだと思います。チームのメンバーが力を合わせることが大切だと分かったと思います。
エコクッキングは、さすがに食べることは、みんなもたいへん好きでしょうから、生き生きとした顔をしていますね。そして自分たちが作ったお米だからよけいにおいしかったと思います。てまきずし、すましじる、スモークチキン、ケーキ、どれもとってもおいしそうですね。これからはおうちの人のお手伝いもできるようになったと思います。ケーキは、上にのっているいちごや、まわりについているクリームもおいしいですが、やっぱりスポンジがきめこまかくできていることがおいしさの一番のようですね。
また、来年も楽しい、みんなの生き生きとしたすがたや顔がのっている新聞を送ってください。首を長くして待っています。

フジこどもエコクラブ高知
壁新聞のタイトル：フジこどもエコクラブ高知新聞

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
田植えはなえを植えるだけでなく、稲が育つためには、とちゅうで雑草を取ったり、水の深さをちょうせつしたりとお世話することがひつようです。農家のみなさんが協力してやってくれたそうですね。農家のみなさん！ありがとう！ですね。
そして 10 月にいねかりをしました。かまで切りましたが、手をけがしなかったですか？
しばって陽に干すところまでみんなでやったのですね。しばることやむすぶことは、ちょっと大変だったかな。今のみんなのくらしの中でむすんだり、しばったりすることが少なくなったようですね。マジックテープでむすぶことやしばることをしなくても良くなったのが一つの原因のようです。私は小学校へ行って、ふろしきつつみ体験を教えることがあります。ふろしきつつみでは、むすぶことができないとお弁当やびん、フランスパンなどをつつむことができません。小学生はなかなかにがてのようです。むすんだりしばったりすることは、これからみんなが大きくなった時にもひつようですから、練習しておくと良いと思います。
ビーチクリーニングでは、浜辺のごみをひろいました。あぶないごみもあったようですね。
外国から流れてきたごみ、漂流物はありませんでしたか？ヤシの実が流れ着くのは、歌にもあるようになかなかふぜいがありますが、外国語の文字がある箱やびんなどは、困ったものですね。
海の水はしょっぱいですね。地球には水がたいへん多いですが、ほとんどは海の水です。ではしょっぱくない水は、どのいくらいあると思いますか？みんなが使えるしょっぱくない水は、雨や川、みずうみにあります。南極や山にあるひょうがは、こおっていてすぐには使えません。地球にある水の全量を 2 リットルとすると、しょっぱくない水はスポイトで、ポタっ、ポタっ、ポタっ、ポタっの 4 てきくらいしかないのです。水をだいじにすることが分かりますね。
フジエコクラブ愛媛さんとの交流で、はがき作りとそば作りを体験したのですね。いの町は、和紙の町でとても有名な町ですね。はがき作りは、紙をすいて紙作りもやったのですか？私は、東京の王子にある紙のはくぶつかんで紙すきを体験しました。すかしをいれて、そしてもみじをはさんで、世界に一つしかない私流のハガキを作りました。みんなも世界に一つしかないハガキを作ったと思います。ハガキというのを漢字で書くと葉書となります。葉っぱに字を書くことが最初だったようです。タラヨウという木の葉っぱにほそい木の枝でキズをつけると黒くなります。字を書くと字が読めるようになります。タラヨウの葉っぱに字を書いてハガキとしたのが、ハガキの語源（ごげん）の一つと言われています。
タラヨウの木は、郵便局に植わっている場合がありますので、葉っぱをもらって体験すると良いと思います。

高知県香南市　香南市こどもエコクラブ　STEP
壁新聞のタイトル：よみがえれ、ブナの森　　39-02

STEP さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――
STEPクラブのみなさんが作ってくれたかべ新聞は、とてもたくさんのことが、きれいな字でびっしりと書いてある素晴らしい新聞です。そしてもっと驚いたのは、内容が高度であること、そしてこれだけの内容のある新聞記事を書いたのが、クラブのメンバーであることですから、中学生、いや高校生が書いたのかな？
「よみがえれ！！ブナの森」と大きく書いてあるので、ブナの森の新聞かと思いましたが、良く読んでみると、ブナの森以外に川遊びのこと、プロジェクトDのこと、こどもエコ＆ESDフォーラムのこと、新堀川のこと、エコの農業のこと、釣りをしたこと、かかし作りのこと、エコクッキングのこと、木のスプーン作りとと盛りだくさんの活動の報告でした。すてきなサポーターさんの紹介もあって、これだけの活動が出来たのは、このサポーターさんがサポートして頂けたのでやれたのだなと納得しました。
ブナの森を再生するためにみやびの丘の手入れから始めました。とても大変な活動でしたね。でも何とか再生させたいとのみんなの熱い願望でやり遂げたのですね。
この記事でみなさんの考えの素晴らしさは、5 年ぶりのブナの豊作をブナが森を作ってくださいとの意思表示、叫びだと考えたことです。木の声に耳を傾ける、こういう姿勢や考え方を全国民が持つと自然が豊かな素晴らしい日本になりますね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
ところで鹿の害で山、森が駄目になったと書いてありますが、なぜ、鹿がこんなに増えたのか？天敵オオカミのことに触れているようですが、みなさんの調査能力からいえば、昔の高知県にはどの位オオカミがいたのか、調べてみるのも良いかと思います。オオカミだけの問題でしょうか？そんなこともみんなで考え、話し合って見るのも良いかと思いますが・・・
新堀川界隈の人物と生き物を資料から抜き出してくれました。ジョン万次郎、中江兆民や坂本龍馬等とても有名な方がいたのですね。コアマモのことも調べてくれました。ところでみんなの活動で人物はともかく、生き物について自分たちが発見した、見つけた、目にした、触った物はどれですか？
他の活動の記録からは、全部見つけているようでもありますが、資料を載せるだけではなく、自分たちの活動との接点が欲しいですね。
依光先生のポケットには、活動の種がいっぱい入っているとのこと。ドラえもんの何でもポケットと同じようですね。でも 1 年間にみなさんはこんなにたくさんの活動をしたのだから、みんなのポケットにも活動の種が詰まっただろうと思います。大事にして下さい。
ところで、この新聞の記事を書いたのは、誰か一人が書いたのですか？字体が同じようなので、一人で全部書いたのかな？メンバーのこども達の声が、読む人にちょっと届いていない感じがしました。一人ひとりの特徴ある文章なり字があるともっと生き生きとした新聞になるのでは、と思いました。
次の新聞では、こども達の声が聴こえるような新聞を期待しています。

高知県香美市　香美市こどもエコクラブ　ハッピーコロリン
壁新聞のタイトル：①ハッピーコロリン新聞　　②そうだ！ブナの森をつくればいい！　　　　　早稲田大学賞　39-03、04　全 2 枚（39-04 が推薦）

ハッピーコロリン①を書いてくれたみんなへ
師範から一言！ーー ー ー ー ーー ー ー ー ー ー ーー ー ー ー ーー ー ー

ハッピーコロリンのみなさん、とてもすばらしい、大作のかべ新聞を作って、送ってくれてありがとう。4 月 21 日にエコクラブ結成式で活動を開始して、12 月 14 日の「みどりの道」表しょう式で表しょうされるまで、実に多くの活動をやりましたね。びっくりです。
5 つのクラブがいっしょに活動したとのことで、他のクラブのかべ新聞と同じことが書いてありました。大きなもくひょうは、「そうだ！ブナの森をつくればいい！」ということで 5 つのクラブは、ブナの森をつくることでいっちしたのでしょう。
アメゴのさしみにチャレンジしたとのこと。びっくりです。ヌルヌルすべって、切るのも大変だったろうと思います。さかなを切らずに手を切ることはなかったですか？でも自分でさばいて、自分で食べるさしみはとてもおいしかったとのこと、その通りだと思います。畑で自分たちで育てたやさいなどを、料理して食べるとやっぱりとてもおいしいと実感しますよ。
高知県の海洋深そう水は有名ですね。海洋深そう水を初めて商品にしたのは、高知県だったと思います。その後、富山県などでも海洋深そう水を商品にしていますね。深海というのは水深 200 メートルより深い海のことですね。地球上では深海のめんせきは、海の95％位だそうです。
5 人でスタートしたハッピーコロリンを 20 人ぐらいのクラブにしたいとのことですが、このかべ新聞を友達に見せれば、私も、ぼくもと言って、たくさんのお友だちが入ってくれるでしょう。楽しみですね。
また来年、いろいろな活動をして、楽しい新聞を作って、送ってください。楽しみに待っています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
1 年間の活動を物部川なのかな？新堀川なのかな？川にそって書いてくれましたので、どんな活動をしたのかが分かりやすくなっています。
ブナの森を作ることで川が生き返る、海が生き返ることで活動の内容は、川での活動や海での活動になっています。そのように新聞もまとめたようで、みなさんの活動はストーリーがあるように思います。
ブナの森を作るには、みやびの丘のせいびがひつようです。この活動は力仕事であり、大変だったと思いますが、みんなの気持ちでやりとげたのだと思います。種を植えるだけでなく、芽が出た後のことも考えて落ち葉のふたをかぶせたのですね。大きな木になるまでは、ウサギやシカからのこうげきをふせがなくてはいけません。それ以外に雨で流れないような工夫もひつようですね。もっともっと色々なことがありそうですから、みんなで力を合わせて大木にしてください。
ドングリは東北のドングリですから、少し大きくなったら東北へかえしてやってください。ドングリといっても全国どこでも同じではないのですね。その土地土地の生き物を育てるようにしないと、外来種となって、もともとそこで生きていた生き物にはめいわくになるのですね。

香美市こどもエコクラブ　ハッピーコロリン
壁新聞のタイトル：①ハッピーコロリン新聞　　②そうだ！ブナの森をつくればいい！

ハッピーコロリン②を書いてくれたみんなへ師範から一言！
ーー ー ー ー ーー ー ー ー ー ー ーー ー ー ー ーー ー ー

ハッピーコロリンのみなさん、1 年間にプロジェクト D、木のラスまき、土止めのさくづくり、ジャコウアゲハの救出大作戦、モンシロチョウの家作りなど１３の活動をしたようで、とてもがんばりましたね。それとともに、こんなにたくさんの活動をよくやりましたね。
びっくりです。学校の勉強をする時間がなくなってしまうのでは、とよけいな心配をしてしまいました。（じょうだんですが・・・）
ブナの森づくりは 5 つのクラブできょうどうしてやる　とても大きなもくひょうですね。森がいきかえると川も元気になる、海も元気になりますね。とてもだいじな活動だと思います。シカがふえすぎて草や木を食べて、山、森がだめになったのですね。シカを食べる動物がいなくなったためやいろいろなげんいんでシカがふえすぎたのですね。
みやびの丘での種まきは、ブナだけでなくミズナラやダケカンバもうえたのですね。一種類だけでなくいろんな木が育つことが森の元気さにつながりますね。芽が出て、少しずつ大きくなるとちゅうで、ウサギやシカなどに食べられることや大雨で流れる心配もありますね。ときどきは、種を植えたところを見に行くこともやると良いと思います。
エコクッキングではたくさんの料理を作りました。おひたし、みそ汁、野菜いため、アジはやき魚だけでなく、だしをとったり、おひたしにしたりと、ごみを出さないくふうもしたのですね。サラダ、ダイコンおろし、たまごかけごはんを作って、食べておなかいっぱいになりました。そうでしょう、こんなにたくさんの料理を食べればだれでもおなかいっぱいになるでしょう。そして、自分たちで作ったので、さぞ、おいしかっただろうと思います。
2013 年 12 月 22 日のハッピーコロリン新聞では、南海地しん特集でした。いつ地しんがおこってもふしぎがないようですので、今から救命救急のしんぞうマッサージやAEDの使い方、よごれた水をのめるようにするくふうやすじかいの強さを勉強したようですね。すばらしいことだと思います。地しんをふせぐことはできないので、おきた時のじゅんびをすることはとてもだいじです。日本は、プレートという岩盤（がんばん）の上にのっていて、そのプレートが 1 年間に 5cm～10cm くらい動きますので、地しんがおこるのは当り前と考えて、地しんにそなえるのがひじょうに大事です

香美市こどもエコクラブ　ハッピーコロリン
壁新聞のタイトル：①ハッピーコロリン新聞　②そうだ！ブナの森をつくればいい！

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
マネキグサも復活したようですね。花の形が、人を来い、来いと呼んでいるように見えるのでマネキグサというのですね。スケッチしたようですが、見てみたかったな—。保護さくでかこった所だけがだいじょうぶだったようで、保護さくの外は、やはりシカなどで食べられてしまったようですね。1 年間、見に行かなかったのかな？ときどきは見に行くとシカも人間がいると、よりつかなくなるのでは？・・・・
夏がとても暑くなりました。地球温暖化のせいだろうと思いますが、まだかくじつなことは言えません。でも気候がおかしくなっていることはたしかです。少しでも私たちでできることを始めましょう。それと温暖化をふせぐことだけでなく、温暖化によっておこることを予め考えて、自分たちで暑くなっても元気にすごせるには、どうすれば良いかも考え、じゅんびすることが大切になってきました。
ハッピーコロリン新聞は、メンバーのみんなが字を書いてくれました。記事のないようも、もっともっと自分たちのことばで書いてくれると、もっとすばらしい新聞になると思います。来年の新聞では、みんなが感じたことやこうしたいことなどを自分たちのことばで書いてくれるとうれしいです。すばらしい新聞を待っていますよ！

高知県香美市　センチュリー
壁新聞のタイトル：センチュリーの活動新聞　　　39-05

センチュリー さんへ
師範から一言！——————————————————————
センチュリーの活動新聞を送ってくれてありがとう。自然・環境を考えよう！！ということで、5 月 19 日のスプーンづくりから 10 月 19 日のかかしまつりまでのみんなの活動をすっきりとまとめて書いてくれました。
香美市こどもエコクラブは 5 つのクラブがいっしょになって活動を進めているようですね。そして活動の中心は、まんなかに書いてある山・川・海を守ろうでしょう。山が草や木、虫や鳥などでゆたかに、そして元気になると川もよみがえり、水がきれいになり、魚や虫もいっぱいになり元気になる。そうすると海もよみがえり、水がきれいになり、魚もふえて元気になることですね。そのために、みやびの丘、さおりが原、白髪山をシカが草や木をたべすぎないようにする活動に力を入れているのだと思います。シカのしょくがい（食害）から守るためにほごさくを作る、ラスまきをすることをしたのですね。こうかはどうだったのでしょうか？もちろん、守った所は草や木は食べられないで残ったのでしょう。シカの数をへらすことが一番のたいさくでしょうが、こどもエコクラブではシカの数をへらすことは、できそうにありませんので、自分たちのできること、ほごさくを作ったり、ラスまきをやることがもっとも大切かと思います。
エコクッキングは地元の食材を使うこともエコでしょうが、なるべくごみを出さないように皮や切れはしを使った料理をすることもだいじです。たぶん、そうやって料理をしたのでしょう。みんなが自分で料理をして作った物は、食べてもおいしかったと思います。畑で種やなえから自分たちで育てるけいけんをするのもだいじです。食べられるやさいなどを作るのに大変なろうりょく（労力）がかかることを実感することもだいじなことと思います。最後に料理をして食べると、これもとてもおいしく感じると思います。
環境日記に夏休み中に気がついたエコなことをわすれずに書いたのですね。たとえば、どんなことがありましたか？どうしてそれがエコと考えたのですか？また、ツバメかんさつも毎日したのですね。すばらしい！！エコ発見日記やツバメかんさつきろくは、夏休みの自由研究としてまとめて学校に出したのでしょうか？ツバメがとび去った後のすはさびしげですが、来年もかならず来ますので、すを取りはずしたりしないでだいじに守っておいてね。都会では、昔はツバメが来る家は、たとえばお店ははんじょうするということでだいじにしましたが、最近は、フンでよごれるとかいって、すをこわす店もあるようです。残念です。身近に鳥がいる環境をだいじにしたいですね。こどもにえさをあげるために親鳥は一日に何回くらい、出入りしていますか？すだちまでは何日かかるのでしょうか？子ツバメはとぶれんしゅうを始めてから、何日ですをはなれるのでしょうか？いろいろとかんさつすることを最初に考えておくことが良いと思います。

センチュリー
壁新聞のタイトル：センチュリーの活動新聞

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
7 月 24 日に岡山フォーラムにさんかして、他のクラブのメンバーとこうりゅうすることは、自分たちのしげきになり、次の活動のエネルギーになるので、きかいがあったらぜひ、さんかするようにすると良いと思います。発表して自分たちの活動やくろうしたこと、楽しかったことなどを他の人に知ってもらう、分かってもらうことはなかなかむずかしいです。でも、こういうきかいを作ってけいけんを積むと、みんなはかくじつに成長します。
8 月 25 日の香北町たんけんは、しらないことがたくさんあったようですが、たとえば、どんなことがあったかを書いてくれると良かったなーと思います。みんなが気がついた新しい発見なり、びっくりしたこと、かんどうしたことは何であったのでしょうか？
のうやくをあまり使わないハウスでなすをとったのですね。クモがいっぱいいたようですが、どうしてクモがいっぱいいたのでしょうか？クモだってえさがなければ生きていけないですよね。と言うことはエサになる虫がいっぱいいたことになりませんか？やはりのうやくを使わないと虫もふえるのでしょう。でも虫も食べないやさいは、人間だって食べたくならないでしょう。こんなことも考えてかんさつすることも大切です。今度は、どんな虫がどのくらいいるかを調べることもやってみると良いと思います。

☆★サポーターの方へ★☆
活動新聞は、サポーターの方、あるいは大人が書いたのですか。小学生には書けない漢字を使っていますので、たぶん大人が書いたのだろうと推測しました。
この活動新聞は、何をやったか、だけが書いてあります。
活動をやってどんなことをこども達は感じたか？何を発見したか？何に気が付いたか？びっくりしたことや感動したことは何か？そのような経験から次には何をしたいか？何をしたら良いのか？などをこどもの目線で書くことで、さらに素晴らしい新聞になるかと思います。記事に書くことばは、是非、こどものことばで書いてください。
サポーターや大人の役割は、上に書いたようなことをこどもに問い掛ける、あるいはそれとなく伝えてこども達が気が付くように指導、アドバイスすることだと思います。
新聞紙面の枠作りと記事を書く時に自分たちのやったことを自分たちのやり方だけで書くのが良いのでしょうか？やはり読み手が読みたくなる、興味を持ってもらうためにはどうしたら良いか？などをこども達と一緒に考えたいですね。
この次はできるだけこども自身が書いて、こどもの目線で感じたことや気が付いた事などを書くと良いと思います。
来年のかべ新聞は、またどんな活動を報告し、記事にしてくれるか楽しみにしています。

福岡県北九州市　たぶのきエコキッズ
壁新聞のタイトル：たぶのき新聞　　40-01（推薦）

たぶのきエコキッズ さんへ
師範から一言！━━
たぶのきエコキッズのみなさんの活動は、1 月にエコキッズサミットに参加し、3 月に全国フェスティバルに、11 月には北九州市で開催された星空の街、あおぞらの街全国大会に、そして 12 月には四市連携の環境子どもサミットに参加して発表する、さらに福岡県子どもエコクラブ交流会に参加するなど、対外的な活動に積極的に参加していることに感心しました。
これらのフェスティバルや大会に参加して、自分たちの活動を発表したり、ほかの参加者との交流を深めたり、実際のものを見たり、体験したりして、自分たちの活動する力をたくわえることが出来ました。
たぶのき新聞の記事は、中学生が書いたのでしょう。とてもていねいに、きれいに書いてくれました。それと写真をふんだんに使い、みんなの活動や訴えたいことが一目で分かるように作ってくれました。何をやったか、何を言いたいか、良く分かります。
1 月のエコキッズサミットは、やはり“くまもん”だよね。私も昨年、熊本に行きました。熊本城でくまもんと一緒に写真を撮りました。今や“くまもん”は全国的な人気者になっていますね。外国にも行っているかと思います。くまもんが登場する劇は上手くできましたか？どんな劇だったのかなー？
11 月の星空の街、あおぞらの街全国区大会では、人工衛星から見た夜の世界地図にびっくりしたようですね。先進国のアメリカ、ヨーロッパと同じように日本も電気がいっぱい点いていて、夜でも日本の形が分かります。光害と言って、夜に星が見えにくい、生き物にも悪影響がある、私達人間の生活にも良いことではないと思います。もちろん、暗い夜も明るいので勉強したり、仕事もできる、楽しみも増えるなど便利なこともあります。しかし、電気を点けるためにエネルギーがたくさん必要になります。エネルギーをたくさん使うことにより、みなさんも知っているように地球温暖化が進んでいることにつながります。光が無い真っ暗な世の中が良いと言っているわけではありません。私達のまわりを見てみると無駄な電気が使われているところが多くないでしょうか？クリスマスツリーのように毎日、電気がいっぱい点いている必要があるでしょうか？
12 月の環境子どもサミットでは、大きな声で発表ができたようで、素晴らしいです。人がいっぱい聞いているとあがってしまい、何を言っているか分からなくなり、声も小さくなりがちですが、大きな声を出して、自分をはげますことにもなり、良いことですよ。
野外合同フィールドワークでは鹿児島ならではの経験、体験が出来ましたね。桜島の火山でも植物は負けずに成長する、溶岩流対策を見ました、タヌキの足跡も見ました。2 億年前の恐竜の足跡が化石となって見つかっています。もしかしたらタヌキの足跡の上に火山灰などが積もって、化石となって残ることもあるかも・・・。

たぶのきエコキッズ
壁新聞のタイトル：たぶのき新聞

海岸での温泉ほり体験などはめったにできる体験ではないでしょう。41℃のお湯というとちょっと熱めなお風呂の感じですね。裸になってお風呂のように入るのはできなかったようですが、足湯として足だけを温めるのはできそうですね。今回は、みんなは足湯はやらなかったのかな？
「もったいないね　このばち当たりめ！」の本の中に書いてあるお米の話に感動したようですね。私の父親もお百姓さんです。米作りの大変さを良く知っています。従って、私たちこどももご飯を食べる時に、よく父親にお米を一粒たりとも残すなとしつけられました。こどものころに身についたしつけは大人になっても残ります。今でもお茶碗の中には、お米は一粒も残さないように食べています。たぶのきエコキッズのみんなもぜひ、米粒を残さないようにお百姓さんに感謝して食べましょう。もうやっているかな？やっていたら拍手です。
小学生４名、中学生２名の少ないメンバーでたくさんの活動をして、立派な新聞にまとめてくれました。来年は、またどんな活動報告があるか、楽しみにしています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
クスノキは、道路の街路樹にも使われている木です。1 枚葉っぱを取って、折ってにおいをかぐと“しょうのう”のにおいがします。しょうのうは今でもたんすの中に入れて虫よけに使っています。一度体験することをお勧めします。エコ活動をするときの大事なことは、自分で試してみることです。話を聞いただけでは、自分の力にはなりません。体験したり、経験することで大切なこと、大事なことが身につきます。
日頃の活動の様子も写真でよく分かりました。家庭菜園ではどんな野菜が出来たのかな？
食べたのかな？自分で作った野菜は、とてもおいしいですよ。風船かづらで緑のカーテンを作ったようですね。実際に緑のカーテンで陰になったところは、どの位温度が下がったのでしょうか？この次には結果を教えてください。
古紙が回収されて何に再生されたのでしょうか？自分の身の回りの商品などを良く見てみると、再生紙から作りました、と書いてある商品もたくさんあります。そんな調査もやると、自分たちがやっているリサイクル活動の意味がより深くなり、活動にも元気が出ると思います。

福岡県福岡市　青葉パークネイチャークラブ
壁新聞のタイトル：青葉公園ドングリマップ　　40-02

青葉パークネイチャークラブ さんへ
師範から一言！
たくさんのドングリの木がある公園ですね！ドングリが好きな人は多い（私もその１人）ので、この新聞をみたらきっとこの公園に来たくなるでしょう。
この公園がごみ捨て場だったとは驚きです。今でもガス抜きのえんとつがあるとか。えんとつは、もうゴミ捨て場にはしないということを忘れないためのランドマークとしてもいいかもしれません。ドングリのことだけでなく、このようなことを知ってもらうことも大事ですので、記事にとりあげてくれて良かったと思います。
マップにドングリとともに葉っぱを描いたのは、いいアイデアです。これならドングリができていない季節に公園を訪れてもドングリの木を見つけることができるでしょう。どれもよく特徴が出ていて、よく観察して描いていてすばらしいです！ドングリのぼうしが「ひげ状」「包状」「円心状」「うろこ状」と色々あることもイラストを使って説明しているので分かりやすいです。
ドングリを使ったリース作り、いいですね。どんな素敵なリースが出来上がったか、機会があったら見せてくださいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
公園の一部がゴミ捨て場だった話は、新聞を読んだ人が同じようにゴミ捨て場を公園にしたいと考えるきっかけになるので、もっと大きく書いて、多くの人に知ってもらえたらいいと思います。ドングリマップとしての完成度はかなり高いですが、さらに見やすくするアイデアとしては、マップのドングリを囲っている四角の枠の“色”を、ぼうしの種類で分けるのはどうでしょう？！
ところで、ドングリを食べたことはありますか？クリもドングリの仲間なのでクリはきっと食べたことがあるでしょう。他にも、スダジイやマテバシイは美味しいですよ。コナラやクヌギなどは渋みや苦みがありアク抜きをしないと食べられませんが、この苦みはドングリがネズミなどの動物に全てを食べられないようにする作戦でもあります。青葉公園のドングリの木がどんどん大きくなることを楽しみにしています。

福岡県筑紫野市　エコまめクラブ
壁新聞のタイトル：エコまめ家のエコなうちをたてるまで　　　　40-03　幼児（推薦）

エコまめクラブ さんへ
師範から一言！――――――――――――――――――――――

クラブのメンバーがみんな未就学児ということで、直接新聞を作るというわけにはいかなかったと思いますが、体験した内容や取組はとても素晴らしく、エコな家をこれから建てたい人にとって、とても参考になると思います。
古い家をこわしたときに、使えるものを必要な人にゆずったというのは良い取組ですし、こわされる家に絵を描いたというのはいい話ですね。リサイクルとともに役割を終えるモノへの感謝の気持ちはとても大切です。様々なエコに配慮した新しい家は、むくの木としっくいを使ったりと体にも優しさを感じます。ガスボンベをリサイクルした郵便ポストは、写真をみて気に入りました。毎日郵便ポストに向かってあいさつしたくなります。
仮住まいの家での節電は、それだけでもかべ新聞ができそうですね。現代の暑さはエアコンなしでは厳しい面（熱中症の問題）がありますが、私が子供の頃（30年前？）はエアコン使ってなかったなあ、と常々思い起こしています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
“これから”の記事に書いてあるように、カブトムシやたくさんの虫や鳥がやってくる庭をぜひめざしてください。生物多様性がゆたかな庭を作って、今度は成長したクラブのメンバーたちの新聞作りにも期待しています。
家を建てるときは、福岡県産材を使うことで、地元の木が「植える→切る→使う」のサイクルでまわって健全な山になりますよね。庭に植える草木についても、地元にあるものが望ましいです。地元になかった草木を導入すると、その種がまわりに運ばれてどんどん増えてしまうと、地域独特の生態系に影響を及ぼすことがあるためです。これからもみんなでエコな家での、エコな生活を楽しんでください。

福岡県春日市　くるりんぽん
壁新聞のタイトル：春日市立須玖保育所エコ活動　　　　40-04(幼児)　40-05(推薦、幼児)

くるりんポン さんへ
師範からサポーターさんへ一言！――――――――――――――――――――――
保育所のこどもたちのために、保育所の先生方がやっている活動の中で、環境に関わる活動をまとめてくれました。こども達が自主的に活動を考え、進めることはむずかしいでしょう。しかし、こどもの目線でこんなことをすると、こども達は喜ぶだろう、楽しむだろうと考え、いろいろな活動を企画して、こども達と一緒にやっている姿が目に浮かびます。
割れた竹馬の再利用と言うことで、菜園に立て掛けてつる性の野菜を育てたのですね。こども達が何をやっているのか、ちょっとわかりにくいのですが・・・
節電グリーンカーテンも竹馬の再利用ですか？ごーや（？）が絡みついているのは、網のように見えますが。
外部の団体との協働事業、これも大事な活動ですね。自分たちだけでは難しい活動などは、得意とする外部の団体と一緒にやると良いですね。何が良いって、外部の団体にとっては、自分たちの活動を披露できる場を与えられることで嬉しいですし、こども達にとっては見知らぬ人が来て珍しいことをやってくれるので、気分転換を含め、人と交わる機会になることが良い経験でしょう。
芝生を移植しました。でも、こども達が写真に写っていません。こども達がどのようにかかわりあったのか？知りたいですね。保育所の環境活動です、と言うことでしょうか？
芝生が根付いて緑一面になるのは、少し時間が掛かるのでしょうが、その後の結果はどうなったのでしょうか？
すき紙教室は、はるかぜのお兄さん、お姉さんとこども達が一緒に楽しんでいる様子が分かって良いですねー。すき紙の水分をよく吸い取ってから、通常はアイロンなどの熱で乾かしますが、火傷などの危険がありますので、ガラス窓に張り付けて乾かす工夫をしましたね。世界に１枚のオリジナルな紙です。クリスマスのカードに、あるいはお正月の年賀状にしてお家の人にプレゼントすると良いと思います。素晴らしいですね。「すき紙教室」と言っていますが、私のまわりでは「紙すき教室」、「紙すき体験」とか言い、すき紙と言う言い方は珍しいです。地方によって言い方が違うのでしょうね。すき紙の色が、青、黄色、肌色になっていますが、どうやって色づけしたのでしょうか？先生方の頑張りに拍手です。そして先生方と一緒に環境の勉強をしている保育園児に“良かったね！”と言いたいです。また、かべ新聞を送ってきてください。

くるりんぽん
壁新聞のタイトル：春日市立須玖保育所エコ活動

サポーターの方へのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・
エコ教室で水の勉強をしたのですね。こども達も体験する機会があり、目の前で見ることで印象深かったのではないでしょうか？水をろ過しているオアシスの山って何でできているのでしょうか？
私も小学１年生に水の大切さが分かる授業をやってくださいと学校の先生からお願いされてやったことがあります。保育園ですからさらに小さいこどもに水の大切さをどうやってわかってもらうか？私の知人の環境カウンセラーさんは、トイレットペーパーとティッシュペーパーが水に溶けるか？あるいは一円玉を乗せるとどうなるか？一円玉が水に浮かぶかどうか？などを保育園児と一緒になって楽しんでいます。青い地球の会ブルーアースの方も苦心したのだろうと思います。
でも最後に園児一人一人が水についての勉強で感じたことをしっかりと書いています。みんな楽しく勉強できたようですね。
じゅんかんと言う言葉は、小学生以下のこども達にはわからないようです。私はじゅんかんという言葉は使わないようにして、ぐるぐるまわってまた自分のところに来ると授業では、体験をさせて説明します。
こどもの目線は、保育所の先生方は良くご存じでしょうが、私も知りたいことがたくさんあります。ぜひ、何かの機会に教えて頂きたいと思います。

くるりんぽん
壁新聞のタイトル：春日市立須玖保育所エコ活動

くるりんポン さんへ
師範からサポーターさんへ一言！—————————————————————
すぐ保育園 くるりんの環境保全活動、エコ活動をまとめたかべ新聞をお送り頂き、ありがとうございます。
活動内容は、写真をみてよく分かります。
こどもエコクラブのかべ新聞として、街中のクラブからの新聞、学校で推進しているこどもエコクラブ、部活、例えば生物部として自然観察、生き物観察などの新聞、あるいは幼稚園、保育園の活動、家族で活動をしているなど、いろいろあります。くるりんポンの活動は、保育園のエコ活動にこどもたちを参画させて、まとめて新聞としたものでしょう。こども達のエコの意識付け、動機付けを図っているかと思います。
すぐトンはすぐ保育園のキャラクターになるのですか？
平和の集い（エコ コーナー）は、家庭から集めた布きれを使って、はたきを作りました。カチューシャを作りました。ミサンガを作りました。三つ編みも布きれでやったのですか？ちょっとした工夫でこども達も喜んだようで、保育園の先生ならではの企画でしたね。こども達がお家の人と一緒にやることに大きな意義がありますね。ごみにならないよ！いろいろと工夫すれば、楽しいものが作れるよ！と是非、教えてあげてください。
牛乳パックのフィルムはがしは、ちょっと大変ですね。水につけて十分に水を紙に吸わせないとはがせないようです。数日間は水につけておくことが必要のようですね。
これからも保育所のエコ活動を続けながら、こども達を参画させて環境の意識作りに励んでください。先生方の熱意と努力に感謝とお礼の拍手を送りたいです。また来年のかべ新聞を期待しています。

サポーターの方へのとっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
園内基本リサイクル回収活動として、ペットボトルキャップ、アルミカン、プルタブ、残食でのコンポスト堆肥づくりをやっています。残食以外は、こども達がお家から持ってきたものでしょう。こどもが回収箱に入れている写真があるともっと良いですね。こども達が持ってきていることは当たり前で分かりますが、写真に写っているとなると、そのこどもも喜ぶのではないでしょうか？
リサイクルされて何に再生、変身したかも展示しておくと、こども達の意欲向上にもつながるのではないでしょうか？
残食での堆肥づくりは、ちょっと難しい面もありますね。食べ残しをしないように指導しているでしょう。でも食べ残しが無いと堆肥が出来ない、ジレンマもありますね。先生方はどのように指導していますか？
園内エコ教室の平和の集い（前日際）では、先生方の熱演、演奏がいいですね—。こども達もたっぷりと楽しんだのでしょう。エコはどこにあるのか？
もうちょっと説明なり、ごみの活用ですよ、あるいはリサイクルで作りましたなどがあると良かったなーと思います。

長崎県佐世保市　こばとエコクラブ
壁新聞のタイトル：命につながるこばと風食物連鎖　　42-01

こばとエコクラブ さんへ
師範から一言！
にぎやかで見ているだけで、元気になるような新聞です。国旗で新聞が縁どられていて、エコな活動が世界へと広がっていくイメージを受けます。それにしても国旗を描くのは大変だったでしょう。
畑作り、野菜作りから料理して食べるまでの様々な体験を通した食育によって、「食」を大切にして感謝する心も育ったと思います。オクラ、ナス、トマトはみんなの畑で作ったのかな？オクラの花は初めてみたときに感動したものです。朝早くに咲いて、午後にはしぼんでしまうから、みんなはきっと早起きして畑の世話をしているのでしょうね。
生ゴミをリサイクルしたぼかし肥料を作って、その土で野菜を育てるのはいい取組です。生ゴミが消えてしまって、不思議に思った子もいるのでは？最近は化学肥料が多く使われていますが、手間をかけた分だけ、おいしいエコな野菜が出来たと思いますよ。
トイレットペーパーが、みの虫になったり、お米の紙袋がこいのぼりになったりと、作品にあったものをうまく利用していると感心します。川調べではメダカがいたようですね。「ややきれい」だったようですが、最近はメダカが見られなくなった地域が増えているので、これからもメダカがいつでも住んでいるような川のままだといいですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
食物連鎖風にピラミッド型になっていて、アイデアとしてはおもしろいです。下の方にリサイクルの話があって、その上に植物、生きものとつながっているようにも見えますが、上の方にもトマトの実があるので、どんな順番かなと考えてしまいます。ピラミッドの下から上に向かって、畑作りから人が食べるまでの「食」のつながりにこだわるのも一案です。
かしわもちの葉はサルトリイバラを使っているのかな？！関東ではカシワの葉を使うので、何気ないかしわもちの写真からも地域の特色が分かって楽しいものです。
楽しそうなクラフトを色々作りましたね！マツボックリのXマスツリーは乾燥すると、“カサ”がどんどん開いてきませんでしたか？“カサ”の間にはさまれている種子をうまくとばす自然のしくみは大したものです。

長崎県平戸市　下里エコクラブ
壁新聞のタイトル：エコクラブ活動報告　　42-02

下里エコクラブ さんへ
師範から一言！
3 つの大きな活動をしたのですね！
稲の栽培では、初めて田植をする子がお兄さんに教えてもらっている写真があって、エコクラブの幅広い年齢での交流ができているすばらしさを感じます。また稲刈は、お父さんやお祖父ちゃんが来てくれて、こちらは世代をまたいだ交流ですね。地域ぐるみでこのような体験ができることは素晴らしい協力体制です。
星空の観察会も、季節によって見ることができる星座が変わるので、季節感のある活動ですね。市街地の夜は“真っ暗”ということがないので星座も見えにくいです。下里ではきっと輝く星たちがはっきりと見えたことでしょう。
川の生き物調査は「今年も」とあるので毎年行っているのですね。昨年と比べてどうですか？調査データが増えてきたら、それについても是非教えて下さい。ホタル観察会は雨で中止になってしまって残念ですが、みんなが毎年楽しみにするゲンジボタルが舞う光景を残していくためにも、エサであるカワニナが暮らしやすい川であることも大事ですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
この田んぼはどんな特徴のある田んぼですか？写真をみると田んぼのまわりが自然に囲まれているので、生き物がいっぱいいそうですね。水辺の生き物調査は川だけでなく、田んぼでも実施するとまったく違う種類がいておもしろいですよ。季節によっては小さな虫、トンボ、カエルやヘビといった田んぼだけで「食う」「食われる」の生き物のつながりが見られます。
田んぼの周りはひかげがないようなので、田植のときも熱中症にならないように帽子をかぶった方がいいです。川の生き物調査の時も同じです。
活動した内容はしっかりとした文章で書いてあってよく分かりますので、活動によって分かったことや感想や意見を書くと、さらにいい新聞になると思いますよ。

熊本県熊本市　熊本市立力合中学校　花壇造園隊
壁新聞のタイトル：花壇造園隊　　　　43-01

熊本市立力合中学校　花壇造園隊 さんへ
師範から一言！

自分たちの力で整備した中庭に花が咲いたということは、とてもうれしいことですね。
園芸は土いじりや水やり、防虫など作業工程の多いものですが、それらの作業を経たからこそ、きれいな花が咲いたときに「頑張ってきてよかったな」という達成感を得ることが出来たのだと思います。大変な作業も同じ目標を持った仲間とすると楽しくなりますね。
中庭ハウステンボス計画、完成を私もとても楽しみにしています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
皆さんが一生懸命中庭を整備したことで、以前と様子が変わったことに気が付いた生徒さんもたくさんいることでしょう。全校生徒が皆さんの作った花壇造園隊の活動の成果を、どのように感じているのか、ぜひ次回の新聞で聞かせてください。

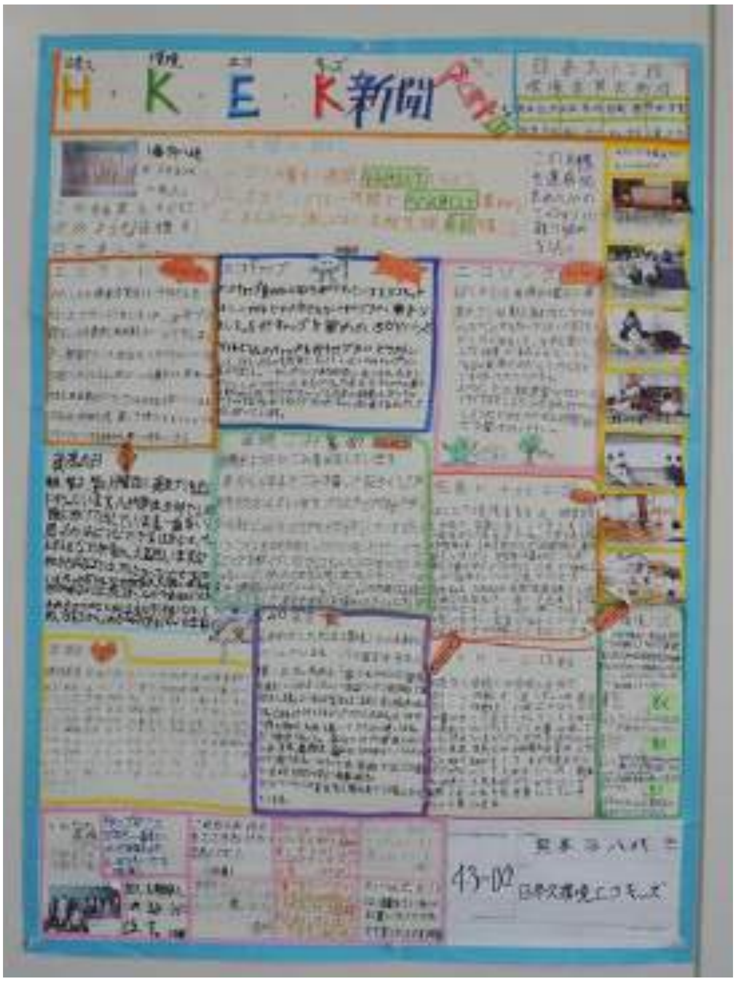
熊本県八代市　鏡エコファイターズ
壁新聞のタイトル：鏡エコ新聞　　　　43-03

鏡エコファイターズ さんへ
師範から一言！

鏡エコファイターズの皆さんが積極的に取り組んでいるおかげで、学校版環境 ISO が学校中に行き渡っているようですね。
節電・節水の様子を、グラフを使って表すことで、自分たちの努力を目で見ることができます。それが結果につながっているということがわかると、みんながさらに意欲的に取り組むことができるようになると思います。とてもいい試みですね。これからも期待しています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
草むしりで運動場がきれいになって、節水や節電も徹底されてきました。鏡エコファイターズの皆さんは、今の学校の様子をどう思いますか？　嬉しかったですか？　それとも次の目標に向けてすでに別のことをはじめていますか？　きっといろいろな考えや思いがあると思います。次回は、そんな皆さんの気持ちを表現した、新聞を待っていますね。

熊本県八代市　日奈久小学校　体育・環境委員会
壁新聞のタイトル：H・K・E・K 新聞　パートⅢ　　43-02



日奈久環境エコキッズ さんへ
師範から一言！
――――――――――――――――――――――

10 のミッションがそれぞれ色分けされていて、とても読みやすい新聞ですね。
お昼の時間にエコソングを流して、資源ごみの日を学校中に意識づけているようですが、歌は人々の耳に、そして頭に残りやすいので、素晴らしい取り組みだと思います。この活動を続けていくことで、「あ、今日は資源ごみの日だ！」と音楽を聞く前から気がつくくらいに浸透（しんとう）すると良いですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
ミッションを実施したことにより、目標達成に近づく良い結果がたくさん得られたようですね。
では、ミッションに取り組んだ全校生徒はどのような思いでおこなって、終わったときはどんな気持ちだったのか？　それらをアンケートなどで聞いて、その結果を新聞に載せてみてはいかがですか？　全校生徒の皆さんのさらなる意識の向上につながるのではないかと思います。

熊本県水俣市　水俣市立水俣第二中学校
壁新聞のタイトル：環境新聞　　43-04（1位）

水俣市立水俣第二中学校　環境 ISO 委員会 さんへ
師範から一言！
――――――――――――――――――――――

「環境プチ検定」というものがあるのですか。水俣第二中学校独自の取り組みとのことですが、学校内の環境保全への意識向上という点では、とても良いアイディアだと思います。
また、他校との交流会も実施しているとのことです。今まで自分たちでは気がつかなかったいろいろな課題や第二中学校の誇れる取り組みが見えてきたようですね。
他校の取り組みを実施するときに、「何か工夫できる点はないか」とミニ会議のような話し合いの場が設けられるとなお良いですね。そんな新聞も期待しています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
節水・節電の結果をグラフとして表してくれました。結果は図で見せてくれると、とてもわかりやすく、このようなかべ新聞で大勢の人に伝えるのに、効果的な方法です。
アドバイスというほどのことではないのですが、文章で多くの情報を書いてくれているのでスペースの関係で難しいかもしれませんが、もう少し大きくグラフを貼ることができると、誰もが見やすくなるのではないでしょうか。なので、次回はレイアウトをちょっと工夫してみてください！

熊本県水俣市　水俣第一小学校エコ・リーダーズ
壁新聞のタイトル：ISO 新聞　　　　43-06　43-07　43-08　全３枚

水俣第一小学校エコ・リーダーズ①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

しょくいん室にあるいんさつ機の電力調査とは、これはなかなか気がつきにくいところに目をつけましたね。とてもおもしろい調査だと思います。グラフを見ると、9 月 30 日の午後 6 時 50 分が最も電気の使用量が多いようです。
グラフにして表すと、誰が見ても電気がどれだけ使用されているか、よくわかりますね。ところで、全校みんなが楽しめるごみ回収のことを「カンキョーズ」という名前をつけて実施しているのですね。ごみをたくさん拾うとカードのレベルがどんどん上がっていくという仕組みはおもしろくて楽しそうです。ぜひ全校生徒のみなさんで学校をもっともっときれいにしていってください。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
今回のいんさつ機の電力調査の結果を見て、じっさいにいんさつ機をいつも使用している「先生方」はどのように思ったのでしょうか？
ぜひ、先生方にインタビューをして、次回の新聞で教えてください。こうすれば電気の使用量を減らせるよ、という方法がわかったらそれも書いてくださいね！

水俣第一小学校エコ・リーダーズ
壁新聞のタイトル：ISO 新聞

水俣第一小学校エコ・リーダーズ②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
まず目についたのが各項目の見出し。とてもカラフルで見やすく、何について書かれているかが一目でわかり、工夫されているなと思いました。分別されていないごみ袋は、教室から持ってきても受け取らないというのが委員会の決まりなのですね。みんなに分別するという習慣をつけてもらうという意味でもよいことですね。その場で「分別してください」と教えてあげ、直してもらうことで、間違えて持ってきてしまったクラスも、正しい分別の方法を学ぶことができます。ぜひまちがって持ってきてしまったクラスにも、やさしく教えてあげてくださいね！
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
せっかく分別をしているのですから、一番多く出されているゴミは何か、集計をとってみるのもおもしろいかもしれません。その中で、もっと減らすことのできるゴミやその対策についても、委員会が呼びかけて全校生徒のみなさんで考えてみるのもいいと思います。次の新聞も期待しています！

水俣第一小学校エコ・リーダーズ③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！
この新聞で初めて 7 枚すべての「カンキョーズレベルカード」を見ました。すべてデザインが違うのですね。レベル7までいくのはけっこう大変そうです。カードの裏面には、エコに関する一言が書かれているのですか。ここでも環境保全についてのアドバイスが書かれているので、生徒のみなさんの環境への意識を高めることにもつながることでしょう。牛乳パックのリサイクルを促す 4 コマも、わかりやすく描かれています。「リサイクル」の他にも「節水」や「身近な生きものを守る」など、テーマを変えて連載として次の新聞でも続けていってほしいと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
みなさんが「カンキョーズ」で分別の指導をしている様子を、写真にとって新聞にはってもらえるとより活動している様子が新聞を読んだ人に伝わりやすくなるのではないでしょうか。
カードの実物をのせてくれたので、カードがどのようなものかよく分かりました。やはり、文章と写真をセットにして説明すると、よりいっそう活動の様子が伝わりやすい新聞になると思いますので、次回は工夫してみてくださいね！

熊本県水俣市　水俣第一小学校
壁新聞のタイトル：楽しいよ、みんなでやったエコ活動　　43-05

水俣第一小学校こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

まず目につくタイトル、とてもきれいですね。そして、みんなでどのようなエコ活動をしたのかにがお絵といっしょに紹介されています。
それぞれ「しんけんな顔」と「にっこにこの顔」が書かれていますね。みなさんのエコ活動をしている様子がそうぞうできます。とても楽しそうな感じが伝わってきます。作ったものや活動している様子も写真として貼られてあるので、ひとつひとつわかりやすく、そして完成度が高いことがわかりました。どんぐり動物園ではいろいろな動物を作ったのですね。どれも上手に足や首をつけることが出来ていて、とてもかわいくできています。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・
それぞれの活動の内容がかんたんでいいので書かれているとさらにわかりやすくなっていいですね。
たとえば、フィールドビンゴってどんな活動をしたのですか？ほんの少しでも活動の中身が説明されていることで、みなさんの新聞を読んだ人も「こういう活動をしているんだ」とさらによく理解してくれることでしょう。次回、工夫するポイントにしてくださいね！

熊本県益城町　広西地球環境クラブ（広安西小学校環境委員会）
壁新聞のタイトル：広西エコチャレ2013新聞　　43-09（3位） 43-10（2位）

広西地球環境クラブ（広安西小学校環境委員会）①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

項目のひとつひとつに写真が付いていて、活動の様子がとてもわかりやすく、華やかな印象を受けました。「たこさんたわし」を使うことで節水につながり、環境にもおうちの人にも役に立って一石二鳥ですね。
紙の切れ端で手作りのしおりを作ることで、余らせてしまった紙もむだにしないで、きちんと使うことができるという方法を、学校のお友だちも知ることが出来たと思います。今後の活動も楽しみにしています。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
「あさエコ」を行うことで清々しく１日の学校生活を始めることが出来ましたね。
ところで、この活動は学校の中だけなのですか？せっかくなので学校周辺の道路に落ちたごみも拾ってみるというのはどうでしょうか？　いつも皆さんを見守ってくれている地域の人達とも、気持ちよく過ごせるようになるし、地域のためにもなるのではないでしょうか。

広西地球環境クラブ（広安西小学校環境委員会）②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

全体を見たとき、まず目についたのが色づかいの鮮やかさ。そして文字の多さ！　驚きました。模造紙１枚にこれだけの量の情報を書き込むのはさぞ大変だったことでしょう。私は関東に住んでいるので、地名だけでは熊本県のどこのことを指しているのか分からないのですが、皆さんの新聞では見出しごとに地図が描かれているので、とてもわかりやすかったです。新聞を作るときは、誰が見てもわかる記事を書くことは大切だなと、思ったものでした。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
皆さんの身近にある「湧き水」とはどのようなものでしょうか？
「きれいな真水」と書かれていましたが、では逆に「きれいではない水」とはどういうものなのか、簡単にでも説明されていると、よりいっそう阿蘇の湧き水のきれいさが引き立つのではないかと思います。

大分県大分市　イオンチアーズクラブ　パークプレイス大分
壁新聞のタイトル：しらしんけん隊だより　　　44-01

師範から一言！

「太陽と自然」というテーマを決めて、エネルギーのことを学び体験する活動ができたようですね。
発電所についても、水力、火力、太陽光、原子力、地熱とそれぞれのエネルギーについて学べましたね。とりわけ、あそくじゅう国立公園に地熱発電所を見学できたのは貴重な体験ですね。日本で地熱発電所はまだ少なく、私も見に行ったことがありません。でも、新聞のイラスト記事から、この発電所が日本一大きく、11 万キロワットの電気を作っていることなど、行ったことのない人にもよく分かります。
また、いろいろな発電所の見学のあと、「私たちのできること」を考えることができました。お家に帰ってどれだけ実行できたのかなあ？
みんなの毎日の生活でちゃんと実践できたのかどうかなど、もっと新聞で教えてほしかったですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
あそくじゅう国立公園の地熱発電所について、もっとたくさんの情報を全国の子どもエコクラブのみんなに伝えてもらったら、大分県にある子どもエコクラブらしい新聞になったと思います。
地熱発電所ではどんな人が何人くらい働いているのかな？　どんな風につくられたのかな？　できた電気は誰がどのように使っているのかな？　他の地域でもまねができる発電方法なのかな？　もっと教えて欲しいことがいっぱいでした。

大分県大分市　鶴崎エコクラブ
壁新聞のタイトル：ただいまー　しんぶん　　　44-02

師範から一言！

メンバーみんなで、一つのものを作ると完成したときは本当にうれしいものです。
新しい材料を使うのではなく、捨てたり、リサイクルに回したりする段ボールを再利用して、とっても大きなおかしの家ができましたね。
ひもで縛ったり、家の形を考えたり、みんなが一生けんめい家づくりをしたことが、写真や感想からよく分かります。
作り始めてから完成するまで、どのくらい時間がかかったのかな？　おかしの家で、みんなどんなことをして遊んだのかな？　この家はどのくらいの間、みんなの遊ぶ家として使われたのかな？　そんなことも、新聞にかいてもらうと、段ボールの家づくりがいい取組だって言うことが、もっと読んでいる人にも伝わると思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・・
写真では分かりにくいけれど、かべや屋根に使った材料は、お菓子などの空き箱かな？　私たちの周りには、再利用できるのに捨てられるものも多いですので、この家作りのように、工作などでもっともっと捨てられるものを利用して欲しいなあと思います。
そして、もしいろいろな捨てられるものの再利用をお家でしているなら、ぜひどんな風に再利用して、どんなものを使っているか、そんなこともあわせて書いてもらうと、鶴崎エコクラブのみんなが毎日ごみを減らすための努力をしていることが分かる新聞になるでしょう。

大分県別府市　大平山友遊エコクラブ
壁新聞のタイトル：エコの灯をつなごう　キャンドルナイト　　　　44-03

師範から一言！

地域全体のイベントとしてキャンドルナイトが行なわれている中、子どもエコクラブのメンバーが大人に交じって、このイベントの準備から関わっていることがよく伝わってきます。また、その数 500 本、たくさんの数のろうそくを廃食油でリサイクルして作ったのですね。大変な作業だったと思います。また、キャンドルタワーを作るのも、苦労したようですね。でも、大変だった分、ろうそくにみな火が灯された時にとってもうれしい気持ちになったことでしょう。
イベントが大きくなると大変さも増えますが、来年もぜひ参加して続けて下さいね。
子どもたちが「がんばる」姿が、地域の大人の人のがんばりにつながっていること間違いなしです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
キャンドルナイトの記事だけでなく、新聞のあちらこちらに、ちりばめられたクイズと答えがいいですね。
私たちの暮らしと電気などエネルギーの使い方をについてクイズの答えをしっかり聞くことができました。
調べたり、学んだりしたことから、キャンドルナイトをするだけでなく、他にどんなことをして毎日の生活で電気の大切さを感じていますか？家庭でどんなことを実行していますか？　そして、一つの家族だけでなく、地域みんなでキャンドルナイトのように一緒にできることがないか探して、次の活動にしてみてはどうでしょう？

宮崎県宮崎市　大宮地域こどもエコクラブ（大宮小こどもエコクラブより名称変更）
壁新聞のタイトル：落ち葉などのリサイクル　　　　フェス参加辞退　45-01

大宮小こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！
テーマを「落ち葉などのリサイクル」に絞（しぼ）り込（こ）んでの実験結果がうまくまとめられています。
目的，方法，結果と科学的な推論（すいろん）の方法をきちんと守って、説明をしているとこことはとてもよいことです。この実験の結論（けつろん）はみなさんが想定していたとおりですが，実験の数値（すうち）で示（しめ）すことによって理解（りかい）しやすくなっていますね。結論（けつろん）も簡潔（かんけつ）にまとめられています。
ぼくは最初、ゴミの半分が落ち葉なのでゴミを減（へ）らすためには直接土にもどすことが大切だという意味の実験と思っていたのですが、よくよんでみると落ち葉がいろいろな生き物の食べ物になって土にもどっていくリサイクルをしていることを教えているんですね。そこで分解（ぶんかい）実験とたい肥（ひ）作りにつながることが判りました。特にたい肥作りではダンゴ虫やミミズを落ち葉に加えて落ち葉を分解（ぶんかい）する実験をしていることに驚（おどろ）かされます。自然の分解（ぶんかい）を人工的に再現（さいげん）しているところは素晴（すば）らしい発想だと思い、感動しました。
とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
残念なのは、たい肥（ひ）つくりの時の土の温度を測（はか）っていますが、外気温の低下の方が大きいためか、寒くなってきて土中の昆虫（こんちゅう）の活動が低下してきていることがわかります。この辺は温度計だけでは難（むずか）しいと思いますので、実際（じっさい）にミミズの数などを数えてみることも必要かと思います。
それと写真のキャプション（写真につけた説明文のこと）が省略（しょうりゃく）されて、かべ新聞本文に写真の番号を書き込む方法も面白い工夫と思います。実験を担当（たんとう）した皆（みな）さんの写真が小さく載（の）っていますので、担当者の名前も載せて下さい。また、書かれている文字の大きさを原稿用紙（げんこうようし）などでそろえるともっと見やすくなると思いますよ。
次回は工夫してみましょう。

宮崎県都城市　五十市中学校　生徒会
壁新聞のタイトル：五十市中学校　生徒会　　　　45-02

五十市中学校生徒会 さんへ
師範から一言！――――――――――
標題の「GKP活動」というのが興味（きょうみ）を引きました。「グレート・きずな・プロジェクト」の省略（しょうりゃく）だったのですね。おもしろい標語を考えてくれました。いろいろなところで略字（りゃくじ）などを見ますが、このようにして考えだされているのでしょうか、これからは他所の標語などにも注目をしたいですね。「おもてなし」というキーワードも「今でしょ」という言葉も流行語になりましたね。
全体をオリンピックのマークのように５つの輪に分けて、世界、宮崎県、地域（老人ホームと幼稚園）、都城市のきずなを解説（かいせつ）しています。しかもこの輪にはエコ（eco）の文字が隠（かく）されています。こんな工夫は面白いですね。
ポリオワクチンの購入（こうにゅう）にあてるペットボトルのふたを集めるきずな、こどもエコクラブの交流会というきずな，シュシュたわしをきずなとする老人ホームと幼稚園（ようちえん）、リサイクルプラザでのきずな活動とたくさんのいろいろな年代の仲間と活動している様子が生き生きと書かれていて、とても楽しい気持ちになります。これからも活動を続けて下さいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
たくさんの活動を紹介（しょうかい）してくれたのですが、どんなことをしてきたのか、もっと大きな写真をいれてくれるとはっきりとしますね。次回は写真も載（の）せて下さい。色合いやバランスはとてもよくできていますが、５つの輪の上にそれぞれの活動の場所やテーマを書きこんでみてはいかがでしょうか。手書きの文字の上に下線や赤線の飾（かざ）りを入れたために文字は読みにくくなってしまいました。基本（きほん）のデザインはよくできているので、部分的にパソコンの文字にしてみるなど、細かいところまで読みやすくなる工夫にも挑戦（ちょうせん）して下さい。

宮崎県延岡市　三川内中学校エコクラブ
壁新聞のタイトル：三川内の自然　　　　45-03

三川内中学校 さんへ
師範から一言！――――――――――――――
かべ新聞の中に５枚の新聞が貼（は）ってあるという前例のないかべ新聞が登場です。
テーマはリサイクル，廃品（はいひん），ホタル，緑のカーテン，世界の川の５つで，それぞれ小さなかべ新聞の形にまとめられています。文字が小さいので近づいて小さなかべ新聞を見てみると，例えば「緑のカーテン」ではその効果（こうか）が気温で 10℃も下がることや，「廃品（はいひん）」ではリターナブルびんとワンウェイびんのそれぞれの再利用（さいりよう）の方法が判（わか）りやすく説明されています。「リサイクル」では牛乳（ぎゅうにゅう）パックで和紙作りを体験しています。記事の編集（へんしゅう）では細かい注意がなされていることがわかりました。さらに、「世界の川」では世界の川と日本の川の比較（ひかく）が調べられています。「ホタル」新聞では身近な河川（かせん）である三河内の５地域（ちいき）のホタルの多い川で出現（しゅつげん）頭数を数え、ホタルの住みやすい環境（かんきょう）を調べています。これらの結果を受けてや三河内（みかわち）河川大掃除（かせんおおそうじ）の提案（ていあん）が書かれています。
よく読むと５枚（まい）のかべ新聞が身近なところで深いつながりをもっていることに気が付くと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・★・・・・・・★
小さなかべ新聞のひとつひとつはよくまとまりがありますが、台紙に貼（は）りつけただけでは、どんなことを理解（りかい）して、何を調べ、どのようなみちすじで結論（けつろん）にたどり着いたかがわかりません。それぞれがつながりを持つためには，言葉を変えずにくり返し本文に登場させて、理解の重ね合わせをすると，読者にも気づいてもらえると思いますよ。
それと５枚の新聞がすべてパソコンで作られ，写真などもポイントとなる場所に貼（は）って理解しやすい工夫がみられます。さらに注文をつけると、文字にも大きさや色、字体に変化を持たせて、長い記事でも飽（あ）きずに読ませる工夫がほしいですね。

鹿児島県鹿児島市　こどもエコクラブみらい
壁新聞のタイトル：こどもエコしんぶん　　46-02　推薦③

こどもエコクラブ　み・ら・い さんへ
師範から一言！

一年間、クラブの仲間と楽しく活動できたことがよく伝わるかべ新聞だと思います。一つ一つの活動の、タイトル・内容・写真・イラストがしっかりしていて、わかりやすいし、読んでいても楽しそうだなぁと思います。
それぞれが、皆さんの心に残る充実した活動だったのでしょうね。生き物の観察、クリーン作戦、ボトルキャップのリサイクルと、様々なテーマで活動しているのも、いいと思いますし、色々体験できて楽しかったのではないかと思います。ぜひこれからも地域の方やサポーターさんと協力して、楽しく活動して下さいね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・・
「すずむしのかんさつ」のところで、「100 年生きるすずむし」を先生からいただいたそうですが、びっくりです。どんなスズムシなのでしょうか？みんなが大切に育てたら、長生きしそうですね。
かべ新聞には、ぜひどこかに「自己紹介」を書いてほしいなと思います。簡単に、どこで何人くらいで活動しているかを書くといいですね。
また、みかん狩りのところのように、活動した日を書くと、あとで自分たちが見たときもわかりやすいと思いますよ。

鹿児島県鹿児島市　イオン鹿児島店チアーズクラブ
壁新聞のタイトル：くろぶーが行く、エネルギーとしげんの物語　　46-01

イオン鹿児島チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

一目見て、とてもかわいいかべ新聞だなぁと思いましたし、「どんなことが書いてあるのかな？」とわくわくさせてくれますね。じっくり読んでみても、わかりやすいかべ新聞だと思いました。かべ新聞を作る前に、みんなでしっかり構成を考えたのだと思います。
「電気はどこにあるのかな？」の疑問から、今回は 3 つのエネルギーについて調べたり、見学に行ったのですね。活動にも、かべ新聞の内容にも「流れ」があって、わかりやすいです。
地熱発電では、年間 2 億キロワットもの電気を作れるとのこと。すごい！日本は火山国なので、そうゆう電気をもっと活用できるといいですね。でも、かべ新聞に書かれているように、限られた地域でしか発電できないのが残念です。原子力発電・ソーラー発電・地熱発電と、どれも良いところと悪いところがあります。色々な点から考えることは、難しいことですが、大切なことです。エネルギー以外のテーマでも、色々な点から考えることを続けてほしいと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
「まとめ」に書いてある「地球を大切にする」を、もう少し具体的に考えて、書いてみましょう。応募用紙には節電のことが書いてあるので、そのように自分がこれから地球を大切にするために、どんなことができるかを書いて、実行してほしいと思います。

鹿児島県鹿児島市　西伊敷小学校 6 年生
壁新聞のタイトル：①未来のために私たちができること　②環境エコ新聞　③エコエ～子新聞　④KEP 新聞　⑤自然を守ろう！新聞　⑥環境に目を向けよう！　⑦自然・環境新聞　⑧ソーラーパネル　⑨緑を増やそう！ザ・グリーンカーテン　⑩緑のカーテン
46-03～12　全 10 枚　①を推薦②に　46-10 のみ横

西伊敷小学校 5 年生①の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――
一つ一つの活動について、しっかりとした文章で書かれていて、読み応えがありました。みなさんが伝えたいことがよくわかる内容だと思います。「みどりの小道　環境日記」は 3 か月続けるのは大変だったと思います。でも、みなさんも書いているように、色々発見があってがんばった甲斐がありましたね。ごみの排出量のグラフは、面白いデザインですね。ごみ排出量が最近減っているのは良いことですが、もっと減らすにはどうしたらいいか、みなさんが考えたことや学校で取り組んでいることを書くとさらによいと思います。
かべ新聞の左下に書いてあるメッセージは、みなさんの強い気持ちが表現できていると思います。自分に、今日からできることを、始めて・続けて・広げていけるようにこれからも活動して下さい。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
プールの生き物救出＆調査は、楽しそうですね。5 年生だけでなく、学校全体で取り組めたのも良かったと思います。この調査は毎年行っているのかな？もしそうなら、去年の結果と比べてみるといいですね。生き物の種類や数の違いによって、新しい発見があるかもしれませんよ。

西伊敷小学校 5 年生②の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――
「硫黄島自然体験」、「プールの生き物調査」、「みどりの小道」、「アルミ缶とプルタブ集め」の活動について、ていねいに文章で書いてありますね。字もていねいに書いてあり、読みやすいかべ新聞だと思います。
私は鹿児島県の硫黄島のことを知らなかったので、地図帳で調べました。人がなかなか行けない場所かと思ったのですが、滞在できるのですね。しかも白いクジャクがいるというのはびっくりです。二泊三日という貴重な時間だったと思うので、どんな活動をしたか、ぜひもっと教えてもらいたいなと思いました。私のように硫黄島を知らない人もいると思うので、地図なども載せるといいと思います。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
硫黄島など、みなさんの地域には豊かな自然があると思いますし、みなさんはその大切さが今回の活動でよくわかったと思います。その自然を守っていくには、どうしたらいいかを、ぜひ具体的に考えて、行動してみてほしいと思います。アルミ缶集めはその行動の一つですね。他にもどんなことができるか、考えてかべ新聞に書いてみると、読んだ人も取り組んでくれると思いますよ。

西伊敷小学校 6 年生
壁新聞のタイトル：①未来のために私たちができること　②環境エコ新聞　③エコエ～子新聞　④KEP 新聞　⑤自然を守ろう！新聞　⑥環境に目を向けよう！　⑦自然・環境新聞　⑧ソーラーパネル　⑨緑を増やそう！ザ・グリーンカーテン　⑩緑のカーテン

西伊敷小学校 5 年生③の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――
メンバー全員で協力してかべ新聞を作っている様子が浮かぶような仕上がりだと思います。クラブの名前「エコエ～子」はどうしてつけたのかな？おもしろい名前なので、ぜひ理由が知りたいなと思いました。
「プールの生き物調査」では、ヤゴが 1000 匹以上見つかったのですね。たくさんいましたね。それに比べておたまじゃくしは 2 匹。ヤゴはおたまじゃくしを食べるのかな？そのような、どうしてヤゴが多いのか、考えてみてもおもしろいと思いますよ。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
「みどりの小道」の記事で、「書くネタがなくなってしまう」というのは正直な感想ですね。でもそこから「どこかでヒントが生まれて小さなことに興味をもてる」というのは、みなさんの気づく力が伸びている証拠だと思います。最初の頃より、最後の頃の方が書く内容もよくなっていたのではないと思います。かべ新聞には日記の内容がなくて少し残念です。ぜひ読みたかったですが、かべ新聞に載せるのは難しいかな？日記全てを載せるのではなく、一人ひとりの「イチオシ」の日記を部分的に載せてもいいと思いますよ。

西伊敷小学校 5 年生④の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！―――――――――――――――――――――――
かべ新聞を作ることで、一年間の活動を振り返ることができましたね。思い出したり、新しく発見したこともあって、良かったのではないかと思います。他のグループのかべ新聞も見ましたが、私は鹿児島県の硫黄島のことを知らなかったので、読んで勉強になりました。硫黄島には人も住んでいるのですね。勉強不足ですが、意外でした。海の色が色々あるというのは、ぜひ見てみたいです。かべ新聞では、クイズで紹介していて、楽しい工夫だと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
西伊敷フェスタでは、環境に関するゲームをしたのですね。みなさんの活動で、学校全体に環境への意識が高まったと思いますよ。ゲームの賞品にも、どんぐりやひょうたんなどの自然のものを使ったのもいいですね。「文章つなぎ」というのは、私は聞いたことがないゲームですが、どんなものなのかな？
甲突川の調査では、色々な生き物が見つかりましたね。この調査はなぜ行ったのかな？活動の目的・動機を一言だけでもいいので、書くともっと良いと思います。例えば、いつも川を見ていて、魚や鳥がいるのは知っているけど、そこから「もっと詳しく調べてみよう」と思ったから、とか。どんな生き物がいるか予想して、調査の結果と比べてみても良いと思いますよ。

西伊敷小学校 6 年生

壁新聞のタイトル：①未来のために私たちができること ②環境エコ新聞 ③エコエ～子新聞 ④KEP 新聞 ⑤自然を守ろう！新聞 ⑥環境に目を向けよう！ ⑦自然・環境新聞 ⑧ソーラーパネル ⑨緑を増やそう！ザ・グリーンカーテン ⑩緑のカーテン

西伊敷小学校 5 年生⑤の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――――――

グリーン eco5 のみなさんは、一年間の活動のうち「プールの生き物調査」にしぼってかべ新聞にまとめています。このように一つの活動について掘り下げて書くのも、良い方法だと思います。一年間の活動を書いているグループも多いので、ちょっと勇気が要ったかもしれませんが、良い内容に仕上がっていますね。

プールを使っていない期間に、プールは水生昆虫がいっぱいになっているのですね。プールを使う夏になる前に、生き物の調査と救出をしたということで、活動の流れがよくわかります。生き物の数を表したグラフもわかりやすいです。ヤゴはとても数が多くて、グラフに入りきらないのはわかりますが、できれば同じグラフに書くと良いですね。棒グラフの目盛りをブロックのようにして、幅の広い長方形で表してみたらどうかな。ヤゴや水生昆虫について、本などで調べたことも書かれているのも良いと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・

生き物の種類が少なくて意外だったようですが、それはなぜか、ぜひ考えてみる（考察といいます）といいですね。ヤゴばかりだったわけですが、たくさんのヤゴが生きるためにはヤゴの食べ物がたくさん必要です。ヤゴの食べ物になった生き物は何なのか？また、逆にヤゴは何かに食べられてしまうことはないのか？そう考えていくとおもしろいと思いますよ。

西伊敷小学校 5 年生⑥の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――――――

みなさんが環境について調べたことが、ていねいにまとめられていますね。かべ新聞全体のタイトルと、記事の見出しも大きくて、わかりやすいと思います。公害の記事では、詳しい表があって、しっかり調べたことがよくわかります。文章だけでなく、資料の使い方も効果的だと思います。

北九州の大気汚染や水俣病は、同じ九州での公害なので、皆さんもよく知っているかと思います。鹿児島県では同じような大きな公害はなかったかもしれませんが、小さな問題はなかったか、調べてみるのもいいと思います。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・

それぞれの記事で、赤枠で囲ってある部分に書いてあることが、とてもよいので、もっと大きく書くといいなと思います。

例えば、水の部分に書いてある「歯磨きの時に節水をしている」など、どんどんアピールしていきましょう。実際に取り組んでいる人の言葉は説得力があります。取り組んだことだけでなく、今回調べたことからも、どんなことを思ったか、具体的に書くとさらに読み応えのあるかべ新聞になると思います。

西伊敷小学校 6 年生

壁新聞のタイトル：①未来のために私たちができること ②環境エコ新聞 ③エコエ～子新聞 ④KEP 新聞 ⑤自然を守ろう！新聞 ⑥環境に目を向けよう！ ⑦自然・環境新聞 ⑧ソーラーパネル ⑨緑を増やそう！ザ・グリーンカーテン ⑩緑のカーテン

西伊敷小学校 5 年生⑦の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――――――

他のグループのかべ新聞も読みましたが、皆さんのかべ新聞を読んでまた硫黄島について勉強することができました
白いクジャクの写真があって、驚きました。真っ白ですね！普通のクジャクのような、美しい色の羽根ではないけれど
黄島では、クジャクの他にどんな生き物がいましたか？また、硫黄島ではどんな体験をしたのでしょうか？

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・

硫黄島のことを知らない人も多いので、ぜひその辺を、かべ新聞を読む人に伝えてほしいと思います。

そのために、例えばかべ新聞を書く前に、メモをたくさん作るといいと思います。硫黄島に行った日にち、メンバー、新
のメモを書いて、それを参考に書くといいのではと思います。

緑の小道の日記を三か月間行って、自然と向き合えたのは素晴らしい経験でしたね。ぜひ一日分でもいいのでかべ
す。載せるときに、なぜその一日を選んだか、自分で解説してみるとふりかえりにもなりますね。

西伊敷小学校 5 年生⑧の新聞を書いてくれたみんなへ

師範から一言！――――――――――――――――――――――――

ソーラーパネルについて、色々と調べたかべ新聞ですね。左上に「私の家の一年間の発電量」と書いてあるので、メンバーの誰かの家で太陽光発電をつけているのかな、と思います。そこから太陽光発電に興味を持って、かべ新聞のテーマを決めたのかな？身近なところからかべ新聞のテーマを決めていて、目の付け所がいいと思いますよ。そのようなテーマを決めた経緯も書くといいですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・

太陽光発電の種類やしくみなどは、よく調べて書いていますね。ちょっと難しい内容だと思いますが、調べてみることは大事だと思います。アンケートを取ったのは、おもしろいと思いますが、5 年 2 組は全員で何人いるのかな？全体が何人かによって、5 人というのが少ないか多いか変わってきますね。細かいことですが、そういった基礎の情報がほしいなと思います。

下の方に、「太陽光発電の特徴」が書いてあります。太陽光発電がなぜ環境にいいと言われているのか、短所は何か、みなさんはきちんと調べて書いてあるので、ぜひかべ新聞を読む人にもよくわかるように大きく書くともっと良いと思います。短所に書いてあるように、太陽光発電は自然条件に左右される部分があります。そういう時にどうしたら良いか、みなさんが家で電気を使う時に取り組めることがあるか、考えてかべ新聞に書いてみるとさらに良いと思います。

西伊敷小学校 6 年生
壁新聞のタイトル：①未来のために私たちができること ②環境エコ新聞 ③エコエ～子新聞 ④KEP 新聞 ⑤自然を守ろう！新聞 ⑥環境に目を向けよう！ ⑦自然･環境新聞 ⑧ソーラーパネル ⑨緑を増やそう！ザ･グリーンカーテン ⑩緑のカーテン

西伊敷小学校 5 年生⑨の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

緑のカーテンについて、調査したことをふまえてまとめたかべ新聞ですね。緑のカーテンの写真をみると、すごく立派なカーテンですね。これは皆さんで育てたものだと思うのですが、緑のカーテンを作っていく経緯も書くとわかりやすくなると思います。「ひなたと日かげの温度差」では、緑のカーテンとすだれで明らかに温度に違いがありますね。同じように日光をさえぎっていても、緑のカーテンの方が涼しくなっています。おそらく、植物からの蒸散による効果もあると思います。緑のカーテンの効果がよくわかります。
みなさんのかべ新聞を読むと、緑のカーテンの効果がわかりますね。かべ新聞を読んで来年は緑のカーテンを作ってみようと思う人が増えるといいですね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
「葉っぱの表面の温度」を調べた結果はおもしろいと思いました。どうして葉っぱの状態によって温度を調べてみようと思ったのかな？その着眼点が私はおもしろいと思いました。ぜひ調べた理由や、予想も書くといいと思います。また、調べてみた感想も知りたいなと思います。

西伊敷小学校 5 年生⑩の新聞を書いてくれたみんなへ
師範から一言！

カラフルでかわいらしい壁新聞ですね。皆さんが考えたキャラクターがたくさんあって、楽しくかべ新聞を作ることができたのではないかと思います。
緑のカーテンの種類は、たくさんありますね。ニガウリやヘチマはよく見ますが、サツマイモやカボチャでもできるのは初めて聞きました。色々な種類の植物を使えば、収穫も楽しみになりますね。
とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・
緑のカーテンを作っている家がどれくらいあるか、地域で調べてみましたね。それぞれの家で、どの植物で作っているかも、解れば書くといいと思います。その家の人に、インタビューをしてみたのかな？ちょっとそこがよくわからないので、詳しく書くともっと良かったと思いました。インタビューすることは、とてもよい取り組みだと思います。実際に緑のカーテンを作っている人の声、生の声は色んな人の参考になります。緑のカーテンの効果、作るときの様子などを教えてもらうといいですね。
西伊敷では、緑のカーテンをしている家が少ないそうなので、そうゆう情報があれば、作ってみよう、と思う人が増えると思いますよ。

鹿児島県曽於市 あおきっこエコクラブ
壁新聞のタイトル：環境にいいさつま鴨農法 46-13 推薦①

あおきっこエコクラブ さんへ
師範から一言！

さつま鴨農法について、マンガ風にかべ新聞をまとめてくれましたね。
稲を作る順序にていねいに書かれていると思います。
もみまき･苗の世話、田植え、稲刈りなど大変だったと思いますが、すばらしい体験だったと思います。できた黒米はどうしたのかな？
みなさんで食べたと思うのですが、ぜひ味の感想も聞きたいです。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・
色々知らないことがあって、私も読んで勉強になりましたが、興味もわいて、色々聞いてみたいなと思います。
例えば、さつま鴨と合がもの違いはどんなところですか？また、放鳥するときに仲間の顔を見せないとあばれてしまうそうですが、それはどうしてなのでしょうか？仲間がいないと不安になってしまうのかな？きっと、かべ新聞を読む人も、興味をもって色々聞いてみたいことがあると思うので、ぜひ次回は教えてほしいと思います。
さつま鴨農法は農薬を使わないから環境に良い、というところをもう少し詳しく説明できるといいですね。おそらく、さつま鴨が田んぼの草などを食べてくれるから、農薬がいらないということだと思いますが、さつま鴨の活躍ぶりを書いてみるなどして、説明できるとわかりやすくなると思います。

沖縄県本部町　もとぶ元気村エコクラブ
壁新聞のタイトル：守ろう！命のサンゴの森だより　47-01

もとぶ元気村こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

このかべ新聞を読むと、沖縄のサンゴについて本当に良く知ることができます。
赤土の流出も、どんなようすか写真を見ると良くわかりますね。サンゴの苗を、私は初めて見ました！サンゴについての説明、サンゴの歴史、人との関わりなど、様々な視点でまとめられています。どれもとてもわかりやすいですね。
わかりやすく書くというのは、しっかりと調べて理解していないとできないことなので、もとぶ元気村こどもエコクラブのみなさんは、ものすごくしっかり調べられたのですね。調べるだけでなく、サンゴを守るためのとってもすてきな活動にも注目です。
サンゴを増やすための植え付けの活動だけでなく、
海のクリーンアップ活動や、赤土流出防止のための植栽活動など、サンゴが育つ環境づくりにも取り組んでおられますね。それにしても、植え付けはボルトナットで固定するだなんて、驚きました。サンゴが減ってきている現実、そして、たくさん植え付けをしたのに生き残ったのは少しだったこと、一年後も少ししか大きくなっていないこと。サンゴの成長の早さと死ぬ早さはかなり違うというみなさんの発見に、ドキッとします。かべ新聞で、みなさんが見て・触って・感じたことが伝わってくるような気がしました。
専門の本を読むよりも、みなさんのかべ新聞を見る方が、サンゴの状況について伝わると思います。本当に、サンゴを大切にしていきたいですね。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
調べて、考えて、行動ができるみなさんの様子が良く伝わってくるすてきなかべ新聞です。なので、アドバイスということではないのですが、もうちょっと知りたいなと思うことが少しだけありました。・活動をされた月日が書いてあると良いと思いました。サンゴの植え付けやベチバー植えはいつごろの時期にするのか等が、知らない人にも分かると、より良いと思います。
・もとぶ元気村こどもエコクラブって、どんなエコクラブなのかが少し書いてあっても良いと思います。
・活動の中で、エコクラブ以外の人や団体と一緒にしたものがあれば、誰と一緒にしたのかをぜひ書いてください。
　自分たちだけでなく、他の人たちを巻き込んで活動ができるというのは、とてもすてきなことですね。より活動が広まっていくことに繋がると思います。
・みなさんの周りの人は、サンゴのことや海のことをどう思っているのでしょうか。 いろんな人に聞いてみるのもおもしろいですよ。
　もし機会があったら、どんな意見や考えがあるか、まとめてみてください。
沖縄ならではの、サンゴを守る活動がどんどん広まっていって、イノーがたくさんの豊かな海になるといいですね。
これからも、がんばってくださいね！

沖縄県恩納村　OMRC こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル：恩納村エコクラブ新聞　47-02

OMRCこどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

すてきな絵がたくさんの、見ていてたのしい壁新聞ですね。生き物がしっかりかんさつして描かれています。とても上手です！
OMRCこどもエコクラブのみなさんは、平成 25 年 4 月にできたばかりとのこと。最初にみんなでニックネームを決めるところから、生き物のかんさつをしたり、木やつるなどの自然の素材を使ってつりざおを作ったりと、自然の中で楽しく活動されているようすがとても良くわかります。
生き物かんさつでみなさんが注目した生き物がおもしろいですね。フトユビシャコのパンチの音って、どんな音なんでしょうか。
ウツボのするどい歯は絵にも描いてあります。具体的なかんさつと絵で、とても分かりやすいですね。
他にも、工夫して作ったつりざおでカニをつるよりも、手でつかまえる方が早かったことや、つりざおにえさをつけるのが大変だったことなど、みなさんの楽しい活動が伝わってきます。

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・
みなさんの楽しくてすてきな活動が、かべ新聞でもっとわかりやすく伝わる方法を考えてみました。参考にしてみてくださいね。
・活動だけでなく、OMRCこどもエコクラブのみなさんのことについても知りたいと思いました。何年生だとか何人ぐらいで活動しているのかとか、どんなことが好きかなど、書いてみてください。
・それぞれ何月にした活動なのか、とてもよく分かります。さらに、日にちまで書いてあるとバッチリですね。
・みなさんの活動の「結果」を意識して書いてみましょう。例えば、生き物かんさつでは何種類ぐらいの生き物を見たのかや、つりをしたときに何匹ぐらいつれたかなど。
・このかべ新聞を見れば、みなさんの「観察力（かんさつりょく）」がすばらしいことがわかります。 なので、気付いたことやおもしろかったことなどがあれば、どんどんかべ新聞に書いてくださいね。
ぜひ、色々な新しい活動にもチャレンジしてみてくださいね。またみなさんのかべ新聞が見られることを楽しみにしています！

沖縄県竹富町　西表ヤマネコクラブ
壁新聞のタイトル：西表山猫新聞　　　　こどもエコクラブ大賞　47-03

西表ヤマネコクラブ さんへ
師範から一言！━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
西表ヤマネコクラブのみなさんの活動は、ごみの問題、水の問題そして生き物の問題について、いっしょうけんめいに取り組んでいる、とても大事な活動です。ですが、このような息が詰まるような真剣な問題以外に無人島でのサバイバルキャンプと言う、楽しい活動も報告してくれたので、読む私達もホッとします。
海岸に流れ着いたごみだけでなく、むしろ観光客が捨てたごみがとっても多くて困ったものです。全国でも海に泳ぎに、遊びに来た人が残していくごみが多くて困っているところが多いようですね。西表島のように自然がいっぱい、海がきれいなところでもごみの問題が大きな問題になっているのですね。東日本大震災の時に流されたものが流れ着いたのは、仕方がないことですし、大震災に遭った人たちの苦しみ、悲しみを考えて、処分しましょう。しかし、観光客が捨てたごみは、持ち帰ってくださいと声を大にして言いたいですよね。
ホタルが 12 月に見られるのは信じがたいです。私が住んでいる神奈川県では 6 月に飛んでいるのが見られるだけです。うらやましいなー。でも、今年（2013 年）はイリオモテボタルが一個体も観察できなかった。心配ですね。どうしてそうなったのか？オオシママドボタルが増えた原因は？アカホタルモドキが最終日に増えたのかどうしてか？
みんなは何年も継続して観察しているので、原因が推定できています。ホタル観察も長年続けているようですので、12 月 7 日から 13 日までの結果とは別に、年ごとの結果もまとめて出してもらうとみんなの推測が納得してもらえるのではないでしょうか？
みんなの立派なことは、ホタルを再生したいとの考えで土を入れ、草を植えて、ホタルを再生しようと考え、実行しようとしていることです。ホタルがいっぱいになれば、街の人たちみんなが喜びます。素晴らしい行動力ですね。なお、A班、B班、C班がどこなのか？分かりません。地図に書いておいてください。毎年のことだから、分かっているでしょう、と言いたいでしょうが、忘れてしまうので、ぜひ書いておいてくださいね。
無人島のサバイバルキャンプは昨年の失敗を生かして、今回はみんなで協力して、充実したキャンプが出来たようで良かったですね。豆腐を作ったようですが、どんなやり方なのかな？魚もたくさん釣れたようですね。ミーバイってどんな魚なのかな？高級品のヤシガニも食べた、シャコ貝は刺身で食べた。うらやましいなー。ところで夜は蚊などの虫は出ないのですか？蚊取り線香などを持っていくのですか？
西表山猫新聞がNO. 17 と言うことは 17 年続いているということかな？素晴らしいことですね。みんなで楽しく、そして時々は大変なことにも挑戦して、クラブの活動を続けてください。
また、来年も楽しい活動の結果を報告してください。待っています。

沖縄県竹富町　西表ヤマネコクラブ
壁新聞のタイトル：西表山猫新聞

とっておきのゴシドウ★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★・・・・・・★
どうしたらごみを捨てないか？ごみを捨てないようにと言うメッセージを書くのもいいでしょう。「捨てるな！」と言うより「持ち帰ってください！」の方が良いかも知れません。それとみんなが調べた結果を大きなグラフにして、こんなにごみが捨てられているのですよ、と訴えた方がインパクトがあるのではないでしょうか？みんながごみを拾っている写真も看板につけておきたいですね。どうしたら海岸に遊びに来た人に、海に泳ぎに来た人にごみを捨てない、残さないようにしてもらうには？を自分だったら捨てないよ、残さないよ、と考えて工夫してみてください。どういう文面、内容が有効だろうか？どこに貼り出したら有効か？などを考えて、工夫してみてください。がんばれ！
水質調査はCODの値を測るだけでなく、川の状態や生き物の様子などもていねいに調べて、前回と比較しています。この水質調査は長い間続けているようですね。とても素晴らしい活動だと思います。ですから比較するのは前回だけでなく、ずっと前からの比較も知りたいですね。水質の変化の原因は何か？考えたら、それを現場で、現地で確認しましょう。自然現象によるものの場合は、改善など難しいですが、人間活動による変化であれば、今後、みんなが何をすれば良いかも導き出せるのではないでしょうか？生き物が増えた、減ったは、生き物の種類ですか？数ですか？ごみが減った。そのデータはどうなっていますか？
忘れないように写真などに撮っておくと比較するのが容易になるのでは？
3 回の測定結果があるのは、実験と言うことがよく分かっている証拠です。素晴らしいですよ！さらに 1 日だけでなく 3 日、そして 1 か所ではなく 3 か所で測るのが良いですが、CODパックテストは高いので 3×3×3＝27 回、そんなに買えないでしょう。従って、1，2，3の回数をどうやるか？日にちで 1 日にテストを 1 回ずつやって 3 日やる。あるいは、1 か所でテスト 1 回で、3 か所でやるというやり方もあります。但し、毎年の測定結果と比較するためには、同じ条件が必要ですので、やり方の変更は注意してください。